

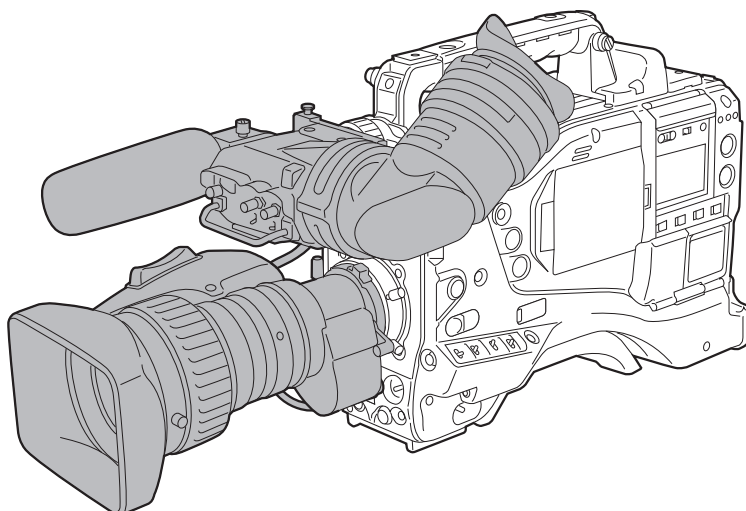
Panasonic®

取扱説明書

P2HD

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AJ-HPX3000G**



AVC INTRA

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

DN

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

安全上のご注意	5
危険	5
警告	6
注意	7
ご使用の前に	8
<hr/>	
はじめに	
カメラ部の特長	10
再生・記録部の特長	10
入出力部の特長	13
その他の特長	13
寸法図	14
ご使用地域への設定（フレーム周波数等の設定）	15
システム構成	16
<hr/>	
各部の名称と機能	
電源部およびアクセサリ取り付け部	17
音声機能部（入力系）	18
音声機能部（出力系）	19
撮影・記録/再生機能部	20
メニュー操作部	25
タイムコード関連部	26
警告/状態表示部	27
表示窓内表示	28
液晶モニター部	29
ビューファインダー部	30
<hr/>	
記録と再生	
P2カードについて	32
P2カード記録データの取り扱いについて	34
基本手順	35
通常の記録	37
PRE RECORDING 機能	38
LOOP REC 機能	39
INTERVAL REC 機能	39
ONE CLIP REC 機能	42
REC REVIEW 機能	44
通常再生および変速再生	45
テキストメモ機能	45
ショットマーク機能	46
記録設定と動作モード	46

記録のための調整と設定

マルチフォーマット	47
ホワイトバランス/ブラックバランスの調整	49
電子シャッターの設定	53
USER MAIN、USER1およびUSER2ボタンへの機能割り付け	55
音声入力の選択と録音レベルの調整	57
タイムデータの設定	59
ビューファインダーの状態表示	72
液晶モニターの調整と設定	82
映像出力信号の選択	83
データの取り扱い	85
色収差補正機能 (CAC)	99

準備

電源の供給	103
レンズの取り付けおよびフランジバック調整と ホワイトシェーディング調整	107
音声入力の準備	110
三脚への取り付け	111
ショルダーベルトの取り付け	112
レインカバーの取り付け	112
リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続	113
FRONT AUDIO LEVELノブの取り付け	113
外部スイッチの接続	114

クリップのサムネール操作

サムネール操作の概要	115
サムネール画面	116
サムネールの選択	118
クリップの再生	118
サムネール表示の切り替え	119
ショットマーク	121
テキストメモ	121
クリップの削除	123
クリップの修復	123
不完全クリップの連結	124
クリップのコピー	124
クリップメタデータの設定	125
プロキシ機能の設定 (オプション)	128
P2カードのフォーマット	128
SDメモリーカードのフォーマット	129
サムネールの表示設定	130




	プロパティ	131
<hr/>		
外部機器との接続	DVCPRO 端子での接続.....	135
	USB2.0 端子での接続機能.....	137
	SDI IN 端子での接続 (AJ-YA350AG 装着時).....	143
<hr/>		
保守・点検	撮影前の点検	144
	メンテナンス	146
	警告システム	151
<hr/>		
メニュー	メニュー構成	157
	メニュー一覧	161
本機搭載ファームウェアのアップデート		195
保障とアフターサービス (よくお読みください)		196
定 格.....		197

安全上のご注意





必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

  	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

	■ バッテリーパックの説明書をお読みのうえ、正しく使用する ⇒ 誤った使い方をされますと、液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。 (バッテリーパックは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)
	■ 充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する ⇒ 指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。 (充電器は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

警告

	■ DCコードが破損するようなことはしない 【傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど】 ⇒ 傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。 ⇒ DCコードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 (DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)
	■ 乗り物を運転しながら使わない (事故の誘発につながります。) ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。
	■ 電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど*の原因になります。) 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人など(高齢者)は、低温やけどになりやすい傾向があります。
	■ 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない (火災の原因になります。) ⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。
	■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない (ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)
	■ メモリーカード(別売品)や付属品(FRONT AUDIO LEVELノブ、ノブ用ネジ)は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

(次ページに続く)

警告 (続き)



■ DCコードの電源プラグは、根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。)

⇒ 傷んだDCコードは使用しないでください。

(DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする

(火災や感電の原因になります。)

⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

■ 付属品・別売品は、指定の製品を使用する

(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

■ 外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する

(誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。)

⇒ 詳しくは106ページを参照してください。

(DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

■ 異常があったときは、バッテリーを外す

[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]

(そのまま使うと、火災や感電の原因になります。)

⇒ 外部DC電源で使っている場合は、DCコードを外してください。

⇒ 販売店に相談してください。



分解禁止

■ ユニスロット以外のカバーは外さない

(火災や感電の原因になります。)

⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 分解や改造をしない

(感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)

⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。





水場
使用禁止

■ 水場で使用しない

(火災や感電の原因になります。)

⚠ 注意

	■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない] ⇒ 内部に熱がこもり、火災の原因になります。
	■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
	■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、感電、故障の原因となります。)
	■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)
	■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)
	■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す (火災や感電の原因になります。)
	■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)
	■ 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。) ⇒ 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。
	■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどをする (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災や感電の原因にもなります。)

ご使用の前に

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

レーザー光線についてのご注意

レーザー光線がCCDに照射されると、CCDを破壊する恐れがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機およびP2カードの使用時、万が一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。
- ファンの異常などにより、ファンが停止した状態で動作を続けると、カメラ映像出力/記録/再生が正常に行われない場合があります。

メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPL の内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOC という名前のフォルダを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)

また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MIT の内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOC という名前のフォルダを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照下さい。

- Unislotは池上通信機株式会社の登録商標です。
- その他会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

お願い

本機を初めてご使用になる時は、下記の3項目の設定をお願いします。

- 本機を初めてご使用になるときは、最初にブラックバランスの設定を行ってください。(52 ページ参照)
- 本機は使用地域が未設定の状態です。ご使用地域に合わせて15 ページに記載の手順でフレーム周波数等の設定変更を行ってください。
- ご使用になるビューファインダーに合わせて、SYSTEM SETTING ページ<SYSTEM MODE>画面のVF TYPE項目で設定を行ってください。工場出荷時はHDビューファインダーに設定されています。

本機はインターレース/プログレッシブ駆動(全画素読み出し)に対応した2/3型220万画素を搭載したカメラ部と、AVC-Intra100、AVC-Intra50、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV各圧縮フォーマットに対応した記録・再生部を一体化したCCDカメラレコーダーです。

本機は下表に示すHD方式、SD方式に対応しています。また、本機は制作用途のカメラレコーダーとして、CAC(レンズの倍率色収差を補正する色収差補正機能)、スキャンリバース(アナモレンズやフィルム用レンズ使用時に画像を補正する機能)、フィルムライクガンマ機能などを搭載しています。

記録部は、AVC-Intra100、AVC-Intra50、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DVの圧縮・記録方式が選択できます。特にAVC-Intra100圧縮ではカメラからの画像をほとんど損ねることなく記録することができるため、高品質の画像を得ることができます。

■対応フォーマット

モード	SYSTEM MODE	撮影・記録方式	
HD	1080-59.94i	AVC-Intra100	59.94i 29.97P (Native)
		AVC-Intra50	23.98P (Native)
		DVCPRO HD	59.94i 29.97P Over 59.94i 23.98P Over 59.94i (2-3プルダウン) 23.98PA Over 59.94i (2-3-3-2プルダウン)
	1080-50i	AVC-Intra100	50i
		AVC-Intra50	25P (Native)
		DVCPRO HD	50i 25P over 50i
SD	480-59.94i	DVCPRO50 DVCPRO DV	59.94i 29.97P Over 59.94i 23.98P Over 59.94i (2-3プルダウン) 23.98PA Over 59.94i (2-3-3-2プルダウン)
	576-50i	DVCPRO50 DVCPRO DV	50i 25P Over 50i

カメラ部の特長

■ マルチフォーマット

本機は220万画素CCDをインターレース駆動/プログレッシブ駆動(全画素読み出し)することにより、各映像方式を実現しています。(48ページ参照)

■ 色収差補正機能

光の波長によりレンズでの屈折率が異なることに起因する、レンズの倍率色収差(以降、色収差と記載します)を補正する機能を搭載しています。この機能を使用すれば、レンズの周辺で発生する色収差を補正することができるため、高品位な映像信号を得ることができます。ただし、色収差補正に対応したレンズを使用する必要があります。(99ページ参照)

■ スキャンリバース機能

本機はキャノン社・アンジェニー社のHDレンズアダプター使用時の画像反転をキャンセルするスキャンリバース機能を標準装備し、メニュー設定で容易に切り替えることができます。(161ページ参照)

■ フィルムライクガンマ機能搭載

Varicam(AJ-HDC27シリーズ)で培ったフィルムトーンを容易に得られるよう、Varicamとほぼ同じFILM-RECガンマを搭載しました。(173ページ参照)

■ 2ディスク4枚構成光学フィルター

CCフィルターは3200K・4300K・5600K・6300Kを装備しています。屋外撮影でよく使用される5600Kを標準装備しています。(20ページ参照)

■ 14ビットA/D変換デジタル信号処理

標準化周波数74MHz、14ビットA/D変換器により映像信号をデジタル化しており、より繊細で高画質な映像再現を可能にしています。

■ 蓄積型高感度機能搭載(DS.GAIN)

CCDをプログレッシブ駆動させることにより、蓄積型のゲインアップ機能を実現しています。低照度の環境下でもノイズを増やすことなく、明るい映像を得ることが可能です。通常のゲインアップから更に最大20dBの高感度化が可能になります。また、この機能を映像効果として用いることが可能です。(182ページ参照)なお、この機能は59.94i、50iの状態では撮影されているとき動作します。このとき、SHUTTERモードは強制OFFになります。

■ DRS(ダイナミックレンジストレッチャー)機能

通常の撮影では白トビする、高輝度な部分の映像信号レベルをコントラストを保ちながら圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。(55ページ参照)

■ レンズファイル機能

本機には、8個のレンズファイルを備えています。SDメモリーカードを使用すると、64個のレンズファイルを記憶することが可能になります。(94ページ参照)

■ フォーカスアシスト機能

撮像映像のピント合わせを補助するマーカーを表示する機能を備えており、ピント合わせを視覚的に手助けします。(55ページ参照)

■ データ管理機能

本機には1個のユーザーデータと4個のシーンファイルデータを登録することが可能です。また、セットアップカードとしてSDメモリーカードを使用することで、最大8個のセットアップデータを保存することが可能になります。(85ページ参照)

■ カラーバー

本機には通常のフルカラーバーのほかに、SMPTEカラーバー、ARIBカラーバー、SNG(Satellite News Gathering)用スプリットカラーバーを備えています。カラーモニターの調整などに有効です。(180ページ参照)

再生・記録部の特長

■ マルチスロット記録機能

P2カードスロットを5つ装備しています。P2カードを5枚まで装填して連続記録できるほか、メモリーカードならではの新しい記録機能を実現しています。

● ホットスワップREC機能

記録中でも他のカードが交換できるホットスワップ機能を装備しています。カードを順次交換し続けることで連続記録が可能になります。

● LOOP REC機能

指定した記録領域内で順次ループ記録することにより常に過去一定時間の収録を保持することができます。

● INTERVAL REC/ONE SHOT REC機能

最短1フレーム間隔で間欠記録を行う機能を搭載しています。特に科学・自然番組の撮影に効果を発揮します。また、ワンショット記録を使用すれば、ひとコマ撮りが簡単にできます。

● PRE RECORDING機能

スタンバイ状態でカメラに入る映像・音声を8秒まで常時メモリーしていますので、PRE RECORDING機能をONにすれば、記録をスタートした時点から、設定した秒数をさかのぼって記録されます。決定的な瞬間の撮り逃しをリカバリーできます。DVCPRO、DVの場合、最大15秒までのリカバリーが可能です。

● ONE CLIP REC機能

1回の記録（REC開始から終了まで）を1つのクリップとするのではなく、複数回の記録をひとまとめの連結されたクリップとして記録することができます。連結クリップはサムネール操作や編集時に1つのクリップとして扱えるため、転送やコピーなどでの取り扱いが簡単です。最大99回の記録まで、1つに連結できます。

● プロキシ記録機能（AJ-YAX800G装着時）

別売のビデオエンコーダーカード（AJ-YAX800G）を装着することによって、本機で撮影した本素材の映像音声とは別に、MPEG4形式の映像記録と、タイムコードデータなどのリアルタイムメタデータをP2カードおよびSDメモリーカードに同時記録できます。クリップ確認や編集作業に効果的です。

なお、SDメモリーカードへのプロキシ記録時間の目安については「SDメモリーカードのプロキシ（オプション）記録時間のめやす」（12ページ）を参照してください。また<SDメモリーカード使用上の注意>（24ページ）も参照してください。

● データの保護

P2カードのデータはファイル消去やカードの初期化を行わない限り上書きによって消去することはありません。収録はカードの空き領域のみに行われます。

■ HD：AVC-I 100/AVC-I 50/DVCPRO HD /

SD：DVCPRO50/DVCPRO/DVスイッチャブル

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮のPCM記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

また、HDモードではDVCPRO HDの他にISO/IEC 14496-10規格のAVC（Advance Video Coding）圧縮を選択することも可能です。本機はフレーム内圧縮を行っています。

また、HDモードではH.264/AVCイントラプロファイル圧縮のほか、DVCPRO HDを選択することが可能です。本機はフレーム内圧縮を行っています。

SDモードでも、画質を優先させる場合はDVCPRO50に、経済性を優先させる場合はDVCPROにと用途に応じた記録フォーマットの選択が可能です。

◆ NOTE:

メニューで選択したものと異なるフォーマットのクリップを再生するとき、フォーマットの切替のため映像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

■ 全フォーマット4chデジタルオーディオ収録

HD（1080i）モードは4チャンネルデジタルオーディオ収録を行います。

またSDモードでも、高音質（48 kHz/16 bit）の4チャンネルデジタルオーディオの収録が可能です。

■ クリップサムネール機能

● サムネールの自動生成

記録カット（クリップ）ごとのサムネール画像を自動生成します。これはノンリニア編集やサーバーへのアップ後だけでなく、本機でも利用できます。

● LCDモニターへのサムネール表示

本機側面に装備された3.5型カラー液晶モニターに、クリップサムネールを12画マルチスクリーン表示が可能です。選択したクリップへ瞬時にアクセスして再生できます。

● 選択クリップのシームレス再生

複数のクリップをサムネール画面から指定して、シームレスな映像として連続再生・送付が可能です。

◆ NOTE:

記録フォーマットが異なるクリップ間を連続再生する場合、シームレス再生ができません。

● クリップ情報の表示

クリップを選択して、録画した時間やテキストメモ、ショットマーク、メタデータなどのクリップに付加された情報を確認することができます。

■ テキストメモ&ショットマーク

各クリップには、サムネールをタイムコードに関連づけて付けられるテキストメモや、OKカット/NGカットなどの区別を容易にするショットマークを付加することができます。

どちらも収録中はもちろん、収録後にクリップを選択して行うこともでき、収録後の作業をサポートします。また、テキストメモ区間単位でのコピー機能を利用すると、1つのクリップから必要な部分だけを抜き出すことが出来ます。

■ FRONT音声レベル調整ボリューム機構搭載

本機の前面部に、音声記録レベルの微調整用ボリュームを装備しています。特に、一人での撮影時における音声レベルの調整に有効です。なお、このボリュームを無効にする事も可能です。（18ページ参照）

■ Unislotワイヤレス内蔵機構対応

本機は、別売りのスロットインワイヤレスレシーバーに対応した構造になっております。（110、187ページ参照）2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーにも対応可能です。

■ REC REVIEW機能

記録した最後の約2～10秒間を、自動的に戻って再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

■ タイムコードジェネレーター/リーダー内蔵

専用のサブコード領域にタイムコード情報を記録し、再生することができます。

■メタデータ対応

本機は、メタデータのUMID情報として、GPSユニットAJ-GPS910G（別売品）からの位置情報（緯度・経度・標高）を記録する事が可能です。また、SDメモリーカードにあらかじめ登録した撮影者名やリポーター名、プログラム名などの情報を記録することが可能です。クリップの情報管理としても有効です。なおSDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>（24ページ）も参照してください。

■記録時間

本機で動作検証済みP2カードは以下の通りです。

- ・AJ-P2C004HG（4 GB）
- ・AJ-P2C008HG（8 GB）
- ・AJ-P2C016RG（16 GB）
- ・AJ-P2C032RG（32 GB）

（カードの品番および容量は2008年10月時点でのものです。大容量化などにより変更する場合があります）
また、AJ-P2C002SG（2 GB）は使用できません。

P2カードの記録時間：16 GBカード1枚使用時 HDモード

映像方式	記録方式と記録時間		
	DVCPRO HD	AVC-Intra100	AVC-Intra50
1080-59.94i/50i*1	約16分	約16分	約32分
1080-30PN/25PN (Native)	—	約16分	約32分
1080-24PN (Native)	—	約20分	約40分

*1 DVCPRO HDの30P、24P、25Pプルダウン時を含む

SDモード

映像方式	記録方式と記録時間		
	DVCPRO 50	DVCPRO*2	DV*2
480-59.94i/576-50i*3	約32分	約64分	約64分

*2 オーディオ2ch記録時

*3 30P、24P、25Pプルダウン時を含む

◆NOTE:

- 8 GBのP2カードは左記の各値を1/2に、4 GBのP2カードは1/4に換算してください。
- 本機で8 GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が一定量（下表に示す時間）を越えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。このようなクリップはP2機器でサムネール操作（表示、削除、修復、コピーなど）を行う場合、1つのクリップとして操作可能です。ただしノンリニア編集ソフトやパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録方式（Nativeを除く）	連続記録時間
DVCPRO HD	約5分
AVC-Intra100	
AVC-Intra50	
DVCPRO50	約10分
DVCPRO	
DV	約20分

SDメモリーカードのプロキシ（オプション）記録時間のめやす （24P Nativeモードを除きます）

カード品番 （容量）	MPEG4記録レート		
	192 kbps	768 kbps	1500 kbps
RP-SDH256 (256 MB)	約2時間 17分	約35分	約19分
RP-SDH512 RP-SDK512 (512 MB)	約4時間 27分	約69分	約38分
RP-SDQ01G RP-SDK01G (1 GB)	約8時間 56分	約2時間 19分	約77分
RP-SDQ02G RP-SDK02G (2 GB)	約18時間 11分	約4時間 44分	約2時間 37分
RP-SDV04G (SDHC 4 GB)	約35時間 42分	約9時間 18分	約5時間 12分

（連続して記録した場合の当社製品での参考値です。記録時間はシーンやクリップ数によって異なります）

上記以外のSDメモリーカードを使用する場合は、本機に搭載されたドライバーをアップデートする必要がある場合があります。アップデートについては「本機搭載ファームウェアのアップデート」（195ページ）を参照してください。

P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

入出力部の特長

■ USB2.0端子 (HOST/DEVICE) 搭載

外部パーソナルコンピューターなどと USB2.0 で接続し、本機に挿入した P2 カードをマスタストレージとして扱うことが可能です。

また、USB ホスト機能を搭載し、USB2.0 で接続された外部ハードディスクに P2 カードのデータを保存したり、ハードディスクに保存されているクリップの閲覧や P2 カードへの書き戻しが可能です。(137 ページ参照)

■ DVCPRO/DV 入出力標準装備

IEEE1394 準拠の外部デバイスを接続して、デジタルインターフェイスでの入出力を行うことができます。コネクタは 6 ピンタイプを使用してください。バスパワーには対応していません。

AVC-Intra 動作中は、IEEE1394 での入出力はできません。(135 ページ参照)

■ HD/SD SDI 出力標準装備

VIDEO 出力は、HD SDI 信号とダウンコンバートした SD SDI 信号およびアナログコンポジット信号に切り替えることが可能です。

SDI 出力にはエンベデッドオーディオなどが重畳されています。(48 ページ参照)

なお、SD モード時には HD SDI 信号は出力されません。

■ ダウンコンバーター出力標準装備

MON OUT 端子および VIDEO OUT 端子 (VBS 設定時) からは、HD モード時にはダウンコンバーター信号 (アナログコンポジット信号) が出力されます。

SD モニターでの撮影画像の確認に最適です。

(48 ページ参照)

■ HD/SD SDI 入力機能 (AJ-YA350AG 装着時)

本機は拡張ボード AJ-YA350AG を装着したとき、SDI 入力端子より入力した SDI 信号が記録できます。

ただし記録できる信号は本機の SYSTEM MODE と同じ記録フォーマットの SDI 信号に限られます。

(各種 Native 方式には対応していません)

■ リモートコントロール端子

別売のリモートコントロールユニット (AJ-RC10G) を接続すると、本機をリモート制御することが可能になります。(113 ページ参照)

■ リターンビデオ信号の確認

本機の GENLOCK IN 端子に供給されたリターンビデオ信号 (HD モード時にはアナログ HD-Y 信号、SD モード時には VBS または Y 信号) をビューファインダーで確認することが可能です。プログラムの確認に使用することが可能です。

(同じ記録フォーマットの映像信号だけが確認できます。)(180 ページ参照)

■ DC OUT 端子

本機の DC OUT 端子からは、1.5A の電流を取り出すことが可能です。

この端子に外部スイッチを接続すると、REC スタート/ストップの制御が可能になります。

また、LED を接続すると、タリランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。(114 ページ参照)

その他の特長

■ ビューファインダー接続

本機のビューファインダー接続コネクタからは、1080-59.94i、1080-50i の信号、または 480-59.94i、576-50i の信号が出力されています。

別売のビューファインダー (AJ-HVF21G) を接続することで、マルチフォーマットに対応した映像を確認することが可能になります。(30 ページ参照)

また、AJ-VF20WBP (59.94 Hz) /E (50 Hz) も接続可能です。ただし周波数の異なるフォーマットの映像は確認できません。

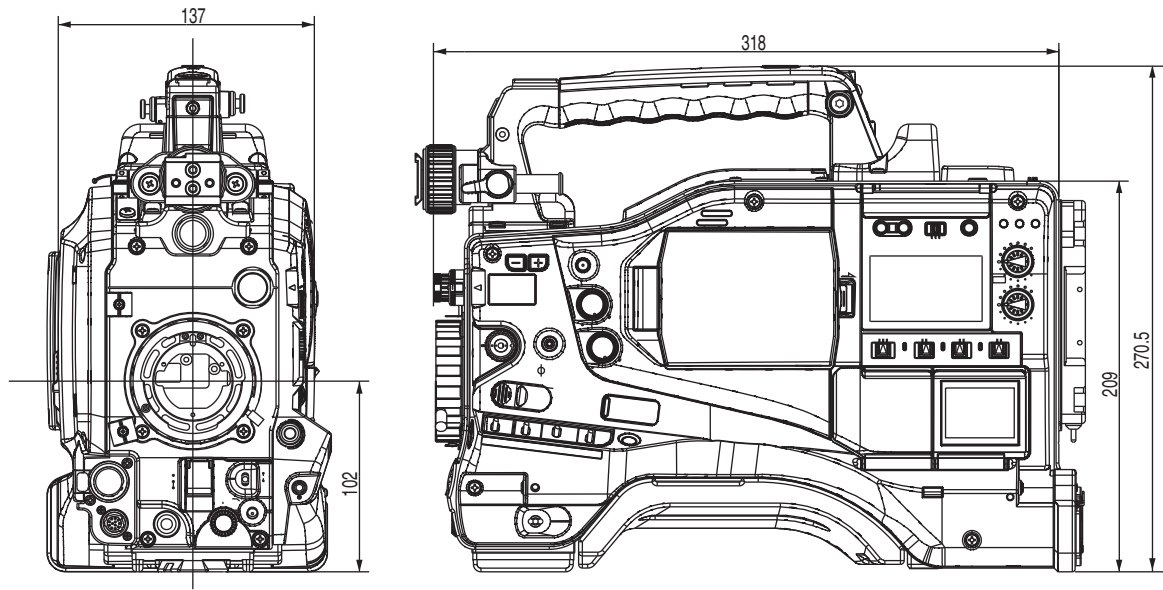
■ ユーザーボタン

本機の側面には、3 個のユーザーボタン (USER MAIN/USER1/USER2) が配置されています。

各ユーザーボタンには、P2 カードスロットセレクトやスーパーゲインなど本機の多くの機能の中から、使用頻度の高い機能の ON/OFF を簡単に割り付けることができます。(55 ページ参照)

寸法図

単位：mm

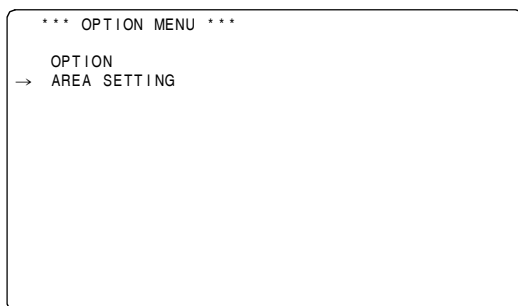


ご使用地域への設定 (フレーム周波数等の設定)

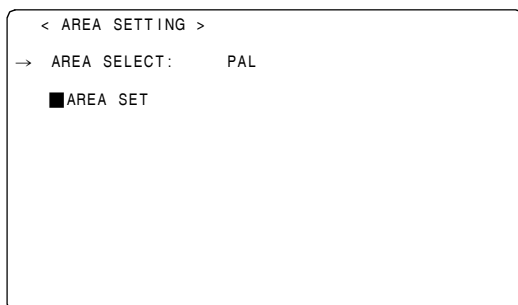
本機は使用地域が未設定の状態出荷されています。本機をご使用になる際には、下記手順でご使用地域のフレーム周波数に設定を変更してください。

1 本機に電源を接続して電源をONにした後、LIGHT SWを押しながら、MENU SWを押してください。OPTION MENU画面が現れます。

2 JOGダイヤルボタンを回し、OPTION MENUページのAREA SETTING画面でAREA SELECT項目にカーソル(矢印)を移動させ、JOGダイヤルボタンを押してください。



3 JOGダイヤルボタンを回し、NTSC/NTSC(J)/PALの中から使用する地域を選択してください。地域を選択した後、JOGダイヤルボタンを押します。



4 JOGダイヤルボタンを回し、カーソル(矢印)を■ AREA SETに移動させ、JOGダイヤルボタンを押します。下記画面が現れます。



5 YESに→移動させ、JOGダイヤルボタンを押します。**3**で選択した設定がFACTORYおよびCURRENT DATAに反映されます。

6 本機の電源を一旦OFFして、再度、電源を投入してください。

◆ NOTE:

- AREA SELECTでNTSC/NTSC(J)/PALを設定しても、SETを実行しないと、設定は確定されません。
- AREA SELECTを変更すると「■ AREA SET」が点滅します。
- 本機を初めてご使用の状態での設定を行なうと、本機は下記の8項目のみ変更されます。MAIN MENUで本機の各種設定を行なっている場合、下記8項目以外のMENU設定値は工場出荷状態となります。

	工場出荷状態	NTSC	NTSC(J)	PAL
SYSTEM MODE	1080-59.94i	1080-59.94i	1080-59.94i	1080-50i
CAMERA MODE	60i	60i	60i	50i
SET UP*1	7.5%	7.5%	0%	0%
D/C SET UP*2	7.5%	7.5%	0%	0%
REAR LINE IN LVL	+4dB	+4dB	+4dB	0dB
AUDIO OUT LVL	+4dB	+4dB	+4dB	0dB
HEAD ROOM	20dB	20dB	20dB	18dB
GUIメタデータ言語表示	アメリカ英語	アメリカ英語	日本語/日本向け	アメリカ英語
LANGUAGE*3	非表示	非表示	ENGLISH JAPANESE	非表示
DATA FORMAT*4	MDY	MDY	YMD	DMY

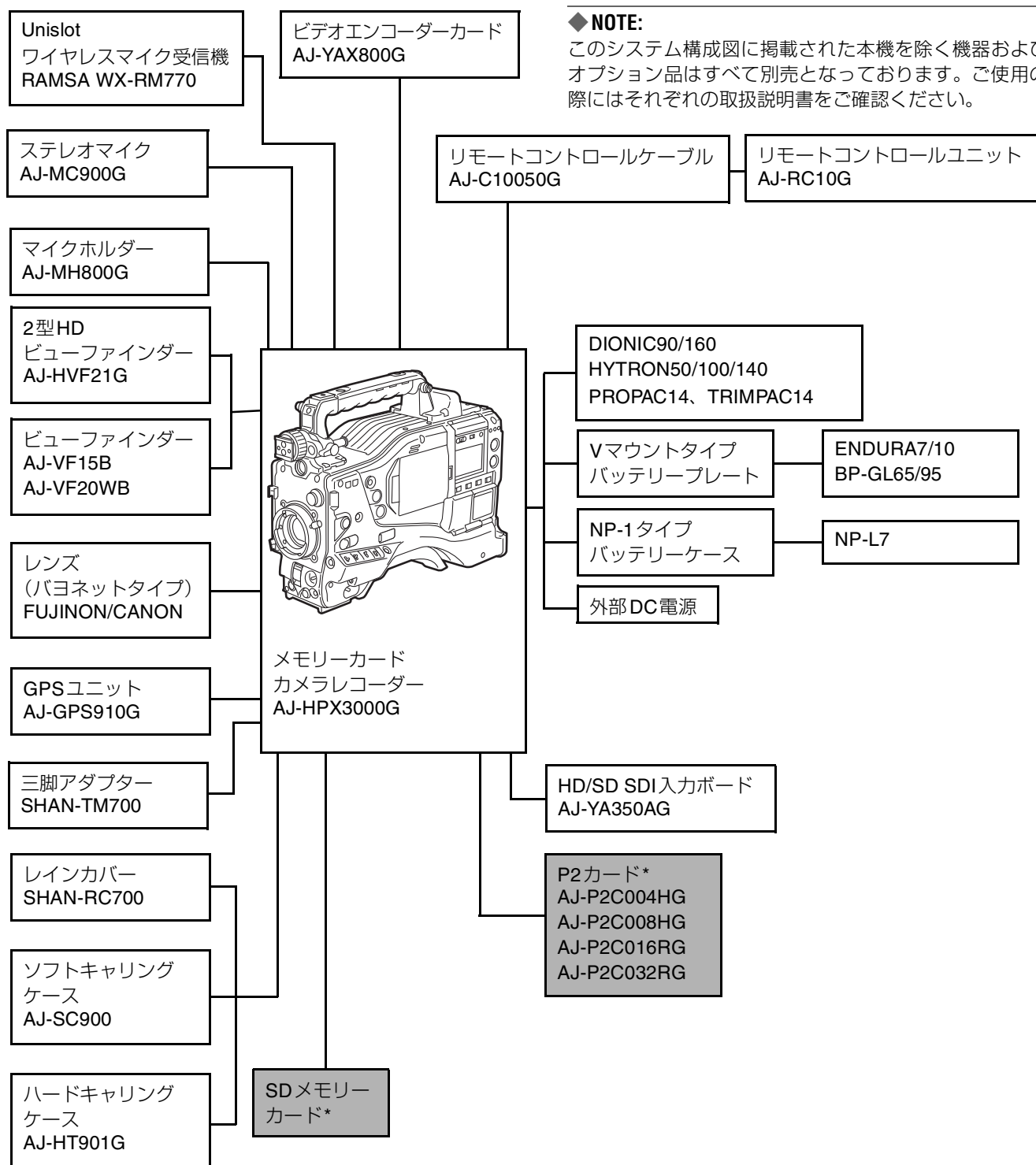
*1 DOWN CON SETTINGメニューのSET UP (1080-59.94i時のみ有効)

*2 SYSTEM MODEメニューのSET UP (480-59.94i時のみ有効)

*3 サムネールメニューからMETA DATA→LANGUAGEと選択してください。詳しくは「メタデータの表示言語設定」(127ページ)を参照してください。

*4 サムネールメニューから THUMBNAIL → SETUP → DATA FORMATと選択してください。詳しくは「サムネールの表示設定」(130ページ)を参照してください。

システム構成



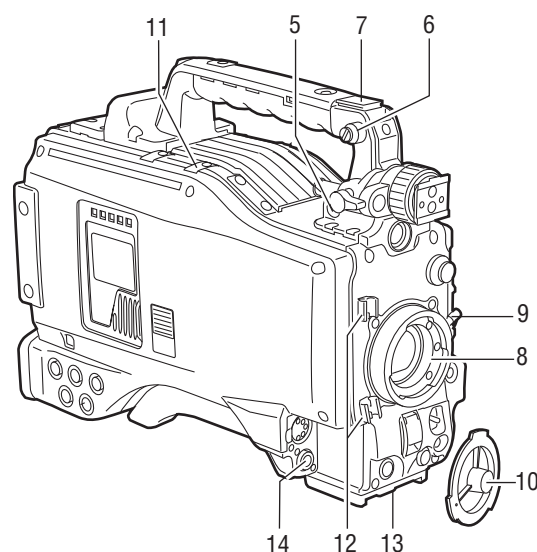
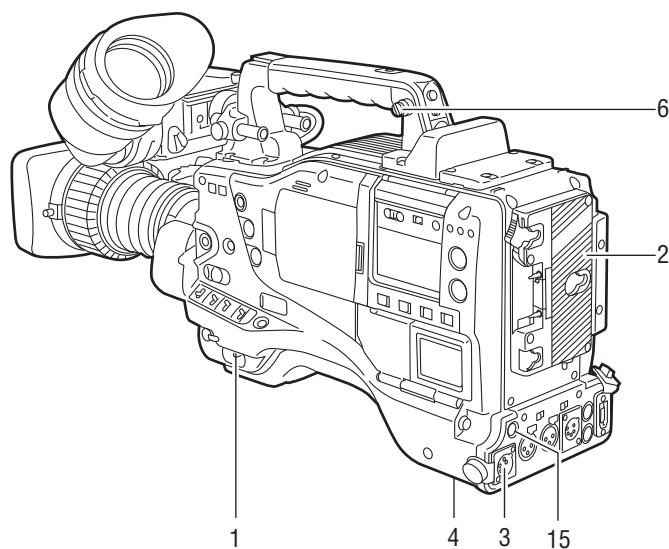
* P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

各部の名称と機能

電源部およびアクセサリ取り付け部



1. POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。

2. バッテリマウント

アントン・パワアー製のバッテリーパックを取り付けます。

3. DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)

外部DC電源と接続します。

4. BREAKERスイッチ

何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して電源が自動的に切れ、機器を保護します。

本機内部の点検および修理を行った後、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源が入ります。

5. GPS端子

別売のGPSユニットAJ-GPS910Gからのコネクタを接続します。

6. ショルダーベルト取付金具

ショルダーベルトを取り付けます。

7. ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

8. レンズマウント (バヨネット2/3型)

レンズを取り付けます。

9. レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。

10. レンズマウントキャップ

9. レンズ固定レバーを押し上げて、キャップを取り外します。

レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。

11. ライトケーブルクランプ

ライトケーブルを固定するためのクランプです。

12. レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ

レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。

13. 三脚マウント

本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。

14. LENS端子 (12ピン)

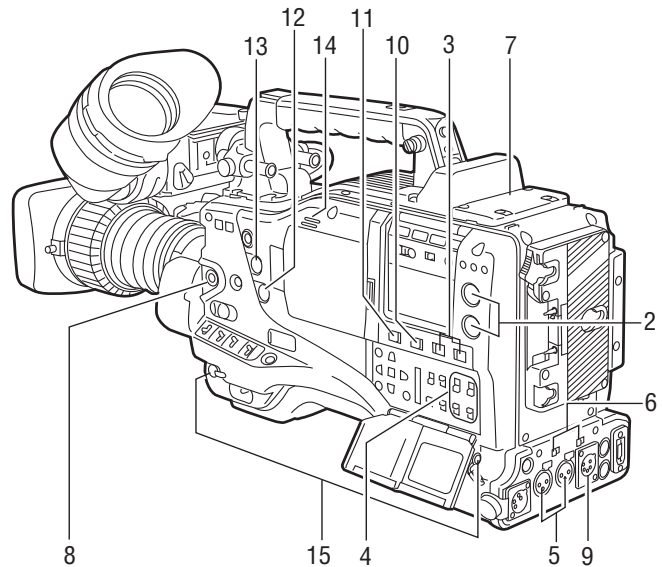
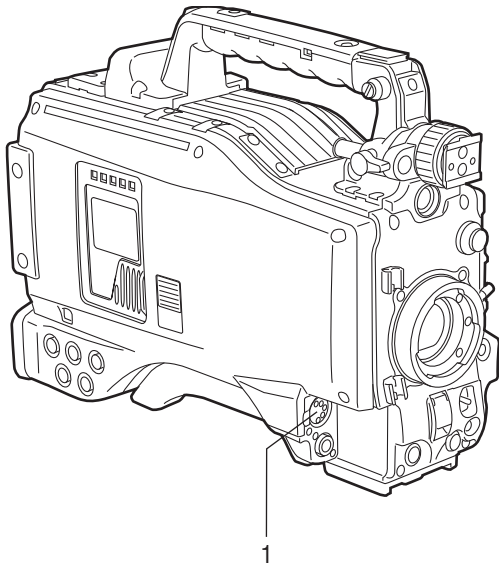
レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書をお読みください。

15. DC OUT (DC電源) 出力端子

DC 12 Vの出力端子です。最大1.5 Aの電流を取り出すことができます。

この端子に外部スイッチを接続すると、RECスタート/ストップの制御が可能になります。またLEDを接続すると、タリールンプとして使用することが可能です。詳しくは「外部スイッチの接続」(114ページ)を参照してください。

音声機能部（入力系）



1. MIC IN（マイク入力）端子（XLR、5ピン）

マイクロホン（別売品）を接続します。マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントムマイクが使用可能です。ただし使用する際には、FRONT MIC POWER項目で、電源をONに設定してください。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

2. AUDIO LEVEL CH 1/CH 2（音声チャンネル1/2 録音レベル調整）つまみ

3.AUDIO SELECT CH 1/CH 2スイッチを「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャンネル1/2の録音レベルが調整できます。

なお、つまみのロック機構を設けていますので、調整する時はつまみを押し込みながら回して調整してください。

3. AUDIO SELECT CH 1/CH 2（音声チャンネル1/2 自動／手動レベル調整切り替え）スイッチ

音声チャンネル1/2の録音レベルを調整する方法を選びます。

AUTO: 自動調整をします。

MAN: 手動調整をします。

4. AUDIO IN（音声入力切り替え）スイッチ

音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選びます。

FRONT: 1.MIC IN端子に接続したマイク入力信号を録音します。

W.L. (WIRELESS) :

スロットインワイヤレスからの入力信号を録音します。

REAR: 5.AUDIO IN CH1/CH2端子に接続したオーディオ機器からの音声入力信号を録音しません。

◆ NOTE:

ステレオマイク（AJ-MC900G・別売品）を使用する場合、CH1、CH2の両方を「FRONT」にしてください。L CHはCH1に、R CHはCH2にそれぞれ記録されます。

5. AUDIO IN CH 1/CH 2（音声入力チャンネル1/2）端子（XLR、3ピン）

オーディオ機器または、マイクロホンを接続します。

6. LINE/MIC/+48V（ライン入力/マイク入力/マイク入力+48V）切り替えスイッチ

5.AUDIO IN CH1/CH2端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE: ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC: 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号（本体からファントムマイク用の電源を供給しません）

+48V: 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号（本体からファントムマイク用の電源を供給します）

7. ワイヤレススロット

Unislot ワイヤレスレシーバー（別売品）を取り付けることができます。

8. FRONT AUDIO LEVEL（音声録音レベル調整）つまみ

音声チャンネル1および2の録音レベルが調整できます。ただし3.AUDIO SELECT CH 1/CH 2スイッチの位置が「AUTO」のときは自動調整になり、このつまみと2.AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみは動作しません。

なお、FRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、このつまみの操作を、有効にするか無効にするかを設定できます。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO1>画面から選択します。

音声機能部（出力系）

9. AUDIO OUT端子（XLR、5ピン）

音声チャンネル1/2、または音声チャンネル3/4に記録された音声信号を出力します。
出力される信号は、MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4切り替えスイッチで選択します。

10. MONITOR SELECT（音声チャンネル選択）

CH1/2 / CH3/4切り替えスイッチ

スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH1/2： 音声チャンネル1および2の信号を出力します。

CH3/4： 音声チャンネル3および4の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、表示窓とビューファインダー内のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

11. MONITOR（音声選択）CH1/3 / ST / CH2/4

切り替えスイッチ

MONITOR SELECTスイッチに連動して、スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子からの音声出力を選択します。

CH1/3： 音声チャンネル1か、音声チャンネル3の信号を出力します。

ST： 音声チャンネル1と2のステレオ音声信号か音声チャンネル3と4のステレオ音声信号が出力されます。なおメニュー設定で、ステレオ音声をMIX信号に変更が可能です。

CH2/4： 音声チャンネル2か、音声チャンネル4の信号を出力します。

MONITOR スイッチ	MONITOR SELECTスイッチ	
	CH1/2	CH3/4
CH1/3	音声チャンネル1	音声チャンネル3
ST	音声チャンネル1と 2のステレオ*	音声チャンネル3と 4のステレオ*
CH2/4	音声チャンネル2	音声チャンネル4

* MONITOR SELECT項目でSTEREOかMIXの切り替えが可能です。MONITOR SELECT項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

12. MONITOR（音量調整）つまみ

モニタースピーカーやイヤホンの音量を調節します。

13. ALARM（警告アラーム音量調節）つまみ

14.スピーカー、または15.PHONES端子に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。
最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。

14. スピーカー

記録中はEE音声を、再生中は再生音をモニターできます。

警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。

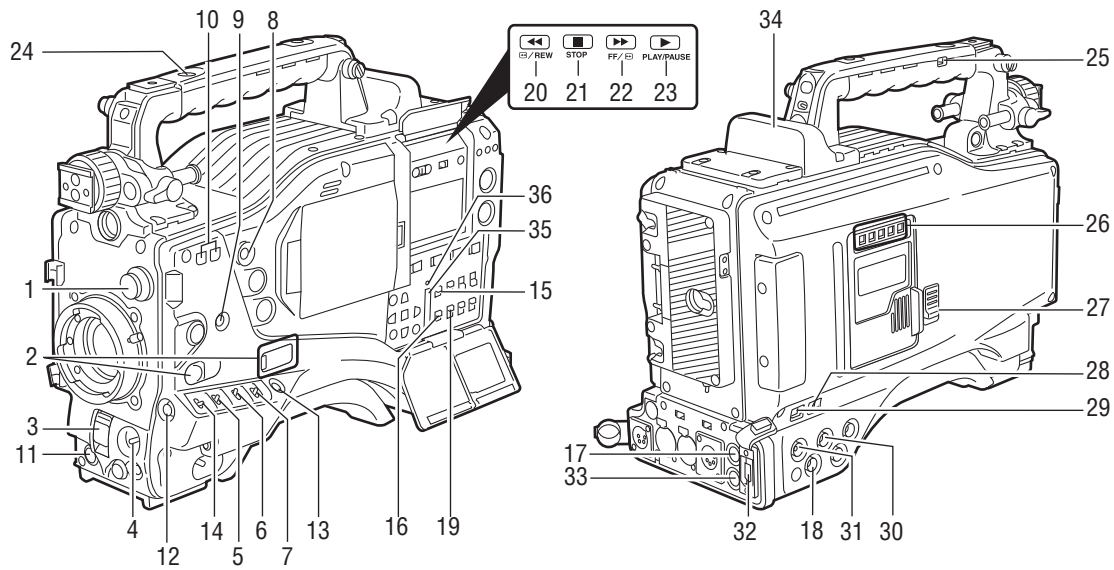
15.PHONES端子にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。

15. PHONES（イヤホン）端子（ミニジャック）

オーディオモニター用イヤホン（ステレオ）端子です。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。

出力する音声は両端子（フロント側、リア側）とも同じです。

撮影・記録/再生機能部



1. CC/ND FILTER (フィルター切換) つまみ

被写体の照度や色温度に合わせてフィルターを選択します。

CC FILTER つまみ (外形、大径)

A : 3200K B : 4300K
C : 5600K D : 6300K

ND FILTER つまみ (内形、小径)

1 : CLEAR (素通し) 2 : 1/4 ND
3 : 1/16 ND 4 : 1/64 ND

撮影条件	CCフィルター	NDフィルター
日の出、日没、スタジオ内	A (3200 K)	1 (CLEAR)
晴天の屋外	B (4300 K) または C (5600 K) または D (6300 K)	2 (1/4 ND) または 3 (1/16 ND)
曇天・雨天の屋外	D (6300 K)	1 (CLEAR) または 2 (1/4 ND)
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	B (4300 K) または C (5600 K) または D (6300 K)	3 (1/16 ND) または 4 (1/64 ND)

2. USER MAIN、USER1/USER2 ボタン

メニュー操作で、ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り付けることができます。ボタンを押すことで、割り付けられた機能の動作をします。

詳しくは「USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」(55 ページ) を参照してください。

3. シャッタースイッチ

電子シャッターのON/OFF切り替えスイッチです。

OFF : 電子シャッターは動作しません。

ON : 電子シャッターが動作します。

SEL : 電子シャッターの速度を変更するときに、使用します。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作することにより、シャッタースピードが変化します。詳しくは、「電子シャッターの設定」(53 ページ) の内容を参照してください。

4. AUTO W/B (WHITE/BLACK) BAL スイッチ

AWB : ホワイトバランスを自動調整します。

側面のWHITE BALスイッチを「A」または「B」の位置にして、このスイッチを操作すると、調整された値がメモリーに記録されます。ただし、「PRST」の位置のときは動作しませんのでご注意ください。

ABB : ブラックバランスを自動調整します。

また、メニュー操作で <SW MODE> ページの SHD.ABB SW CTL項目を「ON」に設定するとブラックシェーディングの自動調整機能をこのスイッチに割り付けることができます。(180 ページ参照)

◆ NOTE:

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度「AWB」側や「ABB」側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

5. ゲイン切り替えスイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

L、M、H の設定に対するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。

出荷時の設定は L=0dB、M=6dB、H=12dB です。

6. OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

CAM. AUTO KNEE ON :

カメラで撮影している映像が出力されます。AUTO KNEE回路が動作します。

また、AUTO KNEE機能の代わりにDRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能を割り付けることも可能です。

CAM. AUTO KNEE OFF :

カメラで撮影している映像が出力されます。

MANUAL KNEEになります。

BARS :

カラーバー信号が出力されます。AUTO KNEE回路は動作しません。

カラーバー信号は、4種類の中から選択することができます。詳しくは「SW MODE」（180ページ）を参照してください。

AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときにAUTO KNEE機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

7. WHITE BAL（ホワイトバランスメモリー切り替え）スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

PRST : ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。

工場出荷時は、3200Kに設定しています。また、メニュー設定で任意の色温度に変更が可能です。詳しくは「マニュアルでの色温度の設定」（51ページ）を参照してください。

AまたはB : 4.AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押しすとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー Bに記憶されます。詳しくは「ホワイトバランスの調整」（49ページ）を参照してください。

8. MODE CHECK ボタン

このボタンを押すごとに、カメラの設定状態として5つの画面表示（STATUS 画面表示、!LED 画面表示、FUNCTION画面表示、AUDIO画面表示、CAC画面表示）がビューファインダー上で順番に切り替わります。カメラの出力信号には影響ありません。

9. MARKER SELECT ボタン

ビューファインダー画面内のマーカー情報表示を切り替えます。メニューで設定されたA、Bの2種類のマーカー情報表示画面を、このボタンを押すごとにA（Aマーカー表示）→B（Bマーカー表示）→OFF（マーカー表示なし）と切り替えます。なお、電源ON時は電源OFFする直前の状態が表示します。

詳しくは「マーカー確認画面の表示(MARKER SELECT ボタン機能）」(81 ページ) を参照してください。

10. シンクロスキャン調整スイッチ

3. シャッタースイッチを「ON」にし、シンクロスキャンが選択されているときに有効です。

シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。-のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、+のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。

パソコンモニターを撮影する場合などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

11. REC START/STOP ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。このボタンは、ハンドル部の24.REC ボタンや、レンズ側のVTR ボタンと同じ働きをします。

12. ショットマーク/メニューキャンセルボタン

記録中に押すと、そのクリップのサムネールにショットマークをつけることができます。また液晶モニターでサムネールを選択し、このボタンを押してショットマークをつけることもできます。

ショットマークについて、詳しくは「ショットマーク機能」（46 ページ）を参照してください。

またメニュー表示中は、変更した設定値をキャンセルするボタンとして動作します。

13. テキストメモボタン

記録 / 再生中、または再生の一時停止中に押すと、テキストメモを記録できます。

14. SAVE ON/OFF スイッチ

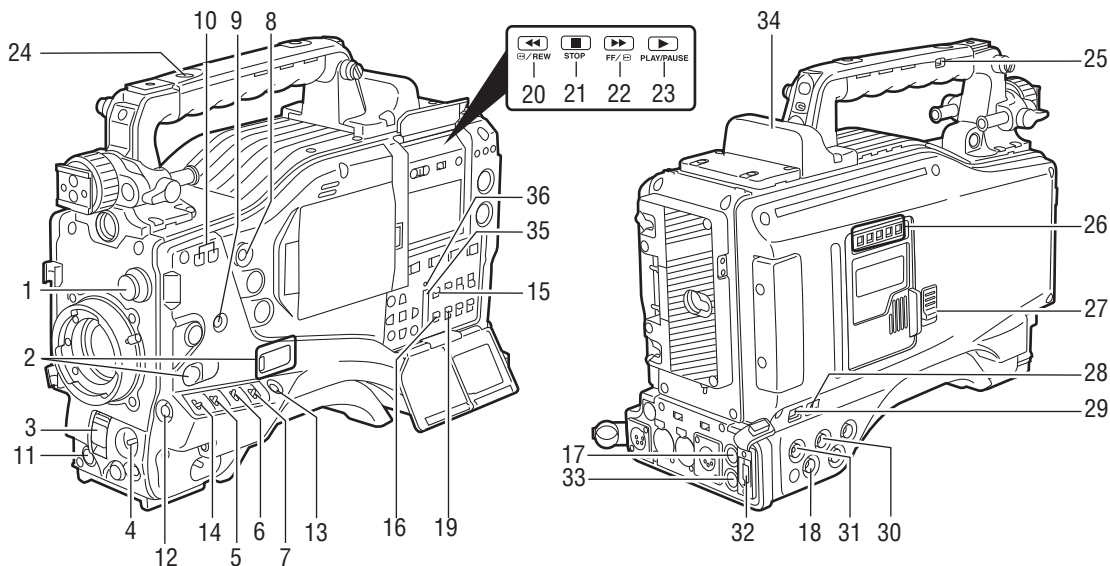
出力各部の電源供給状態を切り替えます。

ON : SAVE SW 項目で選択した出力をパワーセーブします。SAVE SW 項目は SYSTEM SETTING ページの OPTION MODE 画面から選択できます。

OFF : パワーセーブを解除します。

◆ NOTE:

記録中は、このスイッチを切り替えても動作しません。記録終了後に状態が切り替わります。



15. VIDEO OUT (出力信号切り替え) スイッチ

VIDEO OUT 端子から出力する信号のモードを切り替えます。

HD SDI : HD SDI 信号を出力します。ただし本機が SD モードで動作中は SD SDI 信号を出力します。

SD SDI : SD SDI 信号を出力します。

VBS : コンポジットビデオ信号を出力します。

16. VIDEO OUT CHARACTER スイッチ

VIDEO OUT 端子から出力される映像へのキャラクターの重畳を制御します。

ON : キャラクターを重畳します。

OFF : キャラクターを重畳しません。

なおキャラクターの種類は、「VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定」(83 ページ) を参照してください。

17. VIDEO OUT (ビデオ信号出力) 端子

映像の出力端子です。15.VIDEO OUT スイッチ、16.VIDEO OUT CHARACTER スイッチ、19.OUTPUT SEL スイッチに連動した映像が出力されます。詳しくは、「VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定」(83 ページ) を参照してください。

18. MON OUT (モニター出力) 端子

モニター用映像のダウンコンバート (アナログコンポジット信号) 出力端子です。OUTPUT SEL スイッチに連動した映像が出力されます。ただし、キャラクターの重畳は、VIDEO OUT 端子とは独立に内部の MENU で設定が可能です。詳しくは、「MON OUT 端子から出力する信号の設定」(84 ページ) を参照してください。

19. OUTPUT SEL (出力信号切り替え) スイッチ

VIDEO OUT 端子および MON OUT 端子の出力信号を切り替えます。

MEM : 記録時や記録一時停止中はカメラ映像を出力し、再生時は P2 カードの再生信号を出力します。

CAM : 常にカメラ映像を出力します。

OFF : 映像出力を停止します。電力削減モードとなります。

なお、音声出力も映像に同期します。

映像出力の種類は、「VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定」(83 ページ) および「MON OUT 端子から出力する信号の設定」(84 ページ) を参照してください。

◆ NOTE:

- 記録中にこのスイッチを切り替えても、記録動作を停止するまで、出力信号が切り替わりません。
- このスイッチを「CAM」にしても、REC SIGNAL 項目で「CAM」以外を選択していると「MEM」を選択したときと同じ動作をします。REC SIGNAL 項目は、SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面から選択できます。

20. REW (早戻し) ボタン/ランプ

停止中に押すと高速逆再生になります。このときランプが点灯します。

再生中に押すと約4倍速の高速逆再生になります。PLAY ランプと REW ランプが点灯します。

また、再生の一時停止状態のときに押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。

21. STOP (停止) ボタン

再生を停止するときに押します。

22. FF (早送り) ボタン/ランプ

停止中に押すと高速再生になります。このときランプが点灯します。

再生中に押すと約4倍速の高速再生になります。PLAY ランプと FF ランプが点灯します。

また、再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。

23. PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン

ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。再生中はランプが点灯します。
再生中に押すと、再生モードでの一時停止 (PLAY/PAUSE) となりランプが点滅します。

24. REC ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。このボタンは、11.REC START/STOP ボタンやレンズ側のVTRボタンと同じ動きをします。このボタンは25.REC禁止スイッチで、操作を無効にすることができます。

25. REC禁止スイッチ

ハンドル部の24.RECボタンの操作を禁止するスイッチです。

ON : RECボタンの操作が有効

OFF : RECボタンの操作が無効

26. P2カードアクセスLED

各カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

27. スライドロックボタン

P2カード挿入部のスライドとびらを開くボタンです。このボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引いて開けます。

28. USB 2.0端子 (DEVICE)**29. USB 2.0端子 (HOST)**

USB 2.0ケーブルを接続します。
PC MODE項目を“ON”に設定していると、USB 2.0を使ったデータ転送が可能になります。また、このとき本機で記録再生や、クリップの操作は制限されます。
PC MODE項目は、SYSTEM SETTINGページのSYSTEM MODE画面から選択できます。詳しくは「USB2.0端子での接続機能」(137ページ)を参照してください。

30. GENLOCK IN端子

カメラ部に GENLOCK をかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に、HDのY信号を入力します。なお、基準信号としてコンポジット信号を入力することも可能です。また、本機のダウンコンバーター出力 (コンポジット信号) のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。

◆ NOTE:

- HD-Y信号を入力し、かつRET SW項目で“CAM RET”を選択しているとき、ビューファインダー画面でリターンビデオ映像が確認できます。RET SW項目は、CAM OPERATIONページのSW MODE画面から選択できます。
- SDモードに設定しているときは、REC SIGNAL項目で“VIDEO”を選択することにより、本信号を記録できます。

31. SDI OUT/IN (OP) 端子

工場出荷状態では、VIDEO OUT 端子から出力されるSDI信号と同じSDI信号が出力されます。VIDEO OUTスイッチがVBSの場合は、HDモードではHD SDIが、SDモードではSD SDI信号が出力されます。

HD/SD SDI入力ボード (AJ-YA350AG : 別売品) を取り付けた場合、HD/SD SDI信号を入力することができます。

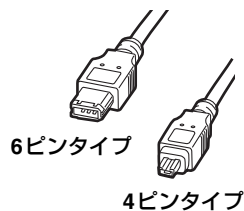
REC SIGNAL項目で“SDI”を選択することにより、この入力端子からの信号を記録することができます。詳しくは「SDI IN端子での接続 (AJ-YA350AG装着時)」(143ページ)を参照してください。

32. DVCPRO端子

IEEE1394規格に準拠した、映像・音声・データの入出力端子です。DV信号も入出力可能です。

◆ NOTE:

- 本機から電源は、供給されません。
- 1394ケーブル (DVケーブル) を接続する場合は、以下のことを必ずお守りください。
 - ◆ 他の機器とは、1対1で接続してください。
 - ◆ DVCPRO端子に1394ケーブル (DVケーブル) を接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
 - ◆ エラーコード「1394 E-92」(1394 INITIAL ERROR)が表示される場合は、1394ケーブルを差しなおすか、本機の電源を入れなおしてください。
 - ◆ 本機ならびに接続する全ての機器は接地 (アース) した状態 (または共通のGNDに接続した状態) でご使用ください。接地できない場合は、まず接続された全ての機器の電源を切ってから、1394ケーブルの抜き差しを行ってください。
 - ◆ 4ピン型の端子を持つ機器と本機を接続する場合は、本機の端子 (6ピン型) を先に接続してください。
 - ◆ 6ピン型の端子の付いたパソコンと接続する場合は、1394ケーブルを1394端子の形状通りに接続してください。プラグを逆に差し込むと、本機の破損につながりますのでご注意ください。
- ◆ AVC-Intraフォーマットでご使用中は、DVCPRO端子からの映像・音声入出力はできません。



33. REMOTE (リモートコントロール) 端子

リモートコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続します。

◆ **NOTE:**

AJ-RC10G のソフトは Ver1.10-00-000 以上のものをご使用ください。

34. OPTION SLOT

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着します。装着方法、およびプロキシ記録機能については、AJ-YAX800Gの取扱説明書をご覧ください。

35. SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード (別売品) の挿入口です。メタデータのアップロードや、プロキシ記録 (オプション) などで使用します。

<SDメモリーカード使用上の注意>

本機には、SD規格またはSDHC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。

マルチメディアカードは、使用できません。(撮影することができなくなることがありますのでご注意ください)

また、mini SDを本機で使用する場合は、必ず、mini SD専用のアダプターを装着してご使用ください。(mini SDアダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ずメモリーカードを入れてご使用ください)

当社製のSDメモリーカードおよびmini SDカードをご使用いただくことをおすすめします。またフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、以下の容量 (8 MB~2 GBまで) のSDメモリーカードおよび4 GBのSDHCメモリーカードが使用できます。

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB
128 MB	256 MB	512 MB	1 GB
2 GB	4 GB (SDHC)		

なお、プロキシ (オプション) を記録する場合は、「High Speed」などと表示された256 MB、512 MB、1 GB、2 GBのSDメモリーカードまたは4 GBのSDHCメモリーカードをご使用ください。

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：	http://panasonic.biz/sav/
英語：	https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/

- SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SDカードロゴは、登録商標です。
- MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。

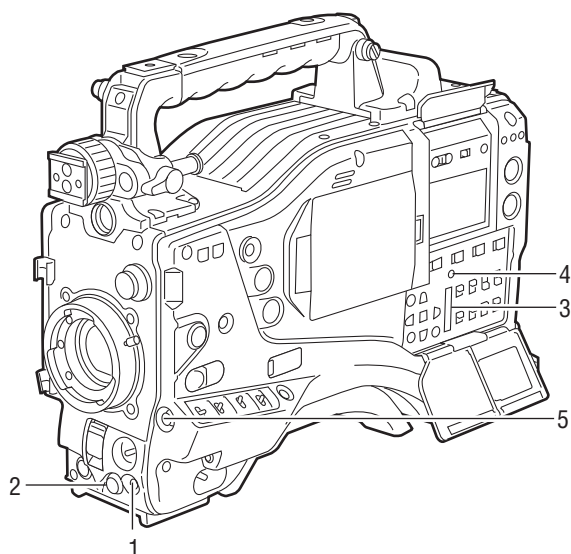
36. BUSY (動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

◆ **NOTE:**

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。

メニュー操作部



1. MENU ボタン

メニューのON/OFF切り替えボタンです。

2. JOGダイヤルボタン

メニューを開いている状態で、メニューのページ移動、項目の選択や設定を行います。

メニューの操作方法については、「メニューの基本操作」(159ページ)を参照してください。

3. SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード(別売品)の挿入口です。メニューデータやレンズファイルの書き込み/保存をするとき使用します。

4. BUSY (動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

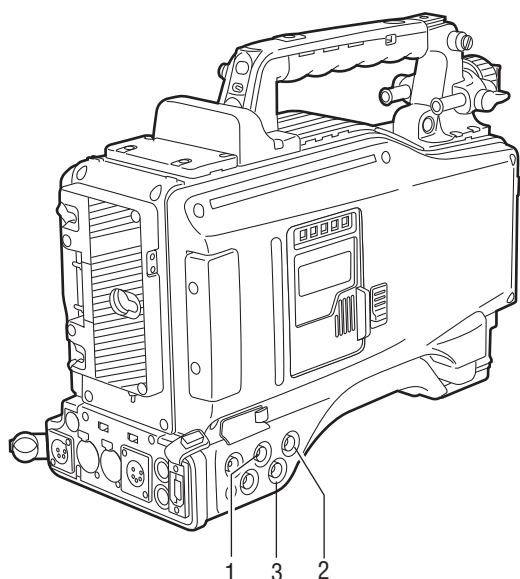
◆ NOTE:

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。

5. ショットマーク/メニューキャンセルボタン

メニュー項目設定を変更している途中で押すと、変更前の値に戻すことができます。

タイムコード関連部



1. GENLOCK IN端子 (BNC)

カメラ部に GENLOCK をかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に基準信号を入力します。

2. TC IN端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

3. TC OUT 端子 (BNC)

外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。

◆NOTE:

入力するタイムコードは、必ず本機のシステムモードと同じフォーマットにしてください。

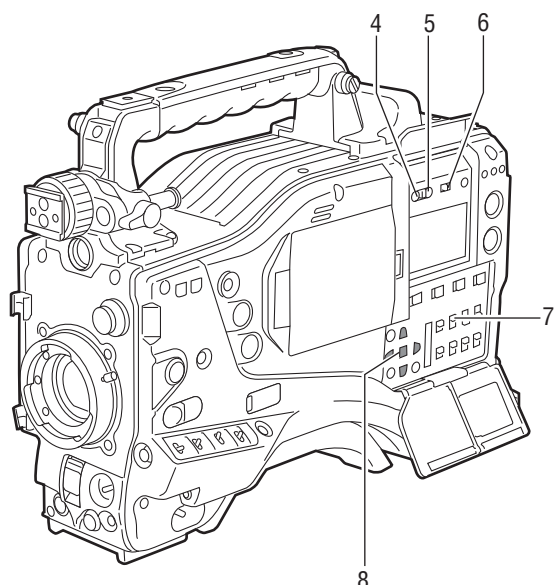
4. HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。あるシーンを撮影したタイムコード、またはカウンタ表示部のタイムデータ (CTL) を知りたいときなどに使用します。

5. RESET ボタン

カウンタ表示部のタイムデータ (CTL) を "00:00:00:00" にリセットします。

また、7.TCGスイッチを「SET」の位置にして、このボタンを押すと、タイムコードデータ、ユーザーズビットデータをそれぞれ0にリセットし、リアルタイムデータを初期値に戻します。



6. DISPLAY (カウンタ表示切り替え) スイッチ

このスイッチと7.TCG スイッチ設定位置に応じて、CTL、タイムコード、ユーザーズビットを表示窓のカウンタ表示部に表示させます。また、4.HOLD ボタンを押すと、DATE/TIME/タイムゾーンを表示することもできます。

UB : ユーザーズビット/DATE/TIME/タイムゾーンを表示します。

TC : タイムコードを表示します。

CTL : CTLを表示します。

7. TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定します。

F-RUN : P2カード記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。

タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

SET : タイムコードやユーザーズビットを設定するときに使用します。

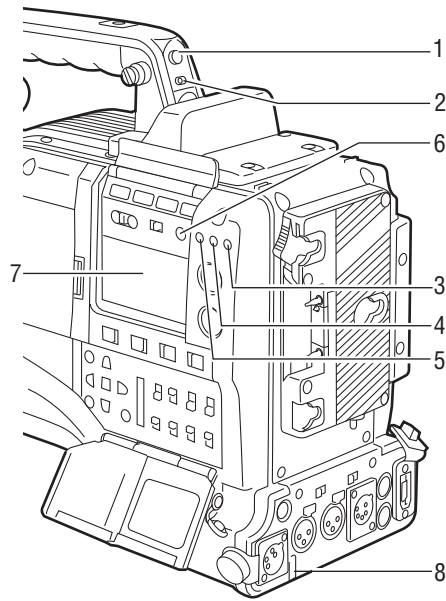
R-RUN : 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。
つなぎ撮りをしたP2カード上のタイムコードは、連続して記録されます。

8. カーソル・SET ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定に使用します。4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。

タイムコード、ユーザーズビットの設定方法については「タイムデータの設定」(59 ページ) を参照してください。

警告/状態表示部



1. バックタリーランプ

2. バックタリースイッチを「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。

2. バックタリースイッチ

1. バックタリーランプと8. リアタリーランプの働きをコントロールします。

ON : バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。

OFF : バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。

3. WARNINGランプ

メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。

4. USBランプ

本機がUSBモードのときに点灯します。

5. アクセスランプ

記録/再生時、P2カードにアクセスしているときに点滅します。また、記録可能なカードが挿入されているときは点灯します。

6. LIGHTボタン

表示窓の照明をコントロールします。

押すごとに7. 表示窓の照明の点灯/消灯を切り換えます。

7. 表示窓

メモリー記録部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。

◆ NOTE:

バッテリーを装着したままにしていると、電源をOFFにしても、各データを表示します。表示を消し、バッテリーの消耗を抑えるときは MAIN OPERATION ページの TC/UB 画面にある P.OFF LCD DISPLAY 項目を“OFF”に設定してください。

8. リアタリーランプ

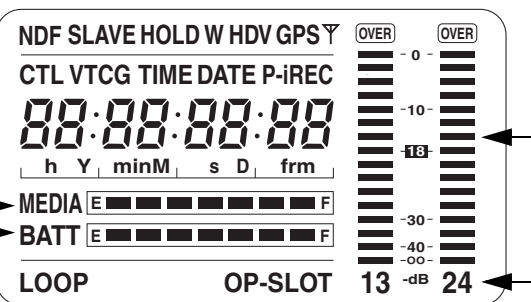
2. バックタリースイッチを「ON」に設定すると、バックタリーランプと同様に動作します。

表示窓内表示

P2カード・バッテリー残量、音声レベルの表示

MEDIA 残量表示バー

P2カード残量を7個のセグメントで表示します。1個のセグメントが示すP2カード残量時間は、CARD REMAIN/■項目で3分または5分に設定します。設定された時間ごとに、セグメントが1個ずつ消えていきます。CARD REMAIN/■項目は、MAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。



バッテリー残量表示バー

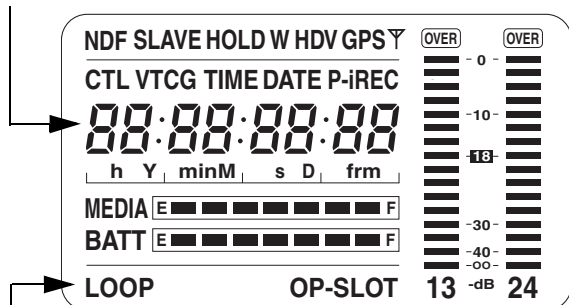
デジタル表示(%表示)のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が70%以上のときにFの位置までセグメントが7個点灯します。バッテリー残量が70%未満より10%減るごとに、セグメントが1個ずつ消えます。MAIN OPERATIONの<BATTERY/P2CARD>画面のBATT REMAIN FULL項目で“100%”を選択すると100%でセグメントを7個点灯する設定にすることも可能です。

音声チャンネルレベルメーター

MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 スイッチを「CH1/2」に設定すると、音声チャンネル表示数字1と2を表示し、CH1とCH2の音声レベルを表示します。「CH3/4」に設定すると、音声チャンネル表示数字3と4を表示し、CH3とCH4の音声レベルを表示します。

メモリー記録部の動作/状態に関する表示

エラーコード表示(詳しくは「警告システム」(151ページ)をご覧ください)

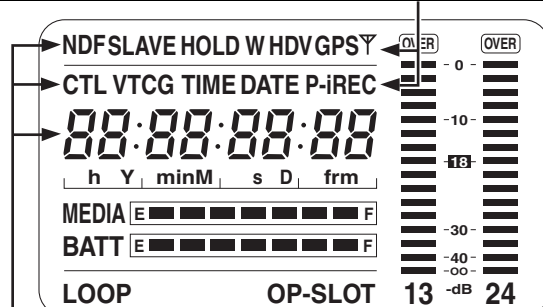


情報表示

LOOP: LOOP RECモード時に点灯します。LOOP RECモードについては「LOOP REC機能」(39ページ)を参照してください。
OP-SLOT: オプションスロットでビデオエンコーダーカードなどが動作しているときに点灯します。

モード表示

W: SDモード(480-59.94i, 576-50i)で動作中に、16:9モード時に点灯
HD: HDモード(1080i)で動作中に点灯
DV: 記録/再生フォーマットがDVのときに点灯
GPS: GPS動作中、GPSの電波を受信できていないときに点灯
GPS Y: GPS動作中、GPSの電波を受信しているときに点灯
P-REC: PRE REC MODE項目の設定がONのときに点灯し、記録のタリールンプ消灯後、記録継続中は点滅
iREC: INTERVAL RECモードで記録中は点灯し、記録待機中は点滅します。
i: INTERVAL RECモードを選択中に点滅します。



タイムコードに関する表示

NDF: タイムコードがノンドロップフレーム時に点灯
DF: タイムコードがドロップフレーム時に点灯
SLAVE: タイムコードが外部ロック時に点灯
HOLD: タイムコードジェネレーター/リーダー値をホールドした時に点灯
CTL: DISPLAYスイッチで「CTL」を選択し、CTLカウント値を表示しているときに点灯
TCG: DISPLAYスイッチで「TC(もしくはUB)」を選択し、TC(もしくはUB)ジェネレーター値を表示時に点灯
TC: DISPLAYスイッチで「TC(もしくはUB)」を選択し、TC(もしくはUB)リーダー値を表示時に点灯
VTCG: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUBジェネレーター値を表示時に点灯
VTC: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUBリーダー値を表示時に点灯
TIME: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの時分秒値を表示時に点灯
DATE: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの年月日値を表示時に点灯
無表示: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムのタイムゾーン時分値を表示時は、VTCG、TIME、DATEは消灯します。

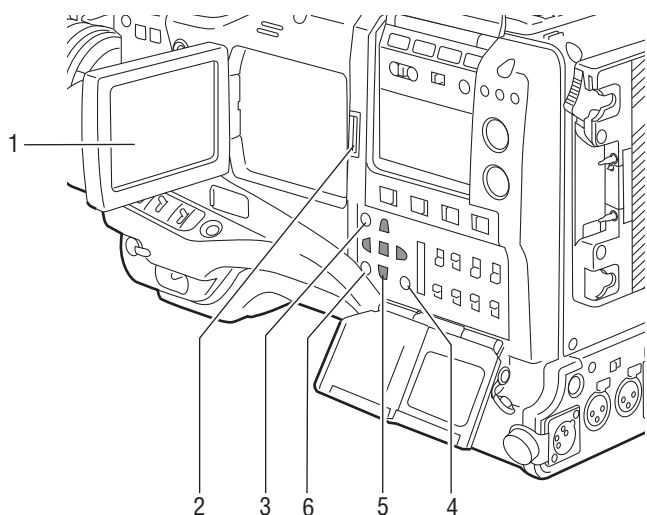
タイムカウンター表示:

タイムコード、ユーザーズビット、CTL、リアルタイムを表示

◆NOTE:

DISPLAYスイッチでUBを選択時、HOLDボタンを押すごとに、VTCG(VTC)→DATE→TIME→無表示(タイムゾーン)→TCG(TC)を繰り返します。

液晶モニター一部



1. 液晶モニター

ビューファインダー内の映像を表示します。

また、P2カードのクリップを、サムネイル表示することもできます。

サムネイル表示時は、4.サムネイルメニューボタンや5.カーソル・SETボタンを使って、クリップの操作や削除、またP2カードのフォーマットなどができます。

2. OPENボタン

液晶モニターを開くときに使用します。

3. サムネイルボタン

1.液晶モニターの映像を、ビューファインダー内の映像からクリップのサムネイル表示に切り替えます。もう一度押すと元のビューファインダー内の映像に戻ります。ただし、記録・再生中には切り替わりません。

4. サムネイルメニューボタン

サムネイル表示中に押すとサムネイルメニューを表示し、クリップの削除などが可能になります。

5. カーソル・SETボタン

4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。

サムネイルの選択やサムネイルメニューの操作に使用します。詳しくは「クリップのサムネイル操作」(115ページ)を参照してください。

6. EXITボタン

サムネイルメニューやプロパティ画面を表示中、表示を前の状態に戻すときに使用します。

ビューファインダー部

本機には以下のビューファインダー（いずれも別売品）が使用できます。

HDビューファインダー AJ-HVF21G（59.94/50 Hz切り替え）

SDビューファインダー AJ-VF20WBP、AJ-VF15BP（59.94 Hz）、AJ-VF20WBE、AJ-VF15BE（50 Hz）

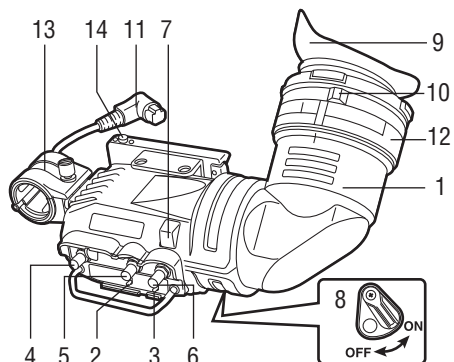
SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択するVF TYPE項目で、使用機種に合わせて設定を行ってください。ただしHDモードで使用する場合はHDビューファインダーを、SDモードで使用する場合はSDビューファインダーを使用することをお勧めします。HD/SDモードにより以下の制限があります。（×：黒画面になります）

記録モード	ビューファインダー映像	HDビューファインダー	SDビューファインダー
HD	カメラ映像	○	○*1
	再生	○	○*1*2
	リターン映像（HD-Y）	○	×
	1394/HD-SDI入力（HD）	○	○*1
SD	カメラ映像	○	○
	再生	×	○
	リターン映像（VBS）	×	○
	1394/HD-SDI入力（SD）	×	○

ビューファインダーに表示できるリターン信号、1394入力信号およびSDI入力信号は本機に設定されている記録フォーマットの信号になります。

*1：ダウンコンバート信号になります。

*2：本機のOUTPUT SELスイッチが「CAM」に設定されている場合は黒画面になります。



1. ビューファインダー（別売品）

記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ（セーフティーゾーンマーカ、センターマーカ）なども見ることができます。

2. ZEBRA（ゼブラパターン）スイッチ

ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。

ON：ゼブラパターンを表示します。

OFF：ゼブラパターンは表示しません。

3. タリースイッチ

7. フロントタリーランプをコントロールします。

HIGH：フロントタリーランプが明るくなります。

OFF：フロントタリーランプが消灯します。

LOW：フロントタリーランプが暗くなります。

4. PEAKING（ピーキング）つまみ

ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

5. CONTRAST（濃淡）つまみ

ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

6. BRIGHT（明るさ）つまみ

ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

7. フロントタリーランプ

3. タリースイッチが「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。

点灯時の明るさは、TALLY スイッチ（「HIGH」または「LOW」）で切り替えることができます。

8. バックタリーランプ

撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。レバーを「OFF」側にすると、バックタリーランプが隠れます。

9. アイピース

◆ NOTE:

アイピースを太陽に向けたままにしないでください。内部の機器が損傷する恐れがあります。

10. 視度調整リング

カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面の映像が最もはっきり見えるように調整します。ビューファインダーの視度調整範囲は以下の通りです。

品番	視度調整範囲
AJ-HVF21G AJ-VF20WBP AJ-VF20WBE	- 0.9 D ~ - 4.4 D
AJ-VF15BP AJ-VF15BE	+1.1 D ~ - 3.4 D

老視用の接眼レンズについては、販売店にご相談ください。

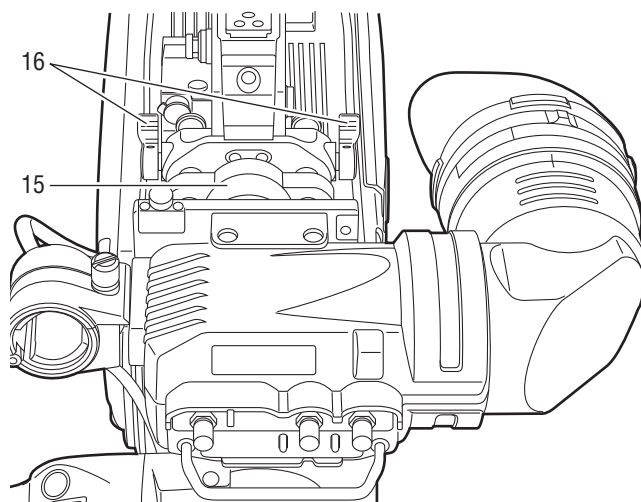
11. 接続プラグ

12. ロックリング

13. マイクホルダー

14. ビューファインダーストッパー

ビューファインダーの取り付け、取り外しに使用します。



15. ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの左右の位置を調整するとき使用します。

16. ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの前後の位置を調整するとき使用します。

◆ NOTE:

詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

記録と再生

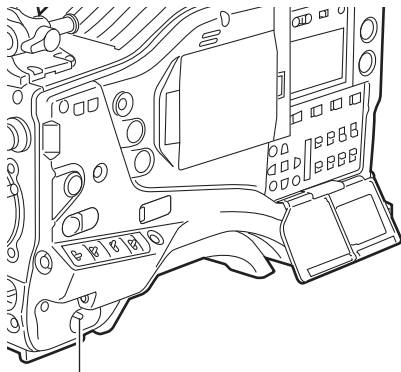
P2カードについて

P2カードを入れる

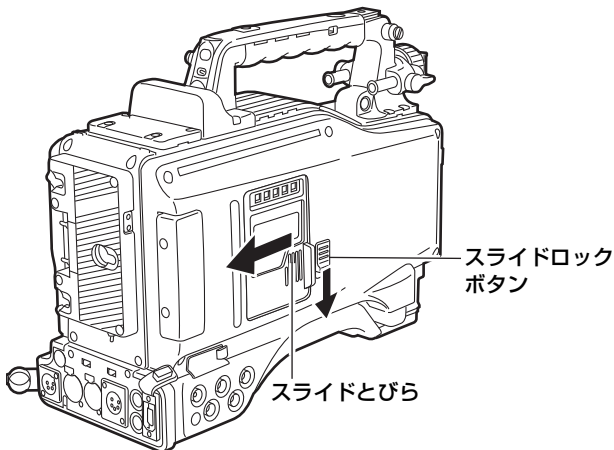
◆NOTE:

本機を最初に使用する時には、必ずタイムデータの設定を先に行ってください。タイムデータの設定方法については「タイムデータの設定」(59 ページ)を参照してください。

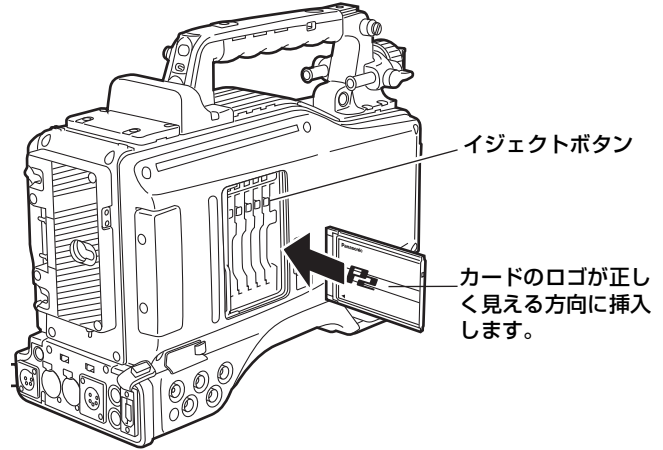
- 1 POWERスイッチをONにします。



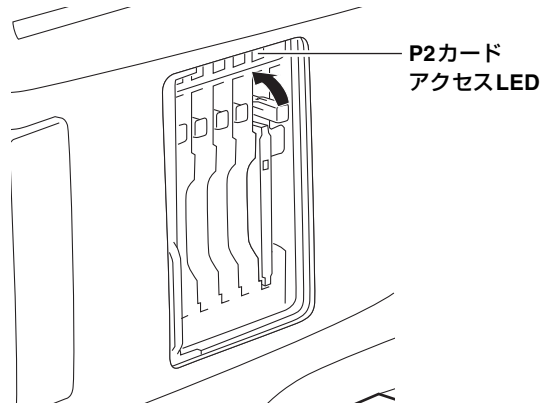
- 2 スライドロックボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引きます。スライドとびらが開きます。



- 3 P2カードスロットにP2カードを挿入し、イジェクトボタンが飛び出てくるまで押し入れます。



- 4 飛び出たイジェクトボタンを上にも倒し、P2カードをロックします。



- 5 本機にP2カードを挿入すると、スロットのP2カードアクセスLEDにP2カードの状態を表示します。P2カードの状態表示については、次ページの「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」を参照してください。

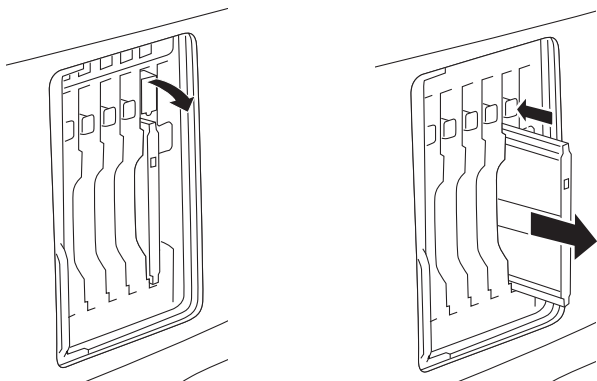
- 6 スライドとびらを閉めます。

◆NOTE:

スライドとびらを開いた状態のまま、本機を移動しないでください。

P2カードを取り出す

- 1 スライドロックボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引きます。
スライドとびらが開きます。
- 2 イジェクトボタンを下に倒します。
- 3 押しこむとP2カードが出てきますので、取り外してください。



イジェクトボタンを下に倒します。

倒したイジェクトボタンを押し込むと、P2カードが出てきます。

◆ NOTE:

- P2カードの故障の原因になりますので、アクセス中や、挿入後、認識中（P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅）に、P2カードは取り出さないでください。ただし、P2カードアクセスLEDを点灯しない設定でご使用の場合は、記録/再生を停止したあと、PRE RECORDINGが終了していることを確認の上、取り出しを行ってください。
- 万が一、アクセス中のP2カードを取り出した場合、ビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示され、アラーム、WARNING LEDなどで警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。警告表示について、詳しくは「警告システム」（151ページ）を参照してください。
- アクセス中に取り出されたP2カードは、クリップが不正規の状態になることがあります。クリップをご確認のうえ、修復を行ってください。クリップの修復について、詳しくは「クリップの修復」（123ページ）を参照してください。
- フォーマット中のP2カードを抜いた場合、抜いたP2カードのフォーマットは保証されません。また、このときビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示されます。一度電源を切り、再度ONしてから、P2カードのフォーマットをやり直してください。
- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入しても認識されず、P2カードアクセスLEDは点灯しません。再生が終了してから、P2カードの認識を始めます。
- 記録中、空きスロットにP2カードを挿入しても、下記の期間中はすぐに認識されません。
 - ◆ PRE RECORDINGの直後
 - ◆ 2つ以上のカードに連続記録（ホットスワップ記録）を行う場合の、記録するP2カードが切り替わる前後。

<参考>

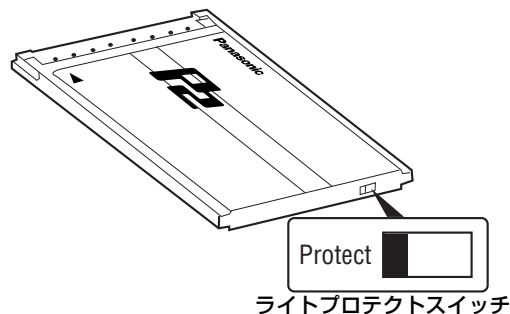
P2カードアクセスLEDは、SYSTEM SETTING ページの<OPTION MODE>画面のACCESS LED項目で、常に消灯する設定にできます。

誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードのライトプロテクトスイッチを「Protect」側にします。

◆ NOTE:

ライトプロテクトスイッチは、記録中や再生中など、アクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで効果は現れません。



ライトプロテクトスイッチ

P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	MODE CHECK表示*	P2カードの状態
緑色に点灯	ACTIVE	書き込み/読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	ACTIVE	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録（LOOP RECを含む）の対象になっています。
オレンジ色の点滅	ACCESSING	現在、書き込み/読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	INFO READING	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	FULL	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
	PROTECTED	P2カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	NOT SUPPORTED	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	FORMAT ERROR	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	NO CARD	P2カードが挿入されていません。

* MODE CHECKはビューファインダー内に表示します。詳しくは「ビューファインダー画面の状態表示の構成」（73ページ）を参照してください。

なお、表示窓側にあるアクセスLEDは、スロット1～5のP2カードのいずれかが書き込み/読み出し中は点滅し、記録可能な場合は点灯します。どのP2カードも記録できない場合は消灯します。

P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器「DVCPRO P2シリーズ」の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- DVCPRO P2フォーマットおよびAVC-Intraの記録データはファイル形式のため、PCとの親和性に優れていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけではなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成で関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、もしくは削除されると、P2データとして認識できない、もしくはP2カードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

- P2カード内のデータをPCなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。
(対応OS：Windows Vista/Windows XP/Windows2000)

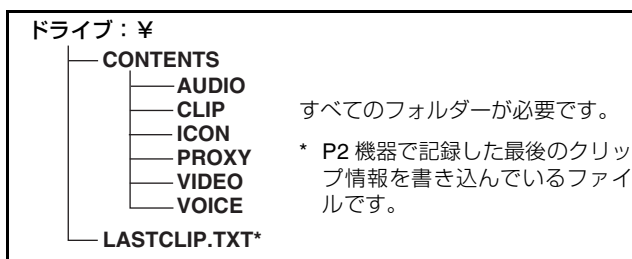
(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

- Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してPCに転送する場合は、下記のように行ってください。
なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2ビューアーを使用してください。

- ◆ CONTENTSフォルダーとLASTCLIP.TXTファイルごとに行ってください。
CONTENTSフォルダー以下は操作しないでください。
コピーする際はCONTENTSフォルダーと同時に、LASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- ◆ 複数のP2カードをPCに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダーを作成してください。
- ◆ P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- ◆ フォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2ビューアーで行ってください。

- ◆ MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ◆ AppleおよびMacは、米国Apple,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。



基本手順

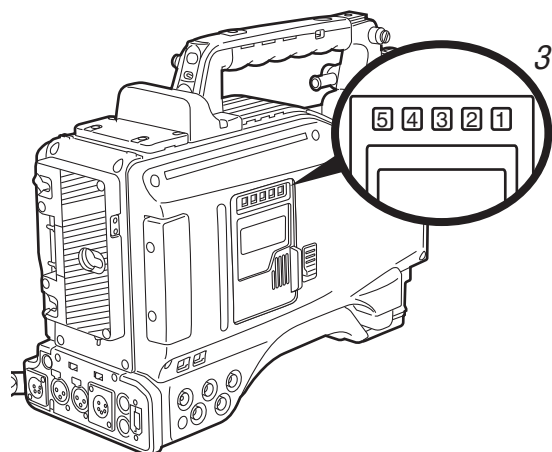
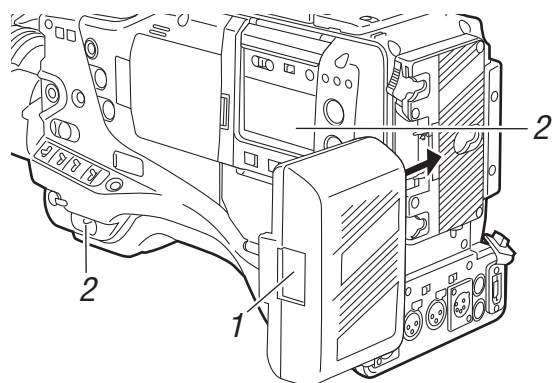
ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

* 点検のしかたについては、「撮影前の点検」(144 ページ)をお読みください。

電源の準備からP2カードを入れるまで

- 1 充電済みのバッテリーパックを入れます。
- 2 POWERスイッチをONにし、バッテリー残量表示バーが5個以上点灯していることを確認します。
 - バッテリー残量表示バーが5個以上点灯していないときは、まずバッテリー設定を確認し、設定が正しければ完全に充電したバッテリーと交換します。
- 3 P2カードを挿入し、P2カードアクセスLEDがオレンジ色、または緑色に点灯しているのを確認して、スライドとびらを閉めます。
P2カードスロットに複数のP2カードが挿入されている場合、スロット番号の小さいP2カードから順番に記録されます。ただしP2カードを後から挿入すると、そのP2カードが記録対象になるのは、スロット番号にかかわらず、それまでに挿入されたP2カードより後になります。

例：5つのスロットすべてにP2カードを挿入すると、スロット番号1→2→3→4→5の順で記録対象のP2カードになります。しかし、一度スロット番号1のP2カードを取り出して再び挿入した場合、スロット番号2→3→4→5→1の順で記録対象のP2カードになります。



なお、電源をOFFした後も記録対象のP2カード番号は保持され、次に電源をONにしたときは、電源をOFFする前と同じP2カードに続けて記録できます。

◆ NOTE:

P.ON REC SLOT SEL 項目で“SLOT1”を選択すると、電源をONにするたびにスロット番号の小さいP2カードから順に記録します。

P.ON REC SLOT SEL 項目は、SYSTEM SETTING ページの<REC FUNCTION>画面で選択できます。

各スイッチ設定まで

電源を準備し、P2カードを入れた後、各スイッチを次のように設定してから操作を始めてください。

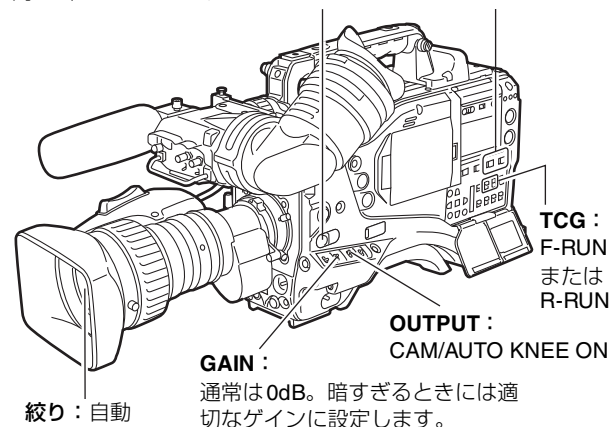
撮影・記録のためのスイッチの設定

USER MAIN :

工場出荷時は、SLOT SEL機能が割り当てられています。

AUDIO SELECT

CH 1/CH 2 :
AUTO



◆ NOTE:

- USER MAIN ボタンは、工場出荷時、SLOT SEL機能が割り当てられており、複数挿入されたP2カードから、記録対象のP2カードを切り替えることができます。また、記録対象のP2カードが切り替わると、記録対象になったP2カードが挿入されたP2カードスロットの番号を、ビューファインダー内のP2カード残量表示部に表示します。ビューファインダー内の表示について、詳しくは、「ビューファインダー画面の状態表示の構成」(73 ページ)を参照してください。
- 記録中もSLOT SEL機能は有効です。記録対象のP2カード切り替えが完了するまでの間、ビューファインダーに“SLOT SEL”の表示が点滅します。なお、記録開始直後や記録対象のP2カード切り替えを行った直後などでSLOT SELが行えなかった場合は“SLOT SEL INVALID”と表示します。

オーディオ・ビデオ制御部

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには、以下の手順で操作します。

- 1 照明条件に合わせてフィルターを選びます。
- 2A ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき
WHITE BALスイッチを「A」または「B」にします。
- 2B ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされておらず、ホワイトバランスを調整する時間のないとき
WHITE BALスイッチを「PRST」にします。
FILTERつまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

2C その場でホワイトバランスを調整するとき
WHITE BALスイッチを「A」または「B」にして画面中央で白い被写体を撮影し、次の手順でホワイトバランスを調整します。

1. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、ホワイトバランスを調整します。
2. AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押して、ブラックバランスを調整します。
3. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、再度ホワイトバランスを調整します。

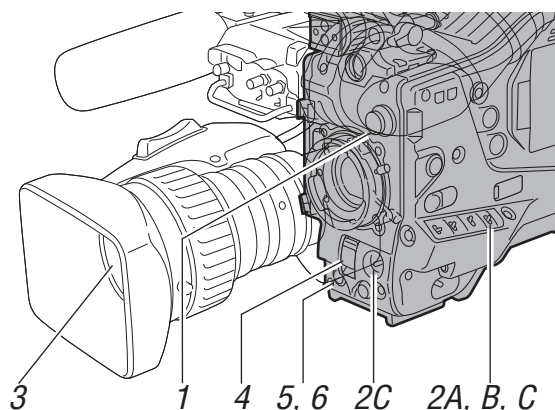
調整の仕方については、「ホワイトバランスの調整」(49 ページ) および「ブラックバランスの調整」(52 ページ) を参照してください。

- 3 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整します。
- 4 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード/動作モードを設定します。
詳しくは、「電子シャッターの設定」(53 ページ) をお読みください。
- 5 REC START/STOP ボタン、ハンドル部のREC ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始します。
記録中は、ビューファインダー内のREC ランプが点灯します。
- 6 停止するときは、再度REC START/STOP ボタン、ハンドル部のREC ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押します。
ビューファインダー内のREC ランプが消えます。

操作ボタンについて

記録中は、操作ボタン (REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP) は動作しません。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで



通常の記録

REC START/STOP ボタン、ハンドル部の REC ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押すと、P2 カードに映像・音声の記録を始めます。
一回の撮影で生成される画像・音声、およびメタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータをクリップといいます。

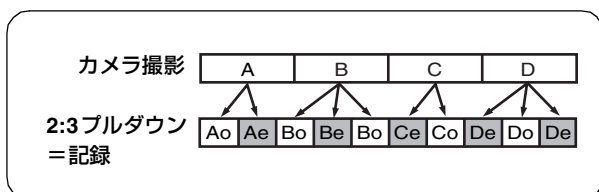
通常記録と Native 記録

本機はカメラの撮影フレームレートのまま記録する Native 記録方式と、59.94 または 50 フレームにプルダウンして記録する通常記録方式が選択可能です。

通常記録（プルダウン記録）

24P（23.98P：以下 24P と表記）は 2:3 プルダウンし、30P（29.97P：以下 30P と表記）は 2:2 プルダウンしたまま 59.94i（以下 60i と表記）として記録します。また、25P は 2:2 プルダウンしたまま 50i として記録します。24PA（2:3:3:2 アドバンスドプルダウン）にも対応しています。
なお、AVC-Intra では、プルダウン記録に対応していません。

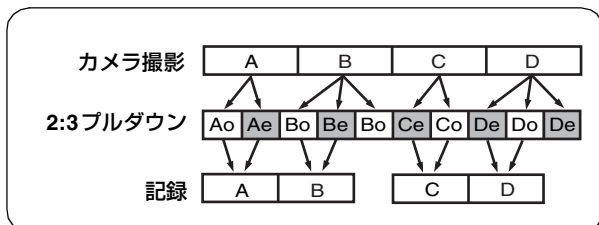
24P Over 60i の例



Native 記録

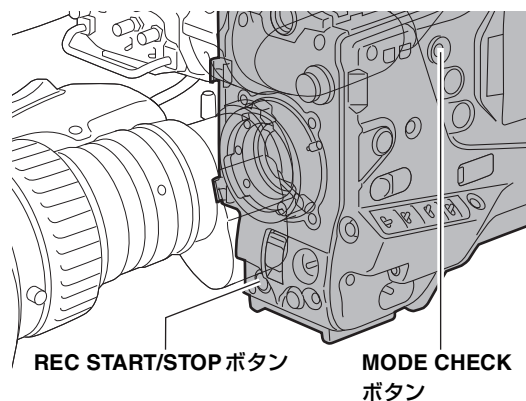
1080i の AVC-Intra 記録で撮影のフレームレートに応じて、有効フレームのみを抜き出して記録する方式です。
なお、Native 記録のときでも、カメラ映像の出力や再生映像の出力はプルダウンされた 59.94i または 50i になります。

1080-24PN（Native）の例



◆ NOTE:

- 24P/24PA のときは 5 フレーム周期、24P Native 記録では 4 フレーム周期の先頭から記録が開始されます。そのため、記録周期の異なるモードのクリップに続けて記録すると、タイムコードが不連続になることがあります。
- P2 カードを挿入後、あるいは電源を ON した直後に記録を開始した場合でも、本機の内部メモリーを使用して記録が開始されます。この場合、P2 カードの認識が終わるまで、記録を停止できません。
ただし挿入されたカードを、記録可能な P2 カードではないと認識した場合は、その時点で内部メモリーの記録を破棄し、ビューファインダーに“CANNOT REC”と表示します。
P2 カードの状態は、MODE CHECK ボタンを押し、ビューファインダーに表示される P2CARD STATUS でご確認ください。



PRE RECORDING機能

本機の内部メモリーを利用して、カメラで撮影する映像、音声データを常に数秒間分貯えておくことにより、REC START/STOP ボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始した時、その数秒前からの映像、音声を記録することができます。

本機能を使用するためには、メニュー操作でPRE REC MODE項目をONにする必要があります。内部メモリーへの蓄積時間は、同じくメニュー操作でPRE REC TIME項目より設定が可能です。

PRE REC MODE項目、およびPRE REC TIME項目はSYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。

また、USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW項目でPRE REC MODE項目をそれぞれのUSERボタンに割り付けることができます。

各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択できます。

以下がPRE REC TIME項目の設定内容です。

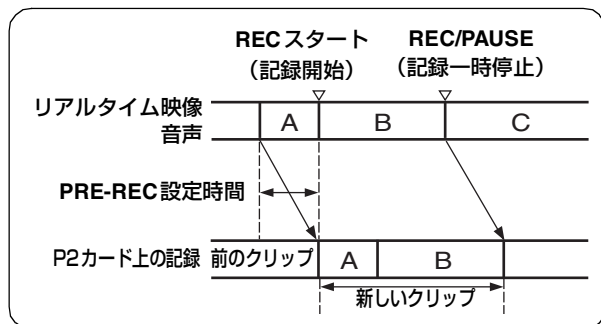
1～8SEC

(HDモードまたはSDモードのDVCPRO50で記録時)

1～15SEC

(SDモードのDVCPROまたはDVで記録時)

REC START/STOP ボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTR ボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間を設定します。



◆ NOTE:

● PRE REC MODE項目をOFFに設定時の「P-REC」表示について

本機はPRE REC MODE項目をOFFに設定していても、記録を停止した後、P2カードに完全に映像・音声を記録し終えるまでの間、「P-REC」表示を行います。

「P-REC」表示について、詳しくは「ビューファインダー画面の状態表示の構成」の「29.INTERVAL REC/PRE RECORDINGなどの情報表示」(78ページ)を参照してください。なお、この表示はP-REC/i-REC項目の設定によって消すことができます。P-REC/i-REC項目はVFページの<VF INDICATOR3>画面から選択できます。

● 電源ON直後や、メニュー操作でPRE REC TIME項目を選択したり、設定時間を変えたりした直後は、内部メモリーの内容が不定になっていますので、操作後すぐにREC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声が記録はできません。

● P2カードをスロットに挿入した直後は、カードの認識に時間がかかりますので、挿入後すぐにREC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声が記録はできない場合があります。

● 再生やレックレビューを行っている間は、内部メモリーに映像・音声を貯えないため、再生やレックレビューを行った間の映像・音声がさかのぼって記録することはできません。

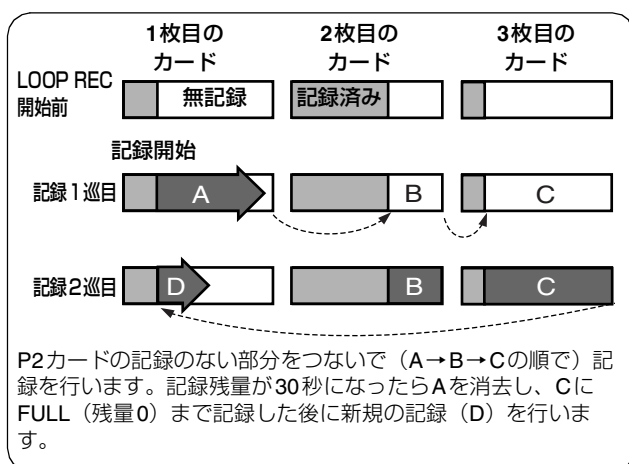
● 記録を開始したとき、P2カードの認識が終了するまでの間、タイムコード(TCG)表示がホールド表示になることがあります。

● IEEE1394入力を記録時およびINTERVAL REC機能が動作中は、PRE RECORDING機能は働きません。

LOOP REC機能

P2カードスロットに2枚以上のP2カードが挿入されているとき、順次カードを切り替えながら記録する機能です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行いますので、継続的な記録が可能です。

本機能を使用するには、LOOP REC MODE項目を“ON”にする必要があります。LOOP REC MODE項目は、メニュー操作でSYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。



◆ NOTE:

- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスLEDが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでご注意ください。
- LOOP REC MODE項目がONのときは、ビューファインダー内、および表示窓に“LOOP”と表示します。ただしLOOP REC MODE項目がONのときでも、カードが一枚しか挿入されていなかったり、カードの記録残量が1分未満だとLOOP RECができません。この場合、ビューファインダー内、および表示窓の“LOOP”表示が点滅します。
- LOOP REC MODE項目が“ON”のとき、P2カード残量は記録フォーマットに応じた標準的な記録時間を表示します。古い記録を消去した直後にLOOP RECを停止した場合、実際の残量は表示された時間より少なくなることがあります。
- IEEE1394入力を記録時およびINTERVAL REC機能やONE CLIP REC機能が動作中は、LOOP REC機能は動きません。

LOOP RECモードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにする。
- メニュー操作で、LOOP REC MODE項目を“OFF”に設定する。

INTERVAL REC機能

本機の内部メモリーを利用して、最短で1フレーム単位の間欠記録をすることができます。

本機能を使用するためには、メニュー操作で、SYSTEM SETTINGページから<REC FUNCTION>画面を開き、INTERVAL REC MODE項目でインターバル記録モードの選択、記録時間（REC TIME）、間欠の待機時間（PAUSE TIME）、撮影に要する時間（TAKE TOTAL TIME）を設定する必要があります。設定が完了すると、収録に必要なP2カードのトータル記録時間（TOTAL REC TIME）が自動的に計算され、表示します。

以下がINTERVAL REC MODE項目の設定内容です。

OFF:

インターバル記録をしません。

ON:

インターバル記録を行います。

ONE SHOT:

REC START/STOP ボタン、ハンドル部の REC ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押すたびに REC TIMEで設定された時間を1回だけ記録します。

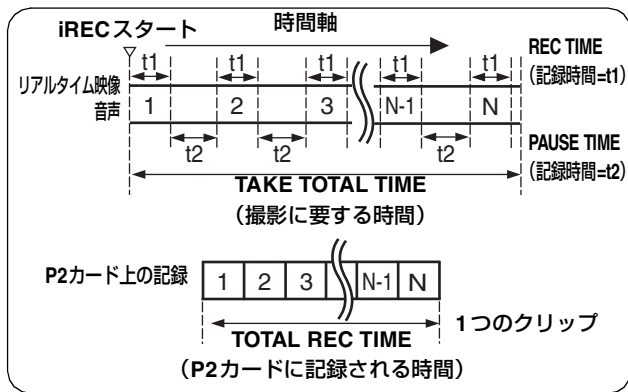
◆ NOTE:

- インターバル記録動作時はIEEE1394での出力はできません。また1394 CONTROL項目を“BOTH”に設定しても、外部機器の制御はできません。
- インターバル記録における最短の記録時間と待機時間は、および設定値の切捨て単位フレーム数は、記録方式により以下ようになります。

記録方式		単位フレーム数
1080i	60i、50i 30P、25P（プルダウン） 30PN、25PN（Native）	1フレーム
	24P、24PA（プルダウン）	5フレーム
	24PN（Native）	4フレーム
SDモード	60i、50i 30P、25P（プルダウン）	1フレーム
	24P、24PA（プルダウン）	5フレーム

INTERVAL REC の ON モードでの撮影手順

- 1 「基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 表示枠内に「i」が点滅し、インターバル記録モードが選択されていることを確認します。
- 3 本機の REC START/STOP ボタン、ハンドル部の REC ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。インターバル記録が開始します。設定された TAKE TOTAL TIME が終了すると自動的に記録を終了し、全体を1つのクリップとして生成します。インターバル記録モードが選択されると、表示枠内に「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。記録待機中は「iREC」が点滅します。なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様です。記録中はタリーランプが点灯します。また待機時間が2分以上の設定の場合、5秒おきにタリーランプが点滅し、待機中であることを知らせます。このとき記録に入る3秒前にも、タリーランプは点滅します。



途中で記録を中止するには

STOP ボタンを押します。記録は中止されます。このとき、その瞬間までメモリーに貯えられた映像を記録するため、P2 カードにアクセスし、インターバル記録開始から STOP ボタンを押すまでの記録を、1つのクリップとして生成します。

続けて記録する場合は

再度 REC START/STOP ボタン、ハンドル部の REC ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。再び、インターバル記録が開始されます。

インターバル記録モードを終了するには

- メニュー操作で、INTERVAL REC MODE 項目を“OFF”に設定する。

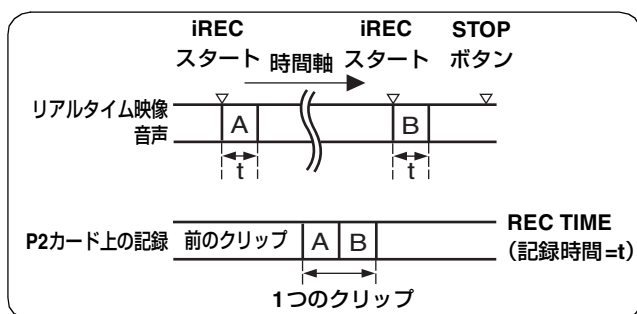
なお、INTERVAL REC HOLD 項目を「OFF」の設定している場合、本機の POWER スイッチを OFF にすると、通常の記録モードに戻ります。

INTERVAL REC HOLD 項目を「ON」に設定していると、POWER スイッチを OFF にしてもインターバル記録モードのまま保たれます。

インターバル記録のONE SHOTモードでの撮影手順

インターバル記録のONE SHOTモードの設定が終了したのち、以下の手順で撮影を行います。

- 1 「基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 本機のREC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押します。設定されたREC TIMEが終了すると自動的にONE SHOTモードの待機状態になります。
- 3 REC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押すたびに、設定されたREC TIMEだけ記録を行い、ONE SHOTモードの待機状態に戻ります。
- 4 STOPボタンを押します。それまでに記録された映像・音声は1つのクリップとして生成されます。



待機中に今までの記録を確認するには

レンズのRETボタンを押すと、REC REVIEWを行うことができます。REC REVIEW後もONE SHOT動作は継続しませんが。

途中でクリップを分ける、または記録するP2カードを交換するには

ONE SHOTモードでも、STOPボタンを押すまではP2カードにクリップが生成されていません。STOPボタンを押し、ONE SHOTモードの動作を停止させてください。

インターバル記録のONE SHOTモードを終了するには

- メニュー操作で、INTERVAL REC MODEを“OFF”に設定する。

なお、INTERVAL REC HOLD項目を「OFF」の設定している場合、本機のPOWERスイッチをOFFにすると、通常の記録モードに戻ります。

INTERVAL REC HOLD項目を「ON」に設定していると、POWERスイッチをOFFにしてもインターバル記録のONE SHOTモードのまま保たれます。

インターバル記録モードでの共通の注意事項

- 音声について
インターバル記録中に音声を記録するか、しないかは<REC FUNCTION>画面のAUDIO REC項目の“ON”あるいは“OFF”で設定します。
- 記録／再生操作ボタンについて
インターバル記録モードで動作中は、STOP以外の操作ボタン(REW、FF、PLAY/PAUSE)は働きません。ただしONE SHOTの待機中は、レンズのRETボタンでREC REVIEWを行うことができます。
- 記録中に本機のPOWERスイッチをOFFにした場合
インターバル記録モードで動作中に本機のPOWERスイッチをOFFにした場合、その瞬間までメモリーに貯えられた映像をP2カードに記録してから、自動的に電源が切れます。
- 待機中に緊急で記録をするには
事前にUSER MAIN、USER1/USER2ボタンのいずれかにRECスイッチを選択しておく、待機中にそのボタンを押している間、緊急記録ができます。緊急記録を行った後も待機時間計測は正常に続きます。

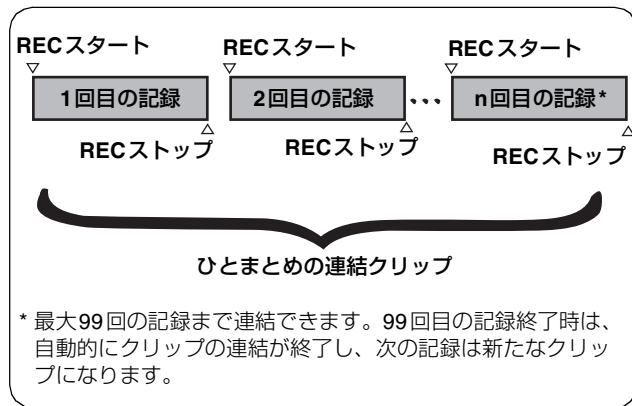
◆NOTE:

ただし本機の記録信号が24P、24PAおよび24PN (Native) 記録のときは動作しません。

- タイムコード表示について
記録を開始したときは、P2カードの認識が終了するまでの間、タイムコード(TCG)表示がホールド表示になることがあります。
- カードの引き抜きについて
インターバル記録モードで動作中は、記録対象となっているスロットのP2カードアクセスLEDは、オレンジ色に点滅します。このP2カードは抜かないでください。万が一抜いてしまったときは、クリップの修復を行ってください。ただし修復を行った場合でも、記録した最後の3～4秒間、P2カードをまたいだ記録中に引き抜いた場合は最大10秒間ほどの映像が失われることがあります。クリップの修復について、詳しくは「クリップの修復」(123ページ)を参照してください。
- 動作モードについて
REC SIGNAL項目で“1394”を選択時およびLOOP REC機能やONE CLIP REC機能が動作中は、INTERVAL REC機能は働きません。詳しくは「記録設定と動作モード」(46ページ)を参照してください。
- サムネール動作とメニュー操作
インターバル記録モードで動作中はサムネールの操作はできません。サムネールの操作はSTOPボタンを押して動作を停止させてから行ってください。また待機時間を1分以上に設定しているか、あるいはONE SHOTモードの場合、待機中にメニュー操作を行うことはできませんが、以下の制限があります。
 - ◆SYSTEM MODE、REC SIGNAL、CAMERA MODE、REC MODE、25M REC CH SEL、PC MODE項目は変更できません。
 - ◆SD CARD READ/WRITE、LENS FILE CARD R/W、READ USER DATA、READ FACTORY DATAの各項目を実行することもできません。

ONE CLIP REC 機能

1回の記録（REC開始から終了まで）を1つのクリップとするのではなく、複数回の記録をひとまとめの連結されたクリップとして記録することができます。



本機能を使用するには、メニュー操作で、SYSTEM SETTING ページから<REC FUNCTION>画面を開き、ONE CLIP REC MODE 項目を「ON」に設定します。ONE CLIP REC モードが選択されるとビューファインダーおよび液晶モニター右下に「1-CLIP」と表示されます。本機の REC START/STOP ボタン、ハンドル部の REC ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押すと、最初の記録が開始され、「START 1*CLIP」と表示されます。以後、記録する度にクリップは自動的に連結され、最大で99回の記録まで1つにまとめられます。

新たなクリップとして記録するには

新しい別のクリップとして分けたい場合は、次のどちらかの操作により、クリップの連結を一度終了します。

- 記録一時停止中に STOP ボタンを約2秒間押し続けます。（記録一時待機中に操作する場合）
または
- 記録中に REC START/STOP ボタン、ハンドル部の REC ボタン、またはレンズの VTR ボタンを約2秒間押し続けて記録を終了させます。（記録中に操作する場合）

上記操作により、クリップ連結を終了し「END 1-CLIP」と表示され、次の記録からは新しい別のクリップになります。

◆ NOTE

- 前述の操作以外でも、以下の場合はクリップ連結を終了し、次の記録からは新たなクリップになります。
 - ◆ 電源をOFFにしたとき
 - ◆ 直前に記録したP2カードを取り出したとき
 - ◆ P2カードのフォーマットや、クリップの削除を行ったとき（連結元クリップが存在しないとき）
- メニューやサムネール表示中は、STOP ボタンを押してもクリップ連結を終了することはできません。

ONE CLIP RECモードを終了するには

メニュー操作で、ONE CLIP REC MODE 項目を「OFF」に設定します。

クリップの連結部分の頭出しをするには

記録開始のたび、記録開始点にテキストメモを自動付加して再生時に頭出しをしたり、その位置のサムネールを確認することができます。

記録開始点にテキストメモを自動付加するには、メニュー操作で、SYSTEM SETTING ページから<OPTION MODE>画面を開き、START TEXT MEMO 項目を「ON」に設定します。付加したテキストメモのポイントを確認、再生するには、サムネールメニューから THUMBNAIL → TEXT MEMO CLIPS を選択し、対象のクリップにカーソルを合わせます。詳しくは「テキストメモ位置からの再生」（122 ページ）を参照ください。

また、再生時にテキストメモ位置を頭出しするには、<OPTION MODE>画面の SEEK SELECT 項目を「CLIP&T」に設定しておき、再生一時停止中に FF ボタンまたは REW ボタンを押します。

ONE CLIP REC モードでのPROXY記録について

ONE CLIP RECモードにおいてもPROXY記録は可能です。PROXYデータも同様に連結したクリップとしてまとめられるため、P2ビューアーなどで、1つのクリップとして取り扱うことが可能です。ただしSDメモリーカードにPROXYデータを記録する場合、以下の点に注意してください。

- クリップ連結を継続している途中でSDメモリーカードを抜いて交換した場合、以後クリップ連結を終了するまではSDメモリーカードにPROXY記録は行われません。十分な空き容量、ファイル数（最大1000クリップまで記録可能）を確認してご使用ください。万一、途中でSDメモリーカードを交換した後、PROXY記録を続けたい場合は、STOPボタンを約2秒間押しして連結を一度終了してから、新たなクリップとして記録を開始してください。
- 途中で記録を中止したSDメモリーカード上のPROXYデータは、P2カードに記録されたクリップのデータと一致せず、不完全な状態になります。

ONE CLIP RECモードでの注意事項

- INTERVAL REC機能やLOOP REC機能との併用はできません。
- REC SIGNAL項目で「CAM」以外を選択しているときは動作しません。
- クリップ連結を継続中は、メニュー操作やサムネイル操作に以下の制限があります。これらは、STOPボタンを約2秒間押ししてクリップ連結を終了させてから操作してください。
 - ◆ 次のメニュー項目は変更できません。
SYSTEM MODE、REC SIGNAL、CAMERA MODE、REC MODE、PC MODE、25M REC CH SEL
 - ◆ SDメモリーカードの読み込み/書き出しや設定ファイルの読み出しに関する以下のメニュー項目を実行することはできません。
SD CARD READ/WRITE、LENS FILE CARD R/W、READ USER DATA、READ FACTORY DATA、SCENE FILEの読み込み、CAC FILE CARD READ
 - ◆ 以下のサムネイルメニュー項目を選択して操作することはできません。
OPERATION → COPY
OPERATION → DEVICE SETUP → PROXY
- 次の記録でクリップの連結を可能にするため、記録の終了処理時間が通常記録より多少かかる場合があります。
- 再生時、クリップ内の記録の連結点で、不連続な音声に対してフェード処理は働きません。
- 連結数の多いクリップをノンリニア編集ソフトなどで使用する場合、ソフトウェアの種類によっては正常に動作できないことがあります。(2009年11月現在)
動作確認済みソフトウェアの最新情報は、下記ウェブサイトよりP2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

REC REVIEW機能

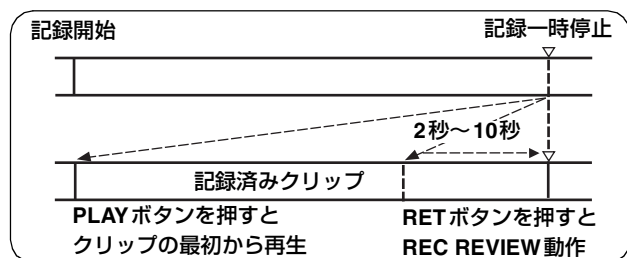
記録を一時停止し、レンズのRETボタンを押すと、記録したばかりのクリップの最後の2秒間が自動的に頭出しされ、その部分の再生画像をビューファインダーに表示します。これにより記録が正しく行われたかどうかを確認できます。

再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。

RETボタンを押し続けると、最大10秒前までの再生が可能です。ただしクリップが短い場合、クリップの先頭まで戻ると、それ以上RETボタンを押し続けても、それ以前のクリップは再生されません。

USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW項目で、RETボタン機能をそれぞれUSERボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択します。

また、記録を一時停止した状態からPLAY/PAUSEボタンを押すと、最後に記録したクリップをはじめから再生します。再生終了後、本機は停止状態となります。



◆ NOTE:

- メニュー RET SW項目（CAM OPERATIONのSW MODE）を“R.REVIEW”に設定してください。
- サイドパネルのOUTPUT SELスイッチが「MEM」になっている場合、REC REVIEW動作の間、ビューファインダーだけでなく、映像出力端子（VIDEO OUT端子、MON OUT端子）にもREC REVIEWの画像が出力されません。
バックアップ機器を接続して、バックアップ画像を記録中の場合、このREC REVIEWの画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。
- ONE CLIP RECモードでは、REC REVIEWの最大戻り位置、および記録一時停止状態からの再生開始位置は、クリップの先頭ではなく最後に記録開始した位置になります。

通常再生および変速再生

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画を、液晶モニターでカラーの再生画を見ることができます。同時に本機のVIDEO OUT端子、MON OUT端子にカラービデオモニターを接続するとカラーの再生画を見ることができます。

VIDEO OUT端子からはSDIでの再生画を見することもできます。(再生画を見る場合は、サイドパネルのOUTPUT SELスイッチをMEMにする必要があります)

変速再生

FF、REW ボタンを使うと、32倍速や4倍速の高速再生/高速逆再生が可能です。

再生一時停止状態からFFボタンを押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

再生一時停止状態からREWボタンを押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

◆ NOTE:

- SYSTEM MODEが異なるクリップは再生できません。本機のSYSTEM MODEをクリップのフォーマットに合わせてから再生してください。
- P2カードを抜き差しした直後や、電源をONした直後に再生を行うと、クリップ情報を読み出すために時間がかかることがあります。その間、ビューファインダーには“UPDATING”と表示します。また、P2カードの認識中に再生ボタンが押された場合は、“CANNOT PLAY”と表示します。
- 再生中に別のカードスロットにP2カードを挿入しても、そのカードのクリップは再生できません。再生中に挿入したP2カードの認識は、再生を停止したのちに行われます。
- 複数のP2カードにまたがったクリップを変速再生する場合、音声が一瞬途切れることがありますが、故障ではありません。

テキストメモ機能

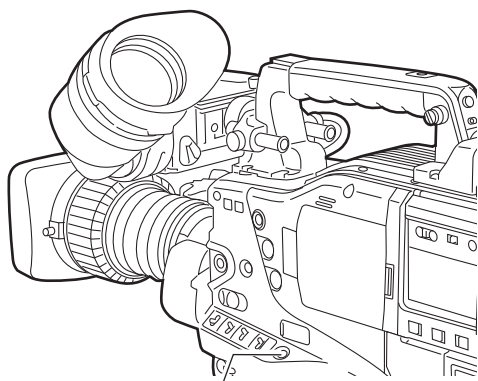
テキストメモとは、クリップを記録/再生中に、任意の映像ポイントにタイムコードの付いたサムネールを付加する機能です。

テキストメモボタンを押すと、そのポイントにテキストメモ情報が記録されます。またP2ビューアを使用して、付加したテキストメモの編集を行うこともできます。

サムネール画面で、テキストメモのポイントを選んで再生したり、必要な部分だけを選んでコピーすることができます。詳しくは「テキストメモ」(121 ページ)を参照してください。

◆ NOTE:

- テキストメモはひとつのクリップにつき100個まで記録できます。
- テキストメモの記録は、液晶モニターでサムネール表示しながらでも可能です。この場合テキストメモはカーソルが合わせられたクリップの位置(通常は先頭)にのみ付加されます。
- カラーバー出力中とLOOP RECモードおよびINTERVAL RECモード時は、テキストメモは記録できません。
- AJ-SPX800などのカメラレコーダーで、すでにボイスメモが付加されたクリップの場合、テキストメモはボイスメモと合わせて100個まで記録可能です。ボイスメモについてはAJ-SPX800の取扱説明書を参照してください。



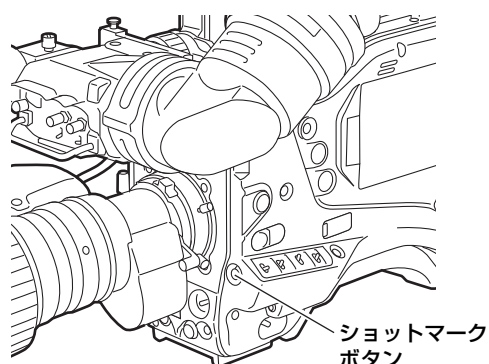
テキストメモボタン

ショットマーク機能

ショットマークとは、他のクリップと区別するためにクリップのサムネールにつける目印です。液晶モニターでショットマークをつけたクリップのみを表示したり、再生することも可能です。

ショットマークをつけるには

映像を記録中、ショットマークボタンを押してください。ビューファインダーに“MARK ON”と表示され、記録中のクリップのサムネールにショットマークがつきます。もう一度押すとショットマークを消すことができます。また、記録の一時停止（REC PAUSE）中にショットマークボタンを押すと、直前に記録したクリップにショットマークがつきます。もう一度押すとショットマークを消すことができます。



また、クリップのサムネール操作でもショットマークの付加/消去が可能です。詳しくは「ショットマーク」（121 ページ）を参照してください。

◆ NOTE:

- カラーバー出力中と LOOP REC モード、および INTERVAL REC モード時は、ショットマークの付加/削除はできません。
- 不完全クリップ（117 ページ参照）にはショットマークを付加できません。
- 複数の P2 カードにまたがって記録されたクリップや、P2 カード内で分割されたクリップ（12 ページの NOTE 参照）の場合、先頭のクリップにのみショットマークが付加されます。

記録設定と動作モード

本機の記録モードは、メニューおよびスイッチの設定によって、下表の優先順で動作します。

機能動作モード	システム/記録関連メニュー						ボタン		プロキシ記録 (オプション)
	PC MODE	REC SIGNAL	INTERVAL REC MODE	LOOP REC MODE	ONE CLIP REC MODE	PRE REC MODE	テキストメモの記録	ショットマーク	
USB デバイス	USB DEVICE	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効
USB ホスト	USB HOST	無効	無効	無効	無効	無効	有効	有効	無効
IEEE1394 入力記録		1394	無効	無効	無効	無効	有効	有効	無効
INTERVAL REC	OFF	CAMERA VIDEO SDI (オプション)	ON または ONE SHOT	無効	無効	無効	無効	無効	無効
LOOP REC		CAMERA	OFF	ON	無効	有効 1s~8s/15s	無効	無効	無効
ONE CLIP REC				OFF	有効*		有効*	有効	
通常の記録				VIDEO SDI (オプション)	無効		有効*	有効*	有効

* カラーバーのときは無効

記録のための調整と設定

マルチフォーマット

映像方式と記録フォーマット

本機はインタレース/プログレッシブスキャン（全画素読み出し）切り替え方式のCCDを採用しています。メニュー SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面、SYSTEM MODE 項目と CAMERA MODE 項目の組み合わせでHD（1080i）、SDを含む12種類の映像方式を選択することができます。REC SIGNAL 項目で1394、SDI（オプション）などの外部入力信号の記録が可能です。

記録信号と記録方式の選択

SYSTEM MODE 項目

システム周波数（59.94 Hz、50 Hz）と、信号方式（1080i、480i、576i）を組み合わせで選択できます。SYSTEM MODE 項目を変更すると、ビューファインダーに「TURN POWER OFF」と表示します。本機のPOWERスイッチをOFFにして一度電源を切り、5秒以上経過してから、再度ONにしてください。

REC SIGNAL 項目

- CAM** カメラ信号を記録します。CAMERA MODE 項目でカメラの動作モード（フレーム方式）を選択できます。
- 1394** DVCPRO 端子からの信号を記録します。1394接続については「DVCPRO 端子での接続」（135 ページ）を参照してください。
- VIDEO** SDモード（480-59.94i、576-50i）のときに、GENLOCK IN端子からの信号を記録します。
- SDI**（SDI INオプション：AJ-YA350AG装着時）SDI IN端子からの信号を記録します。

◆ NOTE:

- VIDEOを選択したとき、GENLOCK INからの信号がノンスタンダード信号の場合、映像が乱れることがあります。
- SDIを選択した場合、SDI入力信号に重畳されているタイムコードやUMIDを記録することはできません。

CAMERA MODE 項目

REC SIGNAL 項目が「CAM」のとき、カメラの動作モードを選択します。各設定の動作は、「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」（48 ページ）を参照してください。

◆ NOTE:

60i、30Pから24P、24PAに切り替えたとき、プルダウンの5フレーム周期を合わせるため、映像の乱れが一瞬生じますが、異常ではありません。

REC MODE 項目

記録モードを選択します。

HDモード（1080i）時 AVC-I 50

AVC-Intra50フォーマットで記録を行います。30P、24P、25PはNative記録になります。

AVC-I 100

AVC-Intra100フォーマットで記録を行います。30P、24P、25PはNative記録になります。

DVCPRO HD

DVCPRO HDフォーマットで記録を行います。30P、24P、24PA、25Pはプルダウン記録になります。

◆ NOTE:

AVC-Intra 50、AVC-Intra 100 を選択しているときは24PAは選択できません。

SDモード（480i、576i）時 DVCPRO50

DVCPRO50フォーマット（50Mbps）で記録します。

DVCPRO DVCPROフォーマット（25Mbps）で記録します。

DV DVフォーマットで記録します。

ASPECT 項目

SDモード（480i、576i）時の画面比を選択します。

16 : 9 画面比16 : 9で記録します。

4 : 3 画面比4 : 3で記録します。

記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット

CCDからの信号および外部入力信号をP2カードに記録するときのフォーマットと、各端子から出力される信号のフォーマットを下記に示します。

メニュー設定				記録、出力											
SYSTEM MODE 項目	REC MODE 項目	REC SIGNAL 項目	CAMERA MODE 項目	記録フレーム方式	出力フレーム方式	P2カード記録*1		VIDEO OUT 端子 (HD SDI) *2		VIDEO OUT 端子 (SD SDI) *3		VIDEO OUT 端子 (VBS) および MON OUT、REMOTE 端子	VF 端子 HD VF 選択時	VF 端子 SD VF 選択時	
						映像	音声	映像	音声	映像	音声				映像
1080-59.94i	DVCPRO HD	CAM	60i	60i	60i	1080i	4ch	1080i	4ch	525i	4ch	525i	1080i	525i	
			30P	30P Over 60i	30P Over 60i										
			24P	24P Over 60i	24P Over 60i										
			24PA	24PA Over 60i	24PA Over 60i										
		1394	無関係	60i	60i										
	SDI (オプション)	無関係	60i	60i											
	AVC-I 100 AVC-I 50	CAM	60i	60i	60i	1080P	1080i								
			30P	30PN (Native)	30P Over 60i										
24P			24PN (Native)	24P Over 60i											
SDI (オプション)	無関係	60i	60i	1080i											
1080-50i	DVCPRO HD	CAM	50i	50i	50i	1080i	4ch	1080i	4ch	625i	4ch	625i	1080i	625i	
			25P	25P Over 50i	25P Over 50i										
			1394	無関係	50i										50i
		SDI (オプション)	無関係	50i	50i										
	AVC-I 100 AVC-I 50	CAM	50i	50i	50i	1080P									
			25P	25PN (Native)	25P Over 50i										
SDI (オプション)	無関係	50i	50i	1080i											
480-59.94i	DVCPRO50 DVCPRO DV	CAM	60i	60i	60i	480i	4ch または 2ch*5	なし*4	なし*4*5	525i	4ch または 2ch*5	525i	1080i (再生出力不可)	525i	
			30P	30P Over 60i	30P Over 60i										
			24P	24P Over 60i	24P Over 60i										
			24PA	24PA Over 60i	24PA Over 60i										
		1394	無関係	60i	60i										
		VIDEO	無関係	60i	60i										
SDI (オプション)	無関係	60i	60i								なし				
576-50i	DVCPRO50 DVCPRO DV	CAM	50i	50i	50i	576i	4ch または 2ch*5	なし*4	なし*4*5	625i	4ch または 2ch*5	625i	1080i (再生出力不可)	625i	
			25P	25P Over 50i	25P Over 50i										
		1394	無関係	50i	50i										
		VIDEO	無関係	50i	50i										
		SDI (オプション)	無関係	50i	50i										

*1 タイムコード、ユーザズビット、UMIDを記録

*2 タイムコード、ユーザズビット、UMID (ON/OFF可) を出力

*3 EDH (ON/OFF可)、UMID (ON/OFF可) 出力。タイムコード、ユーザズビットは出力されません。

*4 SD SDI出力のままになります。

*5 DVCPRO50は4ch、DVCPROとDVでは4ch/2ch選択可

30P Over 60i :

60フィールドのインターレースモードで動作をしますが、同じ時間の映像信号をoddフィールドとevenフィールドに処理して、各フィールドの映像信号として出力し、P2カードに記録します。

◆ NOTE:

● DVフォーマットの記録再生ではUMIDは出力されません。

● 再生時、同じSYSTEM MODE内のクリップは、自動的にフォーマットを切り替えて再生されます。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

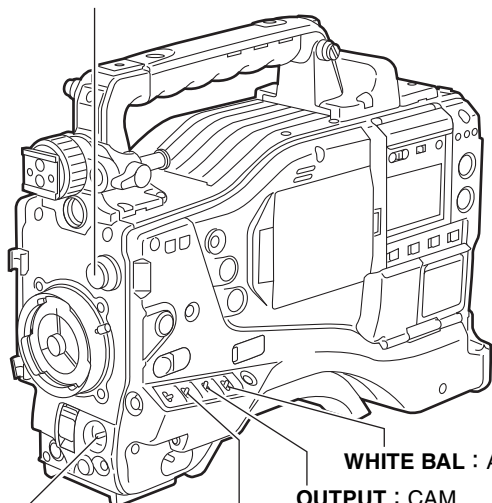
本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。なお、より高画質を得るためには、AWB（ホワイトバランスの調整）→ABB（ブラックバランスの調整）→AWB（ホワイトバランスの調整）の順に行うことを推奨します。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。以下の手順でホワイトバランスを自動調整します。

1 図のようにスイッチを設定します。

CC/ND FILTER つまみ



AUTO W/B BAL
スイッチ：
AWB 実行時使用

WHITE BAL : A または B
OUTPUT : CAM
GAIN : 通常は 0dB。
暗すぎるときには適切なゲイン
に設定します。

2 照明条件に合わせて、CC/ND FILTER つまみの設定を切り替えます。

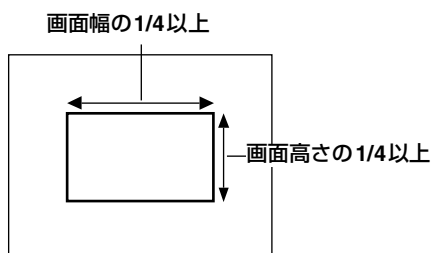
◆NOTE:

CC/ND FILTER つまみの設定例については「撮影・記録/再生機能部」(20 ページ) を参照してください。

3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映します。被写体近くの白い物（白布、白壁）で代用することもできます。必要な白の大きさは、図の通りです。

◆NOTE:

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 白い物は、画面の中心に写してください。



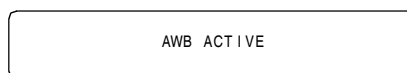
4 レンズの絞りを調整します。

5 AUTO W/B BAL スwitch を「AWB」側に押し上げて、スウィッチを離します。スウィッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

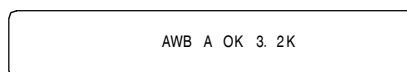
◆NOTE:

ホワイトバランスの自動調整を行っているとき（“AWB ACTIVE” とビューファインダーに表示されます）に、再度 AUTO W/B BAL スwitch を「AWB」側に切り替えると、調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

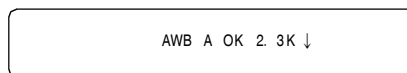
6 調整中、ビューファインダー画面には、次のようなメッセージが表示されます。



7 数秒で調整が完了し、下図のようなメッセージが表示されます。調整値は、ステップ1で設定したメモリー（「A」または「B」）に自動的に記憶されます。



8 CC/ND フィルターが3200Kの場合、被写体の色温度が、2300Kよりも低い場合や9900Kよりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。矢印のうち、下向きの矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。

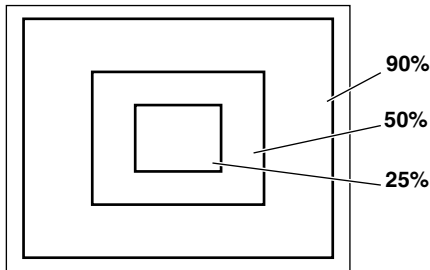


ホワイトバランスの検出領域について

AWB AREA項目でホワイトバランス検出領域を90%、50%、25%から選択できます。

AWB AREA 項目は、CAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

工場出荷設定は、25%です。



ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BALスイッチを「PRST」にします。

CC/ND FILTERつまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージを表示します。下記のエラーメッセージを表示した場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し試みてもエラーメッセージを表示する場合は内部点検が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP. HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選択する。
COLOR TEMP. LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選択する。
LOW LIGHT	光量が不足している。	光量を多くする。または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。または、ゲインを下げる。
CHECK FILTER	フィルター切り替えつまみの設定位置がずれている。	フィルター切り替えつまみを確認する。
TIME OVER	時間内でAWBが終了しなかった。	撮影条件が不安定な可能性があります。フリッカーであればシャッターを入れ、安定した条件下で再度実行する。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも再度ホワイトバランスをとるまで保存されます。ホワイトバランスのメモリーはA、Bの2系統があります。

FILTER INH項目の設定が“ON”の場合（初期設定）、A、B各系統のメモリー数はそれぞれ1個に限定されています。この場合、メモリーの内容はフィルターには連動しません。

FILTER INH 項目はCAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択します。

FILTER INH項目を“OFF”にした場合、WHITE BALスイッチの設定（AまたはB）に対応するメモリーに、各フィルターごとの調整値を自動的に記憶させることもできます。本機は4つのフィルターを内蔵していますので、合計8個（4×2）の調整値を記憶します。

また、S.GAIN（スーパーゲイン）機能動作時はAWBスイッチは動作せず、PRSTに設定された値になります。

マニュアルでの色温度の設定

ホワイトバランスを、色温度設定により手動で調整することができます。マニュアルの色温度設定は、WHITE BAL スイッチの PRST、A、B それぞれの位置に対して設定可能です。

色温度の設定は、COLOR TEMP PRE 項目、COLOR TEMP A 項目と、COLOR TEMP B 項目で設定します。

各項目は、CAM OPERATION ページの <WHITE BALANCE MODE> 画面から選択します。

COLOR TEMP PRE の色温度調整は、VAR と 3.2K/5.6K 切り替えの2種類があります。

VAR: 2300K ↓ ~ 8000K まで設定できます。

3.2K/5.6K:

3200K もしくは 5600K に設定できます。

「WHITE BALANCE MODE」(181 ページ) を参照してください。

◆ NOTE:

手動で色温度を設定していても、ホワイトバランスの自動調整 (AWB) を行うと、行ったときの色温度が AWB を行ったときの WHITE BAL スイッチの位置に記録されます。また CC フィルターの位置を切り替えると、色温度の値が変わりません。

```

→ < WHITE BALANCE MODE >

FILTER INH      : ON
SHOCKLESS AWB  : NORMAL
AWB AREA       : 25%

TEMP PRE SEL SW : 3.2K/5.6K
COLOR TEMP PRE : 3200K

AWB A TEMP     : 2600K
AWB B TEMP     : 3200K
  
```

ホワイトバランス関連の ビューファインダー表示について

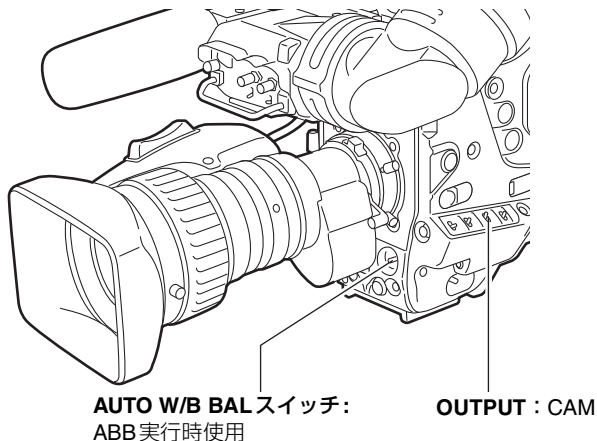
「ビューファインダーの状態表示」(72 ページ) を参照してください。

ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

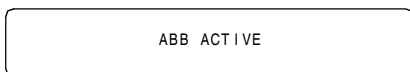
- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- ゲイン切り替え値を変更したとき
- USER MAIN/USER1/USER2 ボタンを使用して S.GAIN (スーパーゲイン) の設定をしたとき

1 図のようにスイッチを設定します。



2 AUTO W/B BAL スイッチを「ABB」側に倒し、スイッチを離します。
スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。

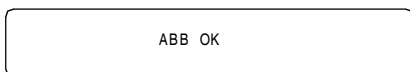
3 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます。



◆ NOTE:

調整中はレンズ絞りが自動的に CLOSE になります。

4 数秒で調整が完了し、図のようなメッセージが表示されます。



調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

◆ NOTE:

- レンズコネクタが接続されていること、レンズ絞りが CLOSE になっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- オートブラックバランス動作が終了した後も、ブラックシェーディングが気になる場合は、DETECTION (DIG) 項目でカーソル (→) を移動し、JOG ダイアルボタンを押して、ブラックシェーディング調整を実行してください。
DETECTION (DIG) 項目は、MAINTENANCE ページの <BLACK SHADING> 画面から選択します。
<SW MODE> (180 ページ) の SHD. ABB SW CTL 項目を「ON」に設定し、ABB スイッチを 8 秒以上長押しすると、オートブラックバランス動作に続いてブラックシェーディングの自動調整を行うことができます。ブラックシェーディング調整を実行中は、ビューファインダーに「B-SHD OK」と表示されるまでレンズの絞りは必ず絞ったままにしてください。
ただしリモートコントロールユニット (AJ-RC10G: 別売品) を接続しているときは、ABB スイッチの長押しを行っても、ブラックシェーディングの自動調整を行うことはできません。
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき (“ABB ACTIVE” とビューファインダーに表示します) に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを「ABB」側に押し下げると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターに関する説明、設定および操作方法について示します。

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次の通りです。

固定したシャッタースピードを使用する

- 照明などによるフリッカーを除去したい場合
- 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合

SYNCHRO SCANのシャッタースピードを使用する

- モニター画面の撮影時に、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
- 被写体の動きに効果をつけて撮影したい場合

ハーフシャッタースピード (HALF) を使用する

- フィルム撮影を行ったような効果をつけて撮影したい場合

◆ NOTE:

- 電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。

モード	映像方式	CAMERA MODE	シャッタースピード	ハーフシャッタースピード	SYNCHRO SCANの可変範囲	
HD	1080-59.94i	60i	1/100、1/120、 1/250、1/500、 1/1000、1/2000、 HALF	1/120	1/61.7～1/7200	
	1080-29.97P	30P		1/60	1/30.9～1/3600	
	1080-23.98P	24P		1/48	1/24.7～1/2880	
	1080-23.98PA	24PA		1/48	1/24.7～1/2880	
SD	480-59.94i	60i	180deg、172.8deg、 144.0deg、120.0deg、 90.0deg、45.0deg	1/120	1/61.7～1/7200	
	480-29.97P	30P		1/60	1/30.9～1/3600	
	480-23.98P	24P		1/48	1/24.7～1/2880	
HD	1080-50i	50i	1/60、1/120、 1/250、1/500、 1/1000、1/2000、 HALF	1/100	1/51.4～1/6000	
	1080-25P	25P		1/50	1/25.7～1/3000	
SD	576-50i	50i	180deg、172.8deg、 144.0deg、120.0deg、 90.0deg、45.0deg	1/100	1/51.4～1/6000	
	576-25P	25P		1/50	1/25.7～1/3000	

3 deg～350 deg
(1.0 degステップ)

シャッターモード/スピードの設定

シャッターモードでのシャッタースピードは、シャッタースイッチを切り替えて設定します。

SYNCHRO SCAN モードでのシャッタースピードは、サイドパネルのシンクロスキャン調整スイッチ (+/-) で簡単に変更できます。

なお<SHUTTER SPEED>画面と<SHUTTER SELECT>画面から、シャッタースピードの選択範囲を必要な範囲にあらかじめ制限したり、SYNCHRO SCAN モードを使用するかどうかあらかじめ選択したりすることができます。各画面は、メニュー操作でCAM OPERATION ページから開くことができます。

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切ったあとも保持されます。

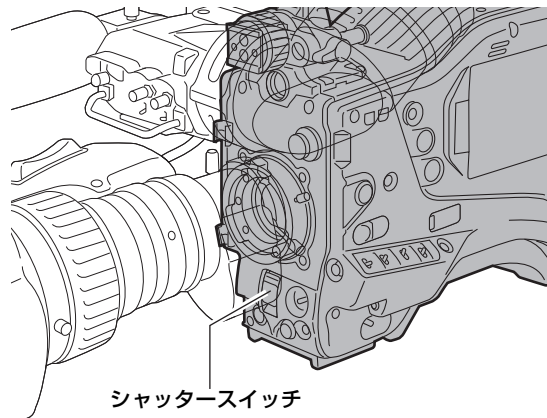
→ < SHUTTER SPEED >

```
SYNCHRO SCAN :ON  
POSITION1    :ON  
POSITION2    :ON  
POSITION3    :ON  
POSITION4    :ON  
POSITION5    :ON  
POSITION6    :ON
```

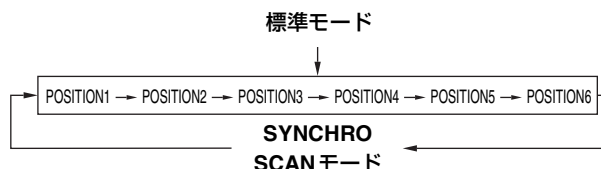
→ < SHUTTER SELECT >

```
POSITION1 SEL :1/100  
POSITION2 SEL :1/120  
POSITION3 SEL :1/250  
POSITION4 SEL :1/500  
POSITION5 SEL :1/1000  
POSITION6 SEL :1/2000
```

- 1 シャッタースイッチを、「ON」の位置から「SEL」側に押します。



- 2 もう一度、シャッタースイッチを「SEL」側に押し、希望のモードまたはスピードをビューファインダー上に表示するまで、この操作を繰り返します。全てのモードとスピードを表示する場合は、以下の順序で表示が切り替わります。



シャッター関連のビューファインダー画面表示について

「ビューファインダーの状態表示」(72 ページ)を参照してください。

◆NOTE:

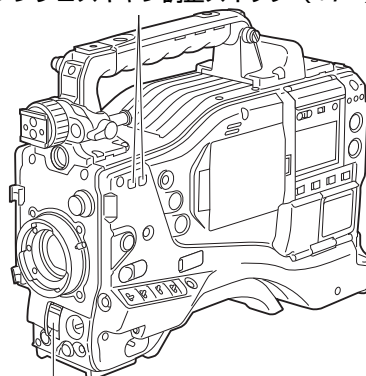
DS.GAIN動作中は、SHUTTERモードは強制OFFになります。

シンクロスキャンモードの設定

以下の手順で操作します。

- 1 シャッタースイッチを「ON」から「SEL」側に押し、SYNCHRO SCAN モードに設定します。
- 2 SYNCHRO SCAN モード時は、シンクロスキャン調整スイッチ (+/-) を操作して連続的に切り替えることができます。

シンクロスキャン調整スイッチ (+/-)

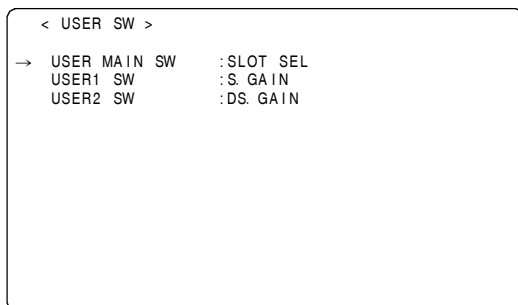


- 3 シンクロスキャンモード時のシャッタースピード表示は秒、または角度に切り替えることができます。詳しくは「SYNCHRO SCAN DISP.」(174 ページ)を参照してください。

USER MAIN、USER1および USER2ボタンへの機能割り付け

USER MAIN、USER1およびUSER2ボタンに選択した機能を割り当てることができます。

USER MAIN SW項目とUSER1 SW項目とUSER2 SW項目で、各々に割り当てる機能を設定します。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択します。



選択可能な機能について

INH : 機能を割り付けません。

S.GAIN : S.GAIN機能を割り付けます。

DS.GAIN : DS.GAIN機能を割り付けます。

◆ NOTE:

DS.GAIN機能は59.94i、50iの状態では撮影時のみ動作します。また動作中はSHUTTERモードが強制OFFになります。

S.IRIS : スーパーアイリス機能を割り付けます。

逆光補正を行う時に有効です。

I.OVR : アイリスオーバーライド機能を割り付けます。

オートアイリスモードでの目標値（基準値）を変更します。

目標値を変更するには、本モードに設定してから、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が可能になります。JOGダイヤルボタンを左右に回し、目標値を変更します。ビューファインダー画面のアイリス表示部の左側に+、++、-または--を表示します。変更したい位置でJOGダイヤルボタンの回転を止め、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が確定します。

なお、このモードを解除した時や、一度電源OFFにすると基準値に戻ります。

+ : 絞りを0.5程度開きます。

++ : 絞りを1程度開きます。

- : 絞りを0.5程度閉じます。

-- : 絞りを1程度閉じます。

無表示: 基準値です。

S.BLK : スーパーブラック機能を割り付けます。

黒レベルをペダスタルレベル以下にする機能です。

B.GAMMA : BLACK GAMMA機能を割り付けます。

黒の階調を強調する機能です。

メニューのBLACK GAMMA項目（PAINTページの<LOW SETTING>画面、<MID SETTING>画面、<HIGH SETTING>画面）で設定された値に関わらず、BLACK GAMMA : +3が設定されます。

Y GET : センターマーカ一部の輝度レベルを表示させる機能を割り付けます。

DRS : ダイナミックレンジストレッチャーの機能を割り付けます。高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能です。PAINTページの<KNEE LEVEL>画面で圧縮レベルを可変することができます。

◆ NOTE:

● DRS機能は、高輝度な部分の映像レベルを圧縮するので、DRS機能をON/OFFすることにより、発色に若干の差が生じることがあります。

● DRS機能をONにしているときは、KNEE機能やBLACK GAMMA機能が動作しません。

ASSIST : フォーカスアシスト表示のON/OFFを切り替える機能を割り付けます。

◆ NOTE:

ASSISTをONにすると、ビューファインダー画面と液晶モニター画面の右下にグラフを表示します。グラフをより右に表示するよう、レンズのフォーカスリングを調整してください。

C.TEMP : 色温度をJOGダイヤルボタンで変更するモードに切り替える機能を割り付けます。ホワイトバランスをとった後に、色温度を意図的に変化させたいときに有効です。

色温度を変更するには、本機能を割り付けたユーザーボタンを押す、さらにJOGダイヤルボタンを押します。ビューファインダー画面の色温度表示が反転・点滅し、色温度を変更可能なモードになります。点滅中にJOGダイヤルボタンを回して色温度を変更します。このときWHITE BALスイッチが設定されている位置（PRST/A/B）の設定値が合わせて変更されます。

AUDIO CH1 : 音声チャンネル1の入力信号を切り替える機能を割り付けます。

押すごとにFRONT→REAR→W.L.の順番で切り替わります。このときAUDIO INスイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

- AUDIO CH2** : 音声チャンネル2の入力信号を切り替える機能を割り付けます。
 押しごとに FRONT → REAR → W.L. の順番で切り替わります。このとき AUDIO IN スイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。
- REC SW** : REC START/STOP ボタンの機能を割り付けます。
- RET SW** : レンズの RET ボタンの機能を割り付けます。
- PRE REC** : PRE RECORDING の ON/OFF を切り替える機能を割り付けます。
- SLOT SEL** : P2 カードを複数挿入しているとき、記録対象のカードを切り替える機能を割り付けます。

- PC MODE** : USB デバイスモード、または USB ホストモードの ON/OFF を切り替える機能を割り付けます。
 USB デバイスモードと USB ホストモードの切り替えは SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面から PC MODE SELECT 項目を選択して行います。

◆ **NOTE:**

リモートコントローラー : AJ-RC10G (オプション) を接続し、AJ-RC10G 側の USER ボタンに I.OVR や C TEMP を割り付けた場合、本機の JOG ダイヤルボタンの操作は無効になります。

USER SW GAIN の切換えの設定

本機は、L/M/H の標準的なゲインとは別に、30dB 以上のアナログゲインアップ S.GAIN (スーパーゲイン) モード、プログレッシブ駆動を利用した蓄積型のゲインアップ DS.GAIN (デジタルスーパーゲイン) モードが使用できます。本機能の選択は、メニュー操作で CAM OPERATION ページから <USER SW GAIN> 画面を開き、S.GAIN 項目と DS.GAIN 項目でそれぞれ使用する GAIN をあらかじめ設定します。
 例えば、USER MAIN ボタンか USER1 ボタンか USER2 ボタンいずれかに S.GAIN と DS.GAIN 機能を割り付けた場合、各 USER ボタンとの組み合わせでのゲインアップが可能となります。

1) ノイズ感を増さずにゲインアップしたい場合

DS.GAIN 機能を使用します。

2) 通常のアナログのゲインアップをしたい場合

(ノイズ感は増します)

S.GAIN 機能のみを使用します。

◆ **NOTE:**

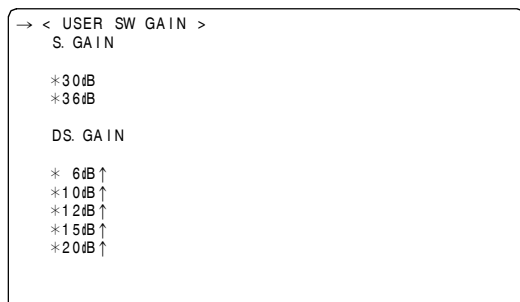
ノイズが増すため、AUTO IRIS、ホワイトバランス、ブラックバランスの精度に影響が出ますのでご注意ください。

3) 超高感度モードとして使用したい場合

S.GAIN 機能と DS.GAIN 機能を組み合わせて使用します。

ただし、DS.GAIN のゲインアップの値が大きい程、動きのある被写体では残像が目立ちますので取り扱いには十分ご注意ください。

動きのある被写体では、DS.GAIN 機能で +12dB ↑ 以下でご使用ください。



音声入力を選択と録音レベルの調整

本機は、HDモード（1080i）、およびSDモード（480i、576iのDVCPRO50/DVCPRO/DV）のすべての記録フォーマットで音声独立4チャンネル記録が可能です。

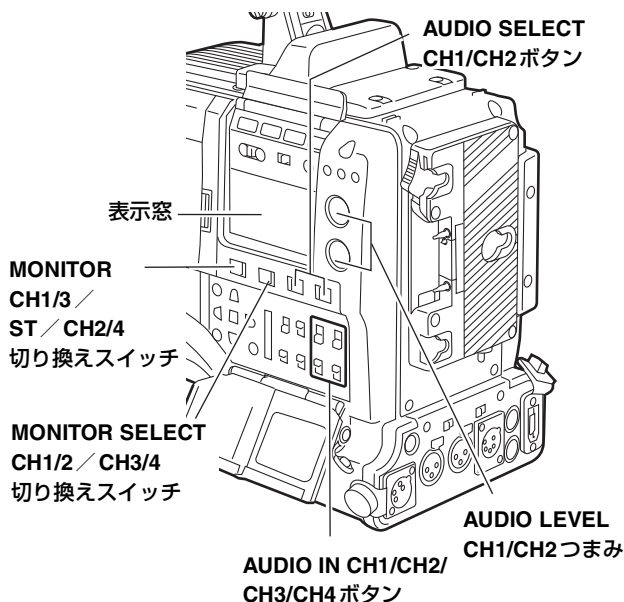
AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「AUTO」にすると、音声チャンネル1/2に録音されるレベルは自動的に調整されます。また「MAN」側にすると手で調整することもできます。なお、音声チャンネル3/4に録音されるレベルはメニューにより選択できます。

◆ NOTE:

- HDモード（1080i）でもP2カードに記録される音声チャンネルは4chになります。
- SDIの入力信号、またはDVCPRO端子に入力された信号を記録するときは、ここでの設定は無効になり、常にSDI INまたはDVCPRO端子からのオーディオ信号が記録されます。

音声入力信号の選択

AUDIO IN スイッチで音声チャンネル 1/2/3/4 に録音する入力信号を選択します。詳しくは「音声機能部（入力系）」（18ページ）を参照してください。



SDモード（480i、576iのDVCPRO50/DVCPRO/DV）のとき、DVCPROかDVフォーマットで使用する場合、工場出荷時の状態では音声チャンネル3/4は記録を行わないように設定されています。4チャンネル記録を行うときは25M REC CH SEL項目を“4CH”に設定してください。

◆ NOTE:

- 音声チャンネル1/2は、常にAUDIO IN CH1、CH2スイッチで選択した入力が記録されます。
- 4チャンネル記録される音声信号は、そのままSDI出力されます。

音声関連の詳細設定は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO1>画面と<MIC/AUDIO2>画面で行います。

詳しくは「MAIN OPERATION」（186ページ）を参照してください。

```
→ < MIC/AUDIO1 >
FRONT VR CH1      :OFF
FRONT VR CH2      :OFF
MIC LOWCUT CH1    :OFF
MIC LOWCUT CH2    :OFF
MIC LOWCUT CH3    :OFF
MIC LOWCUT CH4    :OFF
LIMITER CH1      :OFF
LIMITER CH2      :OFF
AUTO LEVEL CH3    :ON
AUTO LEVEL CH4    :ON
25M REC CH SEL    :2CH
TEST TONE         :NORMAL
```

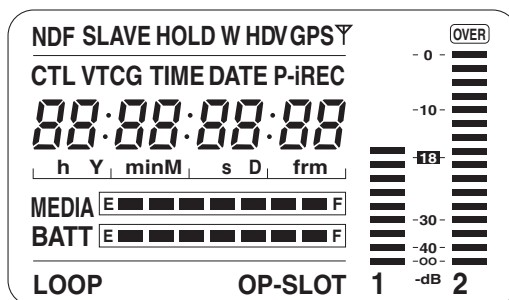
```
→ < MIC/AUDIO2 >
FRONT MIC POWER   :ON
REAR MIC POWER    :ON
MONITOR SELECT    :STEREO
FRONT MIC LEVEL   : -40dB
REAR MIC CH1 LEVEL : -60dB
REAR MIC CH2 LEVEL : -60dB
REAR LINE IN LVL  : +4dB
AUDIO OUT LVL     : +4dB
HEADROOM          : 20dB
WIRELESS WARN     :OFF
WIRELESS TYPE     :SINGLE
```

録音レベルの調整

音声チャンネル1/2に録音されるレベルを手動調整する手順は以下の通りです。

- 表示窓のオーディオレベルメーター表示がCH1、CH2を示すように、MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチをCH1/2側にし、表示窓の表示が1、2であることを確認してください。
また、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうかは、あらかじめFRONT VR CH1項目と、FRONT VR CH2項目で設定してください。なお、工場出荷時は、動作しないモードになっています。各項目は、MAIN OPERATIONページのMIC/AUDIO1画面から選択できます。
- AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「MAN」にします。
- 表示窓の音声チャンネルレベルメーター、またはビューファインダー内のオーディオレベルメーター表示を見ながらAUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを調整します。
なお、最上段のバー（0 dB）を超えるとOVER表示が点灯し入力音量が過大であることを示します。最大でも0 dBまで表示しないように調整する必要があります。

表示窓オーディオレベルメーター表示



ビューファインダー内オーディオレベルメーター表示



本機を一人で操作する場合、音声レベルの調整には、FRONT AUDIO LEVELつまみのご使用を推奨します。
あらかじめ調整したいオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面上でのレベルメーターを見ながら、過大入力にならないよう、FRONT AUDIO LEVELつまみで調整します。

FRONT AUDIO LEVEL つまみの機能の選択

FRONT AUDIO LEVELつまみでも録音レベルの調整をすることができます。
本機能の選択は、メニュー操作で、MAIN OPERATIONページから<MIC/AUDIO1>画面を開き、FRONT VR CH1 とFRONT VR CH2の項目で入力信号として選択された系統に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかしないかを設定します。

-> < MIC/AUDIO1 >	
FRONT VR CH1	: OFF
FRONT VR CH2	: OFF
MIC LOWCUT CH1	: OFF
MIC LOWCUT CH2	: OFF
MIC LOWCUT CH3	: OFF
MIC LOWCUT CH4	: OFF
LIMITER CH1	: OFF
LIMITER CH2	: OFF
AUTO LEVEL CH3	: ON
AUTO LEVEL CH4	: ON
25M REC CH SEL	: 2CH
TEST TONE	: NORMAL

CH3/CH4 の録音レベルについて

AUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目の設定条件と入力レベル設定により、音声チャンネル3/4の録音レベル動作は、以下の表のように変わります。なお、手動での調整はできません。
各項目は、MAIN OPERATION ページから <MIC/AUDIO1>画面で選択が可能です。

AUTO LEVEL CH3/CH4	入力レベル	
	LINE	MIC
ON	AGC ON	AGC ON
OFF	AGC/LIMITER OFF	LIMITER ON

タイムデータの設定

本機はタイムデータとしてタイムコード、ユーザーズビット、日時（リアルタイム）データを備え、サブコード領域と VIDEO AUX 領域、およびクリップメタデータファイルのデータとして記録されます。また、CTL カウンタ、カメラ ID を内蔵しています。

タイムデータの概要

タイムコード

TCG スイッチでレックランとフリーランに切り替えることができます。

フリーラン: 常に歩進し、電源を切っても歩進が行われ、時刻と同様に扱うことができます。また、TC IN 端子や DVCPRO 端子に入力されたタイムコードにスレーブロックして記録することができます。

レックラン: P2 カードに記録されたクリップのタイムコードにリジェネして連続値として記録できます。

ユーザーズビット

サブコード領域に記録するユーザーズビット (UB) と、VIDEO AUX 領域に記録する UB (VITC UB) の2種類を別々に内蔵しています。

それぞれユーザー設定値、時刻、年月日、タイムコードと同じ値、カメラ撮影のフレームレート情報、外部 (TC IN 端子や DVCPRO 端子) 入力値、P2 カードのクリップに記録されたユーザーズビットにリジェネした値などを選択して記録することができます。

なおユーザー設定値は1種類のみを内蔵しており、UB と VITC UB の両方でユーザー設定値を選択した場合は、同じ値が記録されます。

UB の種類の選択は UB MODE 項目で、VITCUB の種類は VITC UB 項目で行うことができますが以下の場合、編集機器 (パソコンなどの編集ソフト) が撮影時のフレームレート情報を使用する場合に備えてフレームレート情報に固定されます。

- 1080i や 480i モードの 24P/24PA 撮影時は、VITC UB がフレームレート情報に固定されます。
- Native モードでは VITC UB はフレームレート情報に固定されます。

日時（リアルタイム）

内蔵の時計により、年、月、日、時刻を計測しています。また、GPS ユニット AJ-GPS910G を取り付けることにより、GPS からの正確な日時で内蔵時計を補正することができます。

内蔵時計はフリーランタイムコードの電源オフ中の計測や、ユーザーズビットの時刻、年月日データとして使用されるだけでなく、クリップを記録時にファイル生成時刻の基準になり、サムネールの並びや再生順序が決まります。

またクリップメタデータや、VIDEO AUX 領域の UMID (Unique Material Identifier) の生成にも使用されます。

CTL カウンタ

CTL カウンタは、記録時はリセットしてからのトータルの記録時間を計測します。また、再生時は再生可能なクリップの先頭を基準としてカウントする値です。現在の再生位置を相対的に知る手段として使用できます。

カメラ ID

カメラ ID は 10 文字 × 3 行で設定でき、カラーバー映像に重畳して記録できます。

日時データと同時に重畳して記録することも可能です。

タイムコードおよびユーザズビットの記録

入力信号や、SYSTEMモードやカメラモードの設定によって以下ようになります。

REC SIGNAL	SYSTEM MODE	記録フレーム方式*10	サブコード領域のTC	VIDEO AUX領域のTC (VITC)	記録とプリセット時のTCのフレーム数	出力TCのフレーム数	表示TCのフレーム数	サブコード領域のUB	VIDEO AUX領域のUB (VITC UB)
CAM	1080-59.94i	60i, 30P (Over 60i)	TC MODEに従う*4	TC MODEに従う*4	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*6	VITC UB MODEに従う
		24P (Over 60i) 24PA (Over 60i)	ノンドロップフレーム固定*5	ノンドロップフレーム固定*5					フレームレート情報固定*3
		30PN (Native)	TC MODEに従う*4	TC MODEに従う*4	24	24	記録: 24 固定 再生: 30/24切替可	UB MODEに従う*6,9	フレームレート情報固定*8
		24PN (Native)	ノンドロップフレーム固定*5	ノンドロップフレーム固定*5					
	1080-50i	50i, 25P (Over 50i)	—*4	—*4	25	25	25	UB MODEに従う*6	VITC UB MODEに従う
		25PN (Native)						UB MODEに従う*6,9	フレームレート情報固定*8
	480-59.94i	60i, 30P (Over 60i)	TC MODEに従う*4	TC MODEに従う*4	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*6	VITC UB MODEに従う
		24P (Over 60i) 24PA (Over 60i)	ノンドロップフレーム固定*5	ノンドロップフレーム固定*5					フレームレート情報固定*3
	576-50i	50i, 25P (Over 50i)	—*4	—*4	25	25	25	UB MODEに従う*6	VITC UB MODEに従う
	SDI*1またはVIDEO	1080-59.94i 480-59.94i	無関係	TC MODEに従う*4	TC MODEに従う*4	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*6
1080-50i 576-50i		—*4		—*4	25	25	25		
1394	1080-59.94i 480-59.94i	無関係 (AVC-Intraは選択不可)	TC MODEに従う*2	設定によらず常にDVCPRO端子に入力されたVIDEO AUX領域のTCを記録	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*7	設定によらず常にDVCPRO端子に入力されたVIDEO AUX領域のUBを記録
	1080-50i 576-50i		—*2		25	25	25		

- *1 SDI IN端子に入力されたTC、UB値にスレーブしません。
- *2 フリーランではDVCPRO端子に入力された値にスレーブします。TC IN端子のTCにはスレーブしません。
- *3 OPTION MENUのFRAME RATE UB項目を「MENU」にすると UB MODEまたはVITC UB MODEに従って記録することが可能ですが、この場合、編集機器（パソコンの編集ソフト）で必要な情報が記録できません。
- *4 フリーランではTC IN端子に入力されたタイムコードにスレーブします。
- *5 フリーランではTC IN端子に入力されたタイムコードがノンドロップフレームの場合にスレーブします。
- *6 UB MODE項目が「EXT」に設定されていると、TC IN端子に入力されたユーザズビットにスレーブします。
- *7 UB MODE項目が「EXT」に設定されていると、DVCPRO端子に入力されたユーザズビットにスレーブします。
- *8 メニュー設定にかかわらず、いかなる場合もフレームレート情報が記録されます。再生ではプルダウンされたフレームレート情報に変換して出力されます。
- *9 UB MODEを「FRM.RATE」に設定している場合、再生時にはVAUX領域のUBから読み出したプルダウンフレームレート情報が出力されます。
- *10 この項目について、詳しくは「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」（48 ページ）を参照してください。

ユーザースピットの設定

サブコード領域に記録するユーザースピット (UB) を UB MODE 項目で、VIDEO AUX 領域に記録するユーザースピット (VITC UB) を VITC UB MODE 項目で選択します。

USER (UB MODEのみ)

内蔵しているユーザー値を記録します。ユーザー値は、表示窓を利用して入力できます。入力方法について、詳しくは「ユーザー値の入力方法」(61 ページ) を参照してください。記録されたユーザー値は、電源を切っても保持されます。

TIME

内蔵時計で計測している時刻を記録します。

DATE

内蔵時計で計測している年、月、日、時刻の「時」の桁を記録します

EXT (UB MODEのみ)

TC IN端子に入力されているユーザースピット値を記録します。ただし REC SIGNAL 項目が 1394 設定時は、DVCPRO 端子からのユーザースピット値にスレーブして記録します。

内蔵しているユーザー値もこの入力値に変わります。

TCG

タイムコード値が記録されます

FRM.RATE

カメラ撮影のフレームレート情報が記録されます。詳しくは「ユーザースピットに記録されるフレームレート情報」(61 ページ) を参照してください。

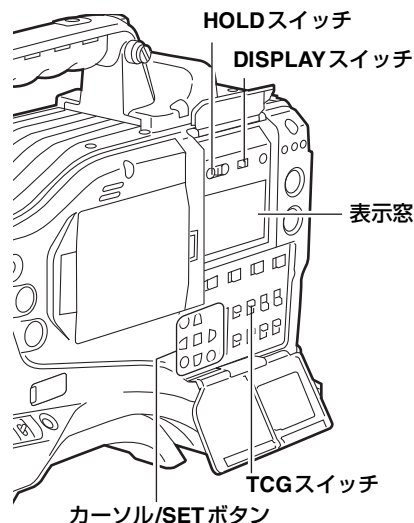
REGEN

現在記録対象となっている P2 カードに最後に記録されたユーザースピットを読み出し、その値をそのまま記録します。

USER/EXT (VITC UB MODEのみ)

内蔵しているユーザー値を VIDEO AUX 領域のユーザースピットとして記録します。UB MODE 項目を「USER」または「EXT」にしているときに表示するユーザースピットと同値です。

ユーザー値の入力方法



- 1 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
- 2 TCGスイッチを「SET」にします。
左の桁が点滅し、数値が変更可能になります。
- 3 コーソルボタンでユーザースピットを設定します。
▷ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。
◁ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。
△ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
▽ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。
- 4 TCGを「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 5 MAIN OPERATIONページから<TC/UB>画面を開き、UB MODE項目で「USER」を選択します。

◆NOTE:

- TCG スイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。
- VITC UB を確認するには HOLD スイッチを押し、表示窓に VITC UB を表示させます。

ユーザースピットのメモリー機能について

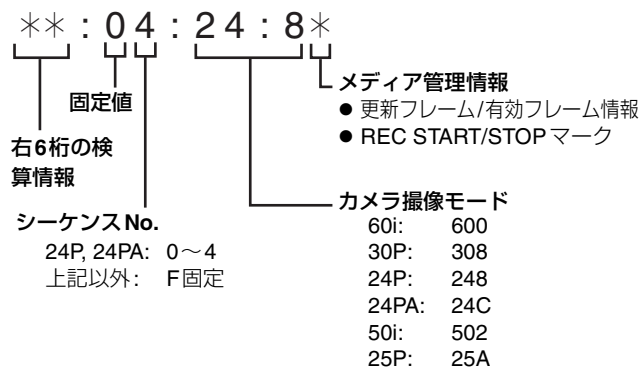
ユーザースピットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

ユーザースピットに記録されるフレームレート情報

CAMERA MODE 項目で設定されるフレームレートに従って記録される映像情報をユーザースピットに記録しておき、編集機器 (パソコンの編集ソフトなど) で利用できます。1080i と SD モードでは VIDEO AUX 領域に記録されたユーザースピットのフレームレート情報が利用されます。

フレームレート情報

フレームレートおよび映像のプルダウンと、タイムコード・ユーザーズビットの関係は以下のようになっています。



フレームレート : 24P Over 60i (2:3)

更新フレームの先頭フィールド

タイムコードフレーム桁

00 01 02 03 04 05 06 ... 23 24 25 26 27 28 29

映像

Ao Ae Bo Be Co Ce Do De Ao Ae Bo Be Co Ce Do De Ao Ae Bo Be Co Ce Do De

シーケンスNo.

0 1 2 3 4 0 1 ... 3 4 0 1 2 3 4

更新フレーム情報

10 10 01 01 00 10 10 ... 01 00 10 10 01 01 00

フレームレート : 24PA Over 60i (2:3:3:2)

タイムコードフレーム桁

00 01 02 03 04 05 06 ... 23 24 25 26 27 28 29

映像

Ao Ae Bo Be Co Ce Do De Ao Ae Bo Be Co Ce Do De Ao Ae Bo Be Co Ce Do De

シーケンスNo.

0 1 2 3 4 0 1 ... 3 4 0 1 2 3 4

更新フレーム情報

10 10 01 00 10 10 10 ... 00 10 10 10 01 00 10

フレームレート : 30P Over 60i (2:2) 25P Over 50i (2:2)

タイムコードフレーム桁

00 01 02 ...

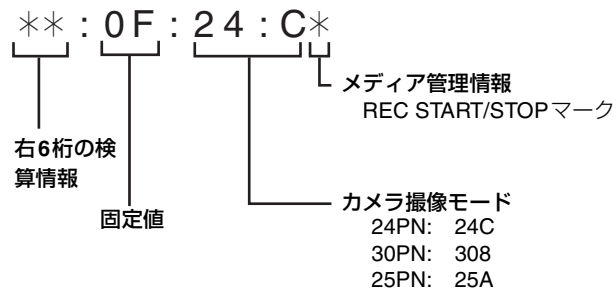
映像

Ao Ae Bo Be Co Ce ...

更新フレーム情報

10 10 10 ...

また、Native記録時のユーザーズビットのフレームレート情報は以下のようになっています。



◆ NOTE:

Native記録されたクリップの再生では、ユーザーズビットのフレームレート情報は、映像のプルダウンにあわせて変換して出力されます。

例: 記録

** : 0F : 24 : C *

再生

** : 0# : 24 : 8 *

#はシーケンスNo.0~4

内蔵時計の日付 / 時刻の設定

- 1 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
- 2 HOLD ボタンを押し表示窓にDATEを表示させます。
- 3 TCGスイッチを「SET」にします。
- 4 カーソルボタンで年月日 (Y/M/D) を設定します。
 なお、年の設定の上限は2030年です。
 ▷ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。
 ◀ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。
 △ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
 ▽ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。
- 5 HOLD ボタンを押し、表示窓にTIMEを表示させます。
- 6 カーソルボタンで時分秒 (h/min/s) を設定します。
- 7 TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。スイッチを切り替えた時から内蔵時計が動作を開始します。
- 8 HOLD ボタンを押し、表示窓にTIME ZONE (世界標準時からの時差) を表示させます。
- 9 TCGスイッチを「SET」にします。
- 10 △ ボタン、▽ ボタンで時分 (h/min) と世界標準時からの進み (無表示) / 遅れ (‘-’ 表示) を設定します。

例) 時差5:00遅れ(New York)の場合
 “05:00 -” と設定

タイムゾーンは日付/時刻とともに常にメタデータとして記録されます。
 右表を参考に現地時刻に合わせて設定してください。

- 11 TCGスイッチを、「F-RUN」または「R-RUN」にしてタイムゾーンを確定させます。

◆ NOTE:

- 本機を初めて使用する前には、必ず本設定を行ってください。また、途中で設定変更を行わないでください。
- TCG スwitchを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。

時 差	地 域	時 差	地 域
00:00	グリニッジ	- 12:00	クワジャリン
+ 00:30		- 11:30	
+ 01:00	中央ヨーロッパ	- 11:00	ミッドウェイ諸島
+ 01:30		- 10:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ	- 10:00	ハワイ
+ 02:30		- 09:30	マルケサス諸島
+ 03:00	モスクワ	- 09:00	アラスカ
+ 03:30	テヘラン	- 08:30	
+ 04:00	アブダビ	- 08:00	ロスアンジェルス
+ 04:30	カブール	- 07:30	
+ 05:00	イスラマバード	- 07:00	デンバー
+ 05:30	ボンベイ	- 06:30	
+ 06:00	ダッカ	- 06:00	シカゴ
+ 06:30	ラングーン	- 05:30	
+ 07:00	バンコク	- 05:00	ニューヨーク
+ 07:30		- 04:30	
+ 08:00	北京	- 04:00	ハリファックス
+ 08:30		- 03:30	ニューファンドランド島
+ 09:00	東京	- 03:00	ブエノスアイレス
+ 09:30	ダーウィン諸島	- 02:30	
+ 10:00	グアム	- 02:00	中部大西洋
+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド	- 01:30	
+ 11:00	ソロモン諸島	- 01:00	アゾレス諸島
+ 11:30	ノーフォーク島	- 00:30	
+ 12:00	ニュージーランド		
+ 12:45	チャタム諸島		
+ 13:00			

◆ NOTE:

- ステップ4で年月日を設定後、TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にしても、スイッチを切り換えたときから内蔵時計が動作を開始します。
 年月日、時分秒、タイムゾーンの設定中に設定をキャンセルしたい場合は、SET ボタンを押しながらTCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。正確な時刻を必要とする場合は、電源ON時に、時刻確認、再設定を行ってください。
 なお、GPSユニットAJ-GPS910Gを装着して時刻を受信できているときは、受信時刻(世界標準時)とタイムゾーンから、内蔵時計の時刻(現地の日時)を正確に保ちます。DATE、TIME表示が現地時刻とずれているときは、タイムゾーンの設定がずれている可能性があります。再度タイムゾーンの設定を確認してください。(DATE、TIMEを再設定する必要はありません)
- 内蔵時計は、本機に内蔵されたリチウム電池で数年間動作します。リチウム電池の容量がなくなると、電源ON時に「BACKUP BATT EMPTY」とビューファインダーに表示します。詳しくは「メンテナンス」(146ページ)を参照してください。

タイムコードの設定

- 1 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 2 TCGスイッチを「SET」にします。
- 3 TC MODE項目で“DF”または“NDF”に切り換えます。ドロップフレームモードでタイムコードを進ませるときは“DF”に、ノンドロップフレームモードで歩進させるときは“NDF”に設定します。ただし24P、24PA、24PN（Native）では常にNDFで動作します。
TC MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC UB>画面から選択します。

◆ NOTE:

“DF”と“NDF”の切り替えは、本機のシステム周波数を59.94 Hzに設定しているときに有効です。

- 4 カーソルボタンでタイムコードを設定します。タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29（59.94 Hz）、23:59:59:23（24PN）または23:59:59:24（50 Hz）です。

▷ ボタン : 設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。
◁ ボタン : 設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。
△ ボタン : 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
▽ ボタン : 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

- 5 TCGスイッチを切り替えます。タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。

◆ NOTE:

- 24P または 24PA でご使用時は、タイムコードの設定は5フレーム単位に、24PN（Native）では4フレーム単位に調整されます。また24P、24PA、24PN（Native）では記録中にタイムコードの設定はできません。
- TCGスイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。

タイムコードのリジエネについて

TCGスイッチをR-RUNに設定すると、P2カードに最後に記録されたクリップ（記録日時が最も新しいクリップ）の最後のフレームに記録されているタイムコードを読み出し、その値を継続して記録することができます。

またFIRST REC TC項目で“REGEN”を選択し、P2カードを抜き差ししたり、USERボタンのSLOT SEL機能で記録対象カードを変更した場合、記録対象になったP2カードの最後に記録されたクリップに、タイムコードが継続して記録されます。記録されたクリップがない場合は、本機のTCジェネレーター値から記録されます。

FIRST REC TC項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択します。

REC REVIEWによるリジエネ機能

FIRST REC TC項目で“PRESET”を選択しているときや、タイムコードを設定/リセットしたり、またはタイムコードをフリーランからレックランに切り替えた後に、P2カードに記録されたクリップの最後のタイムコードにリジエネすることが可能です。

なおこの動作を行うときは、SW MODE画面のRET SW項目を「R.REVIEW」に、TC/UB画面のREC REVIEW REGEN項目を「ON」に、それぞれ設定してください。

- 1 記録対象になっているP2カードを確認します。複数のP2カードを挿入している場合、最後に記録したクリップのタイムコードにリジエネさせるには、サムネールボタンを押してサムネール画面を開きます。

- 2 画面の最後に表示するクリップを記録したP2カードを確認し、そのP2カードで記録するよう、SLOT SEL機能を割り付けたUSERボタンでスロットを切り換えます。

- 3 レンズのRETボタンを押します。ビューファインダーに“TC REGEN”と表示されます。次に記録を行うとき、記録対象カードに最後に記録されたクリップのタイムコードにリジエネします。

◆ NOTE:

- 記録対象カードを変更すると、変更したP2カードに最後に記録したクリップのタイムコードにリジエネします。
- 記録中やフリーラン時は、この機能は使えません。

バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、動作を続けます。

なおSYSTEM MODEを変更した場合、フリーランのタイムコードがずれる場合があります。電源を再投入後、タイムコードを確認し、必要に応じて設定しなおしてください。

◆ NOTE:

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

タイムコードを外部ロックさせる

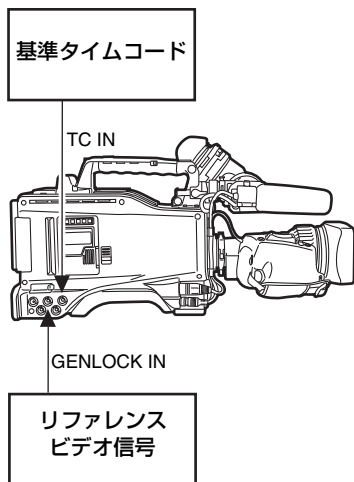
本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部のタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

外部ロックさせる為の接続例

図の様に、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

例1：

外部の信号にロックさせる場合

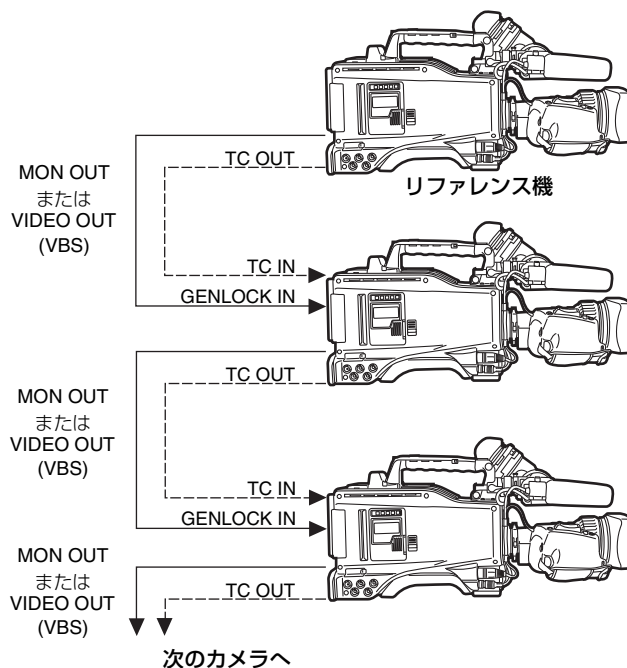


◆ NOTE:

リファレンスビデオ信号としては、HDのY基準信号のほか、コンポジットビデオ信号も入力可能です。

例2：

本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



◆ NOTE:

複数台でシステムを組む場合は、メニュー操作で SYSTEM SETTING ページから <GENLOCK> 画面を開き、GL PHASE 項目を接続する端子に合わせて設定してください。

VIDEO OUT 端子および MON OUT 端子の VBS 出力信号と、タイムコードの位相を合わせることができます。

ただし、GL PHASE 項目は、全てのカメラを同じ設定にしてください。異なる設定が混在すると、撮像タイミングが一致しなくなります。

リファレンスビデオ信号	GL PHASE項目の設定
MON OUT (VBS) VIDEO OUT (VBS)	COMPOSIT

GL PHASE 項目の設定

項目	可変範囲	備考
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	GENLOCK IN 端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。 HD SDI: HD SDI 出力信号をゲンロック入力にロックさせます。ダウンコンバーター出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン遅れます。 COMPOSIT: ダウンコンバーター出力信号をゲンロック入力にロックさせます。HD SDI 出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン進みます。

本機は、撮像素子でとらえた映像をプログレッシブ信号からインターレース信号に変換する処理が必要なため、カメラ内部で映像信号の遅延が起きます。

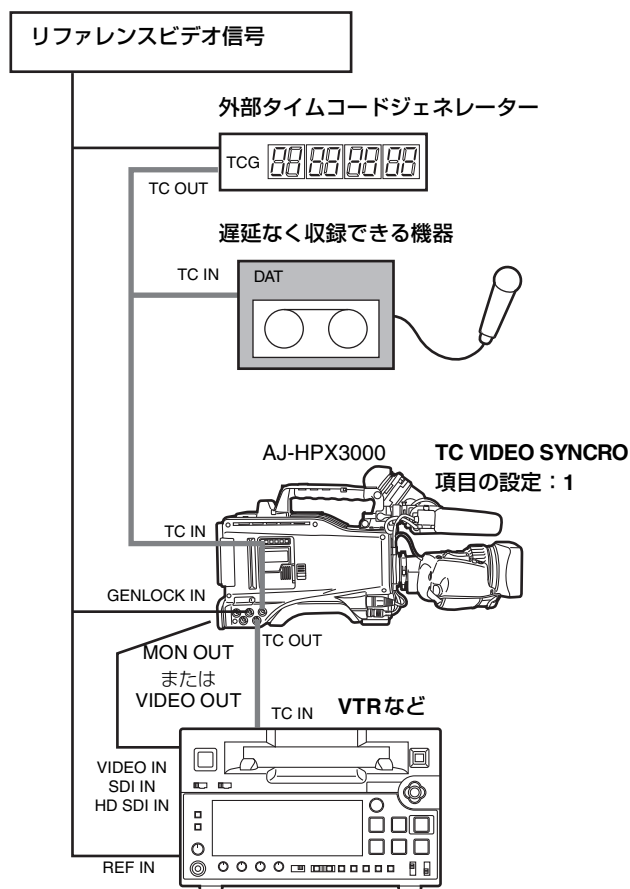
また、24P フレームから2：3 ブルダウンする処理時間が必要なため、カメラ内部で映像信号の遅延が起きます。遅延なく収録できる機器と本機を並列に接続して記録する場合、タイムコードのタイミングを合わせる必要があります。このタイミングは、MAIN OPERATION ページから<TC UB>画面を開き、TC VIDEO SYNCRO 項目で設定します。接続例を参考に設定を行ってください。

TC VIDEO SYNCRO 項目の設定

項目	可変範囲	備考
TC VIDEO SYNCRO	0	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0:補正しません。 1:映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2:映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3:映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。
	1	
	2	
	3	

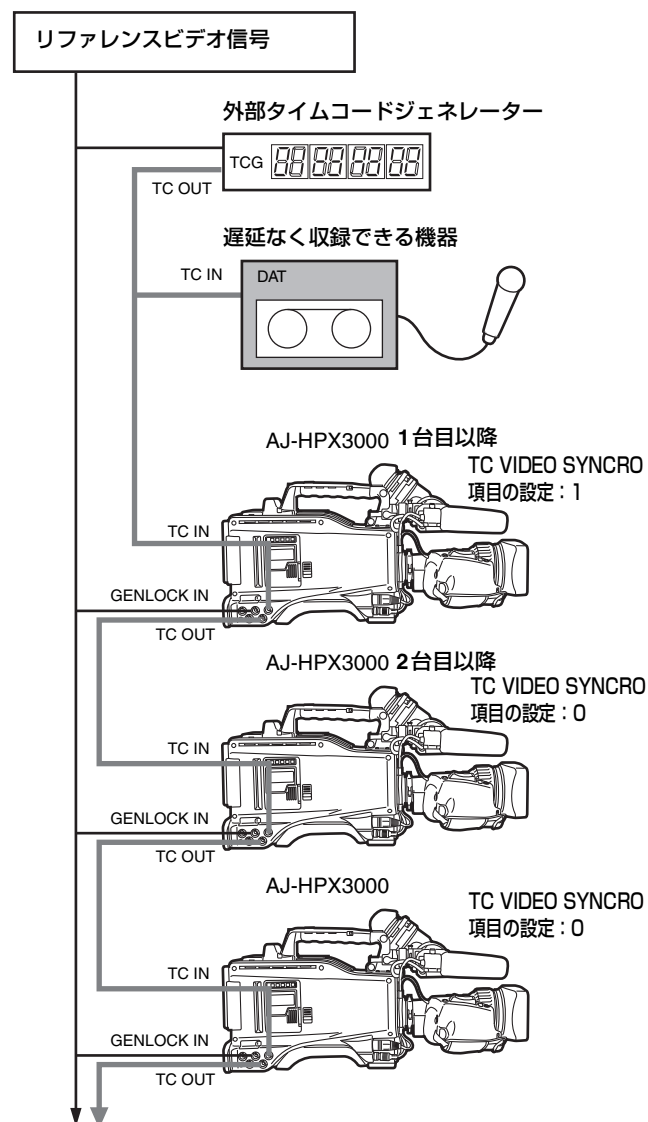
例3：

本機と外部機器を外部の外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機のTC OUT 出力信号を使用して同時記録を行う場合。



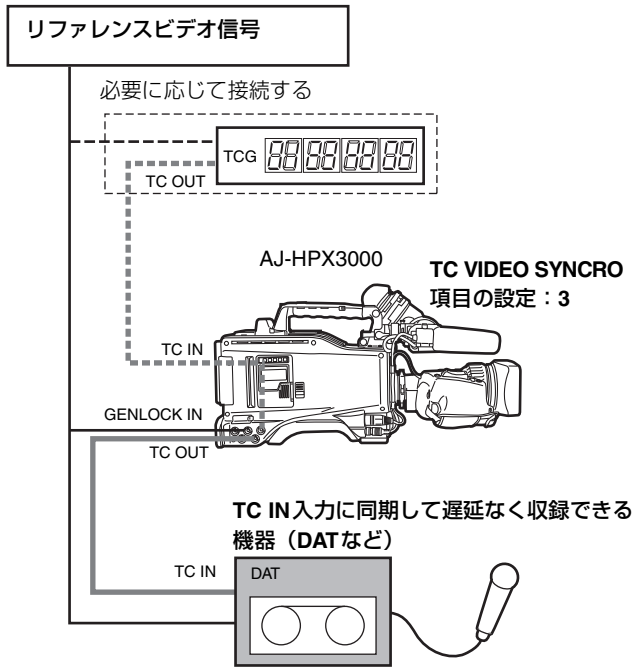
例4：

本機と外部機器を外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機を複数台カスケード接続する場合。



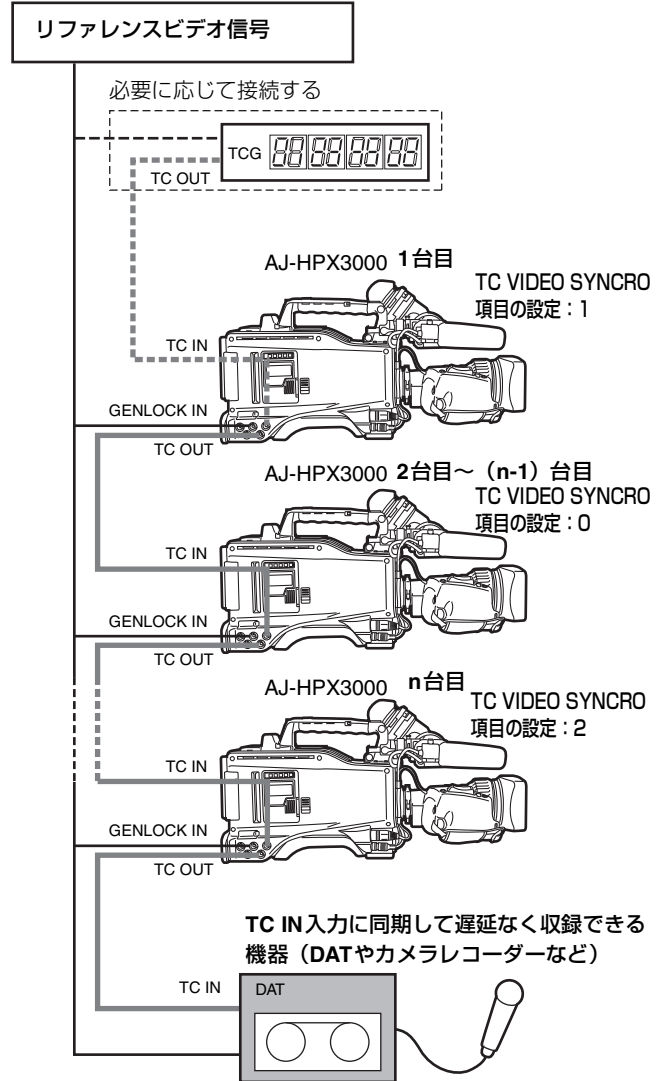
例5：

本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



例6：

カスケード接続した本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



外部ロックの操作手順

以下の手順で、外部ロックさせます。

- 1 POWERスイッチをONにします。
- 2 TCGスイッチを「F-RUN」にします。
- 3 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 4 GENLOCK項目を「EXT」に設定します。
GENLOCK項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択します。
- 5 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ供給します。

これで内蔵タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。

ロックしてから約 10 秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

◆ NOTE:

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。
- 24P、24PA、24PN (Native) で外部ロックさせるときは、必ずノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。ドロップフレームでは外部ロックできません。また外部ロックした瞬間、画像が乱れることがありますが、5フレーム周期を合わせるためであり、異常ではありません。
- 24P、24PAおよびNativeモードで記録中は、タイムコードを外部ロックすることはできません。記録前にロックしてください。また、これらのモードで、かつPRE REC MODEを「ON」でご使用の場合、記録直前にタイムコードをREC RUNからFREE RUNに切り替えたり、スレーブロックさせると乱れた映像や停止したタイムコードが記録されることがあります。
- REC SIGNAL項目で「1394」を選択していると、TC IN端子に入力されるタイムコードに同期させることはできません。REC SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

外部ロック時のユーザーズビットの設定について

TCGスイッチをF-RUNに設定した場合、タイムコードのみが外部からのタイムコードにロックされます。ユーザーズビットを外部からの入力値にロックさせるには、UB MODE項目で「EXT」、およびVITC UB MODE項目で「USER/EXT」を選択します。UB MODE項目とVITC UB MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択します。

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCGスイッチを「R-RUN」に設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替える時の注意

タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、GENLOCK IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はGENLOCKがかかります。

◆ NOTE:

- 本機をマスター機として複数台に外部ロックさせる場合は、本機のカメラモードと同一モードにする必要があります。インターレースとプログレッシブ混在等のシステムでは映像・タイムコードの連続性が保証されませんのでご注意ください。
- 本機のMON OUT端子やVIDEO OUT端子をリファレンスビデオ信号として使用する場合は、サイドパネルのOUTPUT SELスイッチを「CAM」側にしてください。

タイムコードのスーパーインポーズについて

撮影・再生中にビューファインダーや液晶モニターにタイムコードを表示させるには、メニュー<VF INDICATOR3>画面のTC項目を「TCG」、「TCR」、または「TCG/TCR」に設定します。

これらのタイムコード表示をMONITOR OUTやVIDEO OUT出力にも表示させるには、メニュー<OUTPUT SEL>画面のMONI OUT CHARA項目を「ON」に、またVIDEO OUT CHARACTERスイッチを「ON」に設定します。

なお、カラーバー表示中にタイムコードを表示させるには、メニュー<VF INDICATOR3>画面のTC ON COLOR BAR項目を「ON」に設定します。

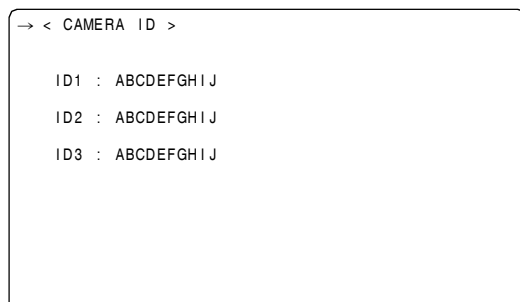
カメラ ID の設定

カメラ ID の設定は、<CAMERA ID>画面で設定します。10文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

◆ NOTE:

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラ ID は表示しません。

- 1 CAM OPERATION ページから<CAMERA ID>画面を開きます。



- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、「ID 1 : ~3 :」の項目に矢印（カーソル）を移動します。

- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が ID 入力エリアに移動して入力モードになります。

- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイヤルボタンを回します。JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース： □



アルファベット： A~Z



数字： 0~9



記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

- 5 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

- 6 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4~5の操作を繰り返して、文字を設定します。

一度入力した文字を変更する場合は、JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を修正したい文字に移動して4~5の操作を行ってください。

- 7 文字の入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

- 8 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「ID 1 : ~3 :」の項目に戻ります。

- 9 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

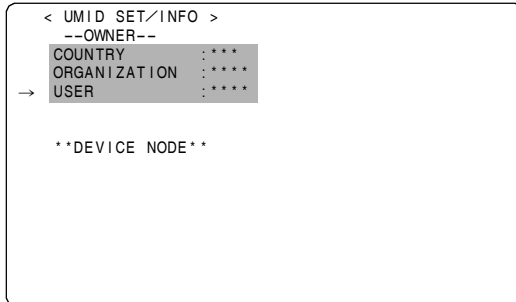
◆ NOTE:

- CAMERA ID 項目を「BAR」に設定すると、カメラ ID がカラーバー信号と同時に記録されます。CAMERA ID 項目は、VF ページの VF INDICATOR1 画面から開いてください。
- ID POSITION 項目でカメラ ID をカラーバーに重畳する位置が選択できます。ID POSITION 項目は、VF ページの VF INDICATOR1 画面から開いてください。
- TIME/DATE 項目を“ON”に設定すると、カメラ ID とともに日時情報をカラーバーに重畳して記録することが可能です。TIME/DATE 項目は、VF ページの VF INDICATOR1 画面から開いてください。
- TC ON COLOR BAR 項目を“ON”に設定すると、カラーバー出力時にタイムコードが表示されますが、タイムコードは記録されません。TC ON COLOR BAR 項目は、VF ページの VF INDICATOR3 画面から開いてください。

UMID 情報の設定

本機はメタデータのUMIDに対応しています。UMID情報として最初にユーザーの属する国名（3文字以内）と、組織名あるいは会社名（4文字以内）と、ユーザー名（4文字以内）を設定する必要があります。国名はISO3166 Country Code*1を元に入力してください。
ここではユーザー名を例に説明します。

*1 例：中国 CHN
 アメリカ USA
 カナダ CAN
 日本 JPN



- 1 MAIN OPERATIONページから<UMID SET/ INFO>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、「USER」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がUSER入力エリアに移動して入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A～Z
↓
数字： 0～9
↓
記号： '、>、<、/、-
の順に切り替わります。

◆NOTE:

COUNTRY項目のみ、選択できるのはスペースとアルファベットのみです。

- 5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定します。
一度入れた文字を変更する場合は、3の操作からやり直してください。
- 7 最後の文字まで設定してJOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「USER」の項目に戻ります。
- 8 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。

CTL カウンタの設定と表示

DISPLAYスイッチをCTLにすると、LCD表示窓のタイムカウンター表示部にCTLカウンター値を表示します。カウンター値は、ノンドロップフレームの±12時間表示です。

なお、P2カードに記録されたクリップの再生順序は、VTRのようにリニアではなく、サムネール操作やP2カードの一部入れ替えなどによってそのつど再編成され、今まで記録したクリップの位置づけが変わります。したがって記録モードと再生モードでは別々のカウンター値を表示します。

記録モードでのCTLカウンター（記録CTL）

記録モード（REC、REC/PAUSE、STOP、および REC REVIEW）では記録CTLカウンター値を表示し、前回の記録終了点の値に連続してカウントします。電源オフ後も記録CTLカウンター値は保持され、次に電源をONにした後、前の値に連続してカウントしていきます。

◆ NOTE:

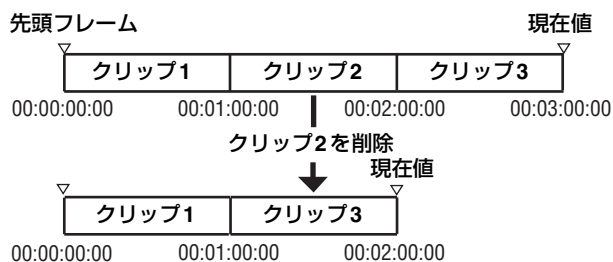
- 記録CTLカウンター値を表示中に RESET ボタンを押すと、記録CTLカウンター値のみリセットされます。ただし、REC REVIEW中はリセットできません。
- 24PN（Native）モードでは24フレームカウントします。

再生モードでのCTLカウンター（再生CTL）

再生モード（PLAY、FF、REW、PLAY/PAUSE 状態）では再生CTLカウンター値を表示します。

再生CTLカウンター値は、クリップの再生順序が変更される（記録日時順にクリップを並べ替える）たびに、今までの再生CTLカウンター値を無効にして、最初のクリップの先頭フレームを基準値として再計算して表示します。

例：



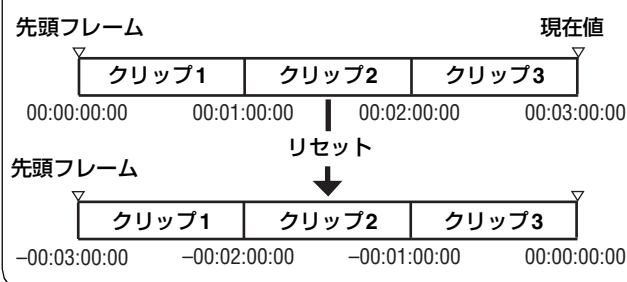
なお、クリップ再生順序の変更には、次の場合があります。

- クリップの削除、コピー、修復、P2カードのフォーマットを行った場合
- サムネール表示の切り替えを行った場合（詳しくは「サムネール表示の切り替え」（119ページ）を参照してください）
- P2カードを挿入したり、または引き抜いた場合

また、基準値（最初のクリップの先頭フレームの値）の変更には、次の場合があります。

- 電源をONした場合、先頭フレームは0になります。
- 再生CTLカウンター値をリセットした場合、現在の再生位置を0として、基準値だった箇所はマイナスの数値になります。

例：



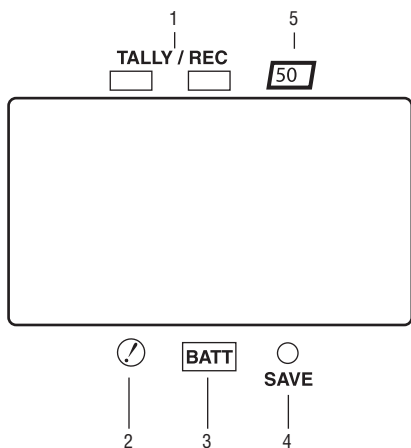
◆ NOTE:

- 再生CTLカウンター値を表示中に RESET ボタンを押すと、再生CTLカウンター値のみリセットされます。
- 24PN（Native）モードの再生では、プルダウン映像に合わせて30フレームカウントになります。

ビューファインダーの状態表示

ビューファインダー内では、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すランプや文字、メッセージ、センターマーカ、セーフティーゾーンマーカ、カメラIDなどを表示します。

ビューファインダーのランプ表示



表示例は AJ-VF20WBP の表示です。(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください)

1. TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に赤く点灯します。また、異常が発生したときには点滅します。

詳しくは「警告システム」(151 ページ) を参照してください。

2. (変則動作状態警告) ランプ

サブメニュー !LED 項目で “ON” に設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。

ランプ表示の対象となる項目の選択については、「!LED」(177 ページ) の <!LED> 画面の項目を参照してください。

3. BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。

詳しくは「警告システム」(151 ページ) を参照してください。

4. SAVE ランプ

通常時

SAVE スイッチを「ON」にし、かつ映像・音声の出力がパワーセーブされているときに点灯します。

SAVE LED 項目を “P2CARD” に設定時

SAVE LED 項目を “P2CARD” に設定していると、P2 カードの残量が少なくなったときに点滅します。

SAVE LED 項目は、メニュー操作で VF ページの <VF INDICATOR3> から選択できます。

5. 50 (50 Mbps 記録・再生) ランプ (SDビューファインダーの場合)

本機が DVCPRO50 (50Mbps) フォーマットが設定されているとき、および DVCPRO50 フォーマットで再生しているときに点灯します。

なお、工場出荷時は点灯しない設定になっています。詳しくは「VF DISPLAY」(174 ページ) の 50M INDICATOR 項目を参照してください。

状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能)

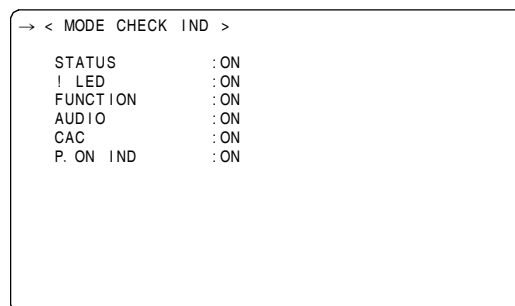
本機の名設定や状態が確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機の MODE CHECK ボタンを押すたびに、5つの画面表示が切り替わります。

STATUS画面表示→!LED画面表示→FUNCTION画面表示→AUDIO画面表示→CAC画面表示→無表示

なお、各々の画面の表示時間は約3秒です。表示中に MODE CHECK ボタンを押すと次の画面に移行します。

またメニュー操作で、VF ページの <MODE CHECK IND> 画面から、各画面表示の ON/OFF を選択することができます。



ビューファインダー画面の表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示項目の選択は、VF ページから<VF INDICATOR1>画面、<VF INDICATOR2>画面および<VF INDICATOR3>画面を開き、各々の項目で表示のON/OFFまたは種類を切り替えます。
操作方法は「メニューの基本操作」(159 ページ)を参照してください。

```

-> < VF INDICATOR1 >

EXTENDER      :ON
SHUTTER       :ON
FILTER        :ON
WHITE         :ON
GAIN          :ON
IRIS         :S+IRIS
CAMERA ID     :BAR
ID POSITION    :UPPER L
DATE/TIME     :OFF
ZOOM LVL     :ON
COLOR TEMP    :ON
SYSTEM MODE   :ON
CAMERA MODE   :ON
    
```

```

-> < VF INDICATOR2 >

CAC           :OFF
FILM REC MODE :OFF
    
```

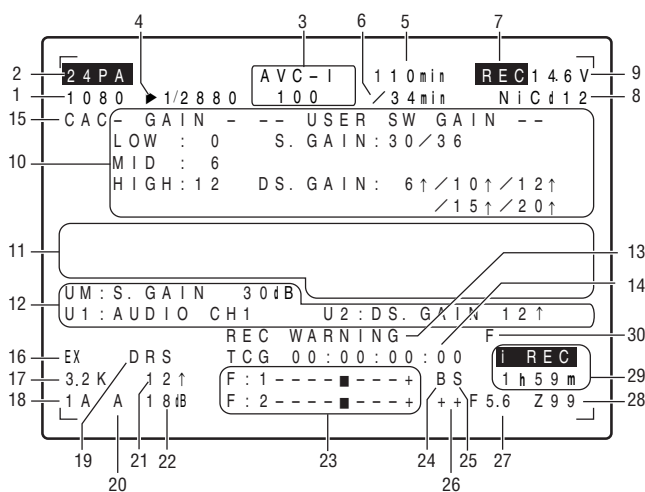
```

-> < VF INDICATOR3 >

P2CARD REMAIN :TOTAL
BATTERY       :ON
AUDIO LVL     :ON
TC ON COLOR BAR :OFF
TC            :OFF
SYSTEM INFO   :NORMAL
SAVE LED      :SAVE
REC STATUS    :OFF
PROXY REC     :OFF
P-REC/1-REC   :ON
    
```

ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できるすべての項目は、下の図のように配置されています。



詳しくは次ページ以降をご覧ください。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
1. システムモード	1080 480 576	本機が動作しているモードを表示します。 1080インターレースモード 480インターレースモード 576インターレースモード
2. カメラモード	60i 30P 24P 24PA 50i 25P	CCDから出力される信号をP2カードに記録するときや、映像信号として出力するときの映像方式を表示します。 1080-59.94iまたは480-59.94i 1080-29.97Pまたは480-29.97P 1080-23.98Pまたは480-23.98P (2-3プルダウン) 1080-23.98Pまたは480-23.98P (2-3-3-2プルダウン) 1080-50iまたは576-50i 1080-25Pまたは576-25P
3. REC MODE	AVC-I 100 AVC-I 50 DVCPROHD DVCPRO50 DVCPRO DV	記録方式を表示します。
4. シャッタースピード /モード	▶1/***.＊または▶***.0d 1/60 (1/100) ~ 1/2000、HALF	シャッタースピードがSYNCHRO SCANに設定されています。 固定のシャッタースピードが設定されています。
5. P2カード残量	***min END WP LOOP INFO P2 */＊	通常時は“***min”が点灯し、ニアエンド中は点滅します。 カードエンド時には“END”が点滅します。 P2カードにライトプロテクトがかけられているときに点灯します。 LOOP RECモードに設定されているとき点灯します。また、P2カードの残量がないなどの理由でLOOP RECできない場合は点滅します。 P2カードを認識中に表示します。 MODE CHECK時はそのとき挿入されているP2カードを合計した残量/容量を表示します。 ◆NOTE: P2CARD REMAIN項目を“ONE CARD”に設定すると、現在記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と、記録残量を表示します。 詳しくは「P2カード残量/容量表示」(79 ページ)を参照してください。
6. P2カード残量 (MODE CHECK時)	1 ***min	MODE CHECK時に、記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と、記録残量を表示します。LOOP RECモード時は標準的な記録時間(39 ページの「LOOP REC機能」を参照)を表示します。また、USERボタンで記録の対象になるP2カードを切り替えたときにも表示します。
7. 本機のREC表示	REC	1394接続で外部機器をコントロールする(1394項目をBOTHに設定する)とき、本機の記録状態をキャラクターで表示します。記録中に点灯します。 OPTION MODE画面のREC TALLY項目を“CHAR”に設定することで表示します。 また本機単体で使用時、記録中に表示することもできます。 VF INDICATOR3画面のREC STATUS項目を“ON”に設定することで表示します。
8. バッテリーの種類 (MODE CHECK時)	PRO14~AC ADPT	メニューでセレクトされているバッテリー種類を表示します。また外部DC電源を接続している場合は、AC ADPTと表示します。
9. バッテリー残量/電圧	**.＊V ***% EMP MAX	バッテリー残量を0.1V単位で表示します。 残量表示機能のあるバッテリーの残量を%で表示します。 残量表示機能のあるバッテリーの残量がないときに表示します。 残量表示機能のあるバッテリーがFULL充電時、表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
10. MODE CHECK 専用表示エリア (STATUS: マスターゲイン、 USER SW GAIN)	LOW/MID/HIGH -3~30 S.GAIN 30/36 DS.GAIN 6↑/10↑/12↑/ 15↑/20↑	マスターゲインの設定値を表示します。 例) LOW : 0 S.GAINとDS.GAINが割り当てられているゲイン値を表示します。
(ILED点灯要因:画面全体に表示します) ● ILED メニューで選択されている項目には「!」マークが付き ● 現在 ILED 点灯の対象になっている項目には「II」マークが付き	GAIN (0 dB) GAIN (-3 dB) DS.GAIN SHUTTER WHITE PRE. EXTENDER B.GAMMA MATRIX COLOR COR. FILTER	GAIN状態を表示します。 GAIN状態を表示します。 DS.GAIN値を表示します。 シャッターの状態を表示します。 ホワイトバランスの状態を表示します。 エクステンダーの状態をEX2/OFFで表示します。 ブラックガンマの状態をON/OFFで表示します。 MATRIXの状態をA/B/OFFで表示します。 COLOR CORRECTIONの状態をON/OFFで表示します。 フィルターの状態を表示します。
(FUNCTION : VIDEO OUT)	OUTPUT: MEM/CAM/OFF TYPE: HD-SDI/SD-SDI/VBS CHAR: ON/OFF	OUTPUT SELスイッチの位置を表示します。 VIDEO OUTスイッチの設定状態を表示します。 VIDEO OUT CHARACTERスイッチの位置を表示します。
(FUNCTION : MONI OUT)	OUTPUT: MEM/CAM/OFF SELECT: VBS/VF/Y CHAR: ON/OFF	OUTPUT SELスイッチの位置を表示します。 MONITOR OUT項目で設定した信号形式を表示します。 MONITOR OUT CHAR項目の設定状態を表示します。 MONITOR OUT項目およびMONITOR OUT CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。
(FUNCTION : P2CARD STATUS)	TOTAL SLOT1/SLOT2/SLOT3/SLOT4/ SLOT5 OP-SLOT	1~5のP2カードスロットに挿入されたP2カード全ての記憶残量/総容量を表示します。 一枚ごとのカードの状態と、記録残量/容量を表示します。数字はP2カードスロットの番号に対応しています。 表示するカードの状態には下記の種類があります。 ACTIVE/ACCESSING/INFO READING/FULL/PROTECTED/ NOT SUPPORTED/FORMAT ERROR/NO CARD/PROXY 各状態の内容については、「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(33ページ)を参照してください。 オプションスロットの状態を表示します。 表示するカードの状態には下記の種類があります。 PROXY/NO CARD/NOT SUPPORTED
(AUDIO : FRONT AUDIO LEVELつ まみの許可、禁止)	CH1: ON/OFF CH2: ON/OFF	FRONT AUDIO LEVELつまみの操作が、CH1に対して有効ならばON、無効ならOFFを表示します。 FRONT AUDIO LEVELつまみの操作が、CH2に対して有効ならばON、無効ならOFFを表示します。
(AUDIO : ファント ムマイク電源の状 態)	FRONT: ON/OFF REAR: ON/OFF	フロントマイクのファントム電源の状態を表示します。 リアマイクのファントム電源の状態を表示します。 詳しくは「MIC/AUDIO2」(187ページ)を参照してください。
(AUDIO : 各 CH の 入力信号とレベル)	FRONT/W.L./REAR CH1/2/3/4	各チャンネルの入力信号とレベルを表示します。
(CAC 情報 : CACの 動作状況)	CAC CONT: ON/STOP/OFF CAC MODE: AUTO/MANUAL --CONNECT LENS TYPE-- ***** --SELECT FILE TYPE-- ***** --CAC WARNING--	CACの動作状態を表示します。 CACの動作モードを表示します。 AUTO: 自動でCACファイルを選択します。 MANUAL: CACファイルNo.をメニューで選択します。 接続しているデジタルレンズのレンズIDを表示します。 CAC動作しているCACファイル名称を表示します。ただしMAINTENANCEページ、CAC ADJ画面のCAC CONTROL項目がOFFに設定されていると選択されているCACファイルが表示されます。 CACの動作が停止状態であることを表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
11. カメラ警告、 通報表示エリア (AWB、ABB、および スイッチ操作関連)	AWB A ACTIVE AWB B ACTIVE AWB A OK *.*K AWB B OK *.*K AWB BREAK *.*K AWB NG COLOR TEMP LOW COLOR TEMP HIGH LEVEL OVER LOW LIGHT TIME OVER ATW MODE AWB PRESET *.*K CHECK FILTER ABB ACTIVE ABB OK ABB BREAK ABB NG B-SHD READY B-SHD ACTIVE B-SHD OK B-SHD BREAK B-SHD NG	AchでAWB動作時に表示します。 BchでAWB動作時に表示します。 AchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 BchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 AWB動作を強制的に終了したときに表示します。 AWB動作が正常に終了しなかったときに表示します。2行目にその状態を表示します。 色温度が低すぎることを警告しています。 色温度が高すぎることを警告しています。 輝度が高すぎることを警告しています。 輝度が低すぎることを警告しています。 動作時間内に処理が実行できなかったことを警告しています。 ATW動作中のため、AWBが実行できないときに表示します。 AWBスイッチがPRSTに設定されているか、スーパーゲインが設定されており、AWBが実行できない場合に表示します。 電源投入時およびAWB動作時、フィルター切り替えつまみの位置の再確認を警告しています。 ABB動作時に表示します。 ABB動作が正常に終了したときに表示します。 ABB動作を強制的に終了したときに表示します。 ABB動作が正常に終了しなかったときに表示します。 ABB動作中、ABBスイッチの長押しでブラックシェーディング動作を受け付けたときに表示します。 ブラックシェーディング動作時に表示します。 ブラックシェーディング動作が終了したときに表示します。 ブラックシェーディング動作を強制終了したときに表示します。 ブラックシェーディング動作が正常に終了しなかったときに表示します。
(スイッチ切り換え表示)	WHITE: # *.*K AUTO KNEE: ON/OFF DRS:ON/OFF GAIN: **dB SS: 1/*****または**.*deg SS: ▶ 1/*****または ▶**.*.0d CC: ***** *K ND: * EXTENDER: ON/OFF IRIS: ** F *.*	WHITE BALスイッチを切り替えたとき、表示します。#にはA/B/ PRSTのいずれかが表示されます。 AUTO KNEEスイッチをONまたはOFFに割り付け、AUTO KNEEスイッチをON/OFFしたときに表示します。 AUTO KNEEスイッチをDRSに割り付け、AUTO KNEEスイッチをON/OFFしたときに表示します。 GAIN切り換えスイッチやUSERボタンでGAINを切り替えたときに表示します。 シャッタースピードを切り替えたとき、その値を表示します。 シャッタースピードがシンクロスキャンを選択したときに表示します。 CCフィルターを切り替えたときに表示します。 NDフィルターを切り替えたときに表示します。 レンズエクステンダがON/OFFされたときに表示します。 アイリスオーバーライドの補正值を変化させるときに表示します。
(LOW LIGHT 警告表示)	LOW LIGHT	輝度が低下したとき、表示します。
(Y GETの値)	***.*%	Y GET ON時、センターマーカー付近の出力輝度レベルを%表示します。
(MARKER表示)	MKR: A/B/OFF	現在表示しているマーカーの種類を表示します。
12. USERボタンの 割り当て情報 UM: USER MAIN ボタン U1: USER1 ボタン U2: USER2 ボタン	INH S.GAIN **dB/OFF DS.GAIN ** ↑/OFF S.IRIS ON/OFF I.OVR ON/OFF S.BLK - **/OFF B.GAMMA ON/OFF AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET ON RET SW SLOT SEL PRE REC USB HOST/DEVICE/OFF DRS ON/OFF ASSIST ON/OFF C.TEMP ON/OFF	USERボタンを動作させないとき、INHを表示します。 選択されたS.GAINを表示します。 選択されたDS.GAINを表示します。 S.IRISのON/OFFを表示します。 IRIS OVERRIDE設定が可能 (ON) なとき、表示します。 SUPER BLACKのON/OFFを、またON時は設定値も表示します。 BLACK GAMMA (黒レベルの階調補正) のON/OFFを表示します。 音声チャンネル1に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 音声チャンネル2に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 USERボタンがRECスイッチとして機能しているとき、表示します。 Y GET機能がONのとき表示します。 USERボタンがRETスイッチとして機能しているとき、表示します。 記録対象カードを切り替えるスイッチに設定されているとき、表示します。 PRE RECORDINGモードが切り替えられたときに表示します。 USBの動作状態を切り替えたときに表示します。 ダイナミックレンジストレッチャー機能のON/OFFを表示します。 フォーカスアシスト機能のON/OFFを表示します。 色温度をJOGダイヤルボタンで変更するモードのON/OFFを表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
13. システム情報、および警告	SYSTEM ERROR-**	内部マイコンの通信や基準信号などの異常が発生したときに表示します。以後、記録・再生はできません。**にはエラーコードを表示します。詳しくは「エラーコード」(153 ページ) を参照してください。
	TURN POWER OFF	記録/再生中やフォーマット中など、P2カードにアクセス中にP2カードを取り出し、それ以降の動作ができなくなった場合に表示します。
	CARD ERR *	記録/再生中にP2カードにエラーが発生した場合に表示します。*には、エラーが発生したP2カードのスロット番号を表示します。
	REC WARNING	記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示します。
	OVER MAX# CLIPS	P2カード内に記録できるクリップ数の最大値(1000個)を超えて記録しようとしたときに表示します。
	BACKUP BATT EMPTY	バックアップ電池の交換時期です。
	FAN STOP	ファンがロックし、停止しているときに表示します。
	WIRELESS-RF	ワイヤレスからのRF信号が低下しています。
	EOM	P2カードの記憶容量がないときに表示します。
	BOS	再生位置が全クリップの先頭にあるときに表示します。
	EOS	再生位置が全クリップの最後にあるときに表示します。
	CANNOT REC	電源をONにした直後やP2カード挿入後など、P2カードに記録ができないときに表示します。詳しい情報はMODE CHECKのFUNCTION画面で確認できます。MODE CHECK専用エリアを参照してください。
	CANNOT PLAY	クリップがP2カード上にない、P2カードが挿入されていないなどで、再生できないときに表示します。
	COMM ERROR	マイコン間の通信が、一定時間以上不通になったときに表示します。
	TEXT MEMO	テキストメモを記録したときに表示します。
	TEXT MEMO INVALID	テキストメモを記録できなかったときに表示します。
	MARK ON/OFF	ショットマークを付加/消去したときに表示します。ショットマークについては「ショットマーク機能」(46 ページ) を参照してください。
	SHOT MARK INVALID	ショットマークが付加できないときに表示します。
	UPDATING	再生のためのクリップ情報を更新中で、再生動作を受け付けられない状態のときに表示します。
	USB DEVICE	USBデバイスモードに設定されているときに表示します。通信できていないときには点滅します。
	USB HOST	USBホストモードに設定されているときに表示します。外部ハードディスクが正常に認識できていないときには点滅します。
	THUMBNAIL OPEN	サムネイル操作中に表示します。
	1394 INITIAL ERROR	DVCPRO端子の接続状態に異常があるときに表示します。
	PROXY REC P2&SD	プロキシをP2カードおよびSDメモリーカードに記録開始したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時、VF INDICATOR3画面のPROXY REC項目をONにしたとき)
	PROXY REC P2	プロキシをP2カードに記録開始したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時、VF INDICATOR3画面のPROXY REC項目をONにしたとき)
	NEAR END (SD)	プロキシを記録中、SDメモリーカードの記憶残量が残り1分未満になると表示します。(AJ-YAX800G装着時)
EOM (SD)	プロキシをSDメモリーカードに記録中、SDメモリーカードの記憶容量がなくなったときに表示します。(AJ-YAX800G装着時)	
PROXY CARD ERROR	ビデオエンコーダーカードの異常、またはストリームの異常が発生し、プロキシ記録を中止したときに表示します。ビデオエンコーダーカードの点検を行うか、プロキシ記録を行わないでください。(AJ-YAX800G装着時)	
SD CARD WRITE ERR	プロキシを記録中、SDメモリーカードに異常が発生し、SDメモリーカードへの記録のみを中止したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時)	
CLIP DISCONTINUED	ONE CLIP RECモードでの記録時、連続クリップとしての整合性がとれず、次の記録操作でクリップの連結ができない場合に表示します。	
CANNOT DISP IN VF	ビューファインダーにリターン映像や再生、外部入力映像を出力できないときに表示します。	
TC REGEN	レンズのRETボタンを押して、タイムコードがP2カードに記録された最後のクリップのタイムコードにリジェネしたときに表示します。	
SLOT SELECT	SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押し、P2カードの記録スロット切り替え処理を行っている間に点滅します。	
SLOT SELECT INVALID	SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押したとき、P2カードの記録スロット切り替えができないときに表示します。	
DIR NG CARD	ディレクトリ配置が不正規のP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。	
RUN DOWN CARD	規定の書き換え回数を越えたP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。	
14. タイムコード表示	TCG 12:59:59:20	TCG(タイムコードジェネレーター値)を表示します。
	TCR 12:59:59:20	TCR(タイムコードリーダー値)を表示します。
	(V)UBG AB CD EF 00	UBG VUBG(ユーザーズビットジェネレーター値)を表示します。
	(V)UBR 12 34 56 78	UBR VUBR(ユーザーズビットリーダー値)を表示します。
	CTL ー1:59:59:20	CTLカウンター値を表示します。
15. 色収差補正	CAC	色収差補正が動作しているときに表示します。
16. エクステンダ	EX	レンズエクステンダが使用されているときに表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
17. 色温度	*.*K	WHITE BALスイッチのA、B、PRSTに割り付けられた色温度を表示します。 (AWB実行時のメモリー値の場合と、メニュー設定値の場合があります) ATW MODEのときは表示しません。
18. フィルター ポジション	1~4 A~D ■ (点滅)	NDフィルターの位置を表示します。 CCフィルターの位置を表示します。 フィルターポジションが正規の位置に設定されていません。
19. ダイナミックレンジ ストレッチャー モード	DRS	高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能が 選択されたときに表示します。
20. WHITE BAL スイッチポジション	A B P	WHITE BALスイッチが「A」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「B」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「PRST」に設定されています。
21. 蓄積ゲイン表示	6↑/10↑/12↑/15↑/20↑	蓄積GAIN (DS.GAIN) が働いているとき、その値を表示します。
22. ゲイン値	*.*dB	現在のGAIN値を表示します。
23. AUDIO入力系統と レベルメーター	----■-----+ F W R	選択したチャンネルとそのオーディオレベルを表示します。 AUDIO INスイッチがFRONTのときに表示します。 AUDIO INスイッチがW.L. (ワイヤレス) のときに表示します。 AUDIO INスイッチがREARのときに表示します。
24. スーパーブラックON	B	スーパーブラックがONの時に表示します。
25. スーパーアイリスON	S	スーパーアイリスがONの時に表示します。
26. アイリスオーバーラ イド表示	++ + --- — (無表示)	アイリスオーバーライドが働いている時、その補正段階を表示します。 ++ : 1絞り程度開く + : 0.5絞り程度開く --- : 1絞り程度閉じる — : 0.5絞り程度閉じる 無表示 : 基準状態
27. アイリス、F値	NC OPEN F1.7~F16 CLOSE	レンズケーブルが接続されていないときに表示します。 レンズの絞りが開放されているときに表示します。 レンズの絞り値を表示します。 レンズの絞りが閉じているときに表示します。 ◆NOTE: 絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されます。また、 アイリスオーバーライド可変中は点滅します
28. ズーム表示	Z00~Z99	ズーム量を表示します。ただし、ズームポジションのリターンがないレンズ の場合、表示設定がONになっていても、この項目は表示しません。
29. INTERVAL REC/ PRE RECORDING などの情報表示	I I REC (点滅) I REC (点滅) **h**m/**s P-REC (点滅) P-REC (点灯) 1-CLIP 1*CLIP START 1*CLIP END 1-CLIP SD **h**m END	INTERVAL RECモード時、動作スタート前/終了後に表示します。 INTERVAL REC実行中に表示します。 INTERVAL REC待機中、次の記録までの待機時間を表示します。 記録停止したあと、P2カードに完全に映像・音声記録し終わるまでの間、 表示します。完全に点滅表示が消えるまでは、P2カードの抜き取りや電源 OFFなどは行わないでください。 ◆NOTE: 「P-REC」点滅はPRE RECORDING機能の設定に関わらず表示されます。 PRE RECORDING機能をONに設定時、MODE CHECKボタンを押すと点灯 します。またPRE RECを割り当てたUSERスイッチを押して、PRE RECORDINGモードに切り替えたとき、その状態を表示します。 ONE CLIP REC モードがON で、新たなクリップがこれから記録される状態 のときに表示します。 ONE CLIP RECモードがONで、前のクリップに連結して記録が可能な状態 のときに表示します。 ◆NOTE: P2カードを抜いたり、クリップを削除したりして、連結元のクリップがな くなった場合は、次回記録は、新たなクリップが記録される状態となりま す。このような場合、表示は「1*CLIP」のままとなることがあります。 ONE CLIP RECモードで新たなクリップを記録開始したときに表示します。 ONE CLIP RECモードでクリップの連結を終了したときに表示します。 ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着し、SDメモリー カードにプロキシ記録を行っているときに、MODE CHECKボタンを押すと、 SDメモリーカードの記憶残量を表示します。 残量がなくなるとENDと表示します。
30. FILM-REC	F	GAMMA MODE SELでFILM-RECが選択されたときに表示します。

P2カード残量/容量表示

本機の状態	記録状態	P2CARD REMAIN 項目*1	5.P2カード残量の表示*2	6.P2カード残量 (MODE CHECK時)の表示*2
通常時	LOOP RECモード 以外	TOTAL	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量を表示します。(単位は分) 例：30min	表示しません。
		ONE CARD	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量を表示します。(単位は分) 例：1 8min	表示しません。
		OFF	表示しません。	表示しません。
	LOOP RECモード	TOTAL/ONE CARD	「LOOP」と表示します。	表示しません。
		OFF	表示しません。	表示しません。
MODE CHECK中	LOOP RECモード 以外	TOTAL/ONE CARD/ OFF	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量/合計容量を表示します。(単位は分) 例：20/40	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量を表示します。(単位は分) 例：1 8min
	LOOP RECモード		「LOOP」と表示します。	標準的な記録時間を表示します。(単位は分) 例：7min

*1 P2CARD REMAIN項目はVFページの<VF INDICATOR3>画面から選択します。

*2 残量および容量が999min以上の場合は、999minと表示します。

ビューファインダー画面の表示選択

	メニューで表示/ 非表示を選択	該当の状態に なった時 状態を表示	MODE CHECK で表示*1	表示を消すこと ができる	再生時表示する
1. システムモード	○	—	●	○	—
2. カメラモード	○	—	●	○	—
3. REC MODE	○	—	●	○	—
4. シャッタースピード/モード	○	○	●	○	—
5. P2カード残量	○	—	●	○	—
6. P2カード残量 (MODE CHECK)	—	—	●	○	—
7. 本機のREC表示	○	○	—	○	—
8. バッテリーの種類 (MODE CHECK)	—	—	●	○	—
9. バッテリー残量/電圧	○	—	●	○	—
10. MODE CHECK専用表示エリア	—	—	○	○	—
11. カメラ警告、通報表示エリア	—	○	○	○	—
12. USERボタンの割り当て情報	—	○	○	○	—
13. システム情報、および警告	○	○	●	○	○
14. タイムコード表示	○	—	●	○	○
15. 色収差補正	○	○	●	○	—
16. エクステンダ	○	○	●	○	—
17. 色温度	○	○	●	○	—
18. フィルターポジション	○	—	●	○	—
19. ダイナミックレンジストレッチャーモード	○	—	●	○	—
20. WHITE BALスイッチポジション	○	—	●	○	—
21. 蓄積ゲイン表示	○	—	●	○	—
22. ゲイン値	○	—	●	○	—
23. AUDIO入力系統とレベルメーター	○	—	4ch全入力情報	○	—
24. スーパーブラックON	○	○	●	○	—
25. スーパーアイリスON	○	○	●	○	—
26. アイリスオーバーライド表示	○	○	●	○	—
27. アイリス、F値	○	—	●	○	—
28. ズーム表示	○	—	●	○	—
29. INTERVAL REC/PRE RECORDINGなどの 情報表示	○	○	●	—	—
30. FILM-REC	○	○	●	○	—

*1 ○: VFページの<MODE CHK IND>画面のSTATUS項目をOFFに設定していると、表示しません。

●: メニューの設定にかかわらず、表示します。

表示モードと設定変更 / 調整結果メッセージ

ビューファインダーに表示する、設定変更の内容や調整結果を知らせるメッセージは、DISP MODE 項目の設定によって、表示する項目を一部に絞るか、全くしないかなどの表示方法を選択できます。DISP MODE 項目は、VF ページの <VF DISPLAY> 画面から選択します。

操作方法は「メニューの基本操作」(159 ページ) を参照してください。

```

-> < VF DISPLAY >
DISP CONDITION :NORMAL
DISP MODE      :3
VF OUT         :Y
VF DTL         :0.5
ZEBRA1 DETECT  :0.70%
ZEBRA2 DETECT  :0.85%
ZEBRA2         :SPOT
LOW LIGHT LVL  :3.5%
RC MENU DISP.  :OFF
50M INDICATOR  :OFF
MARKER/CHAR LVL :5.0%
SYNCHRO SCAN DISP. :sec
    
```

設定変更 / 調整結果メッセージと DISP MODE 項目の設定

メッセージを表示する状況	メッセージ	DISP MODE 項目の設定		
		1	2	3
CCフィルター/NDフィルターの選択を変更したとき	FILTER : n (n=1, 2, 3, 4)、m (m=A, B, C, D)	×	×	○
ゲインの設定を変更したとき	GAIN : n dB (n= -3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30)	×	×	○
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE : n (n=A, B, PRE)	×	×	○
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」または、「OFF」に設定したとき	AUTO KNEE : ON (またはOFF)	×	○	○
シャッタースピード/モードの設定を変更したとき	SS : 1/100 (または1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, ▶1/**.*または▶***.0d)	×	○	○
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB A OK 3.2 K	×	○	○
ブラックバランスを調整したとき (ABB)	例) ABB OK	×	○	○
エクステンダが選択されたとき	例) EXTENDER ON	×	×	○
USER ボタンが選択されたとき	例) UM : S.GAIN 30 dB	×	○	○
MARKER SELECT ボタンが選択されたとき	例) MKR : A	×	×	○
IRIS OVERRIDE 状態になったとき	例) ++ F 5.6	×	○	○
CAC レンズをつないだとき、あるいは外したとき	例) CAC LENS DATA INVALID	×	○	○

○ : 表示します。
× : 表示しません。

マーカー表示の設定

センターマーカー、セーフティゾーンマーカー、セーフティゾーンエリア、フレームマーカーの表示のON/OFFおよび種類を選択します。選択は、VFページから<VF MARKER>画面を開き、各項目で表示モードを選択します。操作方法は「メニューの基本操作」(159 ページ)を参照してください。

-> < VF MARKER >		MKR: A
TABLE	: A	
CENTER MARK	: 1	
SAFETY MARK	: 2	
SAFETY AREA	: 90%	
FRAME MARK	: OFF	
FRAME SIG	: 4:3	
FLAME LVL	: 15	

◆ NOTE:

右上のMKR:A表示が現在の表示状態を示します。TABLE Bを確認するときはMARKER SELECT ボタンを押してMKR:Bにすると、その設定条件が確認できます。

マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)

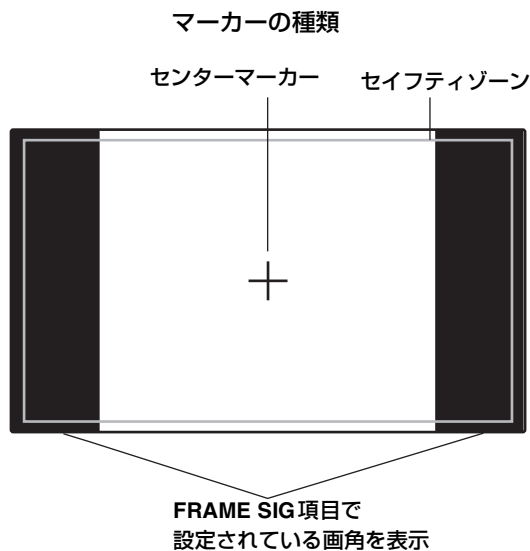
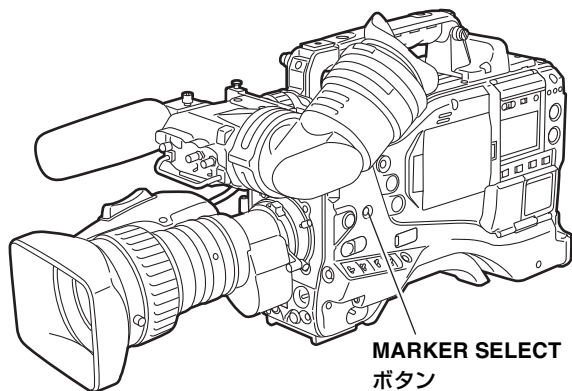
本機のマーカー状態が確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機のMARKER SELECT ボタンを押すごとに、

A マーカー表示→B マーカー表示→無表示

と、表示が切り替わります。

例えば、Aのマーカー情報としてFRAME SIG項目を16:9に設定し、Bのマーカー情報としてFRAME SIG項目を4:3に設定すると、必要に応じてこのボタン操作で16:9の画角と4:3の画角の確認等が簡単にできます。



リターンビデオ信号のビューファインダーでの確認

レンズのRET ボタンを押している間、GENLOCK IN端子に入力されたリターンビデオ信号をビューファインダー上で見ることができます。

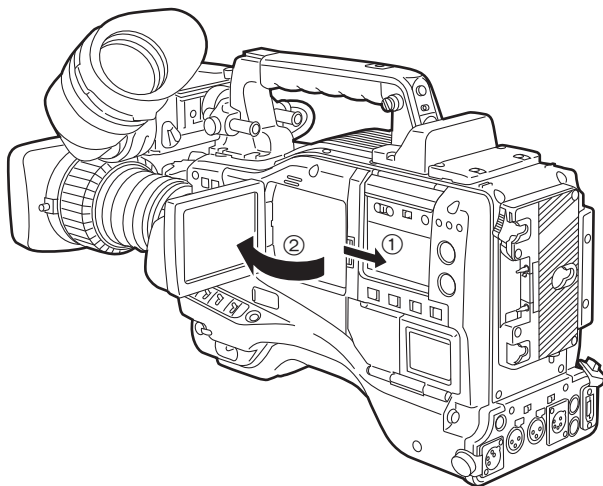
本機能を動作させるには、RET SW項目でCAM RETを選択します。RET SW項目は、CAM OPERATIONページの<SW MODE>画面から選択します。

< SW MODE >	
-> RET SW	: R REVIEW
S. BLK LVL	: -10
AUTO KNEE SW	: ON
SHD. ABB SW CTL	: ON
COLOR BARS	: SMPTE
S. GAIN OFF	: L/M/H
DS. GAIN OFF	: DS. GAIN
RC CHECK SW	: R REVIEW

液晶モニターの調整と設定

液晶モニターを使う

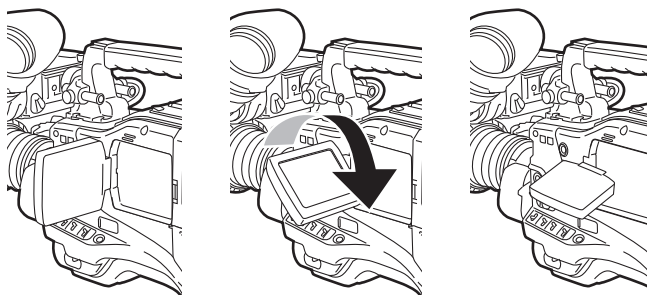
- 1 本機のPOWERスイッチをONにします。
- 2 OPENボタンを矢印①の方向に押し、液晶モニターを矢印②の方向に開きます。



- 3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にします。レンズ方向に180°、手前方向に90°まで回転します。

◆NOTE:

開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。



- 4 BRIGHTNESS項目で画面の明るさを、COLOR LEVEL項目で画面の色濃度を、CONTRAST項目で画面のコントラストを表示します。各項目はSYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択します。

```
→ <LCD MONITOR>
BRIGHTNESS :+0
COLOR LEVEL :+0
CONTRAST    :+0
BACKLIGHT  :NORMAL
SELF SHOOT  :MIRROR
```

- 5 メニューのLCD MON CHAR項目で、液晶モニターにビューファインダーと同じキャラクター表示をするかどうかを設定します。

LCD MON CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。

```
<OUTPUT SEL>
OUTPUT ITEM :MENU ONLY
MONITOR OUT :VBS
MONITOR OUT CHAR:OFF
→ LCD MON CHAR :ON
VF MODE     :MEM
THUMBNAI L OUT :OFF
```

◆NOTE:

- 液晶モニターを閉じるときは、確実に閉じてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

対面撮影について

液晶モニターをレンズ側に180°回転させて撮影を行うとき、SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択すると、液晶モニターの映像を左右反転して表示します。鏡を見ているイメージでの撮影が可能になります。

ただし、左右反転されるのは液晶モニターの表示のみです。記録は正常どおり行われます。

SELF SHOOT項目は、SYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択します。

◆NOTE:

- SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択した状態で液晶モニターを180°回転させた場合、LCD MON CHAR項目の設定にかかわらず、液晶モニターにはビューファインダーと同様の状態表示は行いません。
- GENLOCK IN端子からのリターン信号を液晶モニターに出力することはできません。
- HDモードでは、OUTPUT SELスイッチを「CAM」にしている場合、液晶モニターに再生映像を出力することはできません。再生映像はHDビューファインダーでご確認ください。

映像出力信号の選択

本機は、映像出力用の端子として、VIDEO OUT端子とMON OUT端子を備えています。

VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定

VIDEO OUTスイッチでVIDEO OUT端子から出力する信号のモードを切り替えます。

HD SDI :

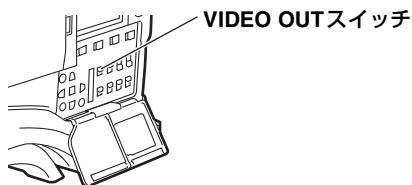
HD SDI 信号を出力します。本機がSDモードに設定されている場合、SD-SDI信号を出力します。

SD SDI :

SD SDI信号を出力します。(HDモード時はダウンコンバートします)

VBS :

コンポジットビデオ信号を出力します。(HDモード時はダウンコンバートします)



OUTPUT SEL スイッチで MON OUT 端子および VIDEO OUT端子から出力する信号を切り替えます。

ただし、記録中は切り替え動作を受け付けません。

MEM :

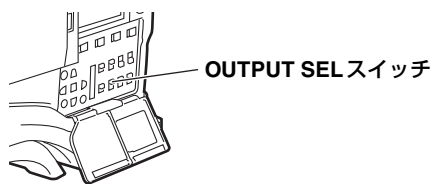
記録などEE時は、カメラ映像を出力し、再生時はP2カードの再生信号を出力します。

CAM :

常にカメラ映像を出力します。

OFF :

VIDEO OUT端子、MON OUT端子から信号を出力しません。



VIDEO OUT CHARACTERスイッチとメニューのOUTPUT ITEM項目 (SYSTEM SETTING ページの<OUTPUT SEL>画面) で、VIDEO OUT端子から出力する信号にスーパーインポーズするキャラクターを設定します。



項目	可変範囲	備考
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	VIDEO OUT端子の出力信号に、スーパーインポーズするキャラクター内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの操作を行っているときだけ、メニュー画面をスーパーインポーズします。通常は、何も表示しません。 TC: タイムコードをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。) STATUS: ビューファインダー画面にスーパーインポーズしているキャラクターと同じものをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。)

MON OUT 端子から出力する信号の設定

MON OUT 端子からはダウンコンバートされたアナログ信号が出力されます。

メニューのMONITOR OUT項目（SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面）で、MON OUT端子から出力する映像信号を設定します。

項目	可変範囲	備考
MONITOR OUT	VBS VF Y	MON OUT端子から出力する映像信号を設定します。 VBS: アナログコンポジット信号を出力します。 VF: ビューファアに出力される Y 信号を出力します。ステータス画面も重畳されます。 Y: アナログY信号を出力します。

メニューのMONITOR OUT CHARA項目（SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面）で、MON OUT端子から出力するVBS信号に、キャラクターをスーパーインポーズするかどうかを設定します。

項目	可変範囲	備考
MONITOR OUT CHARA	ON OFF	MON OUT端子のVBS出力信号に、キャラクターをスーパーインポーズするかどうかを設定します。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。 ◆NOTE: VIDEO OUT CHARACTERスイッチには、連動しません。

SDI OUT/IN (OP) 端子から出力する信号の設定

SDI OUT/IN (OP) 端子からはVIDEO OUT端子から出力されるSDI信号と同じ信号が出力されます。

出力信号の切り替えはVIDEO OUT端子から出力する信号の設定（83ページ参照）によります。

ただしVIDEO OUTスイッチが「VBS」に設定されているときは、メニューのSYSTEM MODEの設定により決定します。

SYSTEM MODE	VIDEO OUTスイッチの位置	SDI OUT/IN (OP) 端子出力信号
1080-59.94i 1080-50i	HD SDI	HD SDI
	SD SDI	SD SDI
	VBS	HD SDI
480-59.94i 576-50i	HD SDI	SD SDI
	SD SDI	SD SDI
	VBS	SD SDI

データの取り扱い

設定データファイル構成

本機には、6個のファイルデータ領域があります。

FACTORYデータ：

工場出荷状態を記憶しています。
メニュー操作により書き換えることができません。

USERデータ：

メニュー操作により設定した値を記憶する領域です。
工場出荷の時点では、FACTORYデータが記憶されています。

CURRENTデータ：

本機の動作状態を記憶しています。
メニュー操作により、この領域の設定値を変更します。

SCENEファイル：

4個のシーンファイルを備えています。

LENSファイル：

8個のレンズファイルを備えています。

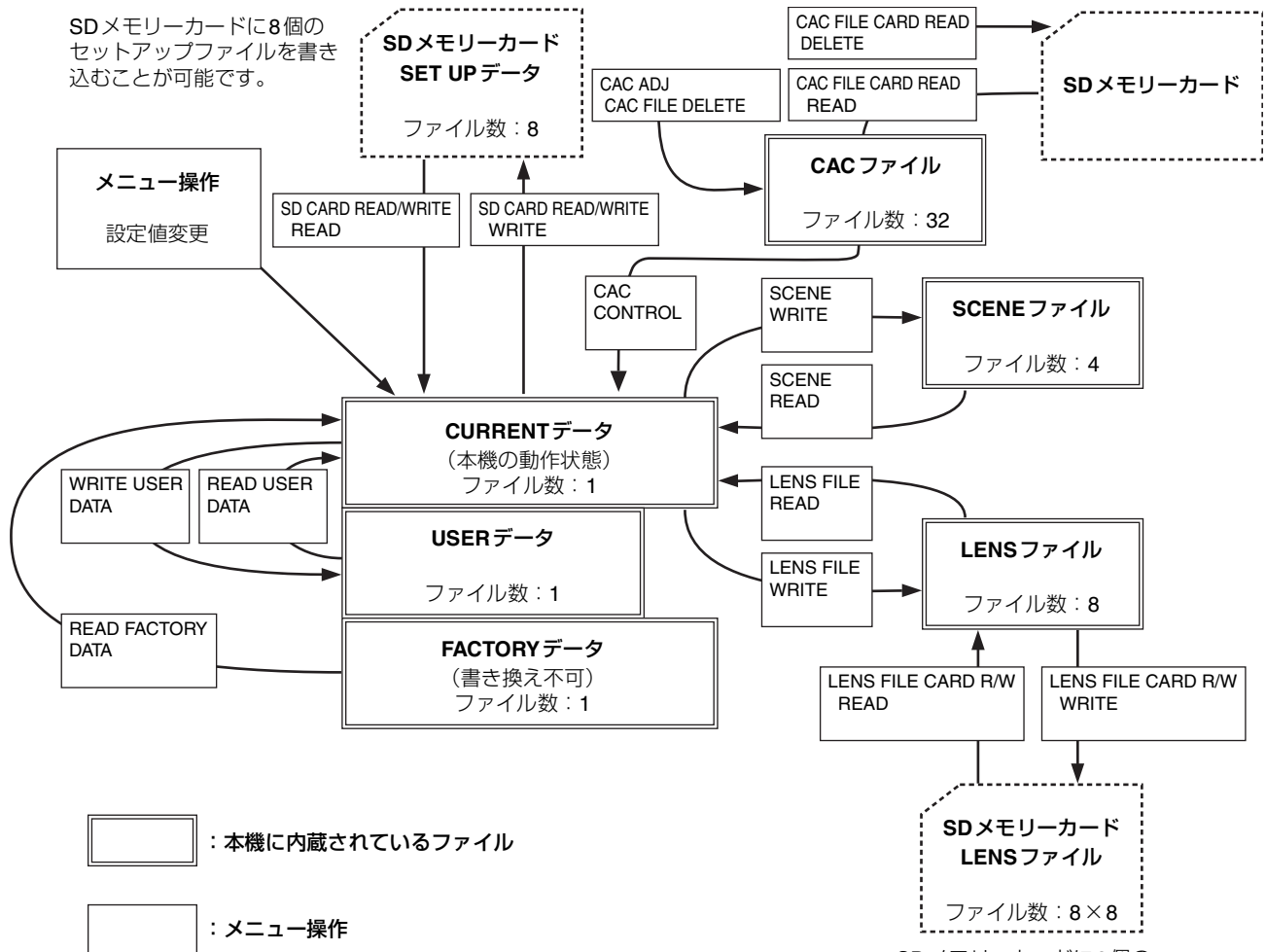
CACファイル：

32個の色収差補正データ領域を備えています。

各領域からの読み出し、または各領域への記憶が可能なメニュー項目は、「メニュー」(157ページ)を参照してください。

◆ NOTE:

- 本項目でのメニュー操作については「メニューの基本操作」(159ページ)を参照してください。
- 各設定データファイルの操作はPC MODE項目を“OFF”に設定してから行ってください。本機をUSB DEVICEモードで使用中に各設定データファイルの操作を行うと、エラーになる恐れがあります。PC MODE項目はSYSTEM SETTINGページ、<SYSTEM MODE>画面から操作することができます。



SDメモリーカードに8個のレンズファイルを8タイトル書き込むことが可能です。

SDメモリーカードによるセットアップ

SDメモリーカード（別売品）をセットアップカードとして使用し、設定メニューの内容を8ファイルまで記憶させることができます。

このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

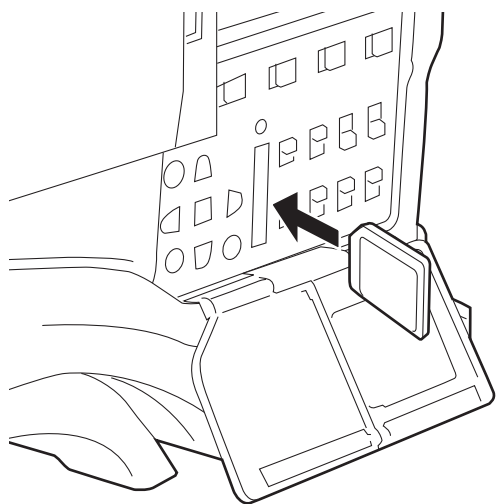
SDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>（24 ページ）を参照してください。

SDメモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードは、電源を入れる前でも入れた後でも出し入れすることができます。

SDメモリーカードを入れるには

スイッチカバーの蓋を開け、SDメモリーカード（別売品）の切り欠き部を上にして、SDメモリーカード挿入口に差し込み、スイッチカバーの蓋を閉めます。

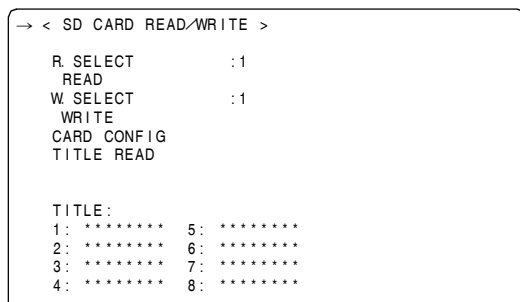


◆NOTE:

SDメモリーカードの向きが正しいことを確認してからSDメモリーカードを入れてください。入れる際に抵抗があって入りにくいときは、SDメモリーカードが裏向き、または上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

SDメモリーカードの操作

SDメモリーカードのフォーマットや、設定データのSDメモリーカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、メニュー操作でFILEページから<SD CARD READ/ WRITE>画面を開いて行います。



SDメモリーカードを取り出すには

スイッチカバーの蓋を開け、BUSYランプが点灯していないことを確認してからSDメモリーカードを更に本体側へ押し込みます。SDメモリーカードが挿入口から浮いてきますので、SDメモリーカードをつかみ引き抜き、スイッチカバーの蓋を閉めます。

使用時、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

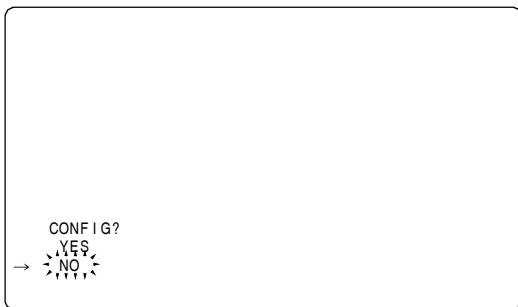
SDメモリーカードは、本機に挿入してふたを閉めた状態で保存してください。

SDメモリーカードをフォーマットするには

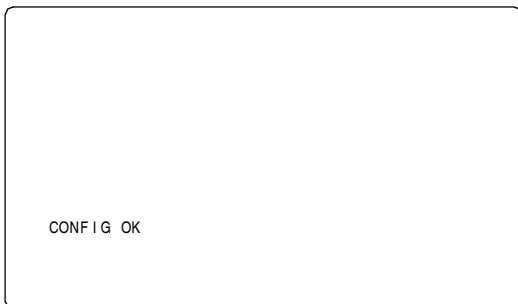
◆NOTE:

SDメモリーカードは、サムネール画面からもフォーマットが可能です。詳しくは「SDメモリーカードのフォーマット」(129 ページ)を参照してください。

- 1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をCARD CONFIGの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 4 SDメモリーカードのフォーマットを行う場合は、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。SDメモリーカードのフォーマットが終わると、次のようなメッセージを表示します。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
CONFIG NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
CONFIG NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度フォーマットを行ってください。

- 5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

◆NOTE:

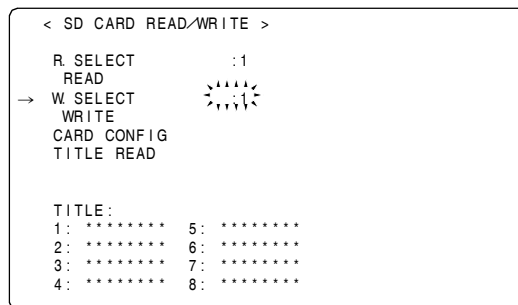
<SD CARD READ/WRITE>画面が開いている状態でSDメモリーカードを挿入、または取り出したときは、データのタイトルを更新できません。TITLE READの項目に矢印（カーソル）を移動し、JOGダイヤルボタンを押してください。データのタイトルを更新します。

設定したデータをSDメモリーカードに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開きます。

ファイルNo. を選択するには

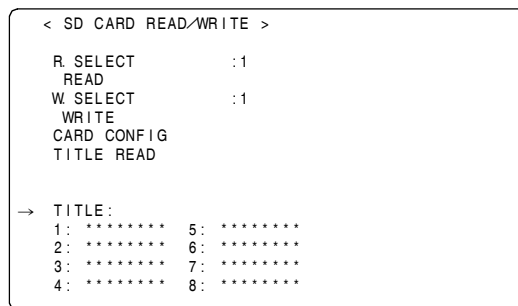
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「W. SELECT」項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。



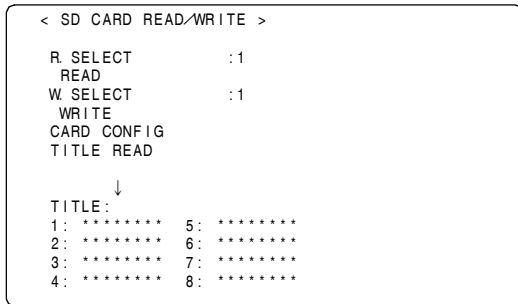
- 3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

選択したファイルNO.にタイトルを付けるには

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「TITLE:」の項目に移動します。



5 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。



6 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

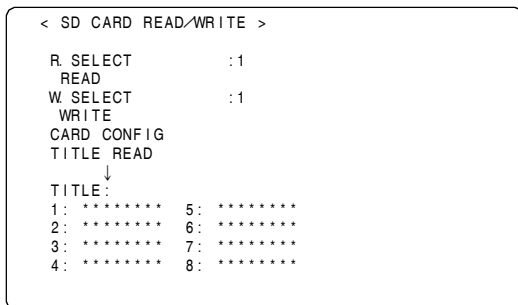
の順に切り替わります。

7 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

8 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、6～7の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

選択したファイルNo.にデータを書き込むには

9 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



10 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE:」の項目に戻ります。

11 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の項目に移動します。

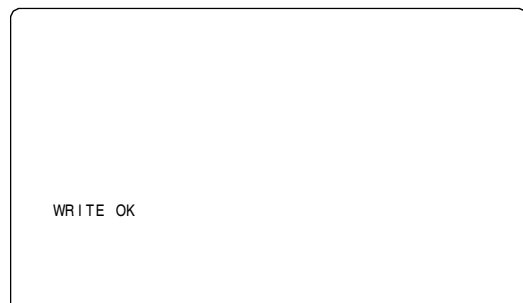
12 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません。

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換します。
WRITE NG ERROR (書き込みができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
WRITE NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
WRITE NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度書き込みを行ってください。
WRITE NG CARD FULL (記録残量がありません)	SDメモリーカードに記録残量がなく、書き込みができません。不要なファイルを消去するか、新しいSDメモリーカードと交換してください。

13 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。



- 14** メニュー操作を終了するときには、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

◆ NOTE:

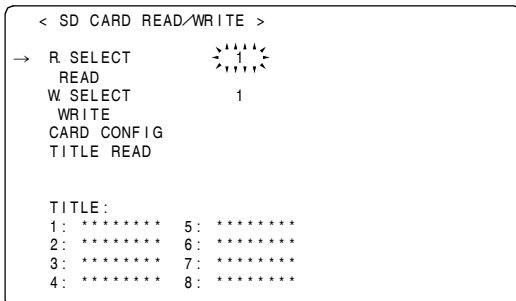
- <SD CARD R/W SELECT> 画面で SD メモリーカードに書き込むメニューの種類を選択することができます。
- 本機で新しく設定したセットアップファイルを、本機以外の他の機器で設定したセットアップファイルに上書きすることができます。上書きを行った場合、他の機器で設定したセットアップファイルは失われますのでご注意ください。
- それぞれの機器ごとで、SD メモリーカードを管理することをお勧めします。

SDメモリーカードに書き込まれているデータを読み出すには

- 1** メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開きます。

ファイルNo.を選択するには

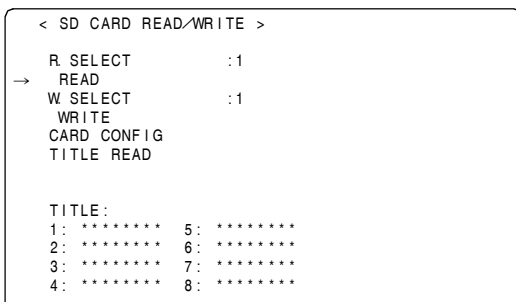
- 2** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「R. SELECT」項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。



- 3** JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

選択したファイルNo.のデータを読み出すには

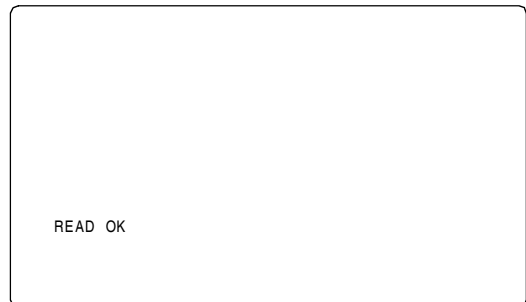
- 4** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ」の項目に移動します。



- 5** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 6** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの読み出しが終了すると、次のようなメッセージを表示します。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込みます。
READ NG ERROR (読み出しができません)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。
READ NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度読み出しを行ってください。

- 7** メニュー操作を終了するときには、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の状態表示に戻ります。

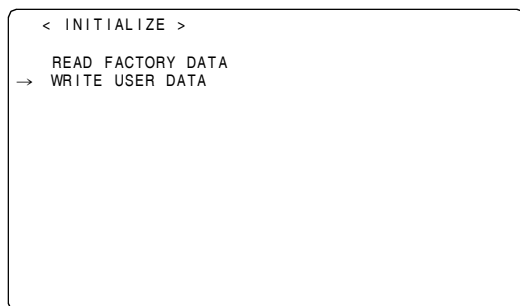
ユーザーデータの使い方

本機の内部メモリーのユーザーエリアに、設定データの内容の書き込みや書き込まれたデータの読み出しをすることができます。
このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

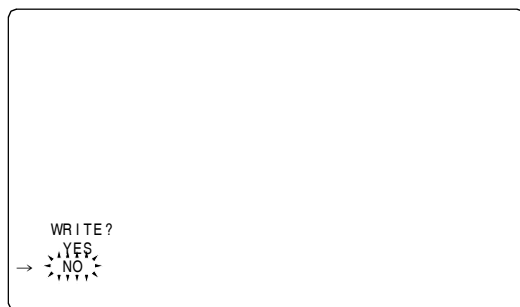
データの書き込み操作は、メニュー操作で FILE ページから <INITIALIZE> 画面を開いて行います。また、書き込まれたユーザーデータの読み出しは、メニュー操作で FILE ページから <SCENE> 画面を開いて行います。

設定データをユーザーエリアに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<INITIALIZE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE USER DATA の項目に移動します。



- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

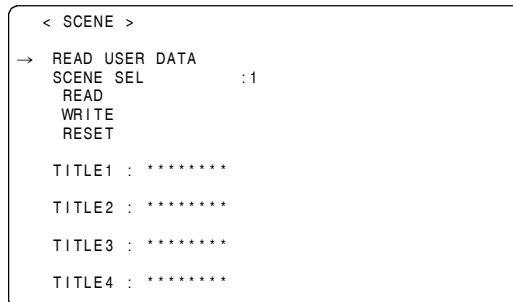


- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータが本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれます。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

書き込まれたユーザーデータを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。

- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ USER DATA 項目に移動します。



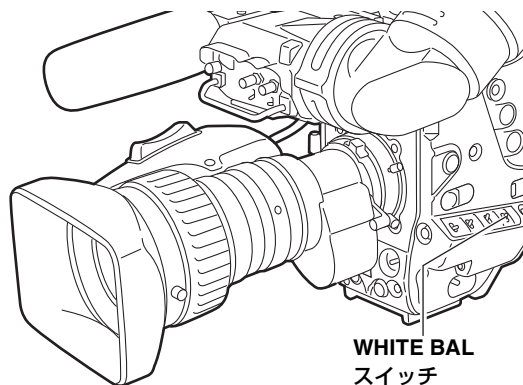
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれたデータが読み出され、設定が完了します。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

登録したユーザーデータを、メニュー操作をなしに読み出すことも可能です。

- 1 POWER スイッチを OFF にします。
- 2 WHITE BAL スイッチを「PRST」の位置にします。



- 3 AUTO W/B BAL スイッチを押し上げながら、POWER スイッチを ON にします。USER メニューの各項目の設定が、一度に標準の USER DATA に戻ります。

シーンファイルデータの使い方

本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。なお、シーンファイルは、4種類登録可能です。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

操作は、メニュー操作で FILE ページから SCENE 画面を開いて行います。

シーンファイル用設定データを書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、SCENE画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL 項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
→ READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```
WRITE?
  YES
→ NO
  *****
TITLE:
```

7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。

8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SELの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READの項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```
READ?
YES
→ NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。本機の内部メモリのシーンファイルエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データを工場出荷状態にするには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回してリセットするシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）を「RESET」の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
→ READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```
RESET?
YES
→ NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。本機の内部メモリのシーンファイルエリアに記憶されたデータがリセットされて工場出荷状態に戻ります。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データにタイトルをつけるには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をタイトルを付けるシーンファイル「TITLE 1～4」の項目に移動します。

```

< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
→ TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****

```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がタイトル入力エリアに移動して入力モードになります。

```

< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
↓
TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****

```

- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：

↓

アルファベット： A～Z

↓

数字： 0～9

↓

記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

- 5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）
- 7 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。
- 8 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がTITLE 1～4の項目に戻ります。
- 9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの項目に移動します。

- 10 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```

WRITE?
YES
→ NO
TITLE:

```

- 11 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。タイトルが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。

- 12 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

メニュー設定状態の工場標準設定値への復帰方法

本機のメニューの設定状態を工場出荷の標準設定値の状態に戻すことができます。

操作は、メニュー操作でFILEページから<INITIALIZE>画面を開きREAD FACTORY DATA項目を選択し、実行します。

すべてのメニューの設定値が、工場出荷時の設定に戻ります。

◆NOTE:

シーンファイルやレンズファイル、およびユーザーデータとして保存しているデータは、この操作を行っても削除されません。

```
< INITIALIZE >
→ READ FACTORY DATA
   WRITE USER DATA
```

レンズファイル

本機の内蔵メモリーには、8個のレンズファイルが記憶されています。

SDメモリーカードには、8個のレンズファイルを1タイトルとして、8タイトル（計64個）のレンズファイルを書き込むことができます。

レンズファイルには、下記のデータが記録されます。

- タイトル名
- ホワイトシェーディング補正值
- フレア補正值
- RBゲインオフセット補正值

レンズファイルの作成方法

ホワイトシェーディングの調整

ホワイトシェーディングの調整は、「レンズのホワイトシェーディング調整」（108ページ）を参照してください。

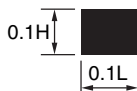
フレアの調整

メニュー操作でMAINTENANCEページから<LENS FILE ADJ>画面を開き、LENS R FLARE項目、LENS G FLARE項目、LENS B FLARE項目でフレアの調整を行います。

```
→ < LENS FILE ADJ >
RB GAIN CTRL RESET:ON
LENS R GAIN OFFSET:+000
LENS B GAIN OFFSET:+000

LENS R FLARE      :000
LENS G FLARE      :000
LENS B FLARE      :000
```

フレア調整用チャートの例



RBゲインオフセット

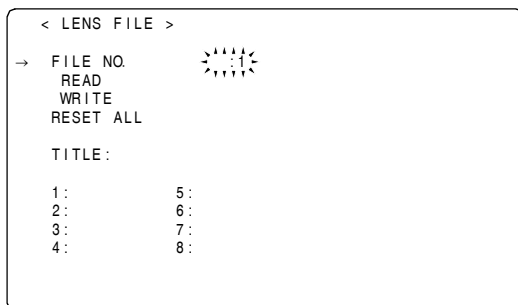
レンズを交換したときに生じる、ホワイトバランスの変化を補正します。

- 1 基準にするレンズを本機に装着します。
- 2 適切な照明（2000 lx、3200Kが望ましい）でグレースケールチャートを撮影します。
- 3 WHITE BALスイッチを「A」の位置にします。
- 4 グレースケールチャート中央の白ウインドウが、80%程度になるようにレンズ絞りを調整します。
- 5 AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、ホワイトバランスの自動調整を行います。
- 6 ウェーブフォームモニター（WFM）でRGBの信号レベルを測定します。
- 7 レンズファイルを作成するレンズに交換します。
- 8 Gchの信号レベルを、6で得た信号レベルと同じになるようにレンズの絞りを微調整します。
- 9 メニュー操作でMAINTENANCEページから<LENS FILE ADJ>画面を開き、RB GAIN CTRL RESET項目をONに設定します。
- 10 LENS R GAIN OFFSET項目でRchの信号レベルがGchと同じになるように調整します。
- 11 同様に、LENS B GAIN OFFSET項目でBchの信号レベルがGchと同じになるように調整します。

レンズファイルを内蔵メモリーに書き込む

ファイルNo. を選択する

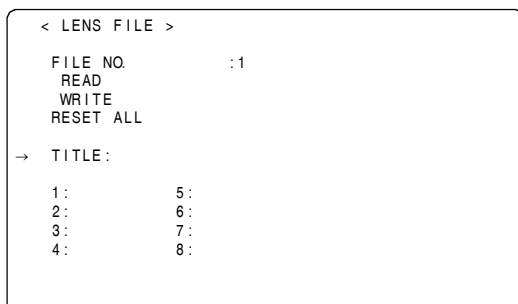
- 1 メニュー操作で、FILE ページから<LENS FILE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「FILE NO.」項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するファイル（1～8）を選択します。



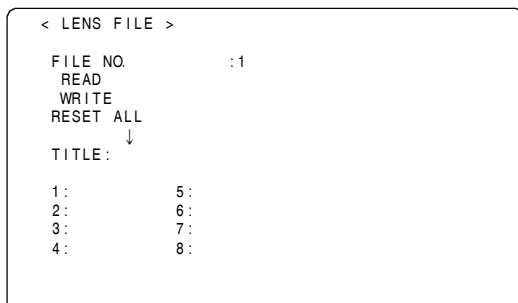
- 4 JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

選択したファイルにタイトルを付ける

- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「TITLE :」の項目に移動します。

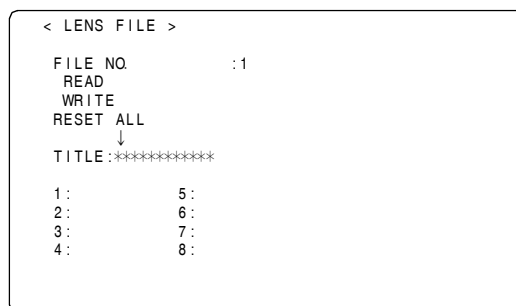


- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

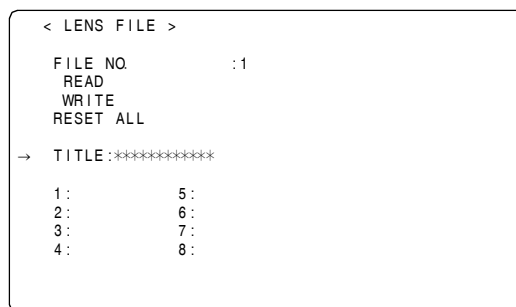


- 7 再度JOGダイヤルボタンを押し、設定したい文字が現れるまでJOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A～Z
↓
数字： 0～9
↓
記号： '、>、<、/、-、..、x
の順に切り替わります。

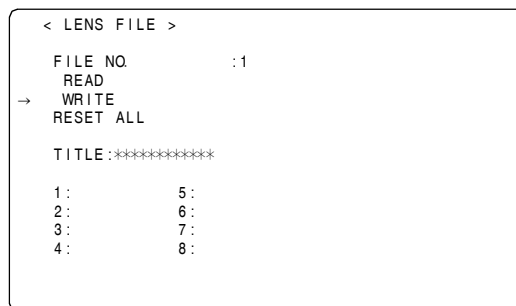
- 8 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、7・8の操作を繰り返して、文字を設定します。（12文字以内）
- 10 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



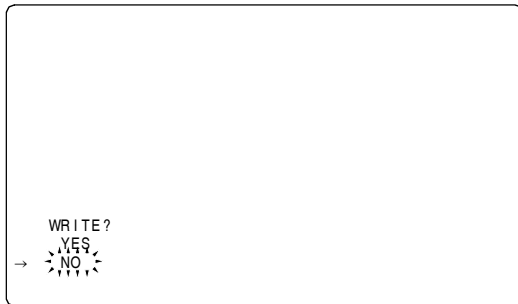
- 11 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE :」の項目に戻ります。



- 12 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の位置に移動します。



- 13** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 14** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「YES」に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。現在のホワイトシェーディング補正值、フレア補正值、RBゲインオフセット補正值が、本機の内蔵メモリに記憶されます。

◆ NOTE:

「WRITE」を実行しないで他のメニュー画面に移動したり、メニューを終了したりしたときは、内蔵メモリには記憶されません。

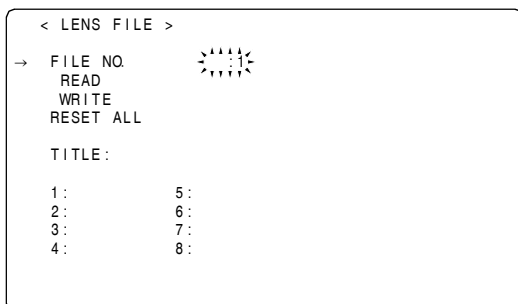
- 15** MEMU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

レンズファイルを内蔵メモリから読み出す

- 1** メニュー操作で、FILE ページから <LENS FILE> 画面を開きます。

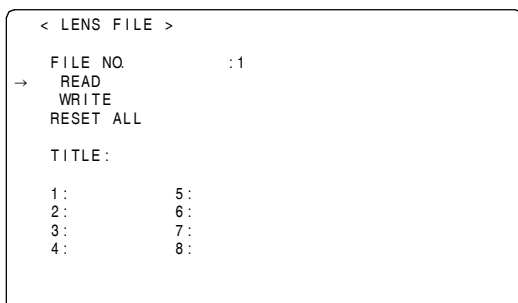
- 2** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「FILE NO」項目に移動します。

- 3** JOGダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択します。



- 4** JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

- 5** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ の項目に移動します。



- 6** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



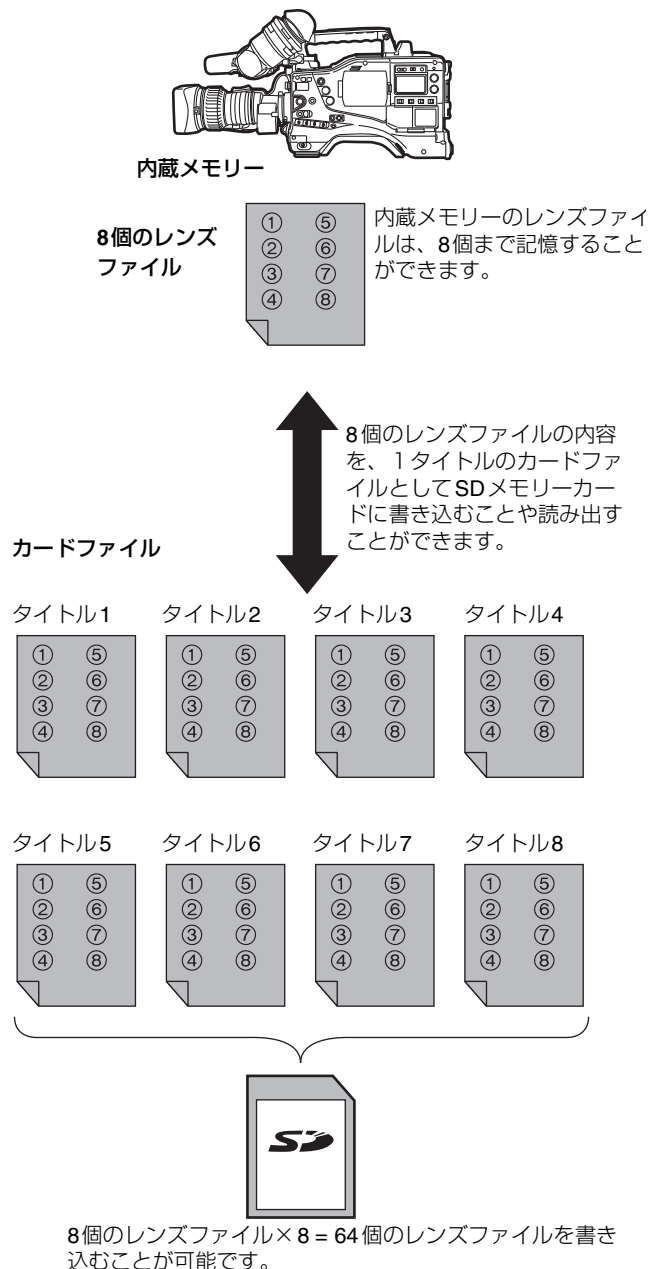
- 7** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。記憶されているホワイトシェーディング補正值、フレア補正值、RBゲインオフセット補正值が読み出されます。

- 8** MEMU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

レンズファイルのSDメモリーカードへの書き込みと読み出し

本機の内蔵メモリーに記憶された8個のレンズファイルの内容を、1タイトルのカードファイルとしてSDメモリーカードに書き込むことができます。SDメモリーカードには、8タイトル書き込むことができます。また、SDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルは、書き込んだ1タイトル（8個のレンズファイル）を内蔵メモリーに読み出すことができます。

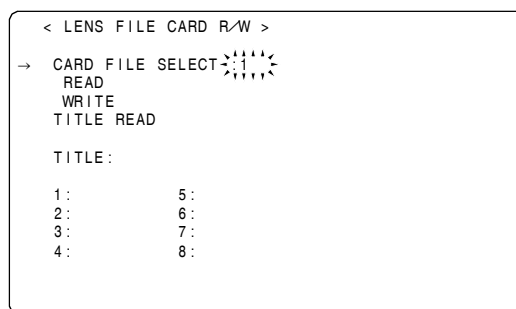
内蔵メモリーに記憶されたレンズファイルとSDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルの関係は次のようになっています。



SDメモリーカードにレンズファイルを書き込むには

カードファイルNo. を選択する

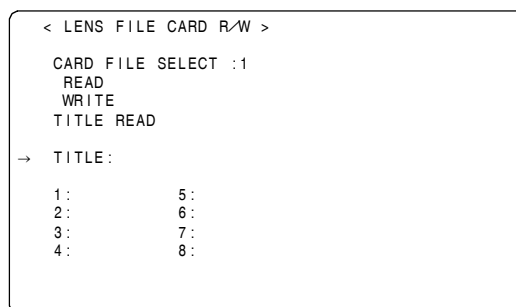
- 1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE CARD R/W>画面を開きます。右上にFORMAT ERRORと表示した場合、本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。SDメモリーカードのフォーマットはSD CARD READ/WRITE画面のCARD CONFIG項目で行うことができます。詳しくは「SDメモリーカードの操作」(86ページ)を参照してください。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をCARD FILE SELECT項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して書き込むファイル(1~8)を選択します。



- 4 JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

選択したカードファイルにタイトルを付ける

- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を「TITLE:」の項目に移動します。

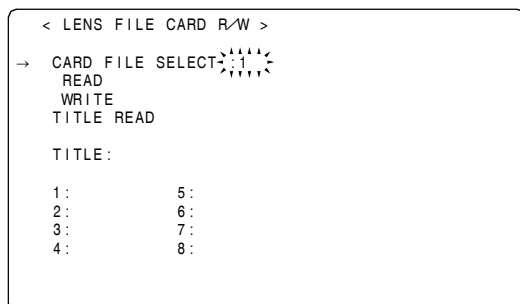


- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印(カーソル)が移動して入力モードになります。

以降、95ページのステップ7から96ページのステップ15までの操作を行ってください。

SDメモリーカードからレンズファイルを読み出すには

- 1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE CARD R/W>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「CARD FILE SELECT」項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択します。



- 4 JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

以降、96 ページのステップ5からステップ8までの操作を行ってください。

◆NOTE:

SDメモリーカード上のカードファイルのタイトルは<LENS FILE CARD R/W>画面に表示しますが、中に含まれるレンズファイルのタイトルは、<LENS FILE CARD R/W>画面に表示しません。

その都度、ファイルを読み出して、<LENS FILE>画面で確認してください。

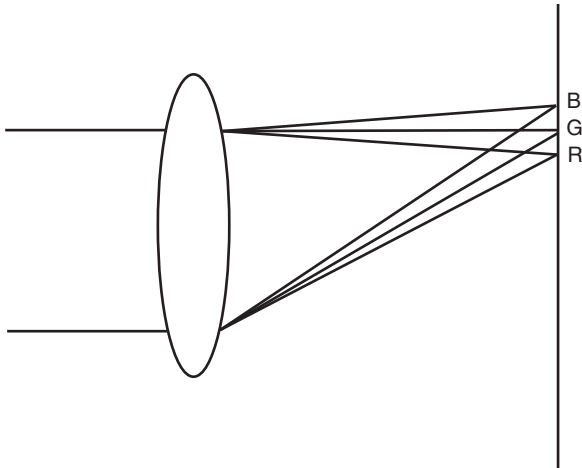
このとき、内蔵メモリーのレンズファイルが読み出したレンズファイルに書き換えられてしまいますので、一旦、内蔵メモリーのレンズファイルをSDメモリーカードに書き込んで、バックアップしてからSDメモリーカードのレンズファイルを読み出してください。

色収差補正機能 (CAC)

CACは、レンズ自体で補正しきれないわずかな色収差が主な原因で起るレジストレーションエラーをカメラレコーダー本体で自動的に補正し、画像の色にじみを最小限に抑える機能です。

レンズの色収差とは

ここで言う色収差とは倍率色収差です。倍率色収差は、レンズの屈折率が赤 (R)・緑 (G)・青 (B) によって異なるために発生します。レンズ自体で色収差の補正を行なっていますが、特に周辺では色収差が残留します。また、この色収差はズームレンズであればズーム倍率・絞り・焦点距離が複雑に関係して発生します。画像としてはレジストレーションエラーとなります。



色収差補正機能

色収差を補正するには、ズーム倍率・絞り・焦点距離に対するレンズの色収差特性をあらかじめカメラレコーダー本体に記憶させ、その収差特性に適合するレンズを接続し、レンズのズーム倍率・絞り・焦点距離に合致した補正を行ないます。

本機は工場出荷時に下記 4 種類のレンズの CAC データを記憶しています。

本機での表示	対応レンズ品番
HA16×6.3BERM-M58	HA16×6.3BERM-M58
HA22×7.8BERM-M58	HA22×7.8BERM-M58
HJ17E×7.6B IASE	HJ17E×7.6B IASE
HJ22E×7.6B IASE	HJ22E×7.6B IASE

◆ NOTE:

本機の発売以降の対応レンズの追加、変更などに関しては、下記のウェブサイトのサポートサイトを参照してください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

CACの動作

左記 4 種類のレンズの場合

- 1 レンズを本機に装着し、レンズコネクタを本機に接続します。
- 2 MAINTENANCE MENU画面のCAC ADJ MENUを開きます。
- 3 CAC CONTROL をONにします。
本機に記憶されているレンズ品番と接続されたレンズ品番が合致すれば、本機に記憶されている CAC データを自動で読み出します。

```
< CAC ADJ >
→ CAC CONTROL      :ON
  CAC FILE DELETE   :
  CAC FILE NO.      :01

  TITLE SCROLL      :01
  01 : HA22X7. 8BERM-M58
  02 : HA16X6. 3BERM-M58
  03 : HJ17EX7. 6B IASE
  04 : HJ22EX7. 6B IASE
  05
  06
  07
  08
```

CAC動作状態の確認

- 1 MENUがVF画面に表示されていない状態で モードチェックスイッチを押す。
ビューファインダー画面の左上にCACの文字が表示されればCACは動作中です。
CACの文字が表示されない場合はCAC動作をしていません。
- 2 VF MENU画面のVF INDICATOR2 MENU画面を開き CAC表示をONにすればビューファインダー画面の左上にCACが表示します。

```
601          AVC-1
1080         100
CAC

3. 2K
1A P 0dB
```

CAC FILEをSDメモリーカードから読み込む

1 弊社サポートページでダウンロードしたCAC FILEを書き込んだSDメモリーカードを本機に挿入します。ダウンロードについては下記URLを参照してください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

2 メニュー操作でFILEページから<CAC FILE CARD READ>画面を開きます。

3 JOGダイヤルボタンで「TITLE READ」を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。TITLE部分にレンズ品番が表示されます。

```

-> < CAC FILE CARD READ >

CARD FILE SELECT:1
  READ
  DELETE
  TITLE READ

TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
    
```

4 JOGダイヤルボタンで「CARD FILE SELECT」を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

5 読み込むTITLE NOを選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

6 JOGダイヤルボタンで「READ」を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。下記のような画面が表示されます。

```

FILE READ?
-> YES
   NO(CANCEL)

MEM STORE NO.    :EMPTY
TITLE SCROLL     :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
    
```

7 JOGダイヤルボタンでYESを選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

上記4で選択したレンズのCAC FILEが本機のメモリーに記憶されます。

また、このときMEM STORE NO : EMPTY/1/2...の設定でEMPTYを選択すれば、本機のCAC FILE番号の空き部分に記憶します。1を選択すれば、CAC FILE番号の1番に上書きします。

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	データのあるファイルを選択して、再度読み出しを行ってください。
READ NG ERROR (読み出しができません)	SDメモリーカードを挿入しなおし、再度読み出しを行ってください。
READ NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度読み出しを行ってください。
READ NG FILE DATA INVALID (ファイルデータが異常です)	書き込まれたファイルデータに異常があります。正しいファイルデータを使用してください。
READ NG FILE MEMORY FULL (メモリーが一杯です)	CACデータが一杯で書き込めません。不要なCACデータを削除してから再び行ってください。

8 複数のCAC FILEを本機に記憶させるには、上記3~7を繰り返します。

9 メニュー操作を終了するときには、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、本機の状態表示に戻ります。

◆ NOTE:

- 本機には32個のCAC FILEを記憶させることができます。CAC FILEが満杯になった場合には、いずれかのCAC FILEを消去してください。
- SDメモリーカードを挿入している間、SDメモリーカードのBUSYランプが点滅していますが、異常ではありません。

CAC FILEを本機から消去する

- 1 メニュー操作でMAINTENANCEページから<CAC ADJ>画面を開きます。
下記のような画面が表示されます。

```
< CAC ADJ >
→ CAC CONTROL      :ON
   CAC FILE DELETE
   CAC FILE NO      :01

TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05
06
07
08
```

- 2 CAC CONTROLで、「OFF」を選択します。
- 3 CARD FILE NOで、消去したいレンズ品番をJOGダイヤルボタンで選択します。
- 4 JOGダイヤルボタンを押し、選択を確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンで「CARD FILE DELETE」を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
- 6 下記のような画面が表示されますので、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押しします。

```
DELETE?
→ YES
   NO
```

CAC FILEをSDメモリーカードから消去する

- 1 メニュー操作でFILEページから<CAC FILE CARD READ>画面を開きます。
下記のような画面が表示されます。

```
→ < CAC FILE CARD READ >

CARD FILE SELECT:01
READ
DELETE
TITLE READ

TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

- 2 JOGダイヤルボタンで「TITLE READ」を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
TITLE部分にレンズ品番が表示されます。
- 3 JOGダイヤルボタンで「CARD FILE SELECT」を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
- 4 消去するCAC FILEの「TITLE NO」を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
- 5 JOGダイヤルボタンで「DELETE」を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
下記のような画面が表示されます。

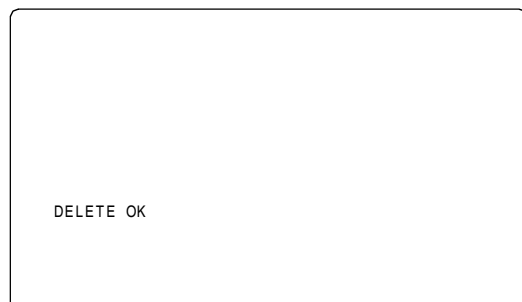
```
DELETE?
→ YES
   NO
```

- 6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押しします。

JOG ダイアルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを削除することができません。

エラーメッセージ	対策
DELETE NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
DELETE NG ERROR (削除ができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
DELETE NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
DELETE NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度削除を行ってください。
DELETE NG NO FILE (ファイルがありません)	収差ファイルがある FILE NO. を選択して、削除を実行してください。

7 JOGダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイアルボタンを押します。データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。



CAC FILEが正常に動作しないとき

CACが正常に動作しない時、またはCACファイルが正常に読み込めなかった時は、ビューファインダーに下記のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	意味	処置
FILE MEMORY FULL	SDメモリーカードから本機のメモリーにCAC FILEをEMPTYモードで読み込む際、内蔵メモリーがFULLの状態である。	EMPTYモード以外でCAC FILEの書き込みを行なってください。
CAC FILE DATA NOT FOUND	CAC補正：ONの時、接続されたレンズに該当するCAC FILEがないとき。電源投入時に表示します。	使用するレンズに該当するCAC FILEを本機に読み込んでください。
CAC LENS DATA INVALID	レンズからの応答データに対応できないとき、またはCAC FILEで定義している情報以外の応答があったとき。	CAC補正対応レンズではありません。CAC補正は行えませんがご使用に問題はありません。
LENS INITIALIZE NOT COMPLETED	レンズの位置検知（フォーカス・ズーム）がエンコーダタイプで初期化が完了していないとき。	フォーカス・ズームリングを回し動作範囲の中点を通過させてください。

◆ NOTE:

- レンズ光学系のアクセサリ（コンバータレンズ・アタッチメント）を取り付け時は、レンズの光学特性が変化するため、CAC機能が正しく動作しない場合があります。その場合はCAC：OFFでご使用ください。
- キャノンレンズでフォーカスサーボ使用時、自動初期化モード時は初期化終了後に記録するようにしてください。フォーカスリングが動いている状態が記録されることがあります。
- CACが動作せず、かつエラーメッセージが表示されない場合は、レンズのソフトバージョンが古い恐れがあります。ご使用のレンズのメーカーにお問い合わせください。

本機の電源には、バッテリーパックまたは外部DC電源が使用できます。

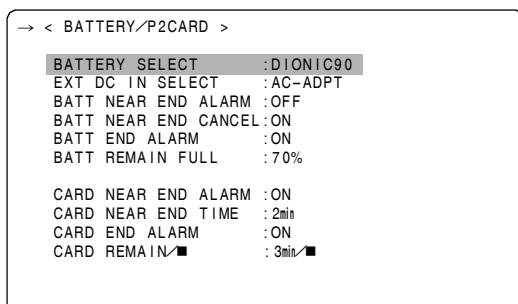
バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、以下のバッテリーが使用できます。

- ・アントンパワー製
- ・IDX製
- ・PACO製
- ・ソニー製

バッテリーの種類はビューファインダーまたはモニター上のメニュー画面で確認・変更が可能です。

- 本機側面のMODE CHECKボタンを押すと、ビューファインダー画面右上に、現在設定されているバッテリーの種類を表示します。
- メニュー操作でMAIN OPERATIONページから<BATTERY/P2CARD>画面を開き、BATTERY SELECT項目で確認・変更ができます。



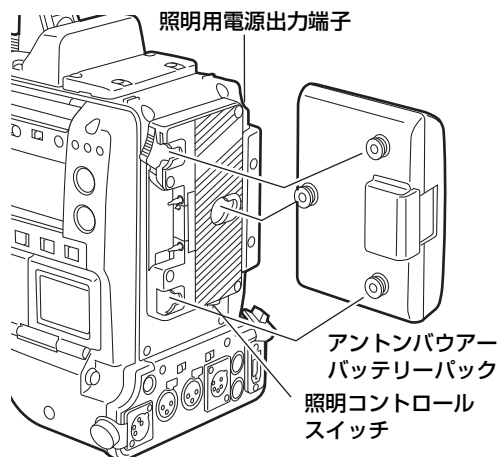
◆ NOTE:

- 他のバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はしておりません。
- バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください)

バッテリーの取り付け および設定

アントンパワー製バッテリーパックをご使用の場合

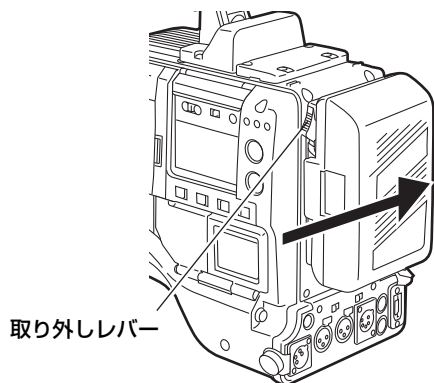
1 アントンパワーバッテリーパックを取り付けます。



<ご参考>

アントンパワーバッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、アントンパワー社にお問い合わせください。

2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせてください。



<ご参考> バッテリーパックを取り外すにはバッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

3 バッテリーの種類を設定します。
BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を選択します。
BATTERY SELECT項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択します。
詳しくは「BATTERY SETTING1」(184 ページ)を参照してください。

使用できるアントンパワー製バッテリー

- ・ PROPAC14
- ・ TRIMPAC14
- ・ HYTRON50
- ・ HYTRON140
- ・ DIONIC90
- ・ DIONIC160

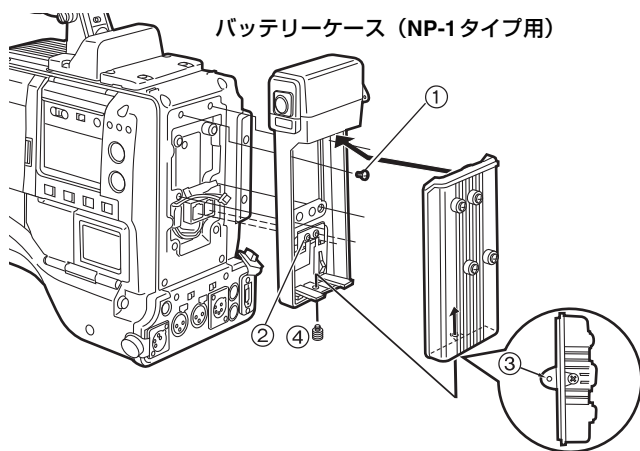
NP-1 タイプバッテリーパックをご使用の場合

バッテリーホルダーを交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 1 バッテリーホルダーを、取り外します。
- 2 本機にNP-1タイプバッテリーケースを取り付けます。
 - ① 取り付け用ネジを締めます。
 - ② 電源接触用ネジを締めます。
 - ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
 - ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。

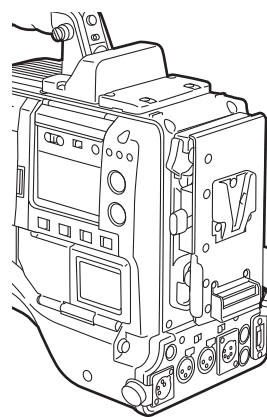
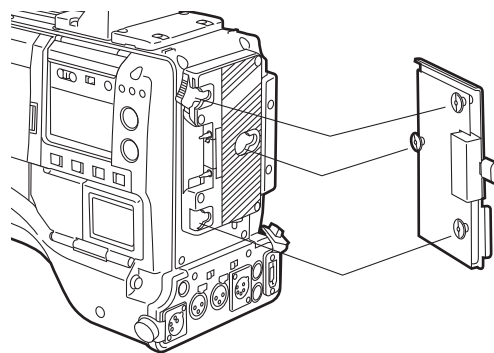
◆NOTE:

バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。



Vマウント式バッテリーパックをご使用の場合

V-マウントアダプタープレートを取り付けます。矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



- 3 バッテリーの種類を設定します。

BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を選択します。

BATTERY SELECT項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。

BATTERY SELECT項目にないバッテリーをご使用の場合、TYPE A、またはTYPE Bを選択して、特性に合わせて各項目を設定してください。

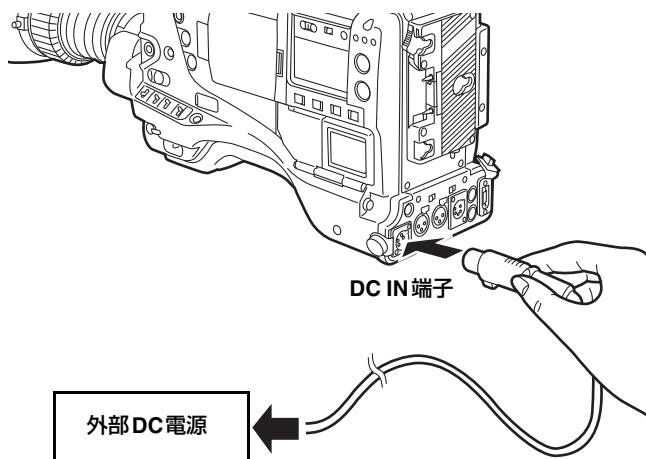
詳しくは「BATTERY SETTING2」（185ページ）を参照してください。

◆NOTE:

V-マウントアダプタープレートに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までお願いします。

外部 DC 電源の使用

- 1 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続します。



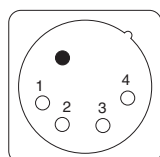
- 2 外部DC電源の電源スイッチをONにします。
(外部DC電源に電源スイッチがある場合)

- 3 本機のPOWERスイッチをONにします。

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因になります。

本機および本機の電源投入と連動して電源投入される接続機器（ビューファインダーなど）の、総消費電力の2倍以上を確保できる外部DC電源のご使用をおすすめします。また、DCコードはご使用になる外部DC電源が推奨しているものをお選びください。

外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。



DC IN 端子

ピン No.	信号
1	GND
2, 3	—
4	+12V

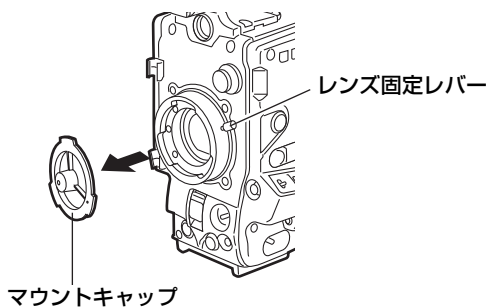
◆ NOTE:

- バッテリーパックと外部 DC 電源の両方を接続した場合、外部 DC 電源からの電源供給が優先されます。外部 DC 電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部 DC 電源を使用するときは、必ず外部 DC 電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部 DC 電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。

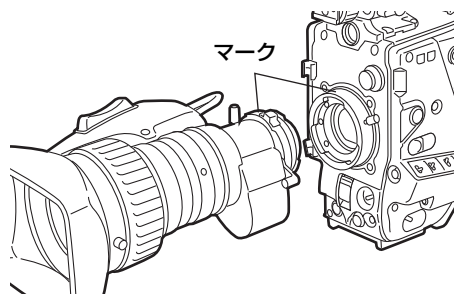
レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整

レンズの取り付け

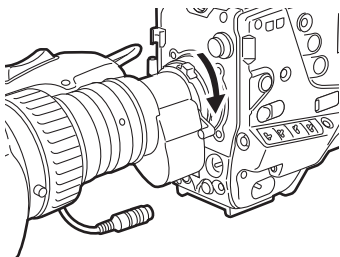
- 1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



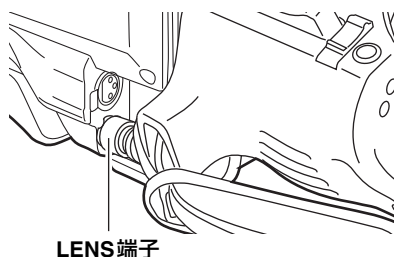
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。



- 3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



- 4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS端子に接続します。



- 5 レンズのフランジバックの調整を行います。

◆NOTE:

- レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をお読みください。
- レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

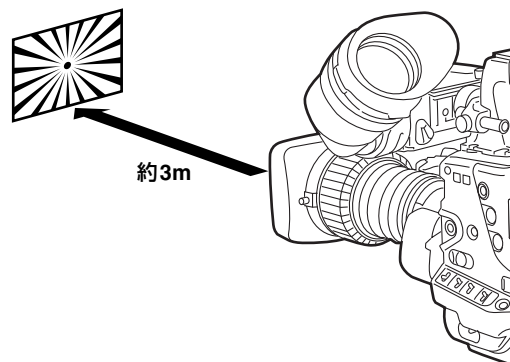
レンズのフランジバック調整

ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

◆NOTE:

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にします。



- 3 フランジバック調整用チャートから3mぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定します。映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。

- 4 Ff（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめます。

◆NOTE:

レンズによって、Fb（フランジバック）リングと表示している場合もあります。

- 5 手動または、電動でズームリングを望遠の位置にします。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせます。
- 7 ズームリングを広角の位置にし、Ffリングを回して焦点を合わせます。このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返します。
- 9 Ffリングの固定ネジを、しっかりと閉めます。

レンズのホワイトシェーディング調整

映像信号のR、G、Bそれぞれの波形を見ながら、ノコギリ歯状波形とパラボラ波形を組み合わせ、よりフラットな波形にして補正する方法

必ず、DS. GAINをOFFにしてからホワイトシェーディングの調整を以下のように行ってください。

◆NOTE:

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放(open)付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L (0dB)」にします。
- 3 レンズにエクステンダーがついている場合は、エクステンダー機能を外してください。
- 4 メニュー操作でPAINTページから<GAMMA>画面を開き、GAMMA MODE SEL項目が「HD」であることを確認し、またVFページから<VF DISPLAY>画面を開き、ZEBRA1 DETECT項目、ZEBRA2 DETECT項目、ZEBRA2項目が下図の通りであるか確認し、違う場合は変更してから、メニュー画面を閉じます。

-> < VF DISPLAY >	
DISP CONDITION	: NORMAL
DISP MODE	: 3
VF OUT	: Y
VF DTL	: 05
ZEBRA1 DETECT	: 070%
ZEBRA2 DETECT	: 085%
ZEBRA2	: SPOT
LOW LIGHT LVL	: 35%
RC MENU DISP.	: OFF
50M INDICATOR	: OFF
MARKER/CHAR LVL	: 50%
SYNCHRO SCAN DISP.	: s e c

- 5 ビューファインダーのZEBRAスイッチを「ON」にします。
- 6 色ムラの無い白い紙を撮影します。

◆NOTE:

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

- 7 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整します。
レンズ絞りが、F4～F11の間になっていることを確認してください。

◆NOTE:

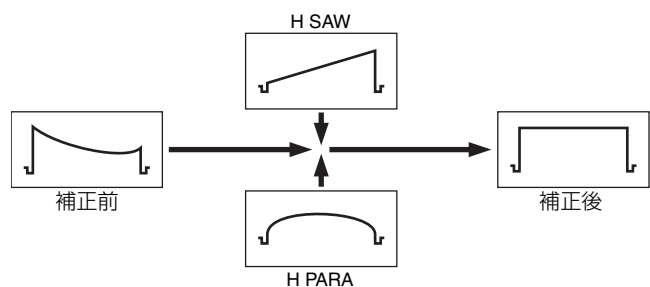
- 照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4～F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

- 8 ① WHITE BAL切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BALスイッチでオートホワイトバランス(AWB)を行います。
② AUTO W/B BALスイッチでオートブラックバランス(ABB)を行います。
③ 再度AUTO W/B BALスイッチでオートホワイトバランス(AWB)を行います。

- 9 再度7の操作を行います。

- 10 メニュー操作でMAINTENANCEページから<WHITE SHADING>画面を開き、R H SAW項目～B V PARA項目を調整して、よりフラットな波形にして補正を行います。

< WHITE SHADING >	
CORRECT	: ON
→ R H SAW	: +000
R H PARA	: +000
R V SAW	: +000
R V PARA	: +000
G H SAW	: +000
G H PARA	: +000
G V SAW	: +000
G V PARA	: +000
B H SAW	: +000
B H PARA	: +000
B V SAW	: +000
B V PARA	: +000



11 レンズにエクステンダーがついている場合は、エクステンダー機能を入れて、またレシオコンバーターがついている場合は、レシオコンバーター機能を入れて、それぞれの場合で再度 **7~9** の操作を行います。レンズエクステンダーがある場合、レシオコンバーターがある場合、どちらもない場合の**3**パターンの補正值が1つのレンズファイルデータとして本機に記憶されます。

ホワイトシェーディングの補正を行うときは、水平方向および垂直方向の **R、G、B** 波形をウェーブフォームモニターで観察しながら調整することをお勧めします。

以上でホワイトシェーディング調整が完了します。

調整値は、不揮発性メモリーに保存されますので、本機の電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

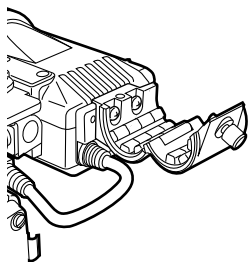
音声入力準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

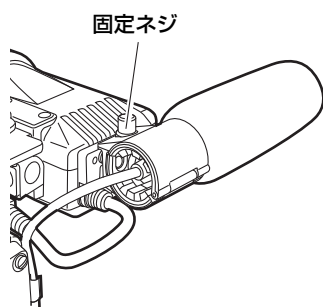
フロントマイクを使用する場合

ステレオマイクキットAJ-MC900G（別売品）を取り付けることができます。

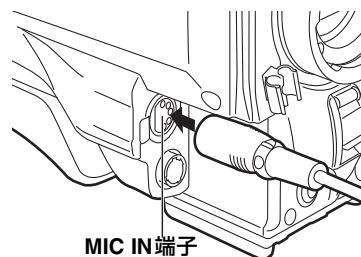
- 1 マイクホルダーを開きます。



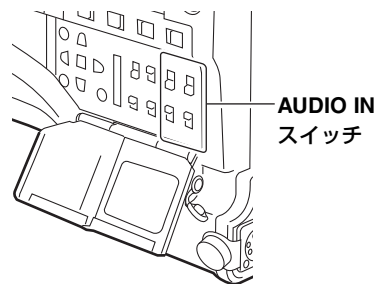
- 2 マイクを取りつけ、固定ネジを締めます。
マイクのUP表示を上にして取り付けてください。



- 3 マイクの接続ケーブルをカメラのMIC IN端子に接続します。



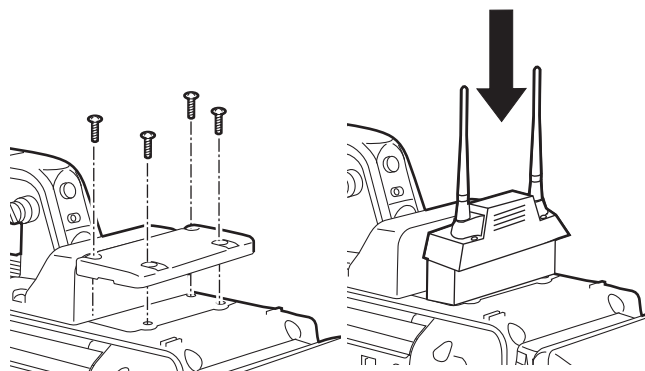
- 4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「FRONT」に切り替えます。



ワイヤレスレシーバーを使用する場合

Unislotワイヤレスレシーバーを使用する場合

- 1 ふたを取り外してワイヤレスレシーバーを挿入し、ビス止めします。

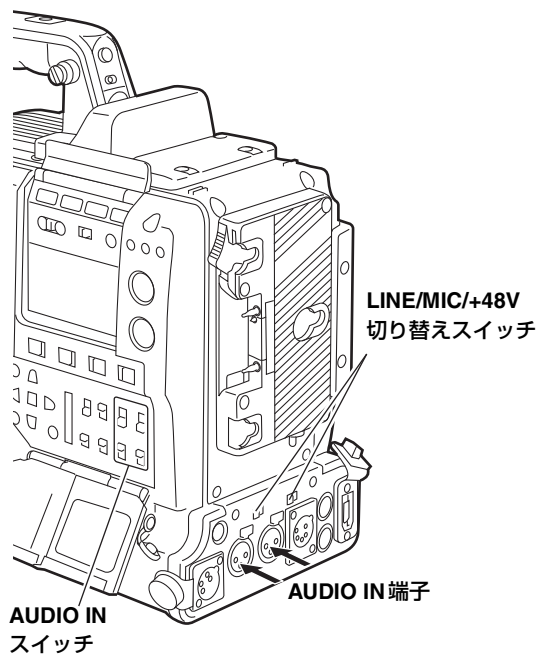


- 2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「W.L.」に切り替えます。

- 3 2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーを使用する場合は、WIRELESS TYPE項目で「DUAL」を選択してください。WIRELESS TYPE項目はMAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

オーディオ機器を使用する場合

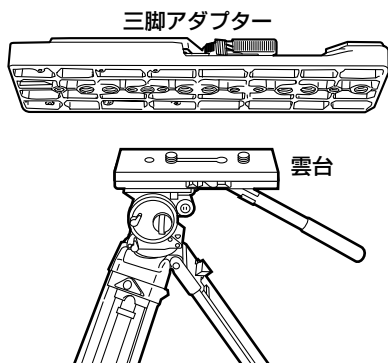
- 1 オーディオ機器とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続します。
- 2 XLRケーブルを接続したチャンネルのAUDIO INスイッチを「REAR」に切り替えます。
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを「LINE」に切り替えます。



三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、付属の三脚アダプターを使います。

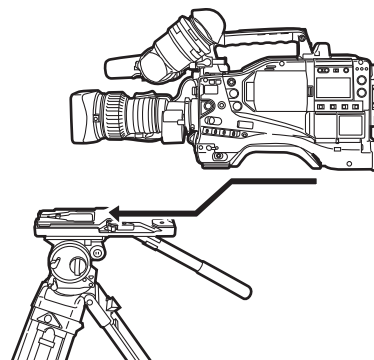
- 1 三脚アダプターを、三脚に取り付けます。



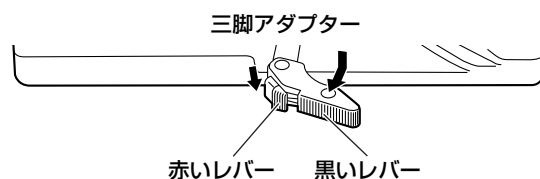
◆NOTE:

本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

- 2 本機を三脚アダプターに取り付けます。
溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へ滑らせます。



三脚アダプターから取り外す



赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、本機を後方に滑らして外します。

◆NOTE:

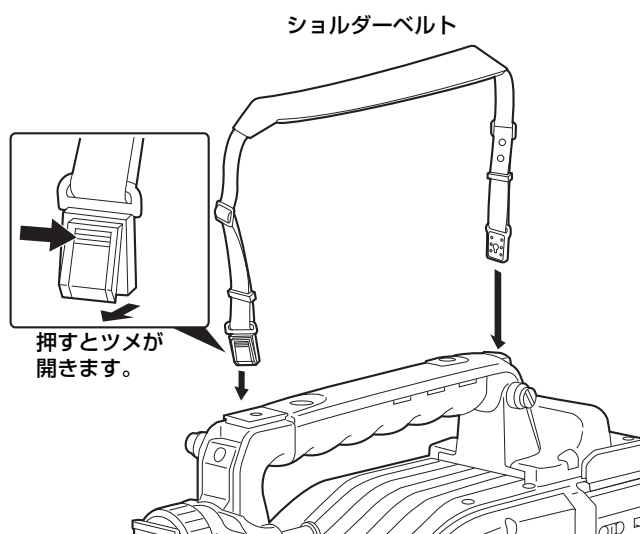
本機を取り外した後、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。
ピンが中央に残ったままでは、本機の取付ができませんのでご注意ください。

ショルダーベルトの取り付け

ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

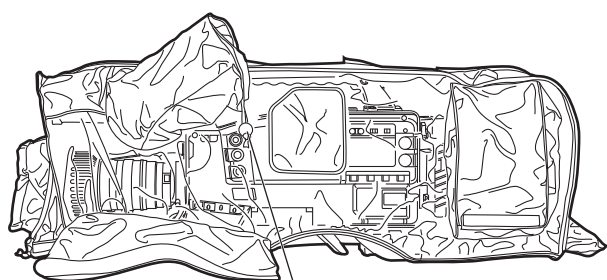
◆NOTE:

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。

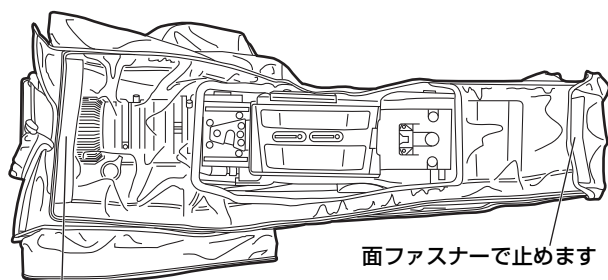


レインカバーの取り付け

レインカバー SHAN-RC700の使用例



ひもを締めます



面ファスナーで止めます

面ファスナーで止めます

リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続

リモートコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

AJ-RC10Gを本機のREMOTE端子に接続して、本機およびAJ-RC10GのPOWERスイッチをONにすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。

AJ-RC10Gを取り外すか、AJ-RC10Gの電源をOFFにするとリモートコントロールモードは解除されます。

リモートコントロールモードのときの スイッチ機能

リモートコントロールモードのときは、本機の下記スイッチやボタンが機能しなくなります。

- SHUTTERスイッチ
- MENUボタン
- JOGダイヤルボタン
- GAINスイッチ
- OUTPUT/AUTO KNEEスイッチ
- WHITE BALスイッチ
- USER MAINボタン
- USER 1ボタン
- USER 2ボタン

◆ NOTE:

AJ-RC10G (別売品) を接続したリモートコントロールモード時、VIDEO/MON出力に対してAJ-RC10GのSKIN TONE DTLメニューを使ってスキントーンディテールを効かせることはできません。

リモートコントロールモードのときの記録・再生 操作

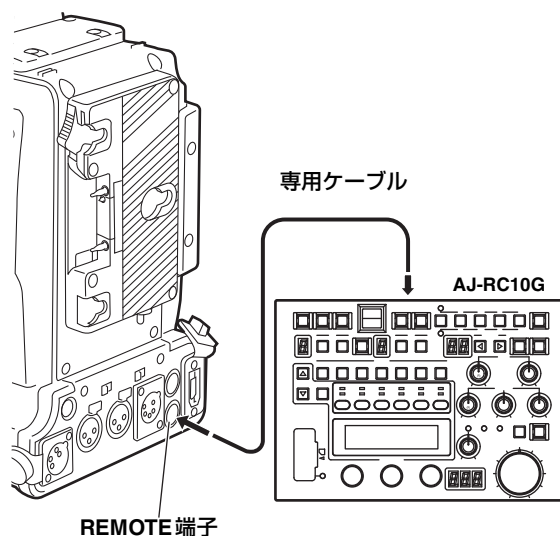
リモートコントロール接続時は、本機とAJ-RC10Gのどちらでも記録/再生の操作が可能です。

◆ NOTE:

- AJ-RC10Gを接続して調整した状態は、本機に記憶されません。調整した状態を本機に記憶させない場合は、AJ-RC10GのFUNCTION MENUを開き、RC DATA SAVE項目を「OFF」にします。
- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAJ-RC10GのPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- AJ-RC10GのソフトウェアバージョンはVer1.10-00-000以上のものでご使用ください。また、AJ-RC10Gのソフトウェアバージョンアップについては下記ウェブサイトよりP2サポートページをご覧ください。

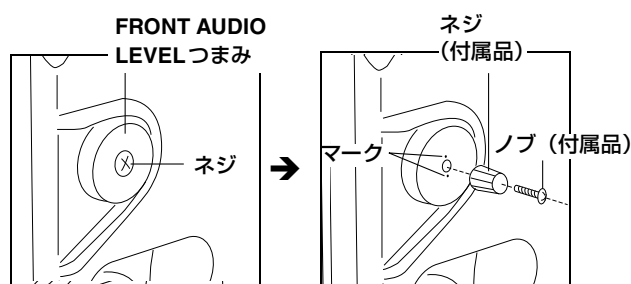
日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>



FRONT AUDIO LEVELノブの取り付け

FRONT AUDIO LEVELつまみを頻繁に使用する場合、付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすくすることができます。



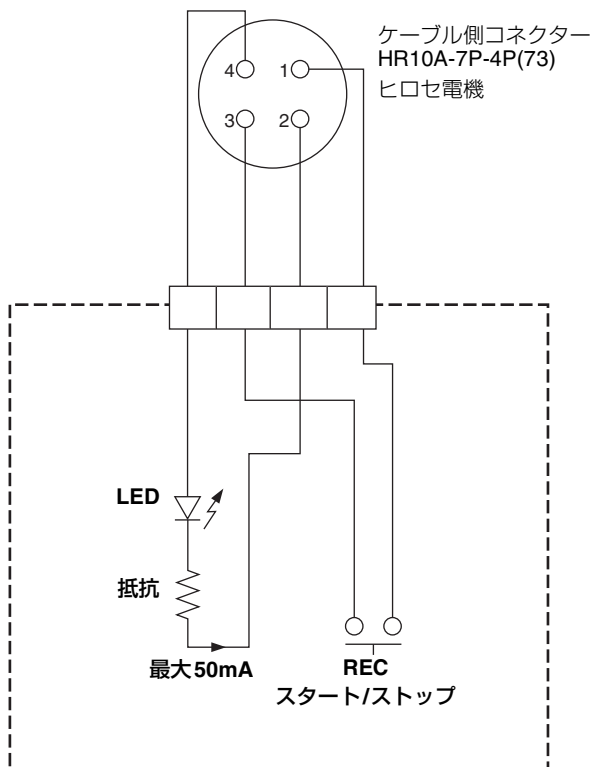
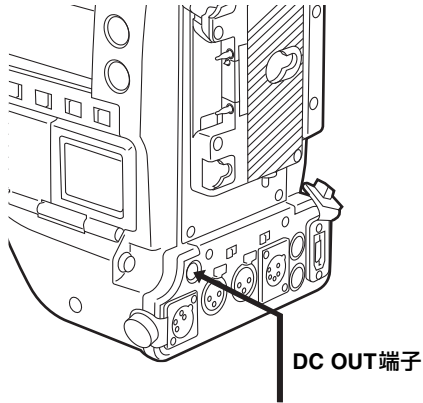
FRONT AUDIO LEVELつまみ中央のネジを外し、本機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合わせてください。

外部スイッチの接続

本機の DC OUT 端子からは、1.5A の電流を取り出すことが可能です。

この端子に外部スイッチを接続すると、REC スタート/ストップの制御が可能になります。

また、LED を接続すると、タリーランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。



1 : GND

2 : TALLY OUT

本機側は、オープンコレクタ出力

TALLY ON : Lowインピーダンス

TALLY OFF : Highインピーダンス

3 : RECスタート/ストップスイッチ

本機のREC START ボタンやレンズのVTR ボタンと並列に接続されます。

4 : +12 V

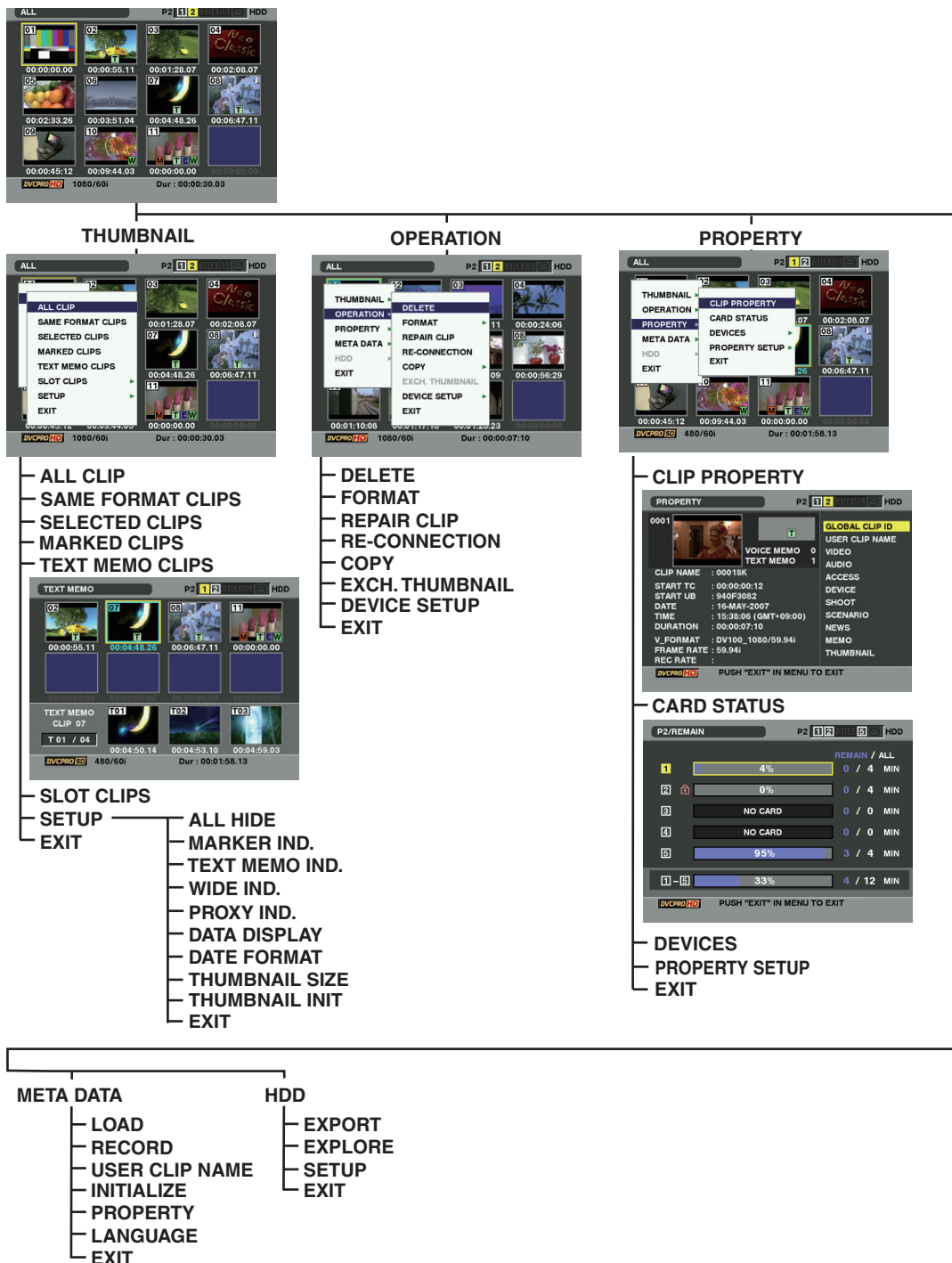
クリップのサムネール操作

クリップとは、一回の撮影によって生成される画像、音声、およびテキストメモ・メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。
本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、カーソル・SETボタンを使って以下の操作を行うことができます。

- クリップの再生、削除、コピー、および修復
- クリップのサムネールにテキストメモ、ショットマークを付加、および消去する
- テキストメモを使用してクリップを部分コピーする
- サムネール画像を変更する
- P2カード、SDメモリーカードのフォーマット
- クリップメタデータの SDメモリーカードからのアップロードおよび編集

サムネール操作の概要

サムネール画面は以下のような構成になっています。



クリップのサムネール操作

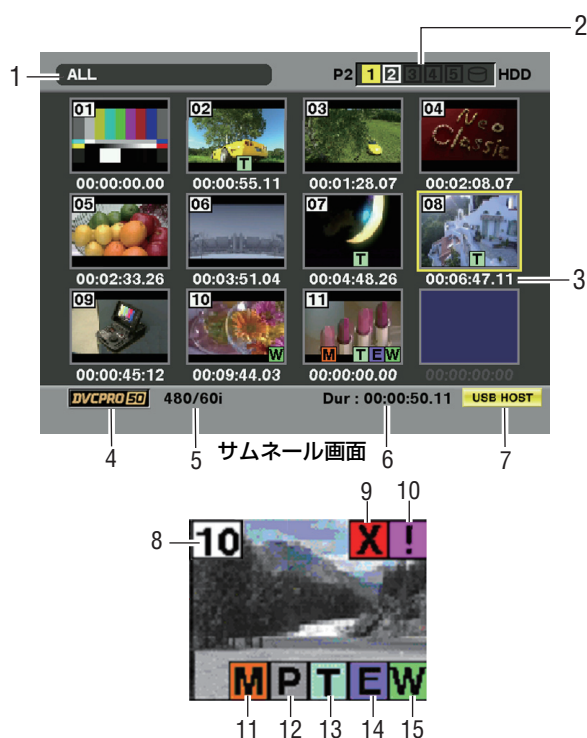
サムネール画面

サムネールボタンを押すと、液晶画面にサムネール画面を表示します。もう一度サムネールボタンを押すと、通常の表示に戻ります。なお、通常の表示からサムネール画面表示に変わったときは、すべてのクリップをサムネール画面に表示します。

また、サムネール画面からサムネールメニューボタンを押すと、サムネールのメニュー操作が可能になります。

◆ NOTE:

TCG スイッチを「SET」にして、タイムコードやユーザーズビットを設定しているとき、またはカメラのメニューを操作しているときはサムネール操作はできません。



1. 表示状態

画面に表示するサムネールの種類や、その他の情報画面の種類を表示します。

ALL: すべてのクリップを表示しています。

SAME FORMAT:

システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示しています。

SELECT: SET ボタンで選択したクリップを表示しています。


MARKER: ショットマークが付加されたクリップを表示しています。

TEXT MEMO:

テキストメモデータがあるクリップを表示しています。

SLOT n: 特定のP2カード内のクリップを表示しています。(n: スロット番号の1~5が入ります)

UPDATING...:

画面更新などの処理中に表示しています。また更新中は回転するアイコンを表示します。

詳しくは「サムネール表示の切り替え」(119 ページ)を参照してください。

2. スロット番号・HDD状態

ポインターが合わされているクリップが、どのP2カードに記録されているかを表示します。クリップが記録されたP2カードのスロット番号が、黄色く表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されている場合は、そのクリップが記録されたP2カードのスロット番号のすべてを表示します。また、P2カードが挿入されているスロット番号を白く表示します。以下のようなP2カードが挿入された場合、スロット番号を桃色で表示します。

● RUN DOWN CARD

(書き換え回数が規定回数を越えたP2カード)

● DIR ENTRY NG CARD

(ディレクトリ配置が不正規なP2カード)

USB HDDの表示は以下のようになります。

● USBホストモード以外: 「灰色」

● USBホストモードで非接続の場合: 「灰色」

● USBホストモードでHDD認識し使用可能の場合: 「白色」

● USBホストモードでHDD認識しサムネール表示している場合: 「黄色」

● USBホストモードでHDD認識しコピー操作が不可能の場合: 「赤色」

3. 時間表示

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード/クリップの記録開始時点のユーザーズビット/撮影時刻/撮影日/撮影日時/USER CLIP NAMEのいずれかを表示します。

4. 記録モード

ポインターの位置のクリップの記録モードを表示します。

5. システムフォーマット

ポインターの位置のクリップのフォーマットを表示します。

6. デュレーション

ポインターの位置のクリップのデュレーションを表示します。

7. USBホストモードインジケータ

USBホストモードに切り替わっている場合に表示されます。

8. クリップ番号

P2カードに正しく認識されているすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、撮影日時が早い順に割り振られます。

記録フォーマットが異なるクリップなど、再生できないクリップは赤色で表示されます。

9. [X] 不良クリップインジケータ・**[?] 不明クリップインジケータ**

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示します。

黄色い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。詳しくは「クリップの修復」(123 ページ)を参照してください。

赤い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できない場合は、P2カードをフォーマットしてください。

フォーマットなどが異なるクリップの場合、[X]の代わりに[?]を表示します。

10. [I] 不完全クリップインジケータ

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードがP2カードスロットに挿入されていない場合、表示します。

11. [M] ショットマークインジケータ

サムネールにショットマークが付加されたクリップに表示します。ショットマークについて、詳しくは「ショットマーク」(121 ページ)を参照してください。

12. [P] プロキシ付きクリップインジケータ

プロキシが付加記録されているクリップに表示されません。

13. [T] テキストメモインジケータ

テキストメモデータがあるクリップに表示します。

14. [E] エディットコピークリップインジケータ

AJ-HPM100 など、エディットコピー対応機種でエディットコピーを行ったクリップに表示します。エディットコピーについて、詳しくはエディットコピー対応機種取扱説明書を参照してください。

15. [W] ワイドインジケータ

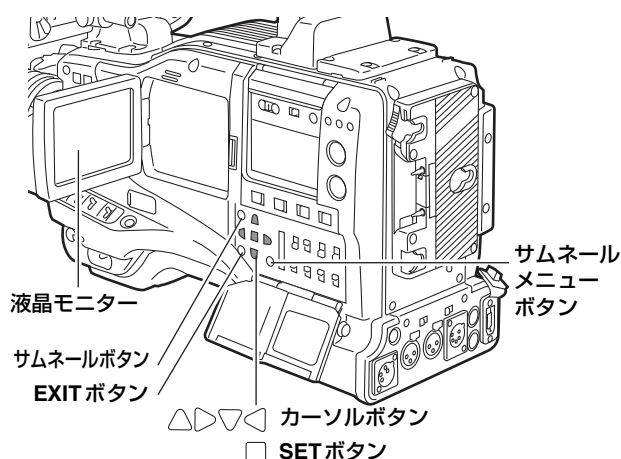
16:9の画角で記録されたクリップに表示します。ただしHDのフォーマットのクリップでは表示しません。

サムネールの選択

サムネール画面では、複数のサムネールを任意に選択できます。

- 1 ポインター（黄色い枠）をカーソルボタンで動かして、選択したいクリップに合わせ、**SET** ボタンを押します。
選択されたクリップのサムネールには青色の枠を表示します。再度**SET** ボタンを押すと、選択は解除されず。
- 2 さらに選択したいクリップがある場合は、1の操作を繰り返してください。

選択したクリップのみをサムネール画面に表示し、再生することが可能です。詳しくは「サムネール表示の切り替え」(119 ページ) を参照してください。



クリップの再生

- 1 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、再生したいクリップに合わせます。
- 3 **PLAY/PAUSE** ボタンを押すと、ポインターが合わされたクリップが、液晶モニター上で再生されます。
カーソルが合わされたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが撮影時刻順に再生され、最後のクリップの再生が終わった時点でサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

- クリップを再生する際は、クリップを選択する（サムネールに青色の枠を表示した状態にする）必要はありません。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。

- 4 クリップの再生中に、**REW** ボタンを押すと4倍速逆再生、**FF** ボタンを押すと4倍速再生を行います。通常の再生に戻すには**PLAY/PAUSE** ボタンを押します。
- 5 クリップの再生中に、**PLAY/PAUSE** ボタンを押すと再生を一時停止します。
再生の一時停止中、**REW** ボタンを押すと、そのクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。
さらに**REW** ボタンを押すと、一つ前のクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。
再生の一時停止中、**FF** ボタンを押すと一つ後のクリップの先頭で、再生を一時停止した状態になります。

- 6 クリップの再生中に**STOP** ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

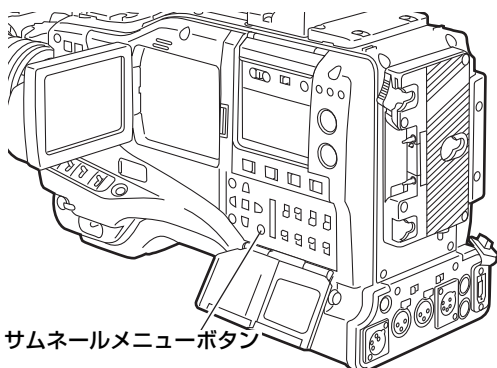
◆NOTE:

再生を停止時、ポインターは再生開始時の位置にかかわらず、再生していたクリップのサムネールに合わせられています。ただし、**THUMBNAIL** ボタンを押してサムネール画面を閉じると、それまで表示していたポインタ位置のクリップではなく、先頭の（全クリップ中、記録日時が最も早い）クリップにポインターは合わされます。

サムネール表示の切り替え

サムネール画面に表示するクリップを、特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることができます。

- 1 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押します。サムネールメニューが開きます。



- 3 サムネールメニューより THUMBNAIL を選択します。
それぞれの項目を選択して、サムネール表示を切り替えることができます。



ALL CLIP:

すべてのクリップを表示します。

SAME FORMAT CLIPS:

システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示します。システムフォーマットとは、SYSTEM MODE項目とREC MODE項目で設定された映像方式です。MODE CHECKボタンを押すと、ビューファインダーに表示します。「ビューファインダー画面の状態表示の構成」の「1.システムモード」(74 ページ)と「3.REC MODE」(74 ページ)を参照してください。

SELECTED CLIPS:

任意に選択したクリップを表示します。

MARKED CLIPS:

ショットマークが付加されたクリップを表示します。

TEXT MEMO CLIPS:

テキストメモデータがあるクリップを表示します。

SLOT CLIPS:

特定のスロットに挿入されたP2カードに記録されたクリップを表示します。
この項目を選択すると、さらにサブメニューとしてSLOT1からSLOT5を表示しますので、表示したいスロットを選択します。

SETUP:

この項目については「サムネールの表示設定」(130 ページ)を参照してください。

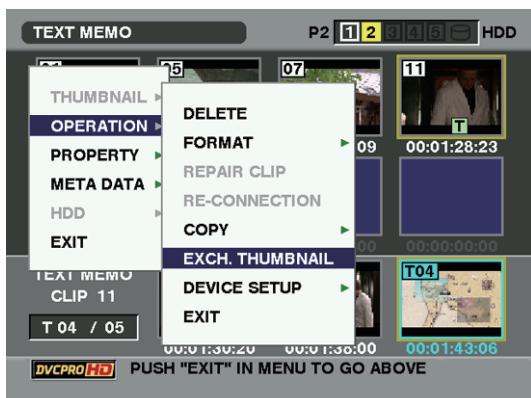
EXIT:

サブメニューを閉じます。

サムネイルの変更

サムネイルの映像を、あらかじめ記録中や再生中にテキストメモをつけたポイントの映像に置き換えることができます。

- 1 変更したい映像にテキストメモを付加します。テキストメモを付加する方法については「テキストメモ機能」(45 ページ)をご覧ください。
- 2 サムネイルメニュー THUMBNAIL→TEXT MEMO CLIPS を選択し、テキストメモの付いたクリップのサムネイル表示にします。
- 3 サムネイルを変更したいクリップにポインターを合わせてSET ボタンを押し、ポインターを下段のテキストメモ表示に移動させます。
- 4 置き換えたいサムネイルをテキストメモの中から選び、ポインターを合わせてサムネイルメニューの OPERATION→EXCH. THUMBNAIL を選択します。



- 5 SET ボタンを押します。YES/NO 確認画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。
メニューが閉じて、クリップのサムネイルが置き換わります。



◆ NOTE:

サムネイルメニュー PROPERTY→CLIP PROPERTY でクリッププロパティを表示させ、THUMBNAIL 項目でサムネイルの位置(クリップ先頭からのフレーム数)を確認することができます。通常のサムネイルはクリップの先頭ですので、0が表示されます。

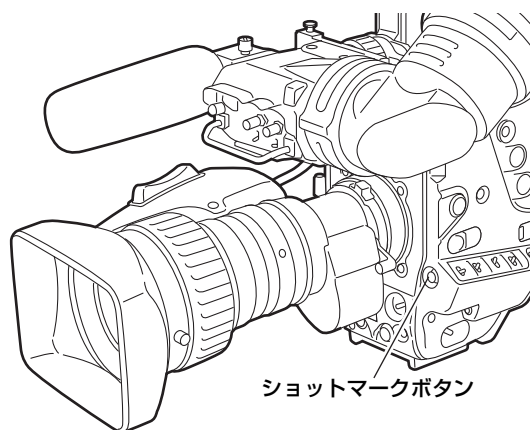
ショットマーク

本機は、他のクリップと区別するために、クリップのサムネールにショットマークを付加することができます。

- 1 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、ショットマークを付加したいクリップに合わせます。
- 3 ショットマークボタンを押します。
- 4 ポインターが合わされたクリップのサムネールに、ショットマークが付加されます。
ショットマークを削除するには、もう一度ポインターを合わせてショットマークボタンを押します。

◆NOTE:

- ショットマークは記録中にも付加することができます。詳しくは「ショットマーク機能」(46 ページ)を参照してください。
- 複数の P2 カードにまたがるクリップに、ショットマークを付加/削除する場合、そのクリップが記録されたすべての P2 カードを挿入した状態で行ってください。



ショットマークボタン

テキストメモ

記録/再生中にテキストメモを付加することができます。またテキストメモを使うことにより、クリップ途中からの再生やクリップの分割コピーが可能になります。

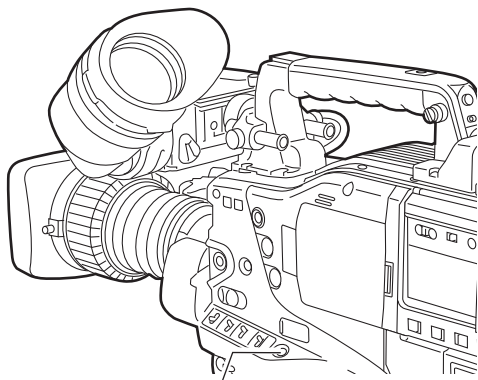
テキストメモを付加する

テキストメモを付加するには、以下の二つの方法があります。

- 記録/再生中にテキストメモボタンを押します。
ボタンを押したときの位置にテキストメモを付加します。
- サムネール画面を表示中にテキストボタンを押すと、クリップの先頭にテキストメモを付加します。

◆NOTE:

テキストメモは1つのクリップにつき、ボイスメモと合わせて100個まで記録できます。ただし、本機ではボイスメモを記録・再生できません。



テキストメモボタン

テキストメモ位置からの再生

- サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューより THUMBNAIL → TEXT MEMO CLIPS を選択します。
液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールを表示します。液晶モニター下段には、ポインターで選択されているクリップのテキストメモに関する情報を表示します。

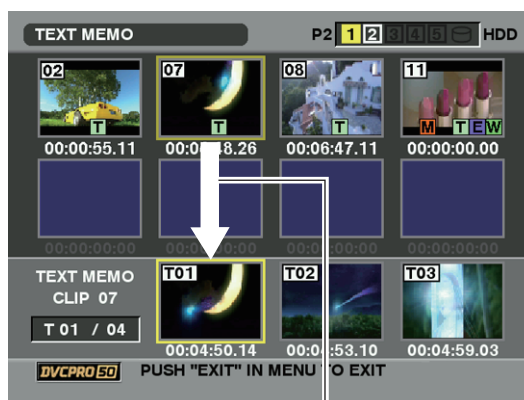


サムネール表示部

クリップに付加された
テキストメモの総数を表示

テキストメモが関連付けられた
静止画像を表示

- ポインターを、再生したいテキストメモのあるクリップに合わせ、SET ボタンを押します。
ポインターが液晶モニター下段に移ります。



ポインターが移動します。

- ポインターが下段にある状態のまま、カーソルボタンの左右 (<|>) で、ポインターを再生したいテキストメモ番号に合わせ、PLAY ボタンを押します。
- ポインターが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。
再生中に STOP ボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了すると、サムネール画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネールにポインターは戻ります。
- サムネールメニューボタンを押し、EXIT を選択するか、EXIT ボタンを押すと、ポインターがサムネール画面の上段に戻ります。

テキストメモの削除

- 「テキストメモ位置からの再生」(122 ページ) の 1~3 の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択します。
- 削除したいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押します。
- サムネールメニューボタンを押し、メニューより OPERATION → DELETE と選択します。
本当に削除するか、YES/NO で確認してきますので、カーソルボタンと SET ボタンで YES を選択します。
テキストメモが消去されます。

テキストメモによるクリップ分割コピー

- 1 「テキストメモ位置からの再生」(122 ページ) の1~3 の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択します。
- 2 コピーしたいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押します。テキストメモは複数選択できます。
- 3 サムネールメニューボタンを押し、OPERATION→COPYと選択します。
- 4 カーソルボタンとSET ボタンでコピー先のスロットを選択し、YESを選択するとコピーを実行します。選択したテキストメモと、その次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後にテキストメモがない場合は、クリップの終端までをコピーします。複数選択している場合は、それぞれ選択している区間のコピーを行います。
- 5 コピー中は、コピーの進捗状況とキャンセルの表示を行います。コピーを途中で中断する場合は、SET ボタンを押します。YES/NOの確認画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。

クリップの削除

- 1 サムネールボタンを押します。液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、削除したいクリップに合わせます。SET ボタンを押して、クリップを選択します。
- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→DELETEと選択します。
- 4 下の画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。



- 5 クリップが削除されます。このとき選択された(青色の枠で囲まれた)クリップはすべて削除されます。

◆ NOTE:

SET ボタンを押すと、途中で削除を中止できます。

クリップの修復

記録中、急に電源が切れる、またはアクセス中のP2カードを取り出したなどの原因で発生した、不具合のあるクリップを修復します。

◆ NOTE:

修復が可能なのは、黄色い不良クリップインジケータがついたクリップのみです。赤い不良クリップインジケータがついたクリップは削除してください。削除できない場合はP2カードをフォーマットしてください。ただし修復中に、不良クリップインジケータが黄色から赤色になり、修復ができない場合があります。

- 1 サムネールボタンを押します。液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、修復したいクリップ(不具合のあるクリップには不良クリップマークが表示されています)に合わせます。SET ボタンを押して、クリップを選択します。
- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→REPAIR CLIPと選択します。
- 4 本当に修復を行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。

不完全クリップの連結

複数の P2 カードにまたがって記録されているクリップ（連結したクリップ）がカードごとに別々にコピーされるなどで、それぞれが不完全クリップになることがあります。このとき連結機能を使って、1つのクリップ（元の連結したクリップ）にすることができます。

- 1 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 カーソルボタンとSETボタンで、連結する不完全クリップを選択します。
通常、不完全クリップ（**!**表示のついたクリップ）のサムネールは並んで表示されています。

- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→RE-CONNECTIONと選択します。
- 4 本当に連結を行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。

◆NOTE:

- 一部のクリップだけ連結しても、元の連結したクリップを構成するすべてのクリップがそろわない場合は、**!**表示がついたままになります。
- LOOP REC中にP2カードを抜いてできた不完全クリップは、元の連結したクリップを構成するすべてのクリップが揃わなければ連結できません。

クリップのコピー

クリップを選択し、任意のスロットの P2 カードや SD メモリーカードにコピーすることができます。

- 1 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、コピーしたいクリップに合わせ、SETボタンを押してクリップを選択します。
- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→COPYと選択します。
コピー先としてスロット1～5、またはSDメモリーカードを選択します。



- 4 本当にコピーを行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。



◆NOTE:

- P2 カードの故障の原因になりますので、コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差しをしたりしないでください。誤って上記のような動作を行った場合、不良クリップができますので、削除してから、再度コピーを行ってください。
- P2 カードへのコピーは、クリップの情報がすべてコピーされますが、SDメモリーカード*1へのコピーは映像・音声情報はコピーされず、サムネール、クリップメタデータ、アイコン、ボイスメモ、プロキシ、リアルタイムメタデータのみのコピーとなります。
- コピー先の記憶容量が不足している場合、“LACK OF REC CAPACITY”と表示され、コピーは行われません。コピーするクリップに不良クリップが含まれている場合は“CANNOT ACCESS”と表示され、コピーは行われません。また選択したクリップの中に、コピー先のP2カードと同一のカードに記録されたものが含まれる場合もコピーは行われません。
- 途中でコピーを中止する場合は、SETボタンを押してください。コピー先でコピー中だったクリップは削除されます。
- コピー先に同一のクリップが存在するときは“OVER WRITE?”と表示されます。重ね書きを行う場合はYESを、行わない場合はNOを選択してください。

*1 使用する SD メモリーカードについては <SD メモリーカード使用上の注意> (24 ページ) を参照してください。

クリップメタデータの設定

撮影者名やレポート名、撮影場所、テキストメモなどの情報をSDメモリーカードから読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。

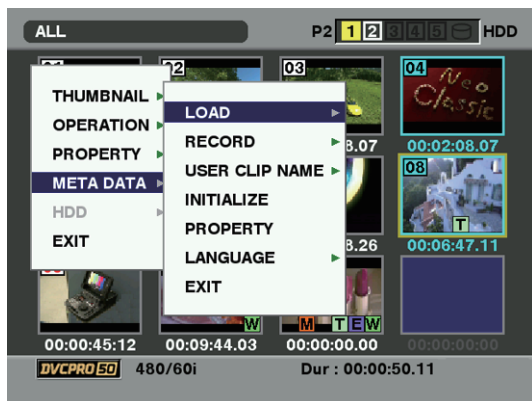
クリップメタデータの読み込み (メタデータアップロード)

- 1 クリップメタデータを記述したファイル（メタデータアップロードファイル）が入ったSDメモリーカードを本機に挿入します。
- 2 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

◆ NOTE:

サムネール画面を表示している状態で、MODE CHECK ボタンを押しながらサムネールメニューボタンを押すと手順4へ移ります。

- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからMETA DATA→LOADと選択し、SET ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカードにあるメタデータアップロードファイルのファイル名を表示します*。カーソルボタンで読み込むファイルを選択してYESを選択すると、読み込みが開始されます。
読み込んだメタデータは電源をOFFにしても保持されます。
読み込んだデータの確認は「読み込んだメタデータの確認および修正」(126 ページ)を参照してください。

* カーソルボタン (<) を押すと、カーソル位置のファイル名を 100 文字までフル表示します。カーソルボタン (>) を押すと元に戻ります。

クリップメタデータ項目

クリップメタデータには下記の項目があります。下線の入った項目は、SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は、撮影時に自動的に設定されます。メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピュータ上でP2ビューア最新アップデート版を使用することで、SDメモリーカードに書き込むことができます。P2ビューア最新アップデート版は下記のURLからパーソナルコンピュータにインストールしてください。

<http://panasonic.biz/sav/>

また、使用するSDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>(24 ページ)を参照してください。

◆ NOTE:

P2ビューア以外で編集したファイルは、「UNKNOWN DATA」と表示され、読み込めない場合があります。

GLOBAL CLIP ID:

クリップの撮影状態を示すグローバルクリップIDを表示します。

USER CLIP NAME:

ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。*1

VIDEO: [FRAME RATE] (クリップのフレームレート)、[PULL DOWN] (プルダウン方式)、[ASPECT RATIO] (アスペクト比) を表示します。

AUDIO: [SAMPLING RATE] (記録音声のサンプリング周波数)、[BITS PER SAMPLE] (記録音声の量子化ビット数) を表示します。

ACCESS: [CREATOR] (クリップの収録者名)、[CREATION DATE] (クリップの収録日)、[LAST UPDATE DATE] (クリップの最終更新日)、[LAST UPDATE PERSON] (クリップの最終更新者) を表示します。

DEVICE: [MANUFACTURER] (収録した機材のメーカー名)、[SERIAL NO.] (収録した機材のシリアルナンバー)、[MODEL NAME] (収録した機材のモデル名) を表示します。

SHOOT: [SHOOTER] (撮影者名)、[START DATE] (撮影開始日)、[END DATE] (撮影終了日)、[LOCATION] ALTITUDE/LONGITUDE/LATITUDE/SOURCE/PLACE NAME (撮影地の高度/経度/緯度/それらを得た情報源/場所の名前) を表示します。

SCENARIO:

[PROGRAM NAME] (番組名)、[SCENE NO.] (シーンナンバー)、[TAKE NO.] (テイクナンバー) を表示します。

NEWS: [REPORTER] (リポーター名)、[PURPOSE] (取材目的)、[OBJECT] (取材対象) を表示します。

MEMO*2: [NO.] (テキストメモの番号)、[OFFSET] (テキストメモが付加されるクリップ先頭からのフレーム位置)、[PERSON] (クリップに付加されたテキストメモの記録者)、[TEXT] (テキストメモの内容) を表示します。

THUMBNAİL:

サムネールの元となる画像のフレーム位置 (フレームオフセット) や、サイズ (高さ、幅) を表示します。

*1 USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは「USER CLIP NAME の記録方法の選択」(127 ページ) を参照してください。

*2 MEMO を入力するときは TEXT を必ず入力してください。PERSON、OFFSET のみの記録はできません。

◆ **NOTE:**

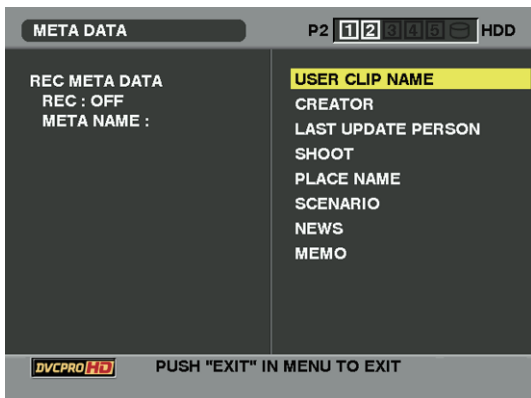
本機では、印刷可能な ASCII 文字のみ表示が可能です。

読み込んだメタデータの確認および修正

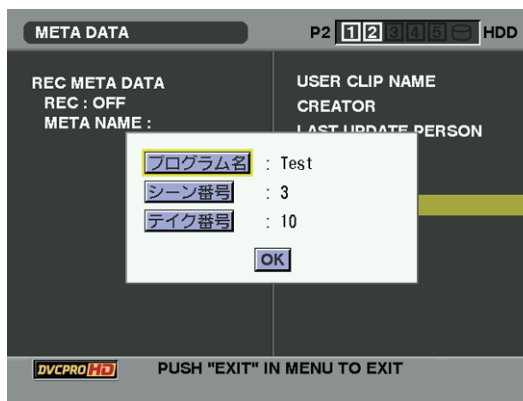
SD メモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。

1 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

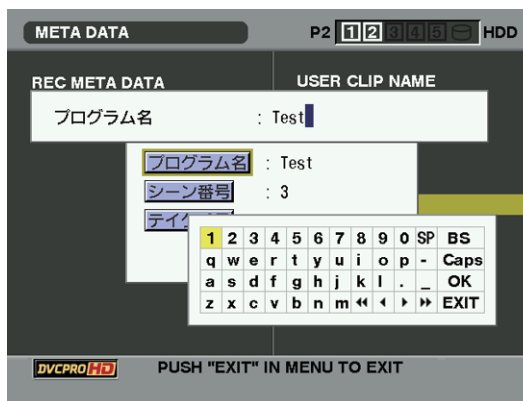
2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューから META DATA → PROPERTY と選択します。
下記のような画面が表示されます。



3 カーソルボタンでポインターを動かし SET ボタンを押すと、読み込んだメタデータの各設定内容を確認できます。



4 またメタデータの各設定内容を確認中に、カーソルボタンでポインターを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせて SET ボタンを押します。
ソフトウェアキーボード画面が表示され、設定内容を変更することができます。



読み込んだメタデータの記録する/しないを設定

サムネールメニューから META DATA → RECORD 項目で ON/OFF を設定します。工場出荷時は OFF に設定されています。

USER CLIP NAMEの記録方法の選択

サムネールメニューからMETA DATA → USER CLIP NAME項目で、USER CLIP NAMEの記録方法を、TYPE1とTYPE2の二通りから選択することができます。

● TYPE1 (工場出荷時)

	記録されるUSER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	GLOBAL CLIP IDと同じ (UMIDデータ)

● TYPE2

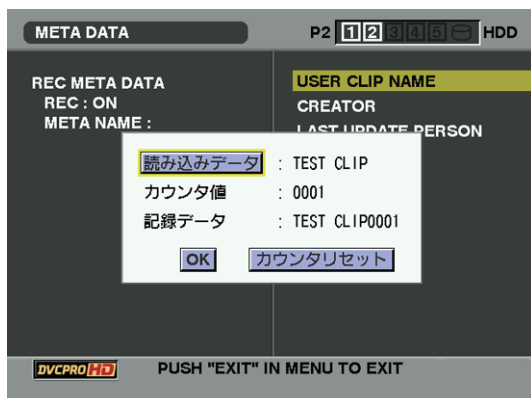
	記録されるUSER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ + COUNT値*
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	CLIP NAMEと同じ

* COUNT値は、4桁の数字で表示されます。

COUNT値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法をTYPE2に設定した状態のとき、撮影を行って新しいクリップを生成することに、1ずつ増えます。

またCOUNT値は、以下の方法でリセットできます。

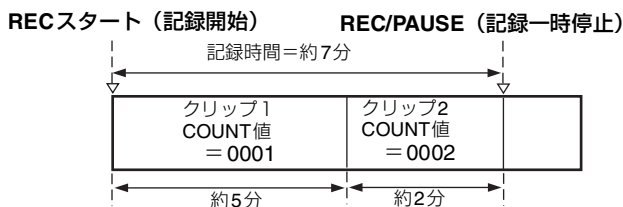
サムネールメニューからMETA DATA → PROPERTYと選択し、さらにUSER CLIP NAME項目を選択すると、下記の画面が表示されます。「カウンタリセット (COUNT RESET)」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと、COUNT値が1にリセットされます。



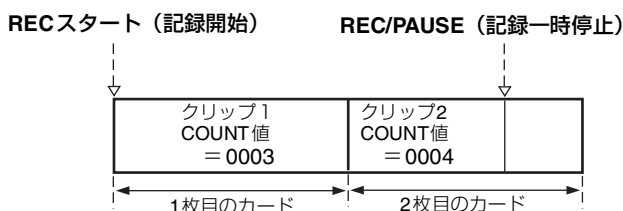
◆ NOTE:

本機で8 GB以上のP2カードを使用し、1回の連続記録時間が一定時間 (DVCPRO HD、およびAVC-Intra 100時:約5分/DVCPRO50、およびAVC-Intra 50時:約10分/DVCPROまたはDV時:約20分) を超える場合、また1回の記録が複数のP2カードにまたがって行われた場合、自動的に別のクリップとして記録されます。このとき、COUNT値はそれぞれのクリップにつけられます。

P2カード1枚での記録 (DVCPRO HD) の例



P2カード2枚にまたがって記録する例



なお、P2機器で上記例のようなクリップのサムネール表示、およびプロパティ表示を行った場合、クリップ1のサムネールおよびCOUNT値を表示します。

読み込んだメタデータのクリア

サムネールメニューからMETA DATA → INITIALIZEと選択し、SET ボタンを押します。確認画面が表示されますのでYESを選択します。

メタデータの表示言語設定

メタデータを表示する時の表示言語を設定することができます。サムネールメニューからMETA DATA → LANGUAGEと選択し、表示言語を選択してからSET ボタンを押します。言語は

ENGLISH: 英語
JAPANESE: 日本語

から選択します。

◆ NOTE:

- 表示言語の設定は使用地域が「NTSC (J)」に設定されているときのみ可能です。詳しくは「ご使用地域への設定 (フレーム周波数等の設定)」(15 ページ) を参照してください。
- 日本語や中国語を英語で表示した場合や、英語の非表示文字などがある場合は正しく表示されず、「*」で表示します。
- 本機で入力できる文字は英数字のみです。日本語、中国語は入力できません。

プロキシ機能の設定 (オプション)

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) をオプションスロット、またはスロット5に装着すると、プロキシ記録に関する設定を行うことができます。

本機の電源がONの状態ビデオエンコーダーカードを挿入しても認識されません。本機の電源をOFFにしてから、ビデオエンコーダーカードを装着してください。

設定は、サムネイルメニューから OPERATION → DEVICE SETUP → PROXYと選択し、行います。

ビデオエンコーダーカードの取り付け方法と設定内容は、ビデオエンコーダーカードの取扱説明書を参照してください。

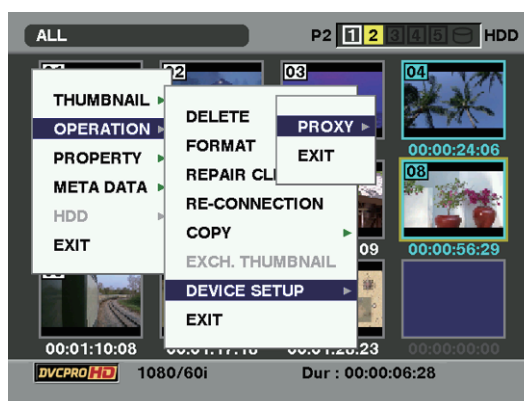
◆ NOTE:

- 24PN (Native) 記録モードでプロキシ機能を使用するには、ビデオエンコーダーカードファームウェアのFPGAバージョンを「B102」以上に更新する必要があります。ビデオエンコーダーファームウェアのFPGAバージョンを確認する方法については、「ビデオエンコーダーカードの状態表示 (オプション)」(134 ページ) を参照してください。また、アップデートの方法については下記ウェブサイトよりP2サポートページをご覧ください。

日本語 : <http://panasonic.biz/sav/>

英語 : <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

- ビューファインダーに「PROXY CARD ERROR」と表示された場合はビデオエンコーダーカードの点検を行うか、プロキシ記録を行わない設定にしてください。



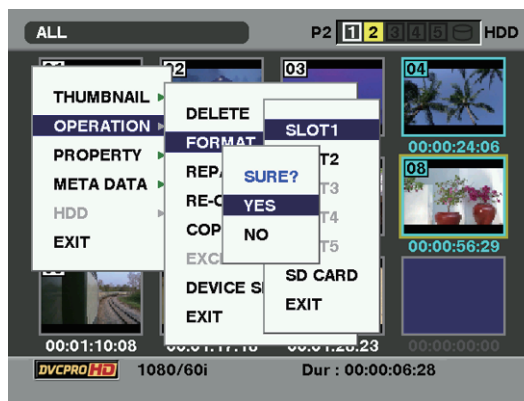
P2カードのフォーマット

- 1 サムネイルボタンを押します。
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。

- 2 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューからOPERATION→FORMATと選択します。
下記のような画面が表示されますので、フォーマットしたいP2カードが挿入されたスロット番号を選び、選択します。
フォーマットしない場合はEXITを選択してください。



- 3 下の画面が表示されますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。



- 4 選択したP2カードがフォーマットされます。

SDメモリーカードのフォーマット

サムネイル画面から、SDメモリーカードをフォーマットすることもできます。本機にSDメモリーカードを挿入した状態で、以下の作業を行ってください。

- 1 サムネイルボタンを押します。
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューからOPERATION→FORMATと選択します。
下記のような画面が表示されますので、“SD CARD”を選び、選択します。
フォーマットしない場合は“EXIT”を選択してください。



- 3 下の画面が表示されますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。



- 4 SDメモリーカードがフォーマットされます。

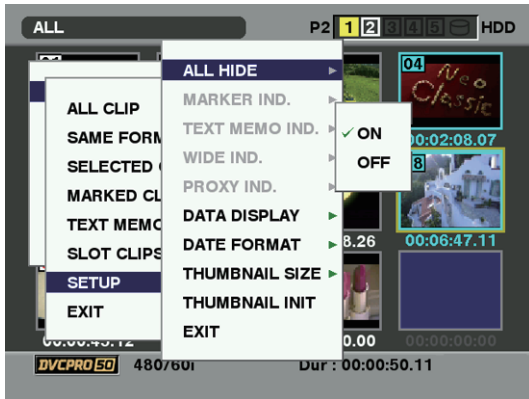
◆ NOTE:

SDメモリーカードは、メニュー画面からフォーマットすることもできます。詳しくは「SDメモリーカードをフォーマットするには」(87ページ)を参照してください。

サムネールの表示設定

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズすることができます。

- 1 サムネールボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからTHUMBNAIL→SETUPと選択します。
下記のような画面が表示されます



ALL HIDE :

- ON : すべてのインジケータを非表示にします。
- OFF : 以下のメニューにしたがって表示/非表示が設定されます。工場出荷時はこちらに設定されています。

MARKER IND. :

ショットマークインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

TEXT MEMO IND. :

テキストメモインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

WIDE IND. :

ワイドインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

PROXY IND. :

プロキシインジケータの表示・非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

DATA DISPLAY:

クリップの時間表示の部分を、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時刻 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日および時刻 (DATE TIME) / ユーザークリップ名 (USER CLIP NAME) のいずれかから選択できます。工場出荷時はタイムコードに設定されています。

DATE FORMAT:

記録日時の表示順を、年月日 (YMD) / 月日年 (MDY) / 日月年 (DMY) のいずれかから選択できます。工場出荷時は年月日に設定されています。この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、およびDATA DISPLAYでDATEを選択したときに表示される記録日時に反映します。

THUMBNAIL SIZE:

1画面に表示されるサムネールを、LARGE (サムネールを3×2で表示) / NORMAL (サムネールを4×3で表示) のいずれかから選択できます。工場出荷時はNORMALに設定されています。

THUMBNAIL INIT:

上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態にします。カーソルをこの項目にあわせ、SETボタンを押します。確認画面が表示されますのでYESを選択します。

EXIT:

1つ前のメニューに戻ります。

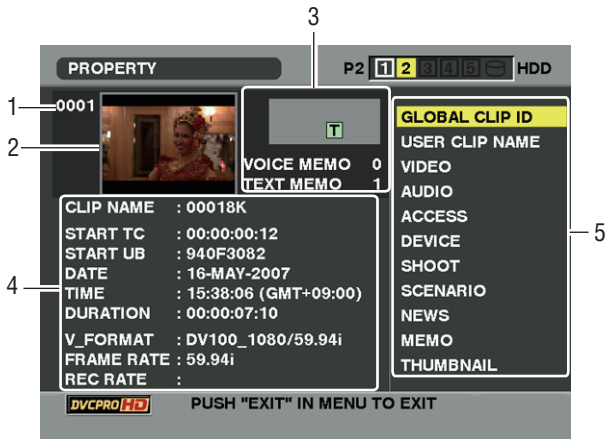
プロパティ

クリップのプロパティ、P2カードの状態を表示します。

またクリップのプロパティを表示中に、記録されたクリップメタデータを編集し、書き換えることができます。

クリップのプロパティ

サムネイルメニューから PROPERTY → CLIP PROPERTY を選択します。下記のような画面が表示されます



1. クリップ番号

2. サムネイル

3. クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータ、付加されているテキストメモやボイスメモの数を表示します。また、クリップが記録された P2 カードに、ライトプロテクトがかかけられているとき、**T**マークが表示されます。

◆ NOTE:

本機ではボイスメモの記録/再生はおこなえません。

4. クリップ情報

クリップに関するさまざまな情報を表示します。

CLIP NAME:

クリップ名を表示します。

START TC:

記録開始時のタイムコードの値を表示します。

START UB:

記録開始時のユーザズビットの値を表示します。

DATE:

記録した日付を表示します。

TIME:

記録開始時の時刻を表示します。

DURATION:

クリップの長さを表示します。

V-FORMAT:

クリップの記録フォーマットを表示します。

FRAME RATE:

再生フレームレートを表示します。

REC RATE:

記録フレームレートを表示します。(カメラレコーダーで特殊な記録をしたクリップに表示します)

5. クリップメタデータ

クリップに関する、より詳しいデータを表示します。ポインターをカーソルボタンで動かし、SET ボタンを押して詳しい内容を確認できます。表示されるメタデータについて、詳しくは「クリップメタデータの設定」(125 ページ)を参照してください。

記録されたクリップメタデータの修正

1 クリップのプロパティ画面で、修正したいクリップメタデータの詳細画面を表示させます。

2 修正したい項目にカーソルボタンでカーソルを合わせます。

変更可能なメタデータ項目は、下図の「CREATOR」などのように表示しています。



- 3 SET ボタンを押します。
メタデータ修正の入力画面（ソフトキーボード）が表示されます。
キーボードから文字を入力し、メタデータを修正します。



キーボードの操作については、「読み込んだメタデータの確認および修正」（126 ページ）と同様です。

- 4 キーボードの「OK」ボタンを押すと、修正されたメタデータがクリップに書き込まれ、メタデータの詳細画面に戻ります。
メタデータ修正の入力画面（ソフトキーボード）が表示されます。
キーボードから文字を入力し、メタデータを修正します。

◆ NOTE:

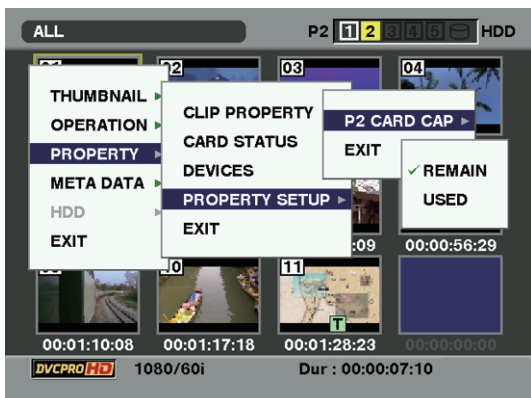
- SHOOTのLOCATION（撮影地情報）の各項目を削除する場合、単独では削除できません。ALTITUDE（高度）項目を空白に設定することで、他のLONGITUDE（緯度）/LATITUDE（経度）項目も一括して削除されます。
- 不完全クリップインジケータが付いたクリップは、メタデータを修正できません。複数枚のP2カードにまたがったクリップは、全てのP2カードが挿入された状態でメタデータの修正を行ってください。
- MEMO項目は100文字以上付加されている場合、修正できません。

P2カードの状態表示

P2カードの状態表示設定

サムネイルメニューからPROPERTY→CARD STATUSと選択することで表示するP2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示するか使用容量で表示するか選択できます。

- 1 サムネイルボタンを押します。
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 サムネイルメニューよりPROPERTY→PROPERTY SETUP→P2 CARD CAPと選択します。
下記のような画面が表示されますので、P2 CARD CAP項目より、P2カードの状態表示の設定を選択します。



REMAIN:

P2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示します。（工場出荷時はこちらに設定されています）

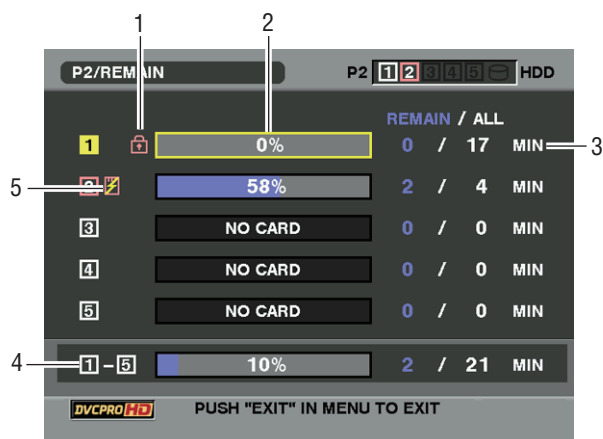
USED:

P2カードの状態表示を、P2カードの使用容量で表示します。

P2カードの状態表示設定内容

サムネールメニューからPROPERTY→CARD STATUSと選択します。下記のような画面が表示されます。

REMAINを選択した場合:



1. 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2. P2カード状態 (記憶残量)

P2カードの記憶残量を、メーターとパーセントで表示します。記憶残量が減るとともに、メーターが左に減っていきます。

またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR:

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED:

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザーIDなどの固有情報を確認できます。

3. P2カード残量/総容量

P2カードの記憶残量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記憶残量の合計と総容量が一致しないことがあります。

4. スロット記憶残量合計

5つのスロットの記憶残量を総合計した数値を表示します。

ただし、ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5. 警告カードマーク

P2カードが以下である場合にマークを表示します。

RUN DOWN CARD:

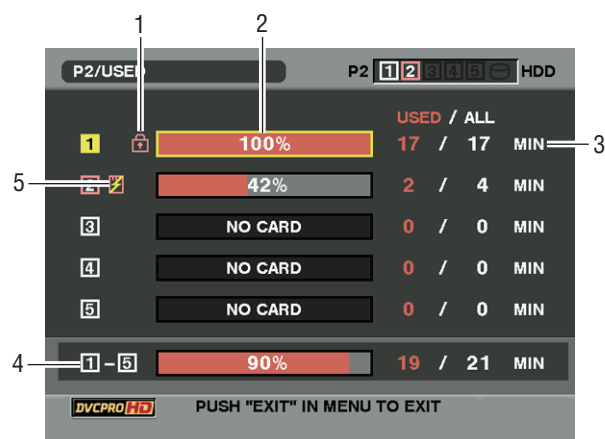
P2カードの規定の書き換え回数を超えています。

DIR ENTRY NG CARD:

P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。

警告内容は「2.P2カード状態 (記憶残量)」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

USEDを選択した場合:



1. 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2. P2カード状態 (使用容量)

P2カードの使用容量を、メーターとパーセントで表示します。使用容量が増えるとともに、メーターが右に増えていきます。

またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR:

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED:

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザーIDなどの固有情報を確認できます。

3. P2カード使用容量/総容量

P2カードの使用容量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの使用容量の合計と総容量が一致しないことがあります。

また、ライトプロテクトがかかっているP2カードの使用容量は、100%使用したものと表示します。

4. スロット使用容量合計

5つのスロットの使用容量を総合計した数値を表示します。

5. 警告カードマーク

P2カードが以下である場合にマークを表示します。

RUN DOWN CARD:

P2カードの規定の書き換え回数を超えています。

DIR ENTRY NG CARD:

P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。

警告内容は「2.P2カード状態 (使用容量)」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

SDメモリーカードの状態表示

SDメモリーカードのフォーマットの状態や、空き容量などを確認できます。

サムネイルメニューから PROPERTY → DEVICES → SD CARD を選択します。

SD規格準拠のフォーマットの場合

SD STANDARD: SUPPORTED

と表示されます。

SD規格に準拠していないフォーマットの場合

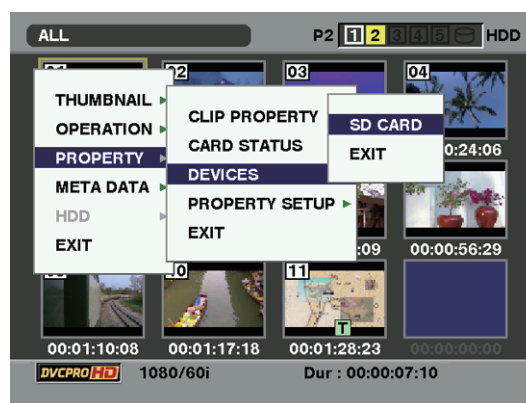
SD STANDARD: NOT SUPPORTED

と表示されます。この場合、正常な読み出し／書き込みができません。本機でフォーマットを行ってください。SDメモリーカードのフォーマットについては、「SDメモリーカードのフォーマット」(129ページ)を参照してください。

◆ NOTE:

表示されるSDメモリーカードの残量 (PROXY REM) はプロキシの記録残量の目安になりますが、実際の空き容量とは異なる場合があります。特に Class 表記のある SD または SDHC カードの場合、短い記録を繰り返すと、記録可能な時間は空き容量に比べ大きく減少することがあります。また残量が999minを超えた場合、999minと表示します。

なお、残量はSDメモリーカードにプロキシ記録を行う設定になっているときのみ表示します。設定方法は、ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) の取扱説明書を参照してください。



ビデオエンコーダーカードの状態表示 (オプション)

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着して、サムネイルメニューから PROPERTY → DEVICES → PROXY を選択します。

ビデオエンコーダーカードの挿入されているスロットとバージョン情報を表示します。

外部機器との接続

DVCPRO 端子での接続

DVCPRO 端子に入力された信号の記録

- 1 1394ケーブル（DVケーブル）を接続するときは「32.DVCPRO端子」（23 ページ）を参照してください。接続先の機器と本機の信号フォーマットが同じであることを確認します。
- 2 SYSTEM SETTING ページの<1394 SETTING>画面を開き、1394 IN CH 項目と 1394 OUT CH 項目の設定が“AUTO”になっていることを確認してください。
- 3 SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面を開き、REC MODE 項目を“DVCPRO HD”に設定してください。
- 4 IEEE1394 インターフェースから入力する場合、設定メニューの REC SIGNAL 項目を“1394”に設定します。REC SIGNAL 項目は、SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

◆ NOTE:

- AVC-Intra フォーマット選択時で記録時は DVCPRO 端子からの入出力はできません。
- INTERVAL REC 動作時は、DVCPRO 端子からの入出力はできません。
- DVCPRO 端子に何も接続されていない場合や、入力信号がない場合は、表示窓のカウンター部に「1394E-90」と表示されます。設定メニューの SYSTEM MODE 項目と REC MODE 項目で設定したフォーマットと同じ信号を、IEEE1394 インターフェースから入力してください。フォーマットが異なる場合、正しく P2 カードに記録されません。通常の 1 倍速再生以外の再生信号を入力したとき、記録される映像や音声、あるいは EE 系の画像と音声は保証されません。エラーコードについては「1394 エラーコード」（154 ページ）を参照してください。
- オーディオ信号の入力は、DVCPRO 端子からの入力信号になります。
- IEEE1394 インターフェースから入力されるオーディオ信号が 32 kHz/4CH（12bit）の場合、48 kHz/4CH（16bit）として P2 カードに記録されます。
- GENLOCK IN 端子を使って、外部の基準信号に同期させることはできません。
- SD モードではサムネールボタンを押すと、ビューファインダーや MON OUT 端子、VIDEO OUT 端子にサムネール画面が出力されます。
- VIDEO OUT 端子や MON OUT 端子、また、AUDIO OUT 端子から出力される信号は、実際の入力信号と異なります。モニター用として使用してください。

- ビューファインダー画面や出力映像には、状態表示のキャラクターが表示されません。
- 下記の機能は動作しません。
 - PRE RECORDING 機能
 - LOOP REC 機能
 - INTERVAL REC 機能
 - ONE CLIP REC 機能
 - プロキシ記録機能

タイムコードとユーザーズビット

- IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、TC IN 端子から入力されるタイムコードやユーザーズビットを P2 カードに記録することはできません。
- IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、TC OUT 端子から出力されるタイムコードは、MON OUT 端子から出力される映像信号と同期していません。

サブコード（SBC）領域のタイムコードとユーザーズビット

- IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、TCG スイッチを「F-RUN」の位置にすると、DVCPRO 端子から入力されている SBC 領域のタイムコードを P2 カードに記録し、そのタイムコードを本機の TC OUT 端子からも出力します。
- TCG スイッチを「R-RUN」の位置にすると、通常の撮影と同様に、P2 カードに記録されているクリップのタイムコードに合わせて、SBC 領域のタイムコードを P2 カードに記録します。
- DVCPRO 端子から入力されているユーザーズビットを P2 カードに記録する場合は、メニュー操作で、MAIN OPERATION ページから<TC/UB> 画面を開き、UB MODE 項目で「EXT」を選択してください。

VAUX 領域のタイムコードとユーザーズビット

- IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、本機のメニュー設定やスイッチの位置に関わらず、常に DVCPRO 端子から入力されている VAUX 領域のタイムコードとユーザーズビットを P2 カードに記録します。

UMID（Unique Material Identifier）情報の記録

- IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、DVCPRO 端子から入力されている UMID 情報を P2 カードに記録します。UMID 情報が存在しない場合は、本機で生成して記録します。本機が DV モードで動作しているときは、UMID 情報が付加されません。

DVCPRO 端子接続による外部機器制御

DVCPRO 端子に、バックアップ記録用の外部機器を接続して、記録開始/停止の制御を行うことができます。

- 1** 1394ケーブル（DVケーブル）を接続するときは「32.DVCPRO端子」（23 ページ）を参照してください。
SYSTEM SETTING ページ、<1394 SETTING>画面の1394 CONTROL項目を“BOTH”に設定します。
- 2** 1394 CMD SEL 項目で外部機器が受け取る記録停止コマンドの種類を選択します。
- 3** <OPTION MODE>画面のREC TALLY項目で、本機側の記録状態を表示する方法を選択します。
なお、外部機器側の記録状態はRED TALLY LEDで表示されます。
- 4** SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面を開き、REC MODE 項目を“DVCPRO HD”に設定してください。

◆ NOTE:

- 外部記録機器として FOCUS 社の Fire Store FS-100 を使用するときは、MAIN OPERATION ページの TC/UB 画面にある VITC UB MODE 項目を“FRM.RATE”に設定すると、FS-100 の表示部に本機の撮影フレームレートを表示することができます。また、本機と同じ USER CLIP NAME を FS-100 の記録クリップに付加することもできます。
- 本機を REC RUN 設定にした状態で、外部機器を接続してバックアップ記録を行っている場合、本機に挿入した P2 カードの容量がなくなったまま記録を継続すると、DVCPRO 端子から出力されるタイムコードの歩進が停止したままになりますのでご注意ください。
- AVC-Intra フォーマット選択時、および INTERVAL REC 動作時は、1394 接続による外部機器制御はできません。

DVCPRO 端子接続時のご注意

- 1394ケーブル（DVケーブル）を接続するときは「32.DVCPRO端子」（23 ページ）を参照してください。
- 接続された機器の電源 ON/OFF および、I/Fケーブルの抜き差しなどで、AV信号が乱れることがあります。
- 入力信号の切り替え時やモード移行の際に、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定した後に、記録動作を行ってください。
- IEEE1394 インターフェース入力選択で記録を行う場合、または IEEE1394 インターフェースで出力される信号に対してはサイドパネルの AUDIO LEVEL ボリュームは動作しません。
- パソコン等のアプリケーションソフトウェア（編集ソフト）で P2 カムを制御する場合、下記のことにご注意してください。
 - ◆ クリップの任意の位置につなぎ撮りを行うことはできません。常に、最新のクリップの後ろに連続してつなぎ撮りが行われます。
 - ◆ 本機のサムネール画面を閉じた状態で使用してください。サムネール画面が開いた状態では、アプリケーションソフトウェアで正しく制御できない場合があります。
- 特殊再生時には、IEEE1394 インターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。
- 出力データのフォーマットが、DV または DVCPRO (25M) の場合は、メニューの 1394 AUDIO OUT 項目で選択したオーディオチャンネルの信号が IEEE1394 インターフェースから出力されます。

USB2.0端子での接続機能

USB デバイスモードでのパーソナルコンピュータとの接続について

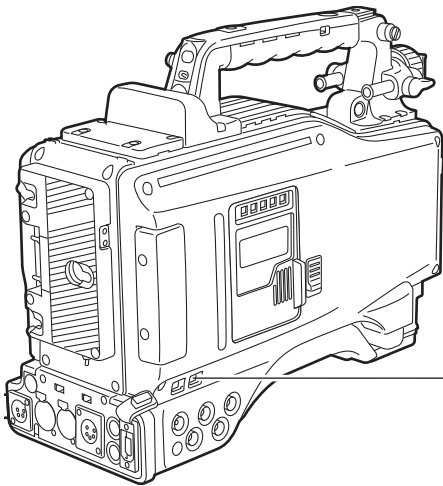
外部パーソナルコンピュータなどとUSB2.0で接続することにより、本機に接続されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。

パーソナルコンピュータとの接続手順

1 USB2.0端子にUSBケーブルを接続します。

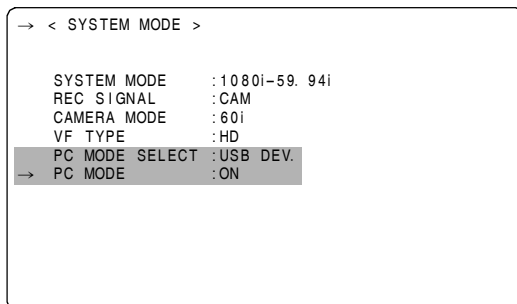
◆NOTE:

- 本機にUSB2.0ケーブルは同梱されていません。市販のUSB2.0対応ケーブル(シールドおよびフェライトコア付き)をご用意ください。
- USBケーブルの長さは3メートル以内のケーブルを使用することをお勧めします。



USB2.0端子
(DEVICE)

2 メニュー操作でSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面を開き、PC MODE SELECT項目を“USB DEV.”に設定し、次にPC MODE項目を“ON”に設定します。



◆NOTE:

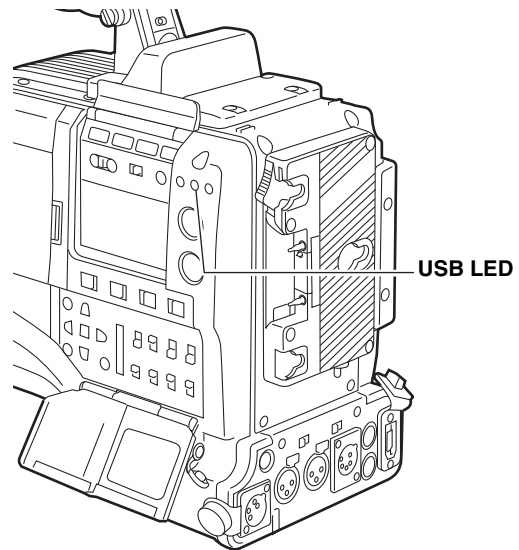
USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW項目で、USB項目をそれぞれのUSERボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択できます。

USB接続を初めて行うときには、本機付属のCD-ROMからP2ソフトウェアをパーソナルコンピュータにインストールしてください。詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

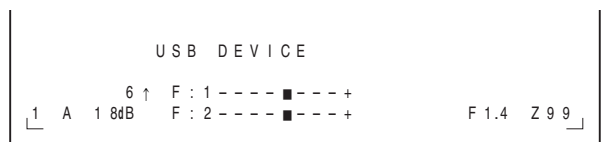
◆NOTE:

- パーソナルコンピュータにはUSB専用ドライバーをインストールしている必要があります。
- 本機は、USB2.0にのみ対応しています。USB2.0対応のパーソナルコンピュータを使用してください。
- パーソナルコンピュータとUSB接続する場合は本機1台のみにしてください。
- USBを接続してご使用の際には、P2カードを抜かないでください。
- USB接続中はP2カードアクセスLEDは、アクセス中以外は消灯します。
- USBデバイスで動作中は、記録・再生動作やクリップのサムネール操作はできません。

USB接続状態中は、サイドパネルのUSB LEDが点灯します。また、ビューファインダー内のシステム情報/警告エリアに「USB DEVICE」と表示されます。なお、正常に接続できていない場合はこれらの表示は両方とも点滅になります。



USB LED



3 USBモードを終了するには以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにします。
- メニュー操作でPC MODE項目を“OFF”に設定します。

USB ホストモード

USB2.0対応のハードディスクドライブ（HDD）1台と接続して、カードデータの保存（EXPORT: 141 ページの「ハードディスクドライブへの書き込み」を参照）や、保存したクリップのサムネール閲覧（EXPLORE: 138 ページの「ハードディスクドライブ情報の表示」を参照）、P2カードへの書き戻し（IMPORT: 141 ページの「P2カードへの書き戻し方」を参照）を行うことができます。

USB ホストモードへの切り替え方

- メニュー操作でSYSTEM SETTINGページ、<SYSTEM MODE>画面のPC MODE SELECT項目をUSB HOSTに設定し、次にPC MODE項目をONにすると、USB HOSTモードになります。
 - USB HOSTモード中はビューファインダーに「USB HOST」と表示され、サイドパネルのUSB LEDが点灯します。ハードディスクドライブが正常に接続されていない場合は、どちらの表示も点滅します。
 - なおUSERボタンにPC MODE ON/OFF機能を割り付けている場合、USERボタンを押すことでUSB HOSTモードと通常モードの切替が可能です。USERボタンの割り付けは「USER MAIN、USER1およびUSER2ボタンへの機能割り付け」（55ページ）を参照してください。

- サムネールボタンを押し、サムネール画面に移行します。右下に「USB HOST」表示が出ていることを確認してください。ハードディスクドライブが接続されている場合には右上のHDDマークが点灯します。ただし赤く点灯している場合はコピー不可能なハードディスクドライブを示します。ハードディスクドライブの種類を確認してください。HDDマークについては「サムネール画面」（116ページ）を参照してください。



◆ NOTE:

USB HOSTモードでは、P2カードの再生はできませんが、カメラ映像や外部入力記録はできません。またハードディスクに書き込まれたクリップは、P2カードに書き戻さなければ再生できません。P2カードへの書き戻しについては「P2カードへの書き戻し方」（141ページ）を参照してください。USB HOSTモードから通常モードに戻るには、サムネール画面を閉じた状態で、PC MODE項目をOFFにするか、PC MODE ON/OFF機能を割り付けたUSERボタンを押します。

USB ホストモードの使い方

使用できるハードディスクドライブ

- USB2.0で接続できるハードディスクドライブ
- P2 STORE (AJ-PCS060G)

◆ NOTE:

- USBバスパワー（5V,0.5A）にも対応していますが、ハードディスクドライブ（によっては起動できないものもあります。その場合はハードディスクドライブへ別途電力を供給してください。
- 電源が入っていないハードディスクドライブであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。またハードディスクドライブ以外の機器でも、ハブなどを介してハードディスクドライブと一緒に接続しないでください。
- 2TB（2048GB）以上のハードディスクドライブには対応していません。

ハードディスクドライブ情報の表示

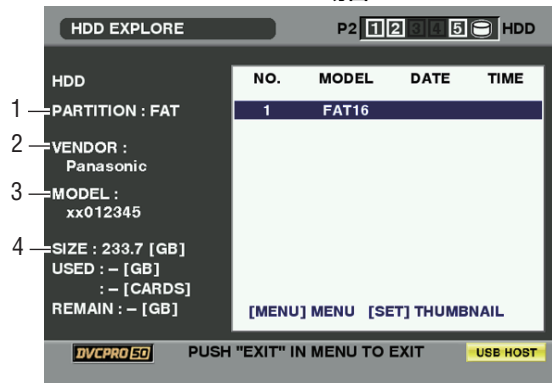
USB接続したハードディスクドライブの情報を、以下の方法で見ることができます。

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」（138ページ）を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 サムネールボタンを押し、サムネール画面を表示します。
- 4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択します。画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。

TYPE SまたはP2STOREの場合



FATの場合



1. PARTITION

ハードディスクドライブの種類を表示します。ハードディスクドライブのタイプによって、操作できる機能が異なります。

HDDタイプ	特徴	操作できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み/書き戻しするための特殊形式です。本機でFORMATを行うと、この形式になります。	サムネイル表示、カード単位での書き込み/書き戻し、クリップ単位での書き戻し、フォーマット
P2STORE	P2 STORE (AJ-PCS060G) のことです。書き込みはできません。	サムネイル表示、カード単位での書き戻し、クリップ単位での書き戻し
FAT	パーソナルコンピュータなどで先頭の基本パーティションがFAT16、またはFAT32になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」ディレクトリが必要なHDDです。	サムネイル表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。
OTHER	上記以外のHDDです。※ ルートに「CONTENTS」ディレクトリがない場合やNTFSなどのFAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。

2. VENDOR

ハードディスクドライブのベンダー名を表示します。

3. MODEL

ハードディスクドライブのモデル名を表示します。

4. SIZE

ハードディスクドライブの総容量を表示します。

5. USED

ハードディスクドライブの使用量を容量 (単位: GB) と使用P2カード領域 (単位: 枚数) で表示します。

6. REMAIN

ハードディスクドライブの残量を容量 (単位: GB) で表示します。

7. パーティション番号

ハードディスクドライブ内のパーティション (P2 カード一枚分の単位) 番号を表示します。

◆ NOTE:

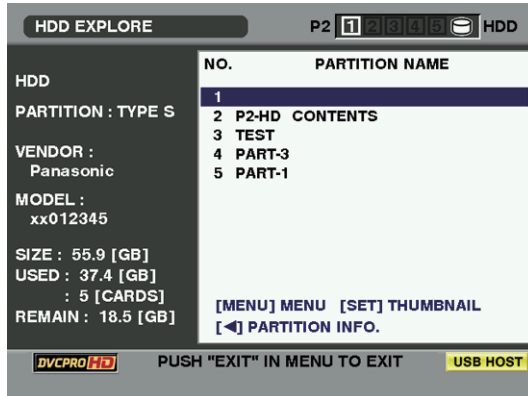
画面の表示は 10 個まで表示されます。パーティションが 11 個以上ある場合、カーソルボタン (▽) で下にスクロールして表示してください。

8. MODEL

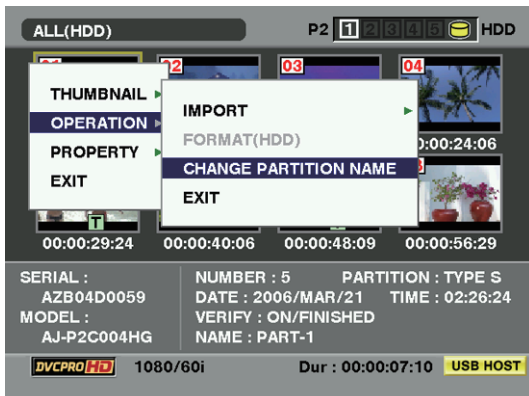
パーティション内のデータがもともと記録されていたP2カードのモデル名を表示します。

◆ NOTE:

カーソルボタン (▷) を押すと、PARTITION NAMEに切り替えることができます。◀ ボタンで元のモデル名表示に戻ります。



PARTITION NAME はハードディスクドライブのサムネール表示中に OPERATION メニューの CHANGE PARTITION NAME を選択し、ソフトウェアキーボードから入力することができます。(最大20文字)



9. DATE/TIME

パーティション内のデータが記録された日時を表示します。

10. SERIAL

パーティション内のデータがもともと記録されていたP2カードのシリアル番号を表示します。

11. VERIFY

パーティション内のデータを記録したときのベリファイの設定とベリファイ結果を表示します。

ON:FINISHED :

ベリファイを実施し、ベリファイ結果が一致しています。

ON:FAILED :

ベリファイを実施していますが、ベリファイ結果が一致していません。

OFF :

ベリファイを実施していません。

— — — :

ベリファイの情報がありません。

◆ NOTE:

- FAT タイプのハードディスクドライブであっても、1001 個目以降のクリップは表示されません。
- FAT でフォーマットされたハードディスクドライブの場合、最初の 1 パーティションのみ、情報が表示されます。
- P2 STORE (AJ-PCS060G) に無効なパーティションがあるときは、パーティション情報がグレーで表示されます。

12. NAME

PARTITION NAME を表示します。

ハードディスクドライブのフォーマット

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(138 ページ) を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 サムネールボタンを押し、サムネール画面を表示します。
- 4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択します。
画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。
- 5 メニューからOPERATION→FORMAT(HDD)を選択し、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、再度確認メッセージが出ますので、そこでYESを選択します。
- 6 ハードディスクドライブのフォーマットが行われます。フォーマット後は、「TYPE S」のハードディスクドライブとして扱えます。

◆ NOTE:

ハードディスクドライブのフォーマットを行うとハードディスクドライブの内容はすべて消去されます。なお、一部のパーティションだけを選択して消去することはできません。

ハードディスクドライブへの書き込み

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(138ページ)を参照してください。
 - 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
ハードディスクドライブを本機でフォーマットしていない場合は、「ハードディスクドライブのフォーマット」に従って、ハードディスクドライブをフォーマットしてください。
 - 3 P2カードを挿入します。
 - 4 サムネールボタンを押し、サムネール画面を表示します。
 - 5 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPORTを選択して、ハードディスクドライブへ書き込みたいデータが記録されたP2カードのスロットを指定します。
 - 6 YESを選択すると書き込みが開始します。
書き込み中は進捗バーが表示されます。書き込みを中断したい場合は、SETボタンを押し、CANCELの確認に対してYESを選択すると処理を中断します。
- ◆NOTE:
- 書き込み時のベリファイをやめる場合は、サムネールメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き込み完了までの時間が早くなりますがデータの書き込み確認は行いません。
 - ALL SLOTを選択すると、本機に挿入されている全てのP2カードを一括してハードディスクドライブに書き込みます。
- 7 書き込みが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- ハードディスクドライブタイプがTYPE Sである場合、カード単位で書き込みを行うことができます。最大23枚のP2カードをハードディスクドライブへ保存することができます。
また、ハードディスクドライブに記録されたP2カードのデータは、パーソナルコンピューターなどでは、それぞれ別のドライブとして認識されます。
- 不良クリップを含むP2カードをハードディスクドライブに書き込むときは、コピーする前に不良クリップを修復することをお勧めします。
- ベリファイ中に処理を中断しても、そのP2カードからハードディスクドライブへの書き込みは終了しています。

P2カードへの書き戻し方

ハードディスクドライブからクリップを選択して書き戻しが行えます。

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(138ページ)を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 書き戻すP2カードをスロットへ挿入します。
- 4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SETボタンで選択します。
- 5 ハードディスクドライブからP2カードへ書き込むクリップをサムネールから選択します。
- 6 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりOPERATION→IMPORT→SELECTED CLIPSと選択し、書き戻すP2カードのスロットを選択します。
- 7 YESを選択すると、P2カードへの書き戻しを開始します。
- 8 書き戻しが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- クリップを選択して書き込む場合はベリファイは実施しません。
- 異なる品番のP2カードへパーティション単位でのインポートはできません。クリップ単位でインポートを実施してください。

ハードディスクドライブタイプがTYPE SかP2STOREである場合、同一品番のP2カードへカード単位で書き戻しを行うこともできます。
書き戻し先のP2カードはあらかじめフォーマットしておいてください。

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(138ページ)を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 書き戻すP2カードをスロットへ挿入します。
- 4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SETボタンで選択します。
- 5 サムネールメニューよりOPERATION→IMPORT→ALLと選択し、書き込みを行う空のP2カードが挿入されたスロットを選択します。

6 YESを選択するとカードへの書き込みを開始します。

<参考>

書き戻し時のベリファイをやめる場合は、サムネールメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き戻し完了までの時間が早くなりますがデータの書き戻し確認は行いません。

7 書き戻しを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

クリップを、そのクリップが元々記録されていたP2カードではない別のP2カードに書き戻したとき、書き戻したクリップが不完全クリップになることがあります。この場合はクリップの連結を行ってください。詳しくは「不完全クリップの連結」(124 ページ)を参照してください。

ハードディスクドライブ使用時のご注意

- ハードディスクドライブ (P2 STORE (AJ-PCS060G) 含む) は以下の条件でご使用ください。
 - ◆ハードディスクドライブの動作補償範囲内 (温度など) で使用する。
 - ◆ハードディスクドライブを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ハードディスクドライブによっては正しく動作しないことがあります。
- USB変換ケーブルで接続されたSATA (シリアルATA) やPATA (パラレルATA) インターフェースのハードディスクドライブは認識できない場合があります。
- コピーには十分な容量のハードディスクドライブをご使用ください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やハードディスクドライブの電源を切ったりしないでください。本機およびハードディスクドライブの電源の再起動が必要になります。
- ハードディスクドライブは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
- ハードディスクドライブの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーで使用したハードディスクドライブを他のパソコンなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびハードディスクドライブのデータは保証できません。
- 下記URLで配布しているドライブマウントコンバーターを使用すると、ハードディスクドライブを接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

SDI IN端子での接続 (AJ-YA350AG装着時)

- 1 本機にHD/SD-SDI入力ボード (AJ-YA350AG:別売品) が装着され、正しく配線がされていることを確認します。詳しくはAJ-YA350AGの取り付けガイドを参照してください。
- 2 接続先の機器と本機の信号フォーマットが同じであることを確認します。
- 3 SDI IN端子から入力する場合、設定メニューのREC SIGNAL項目を“SDI”に設定します。REC SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

◆ NOTE:

- HD/SD-SDI入力ボードが装着されていない場合、REC SIGNAL項目を“SDI”に設定することができません。
- SDI IN端子に何も接続されていない場合や、入力信号がない場合は、記録される映像はブラックになり、音声は無音になります。設定メニューのSYSTEM MODE項目で設定したフォーマットと同じ信号を、SDI IN端子から入力してください。フォーマットが異なる場合、正しくP2カードに記録されません。
- 設定メニューのREC SIGNAL項目を“SDI”に設定する場合、下記のことにご注意してください。
 - ◆ 音声信号の入力は、SDI IN端子からの入力信号になります。
 - ◆ 音声信号は映像と同期した信号を入力してください。P2カードには48 kHz/4CH (16bit) として記録されません。
 - ◆ REC SIGNAL項目を“SDI”に設定すると、SDI IN端子に何も接続されていない場合でもGENLOCK IN端子から入力される信号は無効になります。出力される映像信号と音声信号には遅延が発生しますので、リファレンスに同期したシステムの中でご使用される場合はご注意ください。
- SDI IN端子から入力されているタイムコード、ユーザーズビット、UMID情報を、P2カードに記録することはできません。
- HD/SD SDI入力ボード (AJ-YA350AG) を装着するとSDI OUT/IN (OP) 端子はSDI IN端子になり、SDI OUT信号は出力されません。SDI OUT/INの切り替えは自動では行われません。

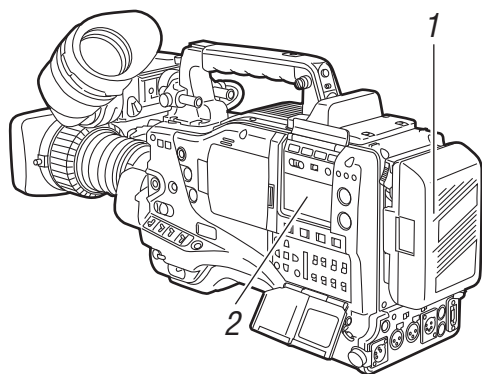
保守・点検

撮影前の点検

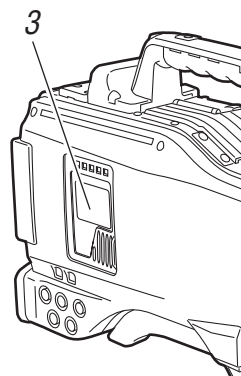
撮影に出発する前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

点検の準備

- 1 充電済みのバッテリーパックを取り付けます。
- 2 POWERスイッチをONにし、BATT表示が5個以上点灯していることを確認します。
 - BATT表示が5個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換します。



- 3 P2カードをカードスロットに挿入し、スライドとびらを閉めます。
P2カードを挿入したカードスロットのP2カードアクセスLEDが、オレンジ色に点灯したか確認します。複数のカードスロットにP2カードを挿入した場合、最初に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDのみがオレンジ色に点灯し、それ以降に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDは、緑色に点灯します。P2カードを挿入したP2カードスロットのP2カードアクセスLEDが緑色に点滅したままか、あるいは消灯している場合、そのP2カードに記録を行うことはできません。



カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をします。
画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をします。
手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認します。
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認します。
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をします。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAINスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて次の点を確認します。
 - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
 - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダ付きのレンズを装着しているときは、エクステンダを使用位置にし、正常に働くことを確認します。

メモリー記録部の点検

「1. P2 カード記録の点検」から「4. イヤホン、スピーカ-の点検」までは連続して行ってください。

1. P2カード記録の点検

- 1 ビューファインダー内の表示で、P2カードの記録残量が充分か確認します。P2カードの記録残量については「P2カード残量/容量表示」(79 ページ)を参照してください。
- 2 TCGスイッチを「R-RUN」にします。
- 3 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 4 本機のREC START/STOP ボタンを押し、次の項目を確認します。
 - P2 アクセス LED がオレンジ色に点滅する。
 - ビューファインダー内の REC ランプが点灯する。
 - ビューファインダー内に SYSTEM 警告が表示されない。
- 5 本機のREC START/STOP ボタンをもう一度押します。P2アクセスLEDがオレンジ色の点灯になり、ビューファインダー内のRECランプが消えることを確認します。
- 6 ハンドル部のREC ボタンを使って、4~5と同じ動作を確認します。レンズのVTR ボタンについても同様に確認します。
- 7 LIGHT ボタンを押して、表示窓の表示が明るくなることを確認します。
- 8 PLAY ボタンを押して、今撮影したクリップが最初から再生されるか確認します。記録・再生が正常に動作することを確認します。
- 9 P2カードを複数、P2カードスロットに挿入している場合は、USER MAIN ボタンを押して、記録対象のP2カードを切り替えます。4~5、8の動作を行い、記録・再生が正常に動作することを確認します。

2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「AUTO」にします。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 3 MIC IN 端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH 1/CH 2両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。

3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「MAN」にします。
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを回します。右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

4. イヤホン、スピーカ-の点検

- 1 MONITORつまみを回し、スピーカ-の音量が変わることを確認します。
- 2 イヤホンをPHONES端子に接続します。スピーカ-からの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 3 MONITORつまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

5. 外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクをAUDIO IN CH1、CH2コネクタ-に接続します。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「REAR」にします。
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「MIC」と「+48V」に切り替えます。

MIC : 内部電源供給方式のマイク
+48V : 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

6. 時計、タイムコード、ユーザーズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザーズビットを設定します。
設定のしかたについては「ユーザーズビットの設定」(61 ページ)をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。
設定のしかたについては「タイムコードの設定」(64 ページ)をお読みください。
- 3 TCGスイッチを「R-RUN」にします。
- 4 REC START/STOP ボタンを押します。
記録が開始するとともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、REC START/STOP ボタンを押します。
記録が停止し、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。

- 6 TCGスイッチを「F-RUN」にします。
カウンター表示部の数値が、記録に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
HOLD ボタンを押すごとにVTCG → DATE → TIME → 無表示 (タイムゾーン) → TCGの値を表示するか、またその数値が正確かを確認します。
DATE、TIME、タイムゾーンが正確でない場合は、「内蔵時計の日付/時刻の設定」(63 ページ)を参照して、正しく設定してください。

◆NOTE:

DATE、TIME、タイムゾーンの設定による日時データは、クリップに記録され、サムネール操作時の再生順などに影響しますのでご注意ください。

メンテナンス

ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。ゴミなどが付着しているときは、市販のエアーブローで取り除いてください。

CCD カメラ特有の現象について

スミア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど目立ちやすくなります。

バックアップ電池の交換

バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。

電池が消耗すると、POWER スイッチを ON にしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示を5秒間表示します。

電池が消耗すると、内蔵された時計が動作しなくなります。また、TCGのタイムコード値が「00:00:00:00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。

販売店にご相談のうえ、新しい電池 (CR2032) と交換してください。

なお、バックアップ電池は液晶モニターがある側 (正面から見て右側) のパネルを外した裏側にあります。

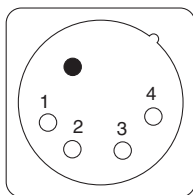
◆NOTE:

電池交換の際は、必ず販売店にご相談ください。

コネクタ信号の内容

DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V

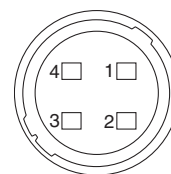
パナソニック品番 K1AA104H0038
メーカー品番 HA16RX-4P (SW1)
(ヒロセ電機)



DC OUT	
1	GND
2	R TALLY (オープンコレクタ)
3	REC START SW
4	+12V OUT (最大1.5 A)

パナソニック品番 K1AY104J0001
メーカー品番 HR10A-7R-4SC(73)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-7P-4(73)
(ヒロセ電機)

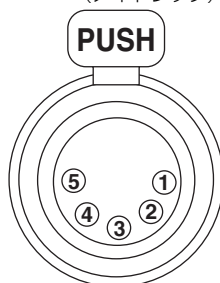


◆ NOTE:

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

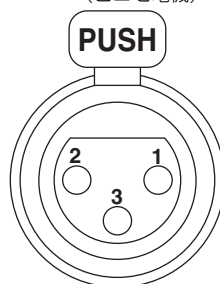
FRONT MIC IN	
1	GND
2	L CH IN (H)
3	L CH IN (C)
4	R CH IN (H)
5	R CH IN (C)

パナソニック品番 K1AB105B0002
メーカー品番 NC5FBH
(ノイトレック)



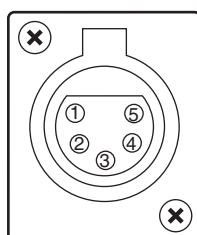
AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN(H)
3	AUDIO IN(C)

パナソニック品番 K1AB103A0011
メーカー品番 HA16PRM-3SG
(ヒロセ電機)



AUDIO OUT	
1	GND
2	L CH OUT (H)
3	L CH OUT (C)
4	R CH OUT (H)
5	R CH OUT (C)

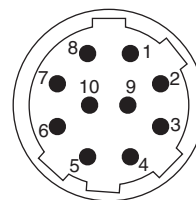
パナソニック品番 K1AA105H0016
メーカー品番 HA16RD-5P(76)
(ヒロセ電機)



REMOTE		
1	CAM DATA (H)	カメラからリモートコントロールへのデータ (H)
2	CAM DATA (C)	カメラからリモートコントロールへのデータ (C)
3	CAM CONT (H)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (H)
4	CAM CONT (C)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (C)
5	RC-ON	リモートコントロールの認識信号 Low : ON
6	RC VIDEO OUT	リモートコントロールへの映像信号出力
7	RC VIDEO GND	リモートコントロールへの映像信号のGND
8	NC	未使用
9	UNREG 12V	DC +12 V 電源 (AJ-RC10G : 最大0.75A)
10	GND	GND

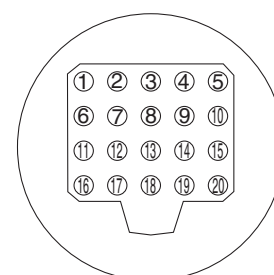
パナソニック品番 K1AY110JA001
メーカー品番 HR10A-10R-10SC(71)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-10P-10P(73)
(ヒロセ電機)



VF		
1	UNREG-12V	DC +12 V 電源 (AJ-HVF21G : 約0.35A)
2	UNREG-12V	DC +12 V 電源
3	A9.0V	DC +9 V 電源 (未使用)
4	VF-PB-GND	ビューファインダー P _B 信号のGND
5	VF-PR-GND	ビューファインダー P _R 信号のGND
6	VF-Y	ビューファインダー Y 信号出力
7	VF-Y-GND	ビューファインダー Y 信号のGND
8	VF-CLK	シリアルデータクロックパルス信号
9	VF-WR	シリアル-パラレル変換データ読み込み用パルス信号
10	VF-DATA	シリアル-パラレル変換用シリアルデータ信号
11	UNREG-GND	GND
12	ZEBRA-SW	ゼブラ信号のON/OFF
13	PEAKING	ピーキングの制御 (未使用)
14	SPARE	予備 (未使用)
15	VF-PR	ビューファインダー P _R 信号出力
16	VF-PB	ビューファインダー P _B 信号出力
17	MARKER-SW	マーカのON/OFF (未使用)
18	FRONT-VR	FRONT AUDIO LEVEL 調整 (未使用)
19	VR-GND	FRONT AUDIO LEVEL のGND (未使用)
20	UNREG-GND	GND

パナソニック品番 K1AB120H0001
メーカー品番 HR12-14RA-20SC
(ヒロセ電機)

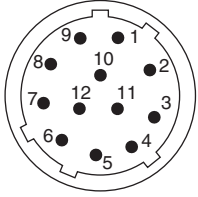


◆ NOTE:

DC OUT、REMOTE、VF、LENSの各端子から取り出す電流の合計が、2.5Aを超えないようにしてください。

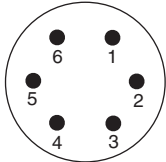
LENS		
1	RET-SW	リターンビデオのON/OFF RETURN ON: GND RETURN OFF: OPEN
2	REC-START/STOP	記録スタートとストップの制御 
3	GND	GND
4	IRIS-AUTO	強制アイリスサーボのON/OFF SERVO ON: +5V ± 0.5V SERVO OFF: OPEN
5	IRIS-CONT	レンズアイリスの制御出力 F2.8: -6.2V、F16: +3.4V、CLOSE: +2.5V
6	UNREG-12V	レンズ用+12V電源 (最大1.5A)
7	IRIS-POSI	アイリスポジション信号 +3.4V (F16) ~ +6.2V (F2.8)
8	IRIS-G-MAX	IRIS REMOTE/LOCAL (AUTO) 信号 REMOTE: +5V ± 0.5V LOCAL (AUTO): GND
9	EXT-POSI	内蔵エクステンダーのON/OFF EXTENDER ON: GND EXTENDER OFF: OPEN
10	ZOOM-POSI	ズームポジション信号
11	FOCUS-POSI	フォーカスポジション信号
12	SPARE	予備 (未使用)

パナソニック品番 K1AY112JA001
メーカー品番 HR10A-10R-12SC(71)
(ヒロセ電機)



GPS		
1	GPS TXA	GPSユニットからカメラへの伝送データ
2	GPS RXA	カメラからGPSユニットへの伝送データ
3	GPS VBAT	GPSユニット用のバックアップ電源供給端子 (DC +3.3 V)
4	REC START SW	RECスタート/ストップの制御信号
5	GPS VCC	GPSユニット用の電源供給端子 (DC +3.3 V)
6	GPS GND	GND

パナソニック品番 K1AY106J0001
メーカー品番 HR10A-7R-6SC(73)
(ヒロセ電機)

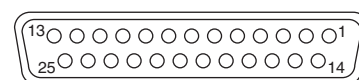


Unislotインターフェース		
1	CH-1 SHIELD	GND
2	CH-1 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH1 HOT
3	CH-1 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH1 COLD
4	GND	GND
5	+12V UNREG	ワイヤレスレシーバーへの電源
6	RX ON	ワイヤレスレシーバーへの電源リモート出力
7	RF WARN	ワイヤレスレシーバーからのRFワーニング入力
8	RM5	未使用
9	RM4	未使用
10	SPARE 1	未使用
11	SPARE 2	未使用
12	EXT CLK	未使用
13	CLK SHIELD	未使用
14	CH-2 SHIELD	GND
15	CH-2 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH2 HOT
16	CH-2 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH2 COLD
17	+5.6V	ワイヤレスレシーバーへの電源
18	VIDEO OUT	未使用
19	VIDEO RET	未使用
20	VIDEO EN	未使用
21	RM 1 (RM CLK)	未使用
22	RM 2 (RM DATA)	未使用
23	RM 3 (RM WR)	未使用
24	RM +5V	未使用
25	RM GND	未使用

パナソニック品番 K1GB25A00010

メーカー品番 HDBB-25S(05)

(ヒロセ電機)



警告システム

警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNINGランプ、ビューファインダー内のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

◆ NOTE:

各項目はWARNINGランプ、タリーランプ、アラームの優先順となっていて、同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものを表示します。ただし「WIRELESS RF」はメニュー設定により、表示しない場合があります。

1. システムエラー

表示窓内の表示	エラーコードが点灯します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	SYSTEM ERROR表示とエラーコードが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	基準信号や通信の異常です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	「エラーコード」(153 ページ)を確認し、販売店にご相談ください。

2. カード取り出し異常

表示窓内の表示	エラーコードE-30が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“TURN POWER OFF”表示が点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	アクセス中のP2カードを取り出したため、本機の内部メモリーに異常が発生しています。
記録・再生の動作	動作できません。
対 策	本機の電源を切ってください。取り出したP2カードのクリップに異常がある場合は、修復を行ってください。

3. バッテリーエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示が7つとも点滅します。
WARNINGランプ	点灯します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	バッテリーを交換します。

4. ライトプロテクト

表示窓内の表示	MEDIA残量バーが7つとも点滅します。
WARNINGランプ	記録後に何らかの操作を行うまで点灯し続けます。
タリーランプ	記録後に何らかの操作を行うまで1秒間に4回点滅し続けます。
ビューファインダー	“WP”表示が点灯します。
アラーム	記録後に何らかの操作を行うまで連続して鳴り続けます。
警告内容	挿入されているP2カードがライトプロテクトされています。
記録・再生の動作	記録できません。
対 策	ライトプロテクトを解除するか、P2カードを交換してください。

5. P2カードエンド

表示窓内の表示	MEDIA残量バーが7つとも点滅します。
WARNINGランプ	記録後に何らかの操作を行うまで点灯し続けます。
タリーランプ	記録後に何らかの操作を行うまで1秒間に4回点滅し続けます。
ビューファインダー	“END”表示が点滅します。
アラーム	記録後に何らかの操作を行うまで連続して鳴り続けます。
警告内容	P2カードの記録容量がなくなりました。
記録・再生の動作	記録を停止します。
対 策	P2カード内のクリップを消去するか、新しいP2カードを挿入してください。

6. 映像シーケンス異常 (24P、30P、25P)

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“E-40”と表示します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“REC WARNING”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	24P、30P、25Pの映像シーケンスに異常があります。
記録・再生の動作	記録・再生は可能ですが有効な映像が欠落したり、TC、UBのシーケンスがずれたりすることがあります。
対 策	一度電源をOFFにし、再びONにしてから記録/再生の確認を行ってください。エラーが消えない場合は販売店にご相談ください。

7. 記録異常

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示します。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“REC WARNING”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	P2カード記録、または記録回路の設定の異常です。
記録・再生の動作	記録を継続する場合と、停止する場合があります。
対 策	一度電源をOFFにし、再びONにしてから記録/再生の確認を行ってください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。

8. クリップ数超過

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示します。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“OVER MAX# CLIPS”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	1枚のP2カードにクリップ総数の上限(1000個)を超えて記録しようとした場合に表示します。
記録・再生の動作	記録できません。記録中の場合は停止します。
対 策	P2カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。

9. ワイヤレス受信低下

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(待機中、記録中)
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	記録を継続中は“WIRELESS RF”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	ワイヤレスオーディオの受信状態が悪いことを示します。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、ワイヤレスマイク受信ができていません。
対 策	マイクの電源や、レシーバーの受信状態をチェックしてください。

10. 1394エラー

表示窓内の表示	1394 E-**の表示が点滅します。詳しくは「1394エラーコード」(154ページ)を参照してください。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	エラーコード92の場合、1394 INITIAL ERROR表示が点灯します。(待機中、記録中) エラーコード92以外のときや、メニュー設定のREC SIGNAL項目で“1394”の場合、ビューファインダーにエラー表示をしません。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	DVCPRO端子の信号異常です。
記録・再生の動作	DVCPRO端子に入力されている信号に異常があります。詳しくは「1394エラーコード」(154ページ)を参照してください。
対 策	IEEE1394ケーブルと、DVCPRO端子の接続状態、外部機器やメニューの設定などを確認して、電源を再投入してください。 警告表示が消えない場合は、「1394エラーコード」(154ページ)を確認し、販売店にご相談ください。

11. バッテリーニアエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示のうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点滅します。
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

12. P2カードニアエンド

表示窓内の表示	MEDIA残量バーのうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	P2カード残量表示が点滅します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に1回鳴ります。
警告内容	すべてのP2カードの記憶残量の合計が残り2分以下です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	カードを交換します。カードスロットに空きがある場合は新しいカードを挿入してください。

13. P2カードエラー

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示します。記録や再生の停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNINGランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
タリーランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
ビューファインダー	“CARD ERR *”表示が点滅します。*には、エラーが発生したP2カードのロット番号を表示します。
アラーム	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間鳴ります。再生時に発生した場合は、鳴りません。
警告内容	記録または再生中に、P2カードのエラーが発生しました。
記録・再生の動作	停止します。停止後は、エラーが発生したP2カードはライトプロテクト状態になっています。
対 策	P2カードを交換してください。

14. FAN STOP

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	表示しません。
ビューファインダー	“FAN STOP”表示が点滅します。
アラーム	鳴りません。
警告内容	ファンに異常があり、停止しています。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、ファンが停止した状態で動作を続けると本機内の温度が上昇しますので、記録/再生が正常に行われない場合があります。
対 策	速やかに使用をやめ、販売店にご相談ください。

15. PROXYカードエラー

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回、約3秒間点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回、約5秒間点滅します
ビューファインダー	“PROXY CARD ERROR”表示が点灯します。
アラーム	鳴りません。
警告内容	ビデオエンコーダーカードの異常、またはストリームの異常が発生し、プロキシ記録を中止しました。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	ビデオエンコーダーカードの点検を行うか、プロキシ記録を行わないでください。

エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓のタイムコード表示部に下記のエラーコードを表示します。警告の種類を確認し、「警告内容一覧」(151 ページ)の内容にしたがって対処してください。

コードNo.	内 容	警告の種類
E-11	ビデオ初期化異常	1. システムエラー
E-27	記録制御の異常	1. システムエラー
E-30	P2カードの取り出し異常	2. カード取り出し異常
E-34	LCDマイコンの異常	1. システムエラー
E-38	P2ストリームマイコンの異常	1. システムエラー
E-39	AVC-Intra コーデックボードの初期化異常	1. システムエラー
E-3F	カメラ部制御のマイコンの異常	1. システムエラー
E-40	映像シーケンス、またはGENLOCK入力信号の異常 (24P、30P、25Pのとき)	6. 映像シーケンス異常 (24P、30P、25P)
E-63	システムコントロールマイコンの異常	1. システムエラー
E-6F	基準信号の異常	1. システムエラー
00:00:00:11	P2カードへの記録異常など	7. 記録異常、8. クリップ数超過、13. P2カードエラー

1394 エラーコード

コードNo.	内容	記録動作	表示窓内の表示
1394 E-80	DVCPRO端子に入力されている信号がDVフォーマットの1倍速転送信号以外の場合。	停止します。	表示窓のタイムコード表示部にエラーコードを2秒に1回の点滅で表示します。
1394 E-81	DVCPRO端子に入力されている信号がDVCPRO (25 Mbps) フォーマットの1倍速転送信号以外の場合。	停止します。	
1394 E-82	DVCPRO端子に入力されている信号がDVCPRO50 (50 Mbps) フォーマットの1倍速転送信号以外の場合。	停止します。	
1394 E-83	DVCPRO端子に入力されている信号が、正しくない場合。	停止します。	
1394 E-84	DVCPRO端子に入力されている信号がDVCPROフォーマットやDVフォーマットではない場合。	停止します。	
1394 E-85	DVCPRO端子に入力されている信号がDVCPRO HDフォーマットの1倍速転送以外である場合。	停止します。	
1394 E-87	DVCPRO端子に入力されている音声信号が、正しくない場合。	記録を継続します。音声は無音で記録されません。	
1394 E-90	DVCPRO端子に信号が供給されていない場合。	記録モードは継続しますが、異常が発生している間はカードに記録されません。また、記録前にこのエラーが発生した場合、記録を開始することはできません。	
1394 E-91	メニューのREC MODE項目が「DV」に設定されているときに、記録禁止タイプのコピーガード情報の信号がDVCPRO端子に入力されている場合。	停止します。	
1394 E-92	DVCPRO端子の接続状態に異常がある場合。(ビューファインダーには「1394 INITIAL ERROR」と表示します。	1394入力モードでの記録はできません。	

カード警告コード

コードNo.	内容	記録動作	表示窓内の表示
E-70	P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。(ビューファインダーには「DIR NG CARD (スロット番号)」と表示します)	動作は継続しますが、速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後にご使用ください。	表示窓のタイムコード表示部に警告コードを2秒に1回の点滅で表示します。
E-71	P2カードの規格の書き換え回数を超えています。(ビューファインダーには「RUN DOWN CARD (スロット番号)」と表示します)	動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。P2カードの交換をお勧めします。	

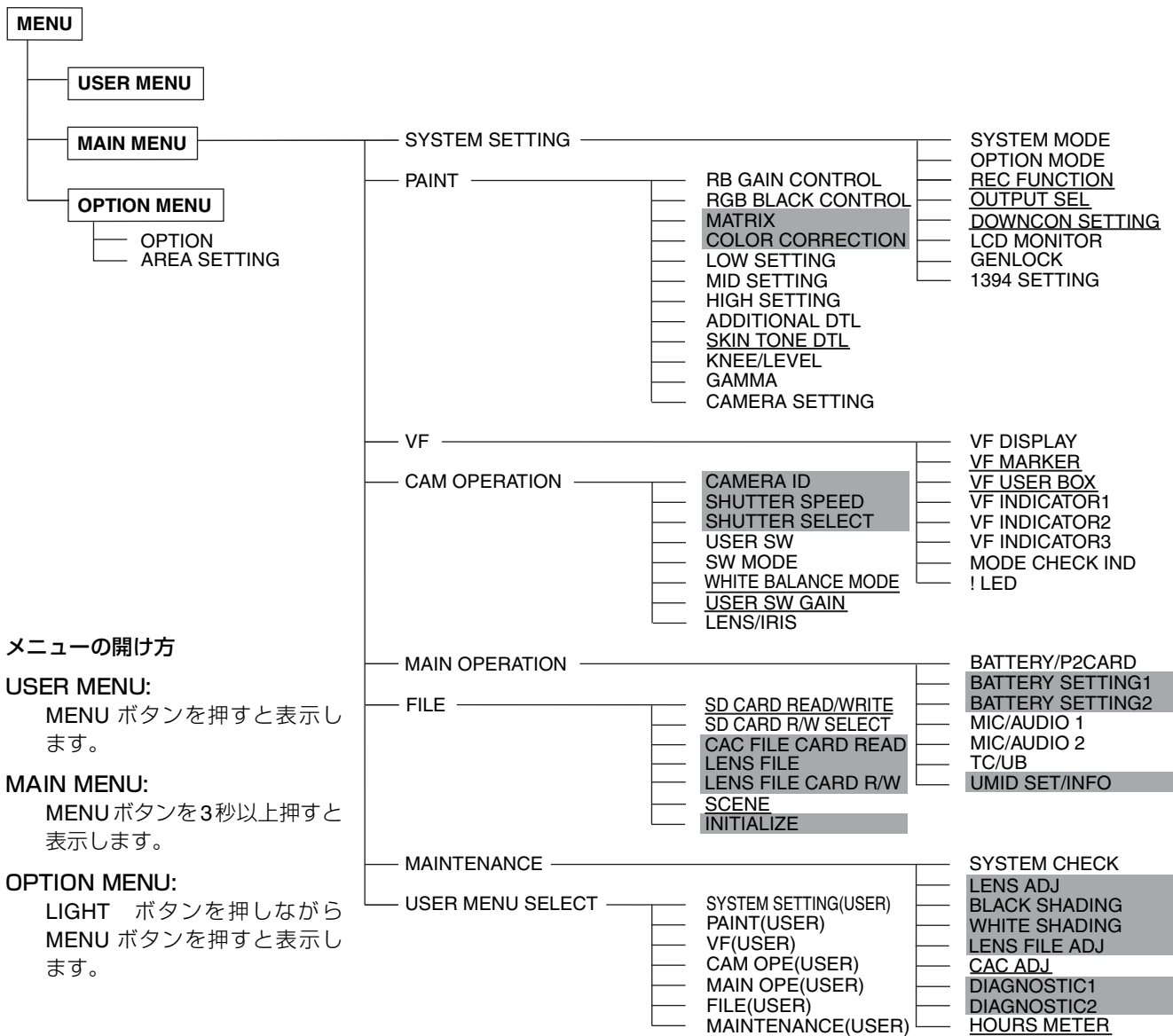
サムネール操作および USB ホストモードでの警告 / エラー表示

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	WRITE PROTECTED!	P2、SDカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。
	CARD FULL!	P2、SDカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	NO CARD!	P2、SDカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	NO FILE!	指定されたファイルが存在していません。	ファイルを確認してください。
	CANNOT COPY!	コピーができません。	コピーの条件を確認してください。
	CANNOT DELETE!	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	コンテンツバージョンが不整合のときの警告です。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選んでいるなどで修復ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	複数枚のP2カードにまたがって記録したクリップではないコンテンツを選んでいるなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	
	NO SD CARD!	SDメモリーカードがありません。	SDメモリーカードを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	SAME CLIP IS SELECTED!	既にコピーしたクリップと元のクリップを選択しているため、コピーできません。	選択したクリップを確認し、コピー元のクリップか、コピーされたクリップのいずれかを選択から外してからコピーを実行してください。
	USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。
	TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。
	LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。
UNMATCHED REC FORMAT	再生しようとしているクリップのフォーマットと、本機のフォーマットが一致していません。	SYSTEM MODE項目で、フォーマットを選択してください。SYSTEM MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。	
MISSING CLIP!	複数枚のP2カードにまたがって記録されたクリップに、すべてのP2カードが挿入されていない状態でショットマークをつけようとしている。	またがって記録されたすべてのP2カードを挿入し、クリップの■不完全クリップインジケータを表示しなくなるのを確認してからショットマークをつけてください。	
ソフト キー ボード	CANNOT CHANGE!	テキストメモがない状態で「PERSON (メモ入力者)」項目を入力しようとしている。	「TEXT (テキスト情報)」項目を先に入力してください。
	CANNOT SET! INVALID VALUE!	入力された値が異常です。	入力値を変更してください。

項目	メッセージ	内容	対応
HDD (USB ホスト モード)	HDD CAPACITY FULL!	HDDの空き容量が足りません。	接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	HDDの最大パーティション数は23ですので、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	HDD DISCONNECTED!	HDDとの接続が切断されました。	USBを付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT FORMAT!	初期化できません。	接続しているHDDを変更してください。
	TOO MANY TARGETS!	複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	HDDの状態や接続を確認してください。
	CANNOT RECOGNIZE HDD!	接続先のターゲットが正しく認識できません。	HDDの電源を入れ直すか、接続するHDDを変更してください。
	CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。
	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの品番が不一致のため、コピーできません。	同一品番のP2カードを使用するか、クリップ単位でインポートしてください。
	P2 CARD IS UNFORMATTED!	P2カードが未フォーマットです。	フォーマットされたP2カードを使用してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	VERIFICATION FAILED!	コピー後のコンペアが不一致でした。	再度コピーを行ってください。
	PLEASE FORMAT P2 CARD!	HDD→P2へのインポート時に、P2カードが記録済のためコピーできない警告です。	コピー先のP2カードが空でないため、コピーできません。P2機器でフォーマットした後に再度コピーを行ってください。

メニュー

メニュー構成



メニューの開け方

USER MENU:

MENU ボタンを押すと表示します。

MAIN MENU:

MENU ボタンを3秒以上押すと表示します。

OPTION MENU:

LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示します。

◆ NOTE:

- 灰色で囲まれた項目は、<USER MENU SELECT> で選択できません。
- 下線のついた項目は、<USER MENU SELECT> で項目全体（1ページ分）でのみ選択できます。各項目別で個別に選択できません。

メニュー一覧の見方

メニュー変更した内容が、それぞれのデータに記憶、またはデータから読み出しがされるかどうかを示します。一の場合は、記憶/読み出しできません。

S = シーンファイルデータとして記憶/読み出し可能です。
 C = SD CARD READ/WRITEで記憶/読み出し可能です。
 U = ユーザーデータとして記憶/読み出し可能です。
 「SCENE」(191 ページ) と 「INITIALIZE」(191 ページ) を参照してください。
 F = READ FACTORY DATA で読み出し可能です。
 「INITIALIZE」(191 ページ) を参照してください。
 R = RC DATA SAVE で記憶が可能です。
 「リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続」(113 ページ) を参照してください。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC SIGNAL	CAM VIDEO 1394 SDI	ビデオ入力信号を切り換えます。 CAM: カメラからの信号を記録 VIDEO: GENLOCK IN 端子からの信号を記録 (SDモード時のみ) 1394: 1394 入力の信号を記録します。 SDI: SDI IN 端子からの入力を記録 (オプション)
C U F R		
この項目の設定値の可変範囲や、選択できる設定項目を示します。		この項目で設定できる内容の説明です。

USER MENU: 出荷時にUSER MENUを設定しています。
また、ユーザー独自にメニュー操作で、
MAIN MENUページから<USER MENU
SELECT>画面を開き、各項目について使
用目的や設定頻度に応じた項目を選択して、
ユーザー固有のメニュー構成にすることが
できます。
詳しくは「USER MENUの選択」(160
ページ)を参照してください。
MENUボタンを押すと表示します。

MAIN MENU: 設定メニューの全項目を設定できます。
使用目的や、設定頻度などに応じてカテゴ
リー別に階層化した構成にしています。
MENUボタンを3秒以上押すと表示します。

SYSTEM SETTING :

本機の記録信号や、記録方式などを決める時
に使用する項目です。

PAINT : 波形モニターを使用してカメラの出力波形を
監視しながら、細かな画像調整をする場合の
項目です。通常ビデオエンジニアのサポート
が必要です。

このメニュー項目の設定は、外部のリモート
コントローラなどでも行えますが、本機を単
体で使用する場合に有効です。

VF : ビューファインダー画面上に表示する内容を
選択する場合の項目です。

CAM OPERATION :

本機を運用する時、被写体の条件などによっ
て設定を変更する項目です。

MAIN OPERATION :

オーディオやタイムコード、バッテリーや
P2カードの残量など、記録全般にかかわる
設定を行う項目です。

FILE : SDメモリーカードの読み書きや、レンズ
ファイルなどファイル関連操作を行う項目で
す。

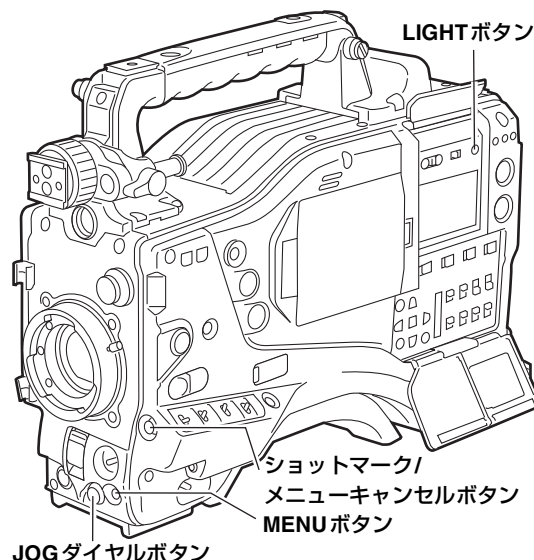
MAINTENANCE :

本機の保守点検を行う項目です。

USER MENU SELECT :

USER MENUを編集する時に使用する項目で
す。

OPTION MENU: 将来的な機能追加等を考慮したメニューを
準備しています。
LIGHTボタンを押しながらMENUボタンを
押すと表示します。
詳しくは販売店にご相談ください。



メニューの基本操作

メニュー設定の操作は、MENU ボタンと JOG ダイアルボタンで操作します。

メニューは、メインメニューとサブメニュー、および設定項目メニューに分かれています。

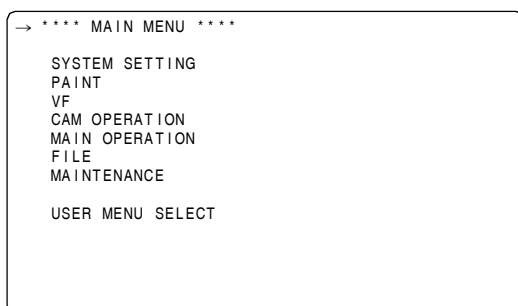
設定されたデータは、本機の内部メモリーに書き込まれ、保存されます。

ここでは、MAIN MENUでの操作について説明しますが、メニュー画面の呼び出し方以外の操作方法は、他のメニューも同じです。

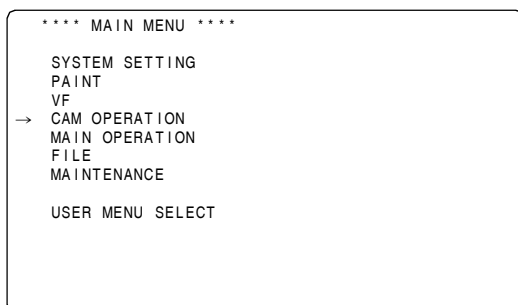
◆ NOTE:

サムネール操作中は、ビューファインダーに“THUMBNAIL OPEN”と表示され、メニュー操作はできません。

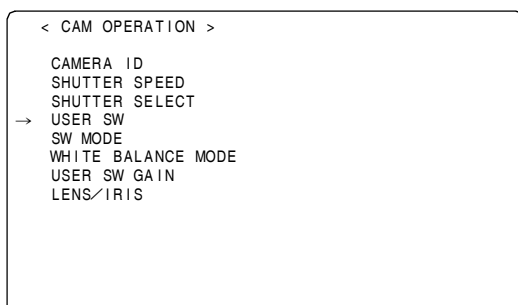
- 1 MENU ボタンを3秒間以上押します。
各カテゴリー別のメニュー画面が表示されます。



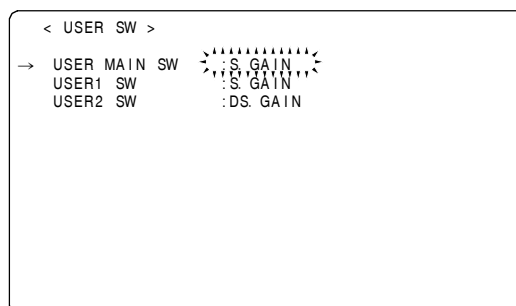
- 2 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOG ダイアルボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。



- 3 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOG ダイアルボタンを押すと設定項目メニュー画面が表示されます。



- 4 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOG ダイアルボタンを押すと設定値内容が点滅します。



- 5 JOG ダイアルボタンを回して、設定値を変更します。

設定値を増加させるには

JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

設定値を減少させるには

JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

回すたびに1段階切り替わります。早く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

ON/OFFを切り替えるには

ONを選択するときは、JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

OFFを選択するときは、JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

変更した設定値を元に戻すには

変更した値を元に戻すには、設定値が点滅状態のときショットマーク/メニューキャンセルボタンを押すと、「PUSH CANCEL BACK TO PREV」と表示します。ここで再度ショットマーク/メニューキャンセルボタンを押すと変更前の値に戻ります。

◆ NOTE:

以下のメニュー項目ではショットマーク/メニューキャンセルボタンによるキャンセルができません。

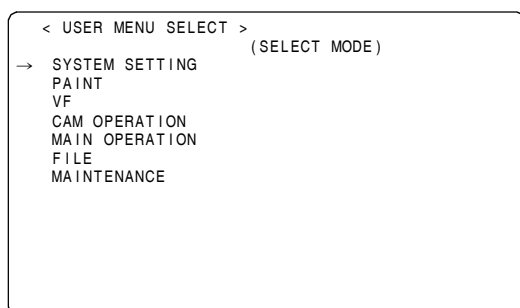
- USER MENU SELECT 画面の各ページ
- FILE 画面の各ページ
- CAMERA ID
- USER SW GAIN
- WHITE BALANCE MODE ページの一部
- BATTERY SETTING1・2
- UMID SET/INFO

- 6 JOGダイヤルボタンを押します。
設定値の点滅が停止し、設定値が確定します。
- 7 続けて同じページの設定項目を変更する場合には、手順4～6を繰り返します。
- 8 設定が終了すると、MENUボタンを押します。
メニュー設定モードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

USER MENU の選択

メニュー操作で、MAIN MENUからUSER MENU SELECT ページを開き、さらに各設定項目メニュー画面を開き、USER MENUに必要な項目のみを選択します。

設定された項目のみがUSER MENUとして表示されます。操作方法は、「メニューの基本操作」(159 ページ)を参照してください。



◆NOTE:

設定項目は「*」表示で有効になります。ただし設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、 $14 \times 3 = 42$ 項目と、メモリー記録部関連1ページ分14項目となります。

メニュー一覧

SYSTEM SETTING

SYSTEM MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSTEM MODE	1080-59.94i 1080-50i 480-59.94i 576-50i	本機のシステム周波数と記録フォーマットを設定します。 この項目を切り替えたときは、本機の電源を一度OFFにしてから、再度ONにしてください。 ◆NOTE: ● リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) を接続していると、この項目が表示されません。 この項目を切り替えるときは、本機単体で行ってください。 ● タイムコードをフリーランで使用しているとき、SYSTEM MODE項目を変更すると、タイムコードが正しく記録できない場合があります。 電源を再投入後、タイムコードを確認し、必要に応じて設定しなおしてください。 ● USB DEVICEモードのときは、この項目は変更できません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
REC SIGNAL	CAM VIDEO 1394 SDI	ビデオ入力信号を切り換えます。 CAM: カメラからの信号を記録 VIDEO: GENLOCK IN端子からの信号を記録 (SDモード時のみ) 1394: 1394入力の信号を記録します。 SDI: SDI IN端子からの入力を記録 (オプション) ◆NOTE: ● AVC-IntraおよびDVCPRO HDのNativeモードでは1394を選択することはできません。 ● 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時は必ず“CAM”に設定されます。 ● VIDEOを選択し、GENLOCK IN端子に入力したビデオ信号 (VBS) に本機を同調させるためには「GENLOCK」(165 ページ) のGENLOCK項目をEXTに設定する必要があります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
CAMERA MODE	(1080-59.94i /480-59.94i) 60i 30P 24P 24PA (1080-50i /576-50i) 50i 25P	撮影時の映像方式を設定します。 ◆NOTE: 24PAはAVC-Intraでは選択できません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
ASPECT	16:9 4:3	記録する画角を選択します。(SDモード時のみ) 16:9: <16:9>の画角で記録します。 4:3: <4:3>の画角で記録します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SCAN REVERSE	OFF ON	アナモフィックレンズや、フィルム用レンズを使用したときに、映像を補正する機能を使用するかどうかを設定します。 OFF: 映像を補正しません。 ON: 映像を補正します。映像の天地左右を反転します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
VF TYPE	HD SD	本機に取り付けるビューファインダーの種類を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
REC MODE	HDモード: AVC-I 100 AVC-I 50 DVCPRO HD SDモード: DVCPRO50 DVCPRO DV	記録モードを選択します。 AVC-I 100: AVC-Intra100フォーマットで記録します。 AVC-I 50: AVC-Intra50フォーマットで記録します。 DVCPRO HD: DVCPRO HDフォーマットで記録します。 DVCPRO50: DVCPRO50フォーマット (SDのみ) で記録します。 DVCPRO: DVCPROフォーマットで記録します。 DV: DVフォーマットで記録します。 ◆NOTE: REC SIGNAL項目で「1394」を選択しているとき、AVC-I 100、AVC-I 50は選択できません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
SETUP	0% 7.5%A	セットアップの切り換えを行います。(480-59.94i時のみ) 0%: カメラ出力、記録上ともセットアップ0%になります。 7.5%A: カメラ出力はセットアップ7.5%、記録上はセットアップ0%になります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
PC MODE SELECT	USB HOST USB DEV.	外部機器をUSB接続したときの本機の動作モードを設定します。 USB HOST: 外部ハードディスクドライブを接続して使用するモードに設定します。 USB DEV.: パーソナルコンピューターなどとUSB2.0接続して、P2カードをマスタストレージとして使用するUSBデバイスモードを選択します。 ◆NOTE: PC MODE項目で“ON”が選択されているときは、この項目は変更できません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
PC MODE	ON OFF	本機を、パーソナルコンピューターや外部ハードディスクドライブとUSB2.0接続して使用できるモードを選択します。 ON: PC MODE SELECT項目で選択したモードにします。 OFF: PC MODEを停止し、通常動作を行います。 ◆NOTE: 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時は必ず“OFF”に設定されます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

OPTION MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC TALLY	RED GREEN CHAR	1394CONTROL項目をBOTHに設定して外部VTRをコントロール時、本機側の記録状態を表示する方法を選択します。 1394 CONTROL項目は、SYSTEM SETTINGページの<1394 SETTING>画面から選択します。 RED: 赤色タリールランプが点灯します。 GREEN: 緑色タリールランプが点灯します。 CHAR: ビューファインダーにキャラクターで「REC」を表示します。
— C U F —		
ACCESS LED	OFF SLOT SIDE LCD SIDE BOTH	P2カードアクセスLEDを点灯するかどうかを選択します。 OFF: スロット上部とサイドパネルの両方を消灯します。 SLOT SIDE: スロット上部のLEDのみ点灯し、サイドパネル側のLEDは消灯します。 LCD SIDE: サイドパネル側のLEDのみ点灯し、スロット上部のLEDは消灯します。 BOTH: スロット上部とサイドパネルの両方を点灯します。
— C U F —		
P.OFF GPS DATA	HOLD CLEAR	電源OFF時、UMIDのGPS位置情報を保持しておいて、次に電源をONにしてから新たに測定できるまでの間、保持したデータを記録するかどうかを選択します。 HOLD: 保持して記録します。 CLEAR: 電源OFFと同時にクリアし、次の電源ONから測定までの間はゼロ(No-Info)を記録します。
— C U F —		
SDI METADATA	ON OFF	VIDEO OUT項目を“HD SDI”または“SD SDI”に設定したとき、SDIにメタデータ(UMID)を出力する/しないを設定します。
— C U F —		
SDI EDH	ON OFF	SD SDI出力にエラーディテクションフラグを付けるかどうかを設定します。
— C U F —		
SAVE SW (AUD OUT)	ON OFF	SAVE ON/OFFスイッチを「ON」にしたとき、オーディオ出力を強制的に止めるかどうかを選択します。 ON: オーディオ出力を止めます。 OFF: オーディオ出力を止めません。
— C U F —		
SAVE SW (LCD)	ON OFF	SAVE ON/OFFスイッチを「ON」にしたとき、液晶モニターを強制的に停止するかどうかを選択します。 ON: 液晶モニターを停止します。 OFF: 液晶モニターを停止しません。
— C U F —		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
AUTO REC	OFF TYPE1 TYPE2	HDモード時、HD SDI INに付加されたユーザーズビットのフレームレート情報からREC START /STOPマークを検出して、自動的に記録開始/停止を行う機能を選択します。 OFF: 自動記録は行いません。 TYPE1: HD SDI入力のLTCから検出して自動記録を行います。 TYPE2: HD SDI入力のVITCから検出して自動記録を行います。 ◆NOTE: REC SIGNAL項目を“SDI”に設定して、SDI IN端子にHD SDI信号を入力してください。ユーザーズビットのフレームレート情報については「ユーザーズビットの設定」(61ページ)を参照してください。 なお、INTERVAL RECモードおよびLOOP RECモード時はAUTO REC機能は動作しません。
— C U F —		
START TEXT MEMO	ON OFF	記録開始するたびに、自動的に記録開始位置にテキストメモを付加する機能を選択します。 ON: 記録ごとにテキストメモを付加します。 OFF: テキストメモを付加しません。 ◆NOTE: この項目をONにして付加されるテキストメモは、記録開始位置を示すものです。テキストメモを文字情報として記録する場合は、「クリップメタデータの設定」(125ページ)を参照してください。
— C U F —		
SEEK SELECT	CLIP CLIP&T	再生一時停止中に、FF/REWボタンを押して移動する位置を選択します。 CLIP: クリップの先頭 CLIP&T: クリップの先頭と、テキストメモの付加点
— C U F —		

可変範囲の____はプリセットモードです。

REC FUNCTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
INTERVAL REC MODE	ON ONE SHOT OFF	INTERVAL REC機能を設定します。 ON: 本機の内蔵メモリーを使用して、間欠記録を行います。 ONE SHOT: REC TIMEに設定された時間、1回だけ記録し、停止します。 OFF: INTERVAL RECを行いません。 ◆NOTE: LOOP REC MODE項目で「ON」が選択されているとき、およびONE CLIP REC MODE項目で「ON」が選択されているときは、この項目は変更できません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
INTERVAL REC HOLD	ON OFF	一度電源をOFFにしたとき、INTERVAL REC MODEの設定を保持するかどうかを選択します。 ON: 保持します。 OFF: 保持しません。次に電源をONにしたとき、必ずINTERVAL REC MODEはOFFになります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
REC TIME*1	00s01f : 59s29f	記録時間（1カット）を設定します。 ◆NOTE: 設定は1フレーム単位でできますが、記録方式により、実動作での最短時間および設定時間の切り捨て単位フレーム数は異なります。詳しくは「INTERVAL REC機能」（39ページ）を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
PAUSE TIME*1	00h00m00s01f : 00h04m59s29f : 23h59m59s29f	記録の一時停止時間を設定します。 ◆NOTE: 設定は1フレーム単位でできますが、記録方式により、実動作での最短時間および設定時間の切り捨て単位フレーム数は異なります。詳しくは「INTERVAL REC機能」（39ページ）を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
TAKE TOTAL TIME	NONE : 5day	撮影に要する時間の設定をします。 NONE （手で停止するまで続ける）から5day（5日間）の中から選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
TOTAL REC TIME*1	00m00s01f : 99m59s29f OVER100min NONE	総記録時間を表示します。ここでの設定変更はできません。REC TIME、PAUSE TIME、TAKE TOTAL TIMEから計算した記録時間（必要なP2カードの記録時間）を表示します。 ◆NOTE: 実動作に基づいた値を表示します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
AUDIO REC	ON OFF	音声記録の有無を選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
START DELAY	0SEC : 10SEC	INTERVAL RECでRECスタートを押してから、記録を開始するまでの時間を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
PRE REC MODE	ON OFF	PRE RECORDINGを行うかどうかを選択します。 ON: PRE RECORDINGを行います。 OFF: PRE RECORDINGを行いません。 ◆NOTE: PRE RECORDINGを行う時間の設定は、PRE REC TIME項目で行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		

*1 この可変範囲は59.94 Hzでの数値です。50 Hzではフレーム桁は24fまでになります。また24PN（Native）モードではフレーム桁は23fまでになります。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PRE REC TIME	1SEC : 8SEC : 15SEC	PRE RECORDINGの設定をします。 1-15SEC: REC START ボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間の設定をします。 ◆NOTE: SYSTEM MODE画面のSYSTEM MODE項目を“1080-59.94i”、“1080-50i”に設定している場合、または“480-59.94i”、“576-50i”を選択していてもREC MODE項目で“DVCPRO50”を選択している場合は選択範囲の上限は8秒になります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
LOOP REC MODE	ON OFF	LOOP RECを行うかどうかを選択します。 PRE RECORDINGと併用することもできます。 ON: LOOP RECを行います。 OFF: LOOP RECを行いません。 ◆NOTE: ●この項目は、一度電源をOFFにする、次回電源をONにしたときは必ずOFFに設定されます。 ●以下の場合、この項目は変更できません。 ◆INTERVAL REC MODE項目で「ON」または「ONE SHOT」が選択されているとき ◆ONE CLIP REC MODE項目で「ON」が選択されているとき
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
REC START	ALL NORMAL	記録開始の受け付けを選択します。 ALL: 停止中、記録一時停止中、再生中に記録開始を受け付けます。 NORMAL: 停止中、記録一時停止中に記録開始を受け付けます。 ◆NOTE: INTERVAL REC MODEを「ON」または「ONE SHOT」に設定しているときは、本項目を「ALL」に設定していても「NORMAL」の動作になります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
P.ON REC SLOT SEL	HOLD SLOT1	電源をONにしたとき、記録対象になるスロットの順序を選択します。 HOLD: 前回、電源をOFFにしたときの記録スロットから記録します。 SLOT1: 電源をONにするたびに、スロット1から順に記録対象カードになります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		

◆NOTE:

REC TIME、PAUSE TIMEおよびTOTAL REC TIMEは、ドロップフレーム動作中はドロップフレーム換算に、ノンドロップフレーム時はノンドロップフレーム換算になります。TAKE TOTAL TIMEは実時間です。したがって設定によってはTOTAL REC TIMEに端数がつきます。

ドロップフレーム時の例

REC TIME	02s00f
PAUSE TIME	02s00f
TAKE TOTAL TIME	40min
TOTAL REC TIME	19m59s06f

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ONE CLIP REC MODE	ON OFF	ONE CLIP RECモードを選択します。 ON: ONE CLIP RECモードで動作します。 OFF: ONE CLIP RECモードは動作しません。 ◆ NOTE: 以下の場合、この項目は変更できません。 ● INTERVAL REC MODE 項目で「ON」または「ONE SHOT」が選択されているとき ● LOOP REC MODE 項目で「ON」が選択されているとき
— C U F —		

OUTPUT SEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	VIDEO OUT端子（ANALOGまたはSDI）、およびMON OUT端子の出力信号に重畳するキャラクターの内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの時のみ表示します。通常は何も表示しません。 TC: タイムコードを表示します。（メニューの時はメニューを表示） ◆ NOTE: TC表示位置はカメラIDの位置に応じて上下します。 STATUS: VFに重畳しているキャラクターと同じものを全て表示します。（メニューの時はメニューを表示）
— C U F —		
MONITOR OUT	VBS VF Y	MON OUT端子の出力信号を選択します。 VBS: 通常のコンポジット信号を出力します。 VF: VFのY信号を出力します。ステータスの表示も重畳されます。 Y: Y信号を出力します。 ◆ NOTE: 再生モードでは、VBS信号が出力されます。
— C U F —		
MONITOR OUT CHAR	ON OFF	本機のVIDEO OUT CHARACTERスイッチとは独立して、MON OUT端子にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。（キャラクターの内容はビデオ出力信号と同一です） ON: 重畳します。 OFF: 重畳しません。
— C U F —		
LCD MON CHAR	ON OFF	液晶モニターにキャラクターを重畳するかどうかを選択します。（VIDEO OUT CHARACTERスイッチには連動しません） ON: 重畳します。 OFF: 重畳しません。
— C U F —		
VF MODE	MEM CAM	SYSTEM MODE画面のREC SIGNAL項目が「CAM」のとき、ビューファインダーに表示される画像を選択します。 MEM: 再生モードでは再生画になります。 CAM: 常にカメラ画像になります。
— C U F —		
THUMBNAIL OUT	ON OFF	液晶モニターに表示するクリップのサムネールをビデオ出力信号やモニター出力信号にも出力するか選択します。 ON: 出力します。 OFF: 出力しません。 ◆ NOTE: VIDEO OUTにHD SDI信号を出力しているときはサムネール出力されません。
— C U F —		

DOWNCON SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DOWNCON MODE	SQUEEZ LT-BOX S-CROP	ダウンコンバーター出力信号のモードを設定します。
— C U F R —		
DETAIL	ON OFF	ダウンコンバーター出力信号に対するディテール機能のON/OFFを設定します。 ダウンコンバーター出力信号には、HD信号処理時に設定されたディテール成分が含まれます。 本設定は、その信号にダウンコンバーター出力専用のディテール成分を重畳するものです。 本設定をOFFにしても、HD信号処理時に設定されたディテール成分をOFFにすることができません。
— C U F R —		
H.DTL LEVEL	00 : 08 : 31	ダウンコンバーター出力信号に対する水平ディテール補正レベルの設定を行います。
— C U F R —		
V.DTL LEVEL	00 : 04 : 31	ダウンコンバーター出力信号に対する垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
— C U F R —		
DTL CORING	00 01 :	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
— C U F R —		
H.DTL FREQ.	1 : 3 : 5	水平ディテール周波数の選択を行います。 1: 2.5 MHz 4: 4 MHz 2: 3 MHz 5: 4.5 MHz 3: 3.5 MHz
— C U F R —		
2D LPF	ON OFF	クロスカラーを低減する2次元ローパスフィルターの設定を行います。 ON: クロスカラーの低減を行います。 OFF: クロスカラーの低減を行いません。
— C U F R —		
SETUP	0% 7.5%	ダウンコンバーター出力信号に対するセットアップレベルの設定を行います。（1080-59.94i時のみ） ◆ NOTE: システム周波数を50Hzに設定しているときは、セットアップレベルが0%になります。
— C U F R —		

◆ NOTE:

<DOWNCON SETTING> 画面は SYSTEM MODE 項目が 1080-59.94i、1080-50i (HDモード) のとき表示します。

可変範囲の_____はプリセットモードです。

LCD MONITOR

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BRIGHTNESS	-7 : +0 : +7	液晶モニターの輝度を調整します。
C U F		
COLOR LEVEL	-7 : +0 : +7	液晶モニターの色濃度を調整します。
C U F		
CONTRAST	-7 : +0 : +7	液晶モニターのコントラストを調整します。
C U F		
BACKLIGHT	NORMAL HIGH	バックライトの調整を行います。 NORMAL: 通常使用するモードです。 HIGH: NORMALより明るくなります。
C U F		
SELF SHOOT	NORMAL MIRROR	液晶モニターの画像を左右反転するかどうかを選択します。 NORMAL: 左右反転しません。 MIRROR: 左右反転します。
C U F		
ASPECT CONV.	SQUEEZE LT.BOX	液晶モニター表示の画面比を選択します。(SDモード時のみ) SQUEEZE: スクイーズサイズで表示します。 LT.BOX: レターボックスサイズで表示します。 ◆NOTE: この項目は、SYSTEM MODEのASPECT項目で、“16:9”を選択しているときのみ有効です。
C U F		

GENLOCK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GENLOCK	INT EXT	カメラ信号の同期信号を切り換えます。 INT: GENLOCK IN端子に入力された基準信号に関係なく内部の基準信号に同期します。 EXT: GENLOCK IN端子に入力された基準信号に同期します。
C U F R		
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	GENLOCK IN端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。(1080-59.94i、1080-50i時のみ) HD SDI: HD SDI出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 ダウンコンバーター出力信号は、映像のスタート位置が約90ライン遅れます。 COMPOSIT: ダウンコンバーター出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 HD SDI出力信号は、映像のスタート位置が約90ライン進みます。
C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
H PHASE COARSE	-100 : +000 : +100	システムを組む際に水平同期の位相合わせの粗調整を行いません。
H PHASE FINE	-100 : +000 : +100	システムを組む際に水平同期の位相合わせの微調整を行いません。

1394 SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
1394 AUDIO OUT	CH1/CH2 CH3/CH4	DVCPROモード、またはDVモードで動作しているときにDVCPRO端子から出力するオーディオ信号のチャンネルを選択します。(480-59.94i、576-50i時のみ) ◆NOTE: “CH3/CH4”に設定したとき、下記の状態の場合、無音になります。 ● MAIN OPERATIONページ、<MIC/AUDIO1>画面の25M REC CH SEL項目で“2CH”を選択したときのEE出力 ● 2CHオーディオ信号で記録されているデータの再生出力
C U F		
1394 SPEED	S100 S200 S400	DVCPRO端子から出力する信号の転送速度を設定します。 S100: 100Mbps S200: 200Mbps S400: 400Mbps
C U F		
1394 IN CH	0 : 63 AUTO	DVCPRO端子に入力される信号の入力チャンネルを設定します。 0~63: 指定値で固定します。 AUTO: 外部接続機器の設定に従います。
C U F		
1394 OUT CH	0 : 63 AUTO	DVCPRO端子から出力する信号の出力チャンネルを設定します。 0~63: 指定値で固定します。 AUTO: 外部接続機器の設定に従います。
C U F		
1394 CONTROL	OFF BOTH	DVCPRO端子に接続した外部機器の記録開始/停止動作の制御を設定します。 OFF: 外部接続機器の制御を行いません。 BOTH: 本機と外部接続機器、両方の制御を行います。
C U F		
1394 CMD SEL	REC_P STOP	DVCPRO端子に接続した外部機器の記録停止動作の制御を設定します。 REC_P: 記録一時停止動作 STOP: 停止動作
C U F		

可変範囲の____はプリセットモードです。

PAINT

RB GAIN CONTROL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R GAIN AWB PRE	-200 +000 +200	WHITE BALスイッチがPRSTの位置のときのRchゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B GAIN AWB PRE	-200 +000 +200	WHITE BALスイッチがPRSTの位置のときのBchゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
R GAIN AWB A	-200 +000 +200	WHITE BALスイッチがAの位置のときのRchゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B GAIN AWB A	-200 +000 +200	WHITE BALスイッチがAの位置のときのBchゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
R GAIN AWB B	-200 +000 +200	WHITE BALスイッチがBの位置のときのRchゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B GAIN AWB B	-200 +000 +200	WHITE BALスイッチがBの位置のときのBchゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
AWB A GAIN OFFSET	ON OFF	WHITE BALスイッチをAの位置にしてオートホワイトバランスを行ったときの、RchゲインとBchゲインの値を設定します。 ON: R GAIN AWB A項目とB GAIN AWB A項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: RchゲインとBchゲインの値を「0」にします。
S C U F R		
AWB B GAIN OFFSET	ON OFF	WHITE BALスイッチをBの位置にしてオートホワイトバランスを行ったときの、RchゲインとBchゲインの値を設定します。 ON: R GAIN AWB B項目とB GAIN AWB B項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: RchゲインとBchゲインの値を「0」にします。
S C U F R		

RGB BLACK CONTROL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 +015 +200	マスターペDESTALのレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
R PEDESTAL	-100 +000 +100	RchのペDESTALレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
G PEDESTAL	-100 +000 +100	GchのペDESTALレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B PEDESTAL	-100 +000 +100	BchのペDESTALレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
PEDESTAL OFFSET	ON OFF	オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、BchのペDESTALレベルを設定します。 ON: R PEDESTAL、G PEDESTAL、B PEDESTALの各項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: Rch、Gch、BchのペDESTALレベルを「0」にします。
S C U F R		
R FLARE	-100 +000 +100	Rchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
G FLARE	-100 +000 +100	Gchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B FLARE	-100 +000 +100	Bchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		

可変範囲の_____はプリセットモードです。

MATRIX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MATRIX TABLE	A B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
MATRIX R-G	-63 +31 +63	リニアマトリックスの調整を行います。 (赤 - 緑)
S C U F R		
MATRIX R-B	-63 -04 +63	リニアマトリックスの調整を行います。 (赤 - 青)
S C U F R		
MATRIX G-R	-63 -01 +63	リニアマトリックスの調整を行います。 (緑 - 赤)
S C U F R		
MATRIX G-B	-63 +04 +63	リニアマトリックスの調整を行います。 (緑 - 青)
S C U F R		
MATRIX B-R	-63 +01 +63	リニアマトリックスの調整を行います。 (青 - 赤)
S C U F R		
MATRIX B-G	-63 -01 +63	リニアマトリックスの調整を行います。 (青 - 緑)
S C U F R		
■L MATRIX TABLE	OFF A B	GAINスイッチがLの位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■M MATRIX TABLE	OFF A B	GAINスイッチがMの位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■H MATRIX TABLE	OFF A B	GAINスイッチがHの位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R		

◆ NOTE:

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。

■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(189 ページ)を参照してください。

■MATRIX TABLE Bの各リニアマトリックスデータのプリセットデータはすべて+00に設定されています。

COLOR CORRECTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R(SAT)	-63 +00 +63	赤の色飽和度を補正します。
S C U F R		
R-Mg(SAT)	-63 +00 +63	赤とマゼンタの間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
Mg(SAT)	-63 +00 +63	マゼンタの色飽和度を補正します。
S C U F R		
Mg-B(SAT)	-63 +00 +63	マゼンタと青の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
B(SAT)	-63 +00 +63	青の色飽和度を補正します。
S C U F R		
B-Cy(SAT)	-63 +00 +63	青とシアンの間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
Cy(SAT)	-63 +00 +63	シアンの色飽和度を補正します。
S C U F R		
Cy-G(SAT)	-63 +00 +63	シアンと緑の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
G(SAT)	-63 +00 +63	緑の色飽和度を補正します。
S C U F R		
G-YI(SAT)	-63 +00 +63	緑と黄の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
YI(SAT)	-63 +00 +63	黄の色飽和度を補正します。
S C U F R		
YI-R(SAT)	-63 +00 +63	黄と赤の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		

可変範囲の____はプリセットモードです。

LOW SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R(PHASE)	-63 +00	赤の色相を補正します。
S C U F R	+63	
R-Mg(PHASE)	-63 +00	赤とマゼンタの間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
Mg(PHASE)	-63 +00	マゼンタの色相を補正します。
S C U F R	+63	
Mg-B(PHASE)	-63 +00	マゼンタと青の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
B(PHASE)	-63 +00	青の色相を補正します。
S C U F R	+63	
B-Cy(PHASE)	-63 +00	青とシアンの間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
Cy(PHASE)	-63 +00	シアンの色相を補正します。
S C U F R	+63	
Cy-G(PHASE)	-63 +00	シアンと緑の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
G(PHASE)	-63 +00	緑の色相を補正します。
S C U F R	+63	
G-YI(PHASE)	-63 +00	緑と黄の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
YI(PHASE)	-63 +00	黄の色相を補正します。
S C U F R	+63	
YI-R(PHASE)	-63 +00	黄と赤の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
■COLOR CORRECT	ON OFF	GAINスイッチで選択されているポジション (L、M、H) の12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

可変範囲の_____はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB 0dB 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F R		
H.DTL LEVEL	00 10 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
V.DTL LEVEL	00 15 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
DTL CORING	00 01 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
S C U F R		
H.DTL FREQ.	00 18 31	水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F R		
LEVEL DEPEND.	0 1 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。数値が大きいくほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F R		
MASTER GAMMA	0.30 0.45 0.75	マスターガンマの設定を行います。(0.01ステップ)
S C U F R		
BLACK GAMMA	-3 OFF +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -3~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+3: 暗部を伸張します。
S C U F R		
■MATRIX TABLE	OFF A B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

◆ NOTE:

- 名前の先頭に **■** が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(**■**) R/W項目の設定対象です。
■ が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。
 詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(189ページ)を参照してください。
- マスターゲインを-3dBに設定して撮影を行うと、高輝度部の映像に着色現象が発生することがあります。この着色現象は、本機に入射する被写体の色温度が3200Kから離れるほど大きくなります。この着色現象を抑制する場合は、OUTPUT AUTO KNEEスイッチを「CAM AUTO KNEE OFF」に切り替え、KNEE/LEVEL画面のMANUAL項目を“ON”に設定した上でKNEE/LEVEL画面のKNEE SLOPE項目とWHITE CLIP LVL項目の値を小さくして、着色現象が発生していないことを確認した後、撮影を行ってください。

MID SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB : 6dB : 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F		
H.DTL LEVEL	00 : 08 : 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
V.DTL LEVEL	00 : 12 : 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
DTL CORING	00 : 02 : 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
S C U F		
H.DTL FREQ.	00 : 18 : 31	水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F		
LEVEL DEPEND.	0 : 1 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。 Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。 数値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.45 : 0.75	マスターガンマの設定を行います。 (0.01ステップ)
S C U F		
BLACK GAMMA	-3 : OFF : +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -3~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+3: 暗部を伸張します。
S C U F		
■MATRIX TABLE	OFF A : B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F		
■COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F		

HIGH SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB : 12dB : 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F		
H.DTL LEVEL	00 : 06 : 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
V.DTL LEVEL	00 : 10 : 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
DTL CORING	00 : 03 : 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
S C U F		
H.DTL FREQ.	00 : 18 : 31	水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F		
LEVEL DEPEND.	0 : 3 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。 Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。 数値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.55 : 0.75	マスターガンマの設定を行います。 (0.01ステップ)
S C U F		
BLACK GAMMA	-3 : OFF : +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -3~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+3: 暗部を伸張します。
S C U F		
■MATRIX TABLE	OFF A : B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F		
■COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F		

◆ NOTE:

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。

■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(189 ページ)を参照してください。

可変範囲の____はプリセットモードです。

ADDITIONAL DTL

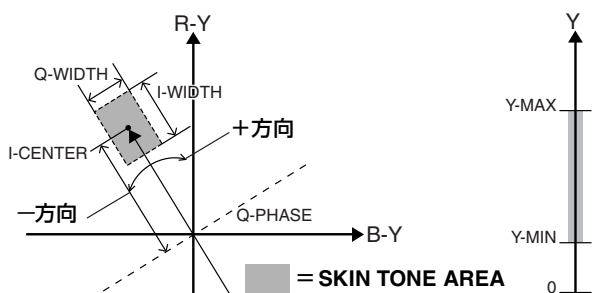
項目/ データ保存	可変範囲	備考
KNEE APE LVL	OFF 1 . 5	高輝度部のディテールレベルを変えます。
S C U F R		
DTL GAIN(+)	-31 . +00 . +31	ディテールの+方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL GAIN(-)	-31 . +00 . +31	ディテールの-（下）方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL CLIP	00 . 63	ディテール信号をクリップするレベルを設定します。
S C U F R		
DTL SOURCE	(R+G)/2 (G+B)/2 2G+R+B /4 (3G+R)/4 R G	ディテールを作成するRGB信号成分の比率を設定します。
S C U F R		
MASTER DTL	-31 . +00 . +31	マスターディテールレベルを変えます。
S C U F R		

可変範囲の____はプリセットモードです。

SKIN TONE DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■SKIN TONE DTL	OFF A B AB	スキントーンディテールを効かせる肌色 テーブルを選択します。 肌色テーブルは、SKIN TONE TABLE 項目で作成します。 スキントーンディテールを効かせること で、人物の肌をより滑らかに撮影する ことができます。
S C U F R		
■SKIN TONE ZEBRA VF	ON OFF	ビューファインダー画面に表示されるス キントーンエリアに、ゼブラパターンを 表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL> 画面を開いているときにゼブラパ ターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE TABLE 項目で選択されたAまたは、Bの エリアに表示します。 AとBの両方を同時に表示することは できません。
S C U F R		
SKIN TONE TABLE	A B	スキントーンテーブルを効かせる被写体 の肌色テーブルを選択します。
S C U F R		
SKIN TONE GET		SKIN TONE TABLE 項目で選択されたA または、Bの色情報をセンターマーカー 付近で取得します。 実行すると I CENTER ~ Q PHASE の データが自動で取得されます。 取得したデータは、SKIN TONE TABLE 項目で選択されたAまたは、Bのテー ブルデータになります。 AとBの両方を同時に色情報を得るこ とはできません。
SKIN DTL CORING	0 : 5 : 7	スキントーンディテールの効果レベルを 設定します。
S C U F R		
Y MAX	000 : 190 : 255	スキントーンを効かせる輝度信号最大値 の設定を行います。
S C U F R		
Y MIN	000 : 010 : 255	スキントーンを効かせる輝度信号最小値 の設定を行います。
S C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
I CENTER	000 : 035	I軸上の中心位置の設定（スキントーン を効かせるエリアの設定）を行います。
S C U F R		
I WIDTH	000 : 055	I CENTERを中心としたI軸上のスキ ントーンを効かせるエリア幅の設定を行 います。
S C U F R		
Q WIDTH	00 : 10	I CENTERを中心としたQ軸上のスキ ントーンを効かせるエリア幅の設定を行 います。
S C U F R		
Q PHASE	-180 : +000	Q軸を基準としたスキントーンを効か せるエリアの位相の設定を行います。
S C U F R		
	+179	



◆ NOTE:

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>
画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。

■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の
設定対象になります。
詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(189 ページ) を参照
してください。

可変範囲の____はプリセットモードです。

KNEE/LEVEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 .. ±015 .. +200	マスターペDESTALの設定を行います。
■MANUAL KNEE	ON OFF	AUTO KNEE スイッチがOFF時のモード設定を行います。ON時にKNEE POINT/SLOPEの設定値が有効になります。
KNEE POINT	70.0% .. 93.0% .. 107.0%	ニーポイントの位置設定を1%ステップで行います。
KNEE SLOPE	00 .. 85 .. 99	ニーの傾き設定を行います。
■WHITE CLIP	ON OFF	ホワイトクリップ機能のON/OFFを選択します。ON時にWHITE CLIP LVLの設定値が有効になります。
WHITE CLIP LVL	90% .. 109%	ホワイトクリップレベルの設定を行います。
A.KNEE POINT	80% .. 93% .. 107%	オートニーポイントの位置設定を1%ステップで行います。 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチがCAM.AUTO KNEE ONの時に有効になります。
A.KNEE LVL	100 .. 107 .. 109	オートニーレベルの設定を行います。
A.KNEE RESPONSE	1 .. 4 .. 8	AUTO KNEE 応答速度の設定を行います。設定値が小さいほど応答速度が速くなります。
CHROMA LEVEL	OFF -99% .. +00% .. +40%	Pr信号とPb信号のクロマレベルを設定します。 OFFに設定したときは、映像信号のカラー成分を除去します。
DRS EFFECT DEPTH	1 2 3	DRSの高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。

◆ NOTE:

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。

■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(189 ページ)を参照してください。

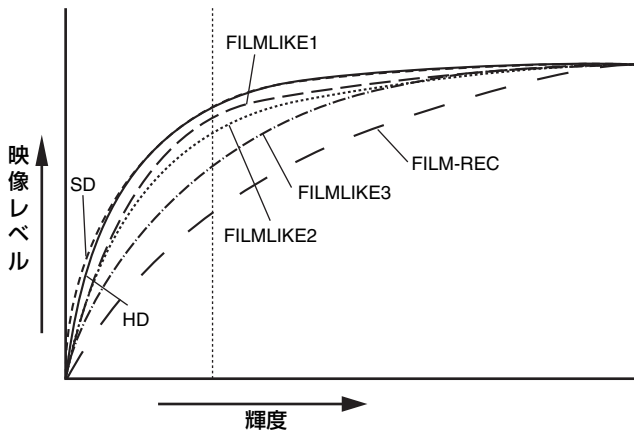
可変範囲の____はプリセットモードです。

GAMMA

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAMMA	0.30 .. 0.45 .. 0.75	マスターガンマの設定を0.01ステップで行います。
R GAMMA	-15 .. +00 .. +15	Rchのガンマ設定を行います。
B GAMMA	-15 .. +00 .. +15	Bchのガンマ設定を行います。

■CAMERA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GAMMA MODE SEL	DEFLT HD SD FILMLIKE1 FILMLIKE2 FILMLIKE3 FILM-REC	ガンマモードの選択を行います。 DEFLT: SDモードのときはSDガンマで、HDモードのときはHDガンマで動作します。 HD: HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。 SD: HDガンマよりも暗部のゲインがアップしています。 FILMLIKE1: ビデオ用シネマガンマ特性です。 FILMLIKE2: ビデオ用シネマガンマ特性です。FILM LIKE1に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILMLIKE3: ビデオ用シネマガンマ特性です。FILM LIKE2に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILM-REC: フィルム用シネガンマ特性を使用します。
S C U F R		
DYNAMIC LVL	200% 300% 400% 500%	GAMMA MODE SEL項目で、FILM RECが選択されているときに有効です。ダイナミックレンジを設定します。
S C U F R		
BLACK STR LVL	00% 30%	GAMMA MODE SEL項目で、FILM RECが選択されているときに有効です。BLACK STRECHの位置を設定します。
S C U F R		



● GAMMA MODE SEL 項目を FILM LIKE3 で使用するとき
は、下記の設定をお勧めします。

MANUAL KNEE : ON
KNEE POINT : 85.0%
KNEE SLOPE : 50

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DETAIL	ON OFF	ディテール信号のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		
2D LPF	ON OFF	クロスカラーを低減させる2次元LPFのON/OFFの選択を行います。(SDモード時のみ) ◆NOTE: PALモード時、2次元LPFは動作しません。
S C U F R		
HIGH COLOR	ON OFF	色のダイナミックレンジを拡大するモードのON/OFFの選択を行います。 ◆NOTE: DRSが動作中は、この項目でONを選択しても反映されません。
S C U F R		
GAMMA	ON OFF	ガンマ補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
TEST SAW	ON OFF	テスト信号のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
FLARE	ON OFF	フレア補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
H-F COMPE.	ON OFF	アパチャー補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

◆NOTE:

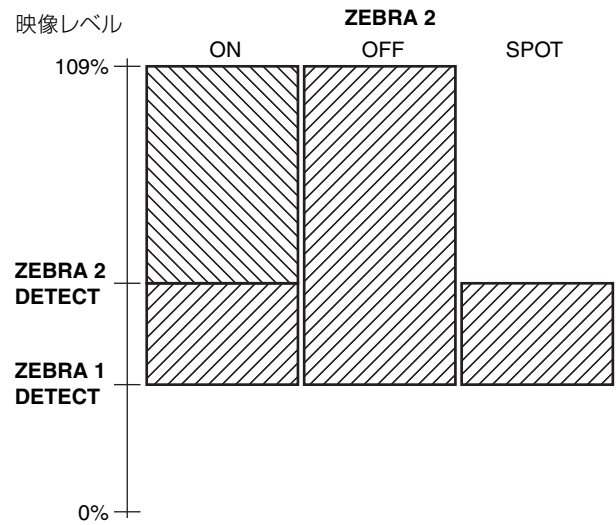
CAMERA SETTING は、すべての項目が <SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象になります。

可変範囲の____はプリセットモードです。

VF DISPLAY




項目/ データ保存	可変範囲	備考
DISP CONDITION	NORMAL HOLD	NORMAL: ステータスを常時表示 HOLD: MODE CHECK SWを押した 時のみ表示
— C U F R		
DISP MODE	1 2 3	DISP MODEの設定を行います。 カメラの警告/通報表示を切り替えます。 詳しくは「表示モードと設定変更/調整 結果メッセージ」(80 ページ)を参照し てください。
— C U F R		
VF OUT	Y NAM R G B	ビューファインダー画面に表示する映像 信号の選択を行います。 Y: 輝度信号 NAM: R,G,Bの中で一番レベルの大きい 信号を出力します R: Rch信号 G: Gch信号 B: Bch信号
— C U F R		
VF DTL	00 05 10	ビューファインダー画面の詳細レ ベルを設定します。 ビューファインダー用信号の詳細 をさらに強調します。00の場合は本線 と同じディテールになります。
— C U F R		
ZEBRA1 DETECT	0% 70% 109%	ZEBRA1 検出レベル(IRE値)の設定を行 います。
— C U F R		
ZEBRA2 DETECT	0% 85% 109%	ZEBRA2 検出レベル(IRE値)の設定を行 います。
— C U F R		
ZEBRA2	ON SPOT OFF	ZEBRA2のON/OFF切換え、および SPOTの選択を行います。
— C U F R		
LOW LIGHT LVL	OFF 10% 15% 20% 25% 30% 35%	カメラの入力光量がどのくらい低い時 に、“LOW LIGHT”を表示するかの設定 を行います。
— C U F R		
RC MENU DISP.	ON OFF	リモートコントロールユニット接続時、 ビューファインダー画面にメニューを表 示する設定を行います。
— C U F R		
50M INDICATOR	ON OFF	REC MODE項目で“DVCPRO50”を選 択しているとき、SDビューファイン ダー内に50M表示LEDをつけるかどう かを選択します。(SDモード時のみ)
— C U F R		
MARKER/ CHAR LVL	50% 60% 70% 80% 90% 100%	VFのマーカーとキャラクターの輝度設 定を行います。
— C U F R		
SYNCHRO SCAN DISP.	sec deg	SYNCHRO SCANモードを表示する単 位を設定します。 sec: 時間で表示します。 deg: シャッターの開口角度で表示し ます。
— C U F R		

ゼブラパターンの表示



可変範囲の _____ はプリセットモードです。

VF MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TABLE	A B	VF MARKER設定テーブルの選択を行います。 以下の項目で選択した A/B の現在の値と設定を行います。
— C U F R		
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
— C U F R		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セーフティゾーンマーカークの種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 「  」 「  」
— C U F R		
SAFETY AREA	80% : 90% : 100%	セーフティゾーンマーカークの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
— C U F R		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカークのON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FRAME SIG	4:3 : 13:9 : 14:9 : VISTA	フレームマーカークの設定を行います。 VISTAは16 : 8.65です。
— C U F R		
FRAME LVL	0 : 15	フレームマーカークの外側のレベルの設定を行います。 0: 信号OFFに相当 (プランキング状態) 15: 中央部と同じ明るさになります。
— C U F R		

◆ NOTE:

SYSTEM MODE項目が“1080-59.94i”、“1080-50i”のいずれかのとき (HDモード)、DOWNCON MODE項目で“LT-BOX”、“S-CROP”を選択すると液晶モニターやSDビューファークにはセーフティゾーンマーカーク、フレームマーカークは表示しません。

VF USER BOX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをビューファインダーに表示するかどうかの設定を行います。
— C U F R		
USER BOX WIDTH	1 : 13 : 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
— C U F R		
USER BOX HEIGHT	1 : 13 : 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
— C U F R		
USER BOX H POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
— C U F R		
USER BOX V POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
— C U F R		

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。

◆ NOTE:

SYSTEM MODE項目が“1080-59.94i”、“1080-50i”のいずれかのとき (HDモード)、DOWNCON MODE項目で“LT-BOX”、“S-CROP”を選択すると液晶モニターやSDビューファークにはユーザーボックスは表示しません。

可変範囲の_____はプリセットモードです。

VF INDICATOR1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
EXTENDER	ON OFF	エクステンダー表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
SHUTTER	ON OFF	シャッタースピード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルター No.表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
WHITE	ON OFF	AWB PRE/A/B表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
GAIN	ON OFF	現在の選択ゲイン、S.GAIN、DS.GAIN表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
IRIS	OFF IRIS S+IRIS S	OFF: スーパーアイリスON状態、絞り値両方を表示しません。 IRIS: 絞り値のみを表示します。 S+IRIS: スーパーアイリスON状態、および絞り値を表示します。 S: スーパーアイリスON状態を表示します。 ● 絞り値の表示とアイリスオーバーライドの表示は連動します。アイリスオーバーライドを変更したときは、3秒間強制的に表示します。
— C U F R		
CAMERA ID	BAR OFF	カメラIDを記録する設定を行います。 BAR: カラーバー信号を記録するときに、カメラIDを記録します。 OFF: 記録しません。
— C U F R		
ID POSITION	UPPER R UPPER L LOWER R LOWER L	カメラIDを表示する場所を設定します。 UPPER R: 右上 UPPER L: 左上 LOWER R: 右下 LOWER L: 左下
— C U F R		
DATE/TIME	ON OFF	カメラIDを表示するとき、年月日、時分秒を同時に表示する選択を行います。
— C U F R		
ZOOM LVL	ON OFF	ズームポジション表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
COLOR TEMP	ON OFF	色温度表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
SYSTEM MODE	ON OFF	システムモードおよびRECモード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
CAMERA MODE	ON OFF	カメラモード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		

VF INDICATOR2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAC	ON OFF	色収差補正表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FILM-REC MODE	ON OFF	ガンマセレクトがFILM RECモードであることを表示するかどうかの選択を行います。
— C U F R		

VF INDICATOR3

項目/ データ保存	可変範囲	備考
P2CARD REMAIN	OFF ONE-CARD TOTAL	P2カードの記録残量をどう表示するか選択します。 OFF: 残量を表示しません。 ONE-CARD: 現在記録対象になっているP2カードの残量を表示します。 TOTAL: スロットに挿入された、すべてのP2カードの残量を合計して表示します。
— C U F R		
BATTERY	ON OFF	バッテリー電圧表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
AUDIO LVL	ON OFF	オーディオレベルメーター表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
TC ON COLOR BAR	ON OFF	カラーバー時に、タイムコードを表示するかどうかを選択します。 ◆NOTE: カラーバー時に、タイムコードを表示していても記録はされません。
— C U F R		
TC	OFF TCG TCR TCG/TCR	表示するタイムコードの選択を行います。 OFF: タイムコードを表示しません。 TCG: 記録時にタイムコードジェネレーター値を表示します。 TCR: 再生時にタイムコードリーダー値を表示します。 TCG/TCR: 記録時はタイムコードジェネレーター値を表示し、再生時はタイムコードリーダー値を表示します。
— C U F R		
SYSTEM INFO	OFF ALWAYS NORMAL	システム情報と警告の表示方法を選択します。 OFF: “TURN POWER OFF” と “SYSTEM ERROR” 以外は表示しません。 ALWAYS: 警告情報が常に表示します。 NORMAL: 発生したときのみ、3秒間警告情報を表示します。
— C U F R		

可変範囲の_____はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SAVE LED	SAVE P2CARD	SAVEランプの動作を設定します。 SAVE: SAVE ON/OFFスイッチをONにし、「OPTION MODE」(162ページ)で割り当てられた出力系統が、セーブ状態になっているとき、点灯します。 P2CARD: P2カードの記録残量がわずかになると、警告メッセージに連動して点滅します。
— C U F R		
REC STATUS	ON OFF	本機の記録中、ビューファインダーおよび液晶モニターに“REC”表示を行うかどうかを選択します。 ON: REC表示を行います。 OFF: REC表示を行いません。 ◆NOTE: この項目は、本機を単体で使用する場合に有効です。1394 SETTING画面の1394 CONTROL項目が“BOTH”に設定されているときは、SYSTEM MODEのREC TALLY項目の設定に従います。
— C U F R		
PROXY REC	ON OFF	ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G別売品)を装着して使用するとき、記録開始時にプロキシの記録情報を表示します。 ON: プロキシ記録をP2カードのみに行うか、P2カードとSDメモリーカードの両方を行うかを表示します。 OFF: プロキシ記録情報を表示しません。
— C U F R		
P-REC/i-REC	ON OFF	INTERVAL REC、PRE RECORDINGなどの表示ON/OFFを切り替えます。 ON: i-REC (INTERVAL REC)、1-CLIP (ONE CLIP REC)の状態、およびP-REC点滅(アクセス継続状態)を表示します。 OFF: i-REC、1-CLIP、P-REC点滅を行いません。なお、このときi-REC、1-CLIPの状態はMODE CHECKボタンを押すことで確認できます。 ◆NOTE: PRE RECORDINGの切り替え情報や、ONE CLIP RECのSTART/END情報はこのメニュー設定によらず表示されます。
— C U F R		

MODE CHECK IND

項目/ データ保存	可変範囲	備考
STATUS	ON OFF	MODE CHECKボタンを押したとき、ステータス画面を表示する設定を行います。
— C U F R		
!LED	ON OFF	MODE CHECKボタンを押したとき、ビューファインダーのランプが点灯している要因を表示する設定を行います。のランプが点灯している要因は、 ! で表示します。
— C U F R		
FUNCTION	ON OFF	MODE CHECKボタンを押したとき、FUNCTION画面を表示する設定を行います。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
AUDIO	ON OFF	MODE CHECKボタンを押したとき、AUDIO画面を表示する設定を行います。
— C U F R		
CAC	ON OFF	MODE CHECKボタンを押したとき、CAC画面を表示する設定を行います。
— C U F R		
P.ON IND	ON OFF	本機の電源を入れた直後にステータス画面を表示する設定を行います。 ◆NOTE: この項目でONを選択していても、STATUS項目がOFFになっていると電源を入れた直後にステータス画面は表示しません。
— C U F R		

!LED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GAIN(OdB)	ON OFF	GAINが0dB以外のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
GAIN(-3dB)	ON OFF	GAINが-3dB以外のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
DS.GAIN	ON OFF	DS.GAIN(蓄積ゲイン)が機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
SHUTTER	ON OFF	電子シャッターが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
WHITE PRESET	ON OFF	WHITE BALスイッチがPRSTの位置のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
EXTENDER	ON OFF	レンズエクステンダーが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
B.GAMMA	ON OFF	BLACK GAMMAが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
MATRIX	ON OFF	リニアマトリックス用の色補正テーブルが選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
COLOR CORRECTION	ON OFF	12軸独立色補正が選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルターが3200KとCLEARの組合せ以外のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		

可変範囲の____はプリセットモードです。

CAM OPERATION

CAMERA ID

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ID1 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定1です。10文字まで設定できます。
ID2 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定2です。10文字まで設定できます。
ID3 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定3です。10文字まで設定できます。

◆ NOTE:

READ FACTORY DATAを選択すると、内容がクリアされます。

SHUTTER SPEED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYNCHRO SCAN — C U F —	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッタースピードとしてSYNCHRO SCANを割り付けます。
POSITION1 — C U F —	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION1 SELECT項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION2 — C U F —	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION2 SELECT項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION3 — C U F —	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION3 SELECT項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION4 — C U F —	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION4 SELECT項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION5 — C U F —	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION5 SELECT項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION6 — C U F —	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION6 SELECT項目で設定したスピードを割り付けます。

可変範囲の_____はプリセットモードです。

SHUTTER SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
POSITION1 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION1のシャッタースピードを設定します。 1/100 : 59.94Hz 1/60 : 50Hz
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION2 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION2のシャッタースピードを設定します。 1/100 : 59.94Hz 1/60 : 50Hz
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION3 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION3のシャッタースピードを設定します。 1/100 : 59.94Hz 1/60 : 50Hz
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION4 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION4のシャッタースピードを設定します。 1/100 : 59.94Hz 1/60 : 50Hz
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
POSITION5 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION5のシャッタースピードを設定します。 1/100 : 59.94Hz 1/60 : 50Hz
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION6 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION6のシャッタースピードを設定します。 1/100 : 59.94Hz 1/60 : 50Hz
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

◆ **NOTE:**

AJ-RC10G を接続したリモートコントロール時は、シャッターの設定はAJ-RC10Gに記憶された設定値になります。

可変範囲の____はプリセットモードです。

USER SW

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER MAIN SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA Y GET DRS ASSIST C.TEMP AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE	USER MAIN ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」(55 ページ) を参照してください。
— C U F R		
USER1 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA Y.GET DRS ASSIST C.TEMP AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE	USER1 ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」(55 ページ) を参照してください。
— C U F R		
USER2 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA Y GET DRS ASSIST C.TEMP AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE	USER2 ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」(55 ページ) を参照してください。
— C U F R		

SW MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RET SW	R.REVIEW CAM RET	レンズの RET ボタンや RET SW 機能を割り付けた本機の USER ボタンを押したときの機能を設定します。 R.REVIEW: レックレビュー機能 撮影した最後の数秒間の記録を確認することができます。 CAM RET: リターンビデオ機能 本機の GENLOCK IN 端子に供給されたリターンビデオ信号 (HD: アナログ HD-Y 信号、SD: VBS 信号) をビューファインダーで確認することができます。 ◆ NOTE: ● 本機の映像方式と異なる映像信号を入力した場合、リターンビデオ映像は正しく表示されません。 ● GENLOCK 項目 (SYSTEM SETTING ページの GENLOCK 画面) を INT に設定しているときは、リターンビデオ映像が水平方向に小さく揺れて表示される場合があります。
— C U F R		
S.BLK LVL	OFF -10 -20 -30	スーパーブラックのレベルを設定します。
— C U F R		
AUTO KNEE SW	ON OFF DRS	AUTO KNEE 機能の ON/OFF および DRS 機能を選択します。 OFF に設定すると AUTO KNEE スイッチ ON の位置にしても、AUTO KNEE が機能しません。 DRS に設定すると、AUTO KNEE スイッチを ON の位置にしたときに DRS 機能が ON になります。
S C U F R		
SHD.ABB SW CTL	ON OFF	AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に 8 秒以上押し続けたとき、ブラックシェーディングを自動調整する設定を行います。
— C U F R		
COLOR BARS	SMPTE FULL BARS SPLIT ARIB	使用するカラーバーの選択を行います。 SMPTE: SMPTE 規格のカラーバー FULL BARS: フルカラーバー SPLIT: SNG (Satellite News Gathering) 用 SPLIT カラーバー ARIB: ARIB 規格のカラーバー
— C U F R		
S.GAIN OFF	L/M/H S.GAIN	スーパーゲインモードを解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化と S.GAIN スイッチ (USER ボタン) で解除します。 S.GAIN: S.GAIN スイッチ (USER ボタン) でのみ解除します。
— C U F R		

可変範囲の _____ はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DS.GAIN OFF	L/MH DS.GAIN	デジタルスーパーゲインモード（蓄積ゲイン）を解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化とDS.GAINスイッチ（USERボタン）で解除します。 DS.GAIN: DS.GAINスイッチ（USERボタン）でのみ解除します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
RC CHECK SW	R.REVIEW PLAY	リモートコントロールユニットのRECチェックボタンを押したときの本機の動作を選択します。 R.REVIEW: レックレビュー動作 PLAY: 再生動作
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	

WHITE BALANCE MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILTER INH	ON OFF	各CCフィルターごとにホワイトバランスメモリー（Ach, Bch）のデータを持つかないかの選択を行います。 ON: CCフィルターに関係なく、AchとBchのメモリー（2メモリー）のデータを持ちます。 OFF: 各CCフィルターごとに、AchとBchのメモリー（8メモリー）のデータを持ちます。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
SHOCKLESS AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	WHITE BALスイッチの位置を切り替えたとき、その位置のホワイトバランスの状態に移行するまでの時間を設定します。 OFF: 瞬時に移行します。 FAST: 約1秒 NORMAL: 約2秒 SLOW1: 約3秒 SLOW2: 約10秒 SLOW3: 約20秒
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
AWB AREA	25% 50% 90%	ホワイトバランスの自動調整を行う検出エリアを切り替えます。 25%: 画面中央付近25%のエリアを検出します。 50%: 画面中央付近50%のエリアを検出します。 90%: 画面の90%のエリアを検出します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
TEMP PRE SEL SW	VAR 3.2K/5.6K	PRESETの色温度を、可変にするか3200K/5600Kの切り替えにするかを選択します。値を変更した直後はPRESETの色温度は3200K（フィルタAのとき）に設定されます。 VAR: 2300K↓～8000Kまでで切り換え可能 3.2K/5.6K: 3200Kまたは5600Kの切り換え。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	

可変範囲の____はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COLOR TEMP PRE	2300K↓ : 3200K : 8000K 3200K 5600K	WHITE BALスイッチをPRSTの位置にしたときの色温度を設定します。 TEMP PRE SEL SW項目で選択されたPRESETの色温度を設定を行います。 2300K↓～8000K: TEMP PRE SEL SW項目でVAR選択時 3200K/5600K: TEMP PRE SEL SW項目で3200K/5600K選択時。 ● CCフィルターの位置により、設定できる色温度の範囲が異なり、高い色温度で設定時に色温度を変化させても数値が変化しない場合があります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
AWB A TEMP	2300K↓ : 3200K : 8000K	WHITE BALスイッチをAの位置にしたときの色温度を設定します。 Aの位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度がWHITE BALスイッチAの位置にメモリーされます。ホワイトバランスの自動調整後、またはCCフィルターの切り替え後は9000Kまで表示する場合があります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
AWB B TEMP	2300K↓ : 3200K : 8000K	WHITE BALスイッチをBの位置にしたときの色温度を設定します。 Bの位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度がWHITE BALスイッチBの位置にメモリーされます。ホワイトバランスの自動調整後、またはCCフィルターの切り替え後は9000Kまで表示する場合があります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	

USER SW GAIN

項目/ データ保存	可変範囲	備考
S.GAIN 30 dB	* .	SUPER GAINに、30 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
36 dB	* .	SUPER GAINに、36 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
DS.GAIN 6 dB ↑	* .	DS.GAINに、6 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
10 dB ↑	* .	DS.GAINに、10 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
12 dB ↑	* .	DS.GAINに、12 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
15 dB ↑	* .	DS.GAINに、15 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
20 dB ↑	* .	DS.GAINに、20 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

◆ NOTE:

DS.GAIN機能が動作しているときは、シャッターモードがOFFの状態になります。

LENS/IRIS

項目/ データ保存	可変範囲	備考
A.IRIS LEVEL	000 . 045 . 100	オートアイリスの目標値の設定を行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
A.IRIS PEAK/ AVE	000 . 030 . 100	オートアイリスの基準に対するピークの占める割合を決定します。 大きいほど、IRIS検出ウィンドウ内のピークに対して反応し、小さいほど、IRIS検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
A.IRIS WINDOW	NORM1 NORM2 CENTR	オートアイリス検出ウィンドウを選択します。 NORM1: 画面中央よりのウィンドウ NORM2: 画面下よりのウィンドウ CENTR: 画面中央のスポット状のウィンドウ
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
S.IRIS LEVEL	000 . 080 . 100	スーパーアイリス（逆光補正機能）の目標値を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
IRIS GAIN	CAM LENS	IRIS GAIN調整側の選択を行います。 ◆ NOTE: FUJINON製のDIGI POWERタイプ以前に発売されたエクステンダー付き（×2、×0.8など）のレンズでは、エクステンダーを入れた状態のままレンズ側でIRIS補正制御を動作させるため、CAM側に設定すると本機のIRIS制御が正常に動作しなくなります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
IRIS GAIN VALUE	01 . 10 . 20	IRIS GAIN調整値の設定を行います。 IRIS GAINがCAMを選択時、この設定は有効になります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

可変範囲の____はプリセットモードです。

MAIN OPERATION

BATTERY/P2CARD

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BATTERY SELECT	PROPAC14 TRIMPAC14 HYTRON50 HYTRON140 DIONIC90 DIONIC160 NP-L7 ENDURA7 ENDURA10 ENDURA-D PAG L95 BP-L65/95 NICD14 TYPE A TYPE B	使用するバッテリーを選択します。また、選択したバッテリーに合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「BATTERY SETTING1」(184 ページ)、および「BATTERY SETTING2」(185 ページ)の設定により、変化します。 なお、TYPE Aの初期値はDIONIC90に、TYPE Bの初期値はHYTRON140に合わせ設定されています。 ソニー製バッテリー BP-GL65またはBP-GL95を使用するときは“BP-L65/95”に設定してください。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
EXT DC IN SELECT	AC ADPT PROPAC14 TRIMPAC14 HYTRON50 HYTRON140 DIONIC90 DIONIC160 NP-L7 ENDURA7 ENDURA10 ENDURA-D PAG L95 BP-L65/95 NICD14 TYPE A TYPE B	DC IN端子にバッテリーを接続する場合に、残量検出の種類を設定します。また、選択した種類に合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「BATTERY SETTING1」(184 ページ)、および「BATTERY SETTING2」(185 ページ)の設定により、変化します。 ビューファインダー画面には、アナログ電圧を表示します。 ソニー製バッテリー BP-GL65またはBP-GL95を使用するときは“BP-L65/95”に設定してください。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	バッテリーニアエンドで警告音を鳴らすかどうかを選択します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	ONに設定すると、バッテリーニアエンドでMODE CHECKボタンを押すことにより、出力されている警告音や警告表示をキャンセルすることができます。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
BATT END ALARM	ON OFF	バッテリーエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
BATT REMAIN FULL	70% 100%	残量表示機能のあるバッテリー使用時に、表示窓のバッテリー残量表示バーの表示内容を設定します。 70%: 70%でFULL表示します。 100%: 100%でFULL表示します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD NEAR END ALARM	ON OFF	P2カードニアエンドで、警告音を出力するかどうかを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
CARD NEAR END TIME	2min 3min	P2カードニアエンド警告を出す残量時間を設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
CARD END ALARM	ON OFF	P2カードエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
CARD REMAIN/■	3min/■ 5min/■	表示窓のP2カード残量表示バーの1セグメント(■)の時間を設定します。 3min/■: 1セグメントが3分 5min/■: 1セグメントが5分
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

可変範囲の____はプリセットモードです。

BATTERY SETTING1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PROPAC14	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.8 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
TRIMPAC14	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.6 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
HYTRON50	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.5 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
HYTRON140	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.5 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
DIONIC90	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.6 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DIONIC160	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.2 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
NP-L7	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.2 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
ENDURA7	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.2 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
ENDURA10	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.2 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
ENDURA-D	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.2 .	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	

可変範囲の____はプリセットモードです。

BATTERY SETTING2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PAG L95	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : 13.5 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
C U F		
BP-GL65/95	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : 13.5 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
C U F		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
NiCd14	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
	11.0 : 13.8 : 15.0	
END	11.0 : 13.4 : 15.0	エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
C U F		
TYPE A	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	FULL	FULL表示する電圧を0.1 Vステップで選択します。
	12.0 : 15.1 : 17.0	
NEAR END	11.0 : 13.6 : 15.0	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
END	11.0 : 12.9 : 15.0	エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
C U F		
TYPE B	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	FULL	FULL表示する電圧を0.1 Vステップで選択します。
	12.0 : 15.5 : 17.0	
NEAR END	11.0 : 13.5 : 15.0	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
END	11.0 : 13.1 : 15.0	エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
C U F		

- 残量表示機能のあるバッテリーを本機に取り付けたときは、バッテリー残量を%で表示します。

可変範囲の____はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT VR CH1	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH1に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 OFF: どの入力を選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 FRONT: FRONTが選択された時のみ有効です。 W.L.: WIRELESSが選択された時のみ有効です。 REAR: REARが選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力を選択されても有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
FRONT VR CH2	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH2に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 OFF: どの入力を選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 FRONT: FRONTが選択された時のみ有効です。 W.L.: WIRELESSが選択された時のみ有効です。 REAR: REARが選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力を選択されても有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
MIC LOWCUT CH1	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル1に対するマイクロカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
MIC LOWCUT CH2	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル2に対するマイクロカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
MIC LOWCUT CH3	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル3に対するマイクロカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MIC LOWCUT CH4	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル4に対するマイクロカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
LIMITER CH1	ON OFF	リミッターを選択します。 AUDIO SELECT CH1スイッチが「MAN」に設定されているとき、有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
LIMITER CH2	ON OFF	リミッターを選択します。 AUDIO SELECT CH2スイッチが「MAN」に設定されているとき、有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
AUTO LEVEL CH3	ON OFF	レベル設定方法を選択します。詳しくは「CH3/CH4の録音レベルについて」(58ページ)を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
AUTO LEVEL CH4	ON OFF	レベル設定方法を選択します。詳しくは「CH3/CH4の録音レベルについて」(58ページ)を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
25M REC CH SEL	2CH 4CH	DVCPRO、およびDVフォーマット時、記録するオーディオCHを選択します。 2CH: CH1、CH2のみを記録します。 4CH: 1~4チャンネルすべてを記録します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
TEST TONE	OFF NORMAL ALWAYS CHSEL	テスト信号を選択します。 OFF: テストトーンは出力しません。 NORMAL: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに、AUDIO INスイッチのCH1をFRONTに切り替えたとき、CH1~4すべてにテストトーンを出力します。 ALWAYS: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに切り替えたとき、常にCH1~4すべてにテストトーンを出力します。 CHSEL: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに切り替えたとき、AUDIO INスイッチのCH1、またはCH2がFRONTに設定されているチャンネルにテストトーンを出力します。CH3、CH4には出力しません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

◆ NOTE:

マイクロカットフィルターを適用したときの周波数特性は、200 Hz~10 kHzになります。

可変範囲の____はプリセットモードです。

MIC/AUDIO2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	フロントマイクのファントム電源の選択をします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
REAR MIC POWER	ON OFF	リアマイクのファントム電源の選択をします。 OFFを選択すると、REAR AUDIO CH1 およびCH2スイッチを+48にしても、ファントム電源は出力されません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
MONITOR SELECT	STEREO MIX	MONITORスイッチがST（ステレオ）に設定されているときに、モニターに出力する信号形式を選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
FRONT MIC LEVEL	-40dB -50dB	フロントマイクの入力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
REAR MIC CH1 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
REAR MIC CH2 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
REAR LINE IN LVL	+4dB 0dB -3dB	リアライン入力のレベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
AUDIO OUT LVL	+4dB 0dB -3dB	オーディオ出力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
HEADROOM	18dB 20dB	ヘッドルーム（基準レベル）を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
WIRELESS WARN	ON OFF	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪い時、警告を出すかどうかを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
WIRELESS TYPE	SINGLE DUAL	ワイヤレスレシーバーのタイプを選択します。 SINGLE: 1チャンネル式のワイヤレスレシーバーを選択します。 DUAL: 2チャンネル式のワイヤレスレシーバーを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		

TC/UB

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC MODE	DF NDF	タイムコードモードを選択します。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム ◆NOTE: 本機が50 Hzで動作時、および24P、24PAで動作時は、この項目に関係なく、常にノンドロップフレームで動作します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
UB MODE	USER TIME DATE EXT TCG FRM RATE REGEN	ユーザーズビットモードを選択します。 USER: LCD部で設定したUB値を選択します。 TIME: ローカル時刻を選択します。（時、分、秒） DATE: ローカル日時を選択します。（西暦下2桁、月、日、時） EXT: SYSTEM MODE画面のREC SIGNAL項目で“CAM”、“VIDEO”または“SDI”を選択しているときは、TC IN端子に入力されているユーザーズビットを記録します。“1394”を選択しているときは、DVCPRO端子に入力されている信号のユーザーズビットを記録します。読みとれない場合はUSER値を保持します。 TCG: TCGの値がそのままUBに入ります。 FRM RATE: カメラの撮像情報（フレームレートなど）を選択します。詳しくは「ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報」（61 ページ）を参照してください。 なお、Native記録されたクリップの再生では、VAUX領域のユーザーズビットに記録されたフレームレート情報を出力します。 REGEN: カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		

可変範囲の_____はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VITC UB MODE	USER/EXT TIME DATE TCG FRM RATE REGEN	VAUX TC (VITC) のユーザースピットモードを選択します。 USER/EXT: UB MODE項目が“EXT”で動作しているときはその値に従い、EXT以外のときはUBで設定されたUSER値を記録します。 TIME: ローカル時刻を選択します。(時、分、秒) DATE: ローカル日時を選択します。(西暦下2桁、月、日、時) TCG: TCGの値がそのままUBに入ります。 FRM RATE: カメラの撮像情報(フレームレートなど)を選択します。詳しくは「ユーザースピットに記録されるフレームレート情報」(61ページ)を参照してください。 REGEN: カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。 ◆ NOTE: 本機が24P、24PA、30P (AVC-I) や25P (AVC-I) で動作時は、FRM RATE固定になります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
TCG SET HOLD	ON OFF	電源OFFする前にTCGを設定した場合、再度電源ONして記録した時、必ずその設定した値から記録する機能のON/OFFを切り換えます。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
FIRST REC TC	PRESET REGEN	電源ON、P2カード挿入、記録対象のP2カード切り替え後の最初の記録で、タイムコードをP2カード上の値にリジエネさせるかどうかを選択します。 PRESET: 本機内部のタイムコードを使用します。 REGEN: 記録対象のP2カードに記録されたクリップのうち、日時が最も新しいクリップのタイムコードにリジエネします。 ◆ NOTE: ● 日時の設定は正確に行ってください。設定方法は「内蔵時計の日付/時刻の設定」(63ページ)を参照してください。 ● 本機が24P、24PAで動作時は、ドロップフレームで記録されたカードの値には、リジエネできません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
POFF LCD DISPLAY	ON OFF	電源OFF状態で、液晶表示のタイムコード設定やカウント表示を行うかどうかを選択します。 ON: 電源OFF中でもタイムコードの設定や表示をします。 OFF: 電源OFF中は液晶モニターをパワーダウンします。設定や表示はできません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC OUT	TCG TCG/TCR	タイムコード出力端子に出力されるタイムコードを選択します。 TCG: 常にタイムコードジェネレーター値を出力します。 TCG/TCR: 記録時はタイムコードジェネレーター値を出力し、再生時はタイムコードリーダー値を出力します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
TC DISP SEL	30F 24F	タイムコードのフレーム桁の表示形式を選択します。(1080-59.94i、480-59.94i時のみ) 詳しくは「ユーザースピットに記録されるフレームレート情報」(61ページ)を参照してください。 30F: タイムコードのフレーム桁を30フレームで表示します。 24F: タイムコードのフレーム桁を24フレームに変換して表示します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
TC VIDEO SYNCRO	0 1 2 3	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0: 補正しません。 1: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2: 映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。 詳しくは、「タイムコードを外部ロックさせる」(65ページ)を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
REC REVIEW REGEN	ON OFF	SW MODE画面のRET SW項目をR.REVIEWに設定して、レンズのRETボタンやRET SW機能を割り付けた本機のUSERボタンを押した後、次の記録を開始したときにP2カード上のタイムコードにリジエネするかどうかを選択します。 ON: リジエネします。 OFF: リジエネしません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

UMID SET/INFO

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COUNTRY	NO-INFO	ユーザーの属する国家を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示されません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
ORGANIZATION	NO-INFO	ユーザーの属する組織名・会社名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示されます。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
USER	NO-INFO	ユーザー名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
DEVICE NODE		製品のID番号を表示します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

◆ NOTE:

UMID情報の設定は「UMID情報の設定」(70ページ)を参照してください。

SD CARD READ/WRITE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R.SELECT [][][][] F []	1 : 8	読み出す (READ) ファイルの番号を選択します。
READ [][][][]		SDメモリーカードのデータを読み出します。
W.SELECT [][][][] F []	1 : 8	書き込む (WRITE) ファイルの番号を選択します。
WRITE [][][][]		本機のメニューデータをSDメモリーカードへ書き込みます。
CARD CONFIG [][][][]		SDメモリーカードをフォーマットします。
TITLE READ [][][][]		SDメモリーカードのデータに付けられているタイトルを読み出します。
TITLE1 - 8 [][][][]	**** ****	8文字までのタイトル名が設定できます。

◆ **NOTE:**

USB DEVICEモードのときは、SD CARD READ/WRITEの各項目を実行しても、SDメモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。PC MODE項目を“OFF”にしてから実行してください。

SD CARD R/W SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSTEM MODE R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、SYSTEM MODE画面の各項目の設定を、取り扱うかどうかを選択します。
ID READ/ WRITE [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、CAMERA IDを、取り扱うかどうかを選択します。
USER MENU SELECT R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、FILE MENU SELECTページの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
SYSTEM MENU R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、SYSTEM MODE画面を除くSYSTEM SETTINGページの設定値とOPTION MENUページの設定値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU LEVEL R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、PAINT ページの調整値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU SW(■) R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、PAINT MENUページの設定値を、取り扱うかどうかを選択を行います。
VF MENU R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、VFページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
CAM OPE MENU R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、CAM OPERATIONページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
MAINTEN MENU R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、MAINTENANCEページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
MAIN OPE MENU R/W [][][][] F []	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、MAIN OPERATIONページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。

可変範囲の____はプリセットモードです。

CAC FILE CARD READ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD READ SELECT	1 : 32	SDメモリーカードに記録された色収差補正データ操作 (READ/DELETE) を行う番号を選択します。
READ		SDメモリーカードからCAC FILEを読み込みます。選択すると下記のFILE READ画面に移動します。
DELETE		SDメモリーカード内のCAC FILEを削除します。
TITLE READ		SDメモリーカード内のCAC FILEの名前を読み出します。
TITLE SCROLL	1 : 25	SDメモリーカード内のCAC FILEをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
01 - 32		01～32のファイル名を27文字まで表示します。

FILE READ画面

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TITLE		CAC FILE CARDのREAD項目で選択されたCAC FILEの名前が表示されます。
YES		SDメモリーカードから読み込んだCAC FILEを、本機の内部メモリーに記憶します。
NO (CANCEL)		SDメモリーカードから読み込んだCAC FILEを、本機の内部メモリーに記憶しません。
MEM STORE NO	EMPTY 1 : 32	EMPTY: 本機の内部メモリーに書き込む際、番号順にサーチして記録されていない箇所に記憶する。 1~32: 選択した番号に記憶します。すでにCAC FILEが記録されている場合は上書きされます。
TITLE SCROLL	1 : 25	本機の内部メモリー内のCAC FILEをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
01 - 32		01～32のファイル名を27文字まで表示します。

LENS FILE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILE NO.	1 : 8	レンズファイルの番号を選択します。
READ		レンズファイルのデータを読み込みます。
WRITE		レンズファイルのデータを書き込みます。
RESET ALL		すべてのレンズファイルのデータをリセットします。
TITLE1 - 8	***** *****	12文字までのタイトル名が設定できません。

LENS FILE CARD R/W

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD FILE SELECT	1 : 8	SDメモリーカードのレンズファイルの番号を選択します。
READ		SDメモリーカードのレンズファイルデータを読み出します。
WRITE		レンズファイルのデータをSDメモリーカードへ書き込みます。
TITLE READ		SDメモリーカードのレンズファイルのタイトルを読み出します。
TITLE1 - 8	***** *****	12文字までのタイトル名が設定できません。

◆ NOTE:

USB DEVICEモードのときは、LENS FILE CARD R/Wの各項目を実行しても、SDメモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。PC MODE項目を“OFF”にしてから実行してください。

可変範囲の____はプリセットモードです。

SCENE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ USER DATA		メモリーのユーザーエリアデータを読み 込みます。
SCENE SEL	1 : 4	シーンファイルを選択します。
READ		シーンファイルを読み込みます。
WRITE		シーンファイルを書込みます。
RESET		シーンファイルの値を初期値に戻しま す。
TITLE 1-4		シーンファイルのタイトルを作成しま す。

◆ **NOTE:**

USB DEVICE モードのときは、READ USER DATA 項目を実行しても、SD メモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。PC MODE 項目を“OFF” にしてから実行してください。

INITIALIZE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ FACTORY DATA		MENU (MAIN MENU、OPTION MENU) 値がすべて工場出荷状態になり ます。 ◆ NOTE: ただし以下のデータは工場出荷値に戻り ません。 ● シーンファイル ● USER データ ● レンズファイル ● ブラックシェーディングデータ
WRITE USER DATA		ユーザー固有のメニューデータを本機の 内部メモリーにセーブします。

◆ **NOTE:**

USB DEVICE モードのときは、READ FACTORY DATA 項目を実行してもエラーになります。PC MODE 項目を“OFF” にしてから実行してください。

可変範囲の____はプリセットモードです。

MAINTENANCE

SYSTEM CHECK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COLOR CHECK	ON OFF	カメラレコーダが正常かどうかのチェックのON/OFFを切り換えます。画面中央付近のRGBのレベルをビューファインダーに表示し、それぞれの系統が正常に光学系からデジタル系まで伝送され処理されているかどうかを示します。
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—

LENS ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
F2.8 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF2.8にします。(レンズ側でF2.8になるよう調整を行います)
—	—	—
F16 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF16にします。(レンズ側でF16になるよう調整を行います)
—	—	—
—	—	—
—	—	—

BLACK SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT	ON OFF	デジタルブラックシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。
— C U F R	—	—
DETECTION (DIG)	—	デジタルブラックシェーディング補正を実行します。
—	—	—
—	—	—
—	—	—

WHITE SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT	ON OFF	ホワイトシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。
— C U F R	—	—
R H SAW	-255	ホワイトシェーディングの補正を手動で行います。 RGB各チャンネルのノコギリ歯状波形とパラボラ波形を、水平方向と垂直方向に調整します。
R H PARA	±000	
R V SAW	±000	
R V PARA	±255	
G H SAW	±000	
G H PARA	±000	
G V SAW	±000	
G V PARA	±000	
B H SAW	±000	
B H PARA	±000	
B V SAW	±000	
B V PARA	±000	
—	—	
—	—	—
—	—	—

LENS FILE ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RB GAIN CTRL RESET	ON OFF	ON: <RB GAIN CONTROL> 画面で調整されたRchとBchのゲインをリセットします。また、<RGB BLACK CONTROL> 画面で調整されたRch、Gch、Bchのフレアレベルもリセットされます。 OFF: <RB GAIN CONTROL> 画面で調整されたRchとBchのゲインが有効になります。また、<RGB BLACK CONTROL> 画面で調整されたRch、Gch、Bchのフレアレベルも有効になります。
—	—	—
LENS R GAIN OFFSET	-200 ±000 +200	使用するレンズのRch感度を補正します。
—	—	—
LENS B GAIN OFFSET	-200 ±000 +200	使用するレンズのBch感度を補正します。
—	—	—
LENS R FLARE	000 100	Rchのフレアレベルを調整します。
—	—	—
LENS G FLARE	000 100	Gchのフレアレベルを調整します。
—	—	—
LENS B FLARE	000 100	Bchのフレアレベルを調整します。
—	—	—
—	—	—

- LENS FILE ADJ 画面で調整されたデータは、レンズファイルとして SD メモリーカードに保存することが可能です。

可変範囲の_____はプリセットモードです。

CAC ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAC CONTROL	ON OFF	ON: 色収差補正を行います。 OFF: 色収差補正を行いません。
U F R		
CAC FILE DELETE	—	本機内部のメモリーに記憶された、かつ CAC FILE NO項目で選択された色収差 補正ファイルを削除します。
CAC FILE NO.	1 : 32	CAC FILE DELETE項目で色収差補正 ファイルを削除するときは、削除する色 収差補正ファイルを選択します。
TITLE SCROLL	1 : 25	色収差補正ファイルをスクロール表示し ます。カーソルでこの項目を選択し、 JOGダイヤルボタンを押してからJOG ダイヤルボタンを回すと、CAC FILEが スクロール表示されます。
01 - 32		01～32の色収差補正ファイル名を27文 字まで表示します。

DIAGNOSTIC1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAMSOFT MAIN		カメラマイコンメインソフトウェアの バージョンを表示します。
CAM TABLE		カメラブロック設定テーブルのバー ジョンを表示します。
PULSE FPGA		CCD駆動用のプログラムバージョンを 表示します。
UCIF FPGA		マイコンインターフェイスFPGAのプ ログラムバージョンを表示します。
FM FPGA		フレームメモリー制御FPGAのプログ ラムバージョンを表示します。
CHAR FPGA		HD信号入出力制御FPGAのプログラ ムバージョンを表示します。
DC FPGA		SD信号入出力制御FPGAのプログラ ムバージョンを表示します。

DIAGNOSTIC2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSCON SOFT		システム制御マイコンのソフトバー ジョンを表示します。
LCD SOFT		LCDマイコンのソフトバージョンを 表示します。
P2CS OS		ストリーム制御のOSバージョンを 表示します。
P2CS AP		ストリーム制御のアプリケーション のバージョンを表示します。
SH4CTRL FPGA		ストリーム制御FPGAのプログラ ムバージョンを表示します。
PRCCTRL FPGA		プリレコーディング制御FPGAのプ ログラムバージョンを表示します。
SYSIF FPGA		シリアルインターフェイスFPGAの プログラムバージョンを表示します。
SDI IN FPGA		SDI基板のFPGAのプログラムバー ジョンを表示します。(オプション)
AVC-I SOFT		AVC-I基板の制御ソフトバージョン を表示します。
AVC-I FPGA		AVC-I基板のFPGAプログラムバー ジョンを表示します。

HOURS METER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
OPERATION		本機の電源が入っていた時間の総合 計を表示します。
P.ON TIMES		本機の電源を入れた回数の総合計 を表示します。

OPTION MENU

OPTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ENG SECURITY	ON OFF	メニュー画面の開閉に制限をかけるかどうかの選択をします。 ON: MENU画面が開けなくなります。解除するには、販売店にご相談ください。 OFF: 開閉に制限はありません。
FRM RATE UB	FRM RATE MENU	映像方式を24Pや24PAに設定しているときに記録するユーザズビットを設定します。詳しくは「タイムコードおよびユーザズビットの記録」(60ページ)を参照してください。 FRAME RATE: カメラの撮像情報(フレームレートなど)を記録します。 MENU: <TC/UB>画面のUB MODE項目とVITC UB MODE項目の設定に従います。ただしNative記録時は、常にカメラの撮像情報を記録します。
1394 CONFIG	DFLT (000) 001 : 255	DVCPRO端子の拡張用メニューです。通常は、DFLTで使用してください。
1394 GAP COUNT	0 : 40 : 63	パケットとパケットの間隔を設定します。
AUDIO OUT DELAY	DELAYED THROUGH	オーディオ出力やヘッドホン/スピーカーの音声出力を遅らせるか設定します。 DELAYED: 映像出力に合わせて、音声出力を遅らせます。 THROUGH: 音声入力をそのまま遅らせずに出力します。音源が近くにあり、音源と出力音が2重に聞こえるのを回避できません。
FAN MODE	OFF AUTO	ファンの動作モードを設定します。 OFF: ファンは常に回りません。 AUTO: 本機内部の温度が上昇すると、自動的にファンが回転します。 ◆NOTE: 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時には、この項目は必ず“AUTO”に設定されます。ファンが停止した状態で動作を続けると、本機内の温度が上昇し、正常に記録・再生が行えないことがあります。通常は“AUTO”のまま使用してください。

AREA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
AREA SELECT	NTSC NTSC (J) PAL	NTSC: 日本以外のNTSC地域を選択します。 NTSC (J): 日本を選択します。 PAL: PAL地域を選択します。
■AREA SET		AREA SELECT項目で選択された地域向けの設定に変更されます。詳しくは「ご使用地域への設定(フレーム周波数等の設定)」(15ページ)を参照してください。

可変範囲の_____はプリセットモードです。

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトよりP2のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

ファームウェアをアップデートするとき、メニューでMAINTENANCE→DIAGNOSTIC1およびDIAGNOSTIC2画面で本機のバージョンを確認の上、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。

◆NOTE:

本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格に準拠したものをお使いください。

また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

保障とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度で確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AJ-HPX3000G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

総合

電源：
DC 12 V (11.0 V～17.0 V)
消費電力：
44 W

は安全項目です。

動作温度： 0°C～+40°C
保存温度： -20°C～+60°C
動作湿度： 10%～85%以下（相対湿度）
連続動作時間： 約120分（アントン・パウアー
DIONIC90使用時）
外形寸法（幅×高さ×奥行き）：
137 mm×209 mm×318 mm
（ハンドル・オプションカバー含まず）
質量： 約4.8 kg（本体のみ）

カメラ部

撮像素子： 2/3型 220万画素 IT型CCD×3
撮像方式： RGB 3CCD方式
総画素数： 2010 (H) × 1120 (V)
CCフィルター： A：3200K
B：4300K
C：5600K
D：6300K
NDフィルター： 1：CLEAR
2：1/4ND
3：1/16ND
4：1/64ND
量子化： 14ビット
水平駆動周波数： 74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.25 MHz (50 Hz)
サンプリング周波数：
74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.25 MHz (50 Hz)
デジタル信号処理：74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.25 MHz (50 Hz)
プログラマブルゲイン：
-3/0/+3/+6/+9/+12/+15/+18/+21/+24/
+27/+30 dB
デジタルスーパーゲイン (DS.GAIN) 機能：
+6/+10/+12/+15/+20 dBから選択可能
スーパーゲイン (S.GAIN) 機能：
30/36 dBから選択可能

シャッタースピード：
1/60 (50 Hz)、1/100 (59.94 Hz)、
1/120、1/250、1/500、1/1000、
1/2000、HALF
180 deg、172.8 deg、144.0 deg、
120.0 deg、90.0 deg、45.0 deg
シンクロスキャンシャッター：
1/61.7～1/7200
(1080/59.94i・480/59.94i)
1/30.9～1/3600
(1080/29.97P・480/29.97P)
1/24.7～1/2880
(1080/23.98P(A)・480/23.98P(A))
1/51.4～1/6000
(1080/50i・576/50i)
1/25.7～1/3000
(1080/25P・576/25P)
レンズマウント： 2/3インチバヨネット型
色分解光学系： プリズム方式 (F1.4)
感度： F10
(2000 lx、89.9%反射、1080/59.94i)
最低被写体照度： 0.064 lx
(F1.4、+36 dB (S.GAIN)、+20 dB
(DS.GAIN)時)
映像 S/N： 54 dB (標準)
レジストレーションエラー：
0.03%以下（全域、レンズ歪みを除く）
水平解像度： 1000TV本以上

メモリーカード部

記録メディア： P2カード
映像記録フォーマット：
AVC-Intra100/AVC-Intra50/DVCPRO
HD/DVCPRO50/DVCPRO/DVより切り
換え
音声記録フォーマット：
48 kHz 16ビット 4ch
記録・再生時間： 約16分：AJ-P2C016RGを1枚使用し、
AVC-Intra100 (1080/59.94i、
1080/50i) で記録時
約32分：AJ-P2C008HGを1枚使用し、
DVCPRO (480/59.94i、576/
50i) で記録時

◆NOTE:

上記の時間は、P2カードに1ショットを連続記録した場合
のものです。記録するショット数によっては、記録できる時
間は上記の時間より短くなる場合があります。

* P2カードについて、取扱説明書に記載された情報以外
の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポー
トページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

デジタルビデオ

サンプリング周波数：
Y： 74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.25 MHz (50 Hz)
(AVC-Intra100/AVC-Intra50/DVCPRO
HD)
PB/PR： 37.0879 MHz (59.94 Hz)
37.125 MHz (50 Hz)
(AVC-Intra100/AVC-Intra50/DVCPRO
HD)
Y： 13.5 MHz (DVCPRO50)
PB/PR： 6.75 MHz (DVCPRO50)
Y： 13.5 MHz (DVCPRO)
PB/PR： 3.375 MHz (DVCPRO)
量子化：
10ビット (AVC-Intra100/AVC-Intra50)
8ビット (DVCPRO HD/DVCPRO50/
DVCPRO/DV)
圧縮方式：
H.264/AVCイントラプロファイル
(AVC-Intra100/AVC-Intra50)
DVベース (SMPTE370M/DVCPRO
HD、SMPTE314M/DVCPRO50/
DVCPRO)
DV (IEC61834-2/DV)

デジタルオーディオ

サンプリング周波数：
48 kHz (ビデオに同期)
量子化：
16ビット
周波数特性：
20 Hz～20 kHz±1.0 dB (基準レベル
にて)
ダイナミックレンジ：
85 dB以上 (1 kHz、AWTDにて)
歪率：
0.1%以内 (1 kHz、基準レベルにて)
ヘッドルーム：
18/20 dB (メニュー選択可)

入出力部

GEN LOCK IN： BNC×1、1.0 V [P-P]、75Ω
(メニュー切り換えでVIDEO IN、また
はリターンビデオ入力端子として使用
可能)
MON OUT： BNC×1、1.0 V [P-P]、75Ω
VIDEO OUT： BNC×1
(HD-SDI/SD-SDI/コンポジットに切替
可能)
HD-SDI： 0.8 V [P-P]、75Ω
(SMPTE292M/299M規格に準拠)
SD-SDI： 0.8 V [P-P]、75Ω
(SMPTE259M-C/272M-A/ITU-
R.BT656-4規格に準拠)
コンポジット：
TC IN： BNC×1、0.5 V [P-P]～8 V [P-P]、10 kΩ
TC OUT： BNC×1、ローインピーダンス、
2.0±0.5 V [P-P]
DVCPRO： 6ピン (入出力)
伝送速度：
400/200/100 Mbps (選択可能)
伝送データ：
IEEE1394-1995/1394a-2000、
IEC61883-1、2、SMPTE396M準拠
制御コマンド：
AV/C Command Set準拠
SDI-OUT：
HD： BNC×1、0.8 V [P-P]、75Ω
(SMPTE292M/299M規格に準拠)
SD： 0.8 V [P-P]、75Ω
(SMPTE259M-C/272M-A/ITU-
R.BT656-4規格に準拠)

SDI-IN： BNC×1、0.8 V [P-P]、75Ω
(オプション：HD/SD SDI入力ボード
AJ-YA350AG装着時)
HD： 0.8 V [P-P]、75Ω
(SMPTE292M/299M規格に準拠)
SD： 0.8 V [P-P]、75Ω
(SMPTE259M-C/272M-A/ITU-
R.BT656-4規格に準拠)
AUDIO IN CH1/CH2：
XLR×2、3ピン
LINE/MIC/MIC + 48 V切り換え方式
LINE： +4 dBu (-3/0/+4 dBu、
メニュー選択可)
MIC： -60 dBu (-60/-50 dBu、
メニュー選択可)
MIC + 48V：ファントム + 48V対応
-60 dBu (-60/-50 dBu、
メニュー選択可)
MIC IN： XLR×1、5ピン ファントム + 48V
(メニュー選択でON/OFF可)
-40 dBu
(-50/-40 dBuのメニュー選択可)
WIRELESS IN： 25ピン、D-SUB、-40 dBu

AUDIO OUT CH1/CH2 :	XLR × 1、5ピン、+4 dBu (-3/0/+4 dBu、メニュー選択可)、 平衡ローインピーダンス	LENS :	12ピン
PHONES OUT:	ステレオミニジャック × 2	EVF :	20ピン
DC IN :	XLR × 1、4ピン、DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)	REMOTE :	10ピン (AJ-RC10G用端子)
DC OUT :	4ピン、DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)、 最大出力電流 1.5 A	GPS :	6ピン (AJ-GPS910G用端子)
		USB2.0 :	HOST: Type-A コネクタ、4ピン DEVICE: Type-B コネクタ、4ピン

付属品

ショルダーベルト
FRONT AUDIO LEVEL ノブ
ノブ用ネジ × 1
CD-ROM

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

